

総合分析実験センター 自己点検評価報告書

平成27年度

目次

| | |
|-------------------------------|----|
| 1. 部局等の目的・目標 | 2 |
| 2. 部局等の概要 | 3 |
| 3. 領域別の自己点検評価 | 5 |
| (1) 教育支援の領域 | 5 |
| (2) 研究支援の領域 | 7 |
| (3) 国際交流・社会貢献の領域 | 9 |
| (4) 組織運営の領域 | 10 |
| (5) 施設の領域 | 11 |
| 4. 外部評価 | 13 |
| 5. 明らかとなった課題および課題に対する改善の状況・方策 | 14 |
| 6. 総括 | 16 |
| 7. 業務等集計データ | 17 |
| 8. センター利用実績 | 19 |
| (1) 平成27年度利用実績の概要 | 19 |
| (2) センター利用実績の動向 | 19 |
| (3) センター施設、設備・機器利用数および利用機器 | 24 |
| (4) センター利用者の業績および外部資金 | 29 |
| ▪ 著書 | 29 |
| ▪ 受賞 | 31 |
| ▪ 症例報告 | 32 |
| ▪ 原著論文 | 34 |
| ▪ 総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文 | 46 |
| ▪ 一般講演・招待講演・特別講演 | 49 |
| ▪ 外部資金 | 88 |
| (5) センター教職員による業績および外部資金 | 95 |
| 8. 学外評価委員による評価結果・意見 | 97 |

1. 部局等の目的・目標

佐賀大学総合分析実験センターは本学における教育研究の総合的支援を目的とした全学共同施設である。本庄地区と鍋島地区それぞれに「生物資源開発部門」、「機器分析部門」、「放射性同位元素利用部門」および「環境安全部門」の4部門を設置しており、これらの4部門が機能的に連携して学内の研究教育を総合的に支援することで、本学における生命、環境、材料等の研究およびこれらの複合領域研究に対応できる人材の育成を目指している。

総合分析実験センターの目標は、本学の第3期中期目標・中期計画として、以下の項目が定められている。

■教育環境の整備に関する目標

中期目標:学内共同利用施設として、学部教育ならびに大学院教育に対する支援を行う

中期計画:センター専任教員が学部・研究科および全学教養機構での講義の一部を支援ができるようにする、または、これまで行ってきた講義に加えて、新たに講義を受け持つ

■研究成果の地域・社会への還元に関する目標

中期目標:地域・社会に対する機器・設備開放と技術支援

中期計画:学部、産学・地域連携との共同作業による研究技術拠点化。共同研究提案の核となる

■研究の質の向上にシステムに関する目標

中期目標:部門再編と人員再配置（新規配置ならびに職位見直しを含む）によるセンター研究体制の増強

中期計画:具体的な部門再編と人員再配置を検討する。検討項目の中には、①支援内容とその分担の見直し、②専任教員が配置されていないため業務に支障を来している環境安全部門業務への対応、③本学の教育・研究レベル強化・上昇へこれまで以上に積極的な形で貢献できる新たなプロジェクト部門の設置、④前項と関連して、トップジャーナルに論文が発表でき、大型予算が確保できる可能性の高い人材の確保（例えば特任教員の採用など）、などが含まれる。検討の後、現在の部門体制を時代にマッチしたものに再編し、それに見合う教職員配置（担当）を見直す。特に技術系職員の再配置により、教員と職員の職務分担の見直しを行い、教員はより研究に、職員はより支援に特化して業務を行うことにより、センターの研究能力を強化する。また、新たな教職員配置ならびに職位見直しを行い、より一層の研究能力増強を行う

■研究環境の整備に関する目標

中期目標:より高度かつ先進的な研究支援体制の構築

中期計画:老朽化・陳腐化機器の更新ならびに新規機器の獲得等による研究支援環境の整備。新規研究手法の獲得と発信による研究支援能力向上。必要性が高いサービスへの集中と必要性が低いサービスの廃止による支援業務の効率化（外部委託との調和を含む）。本学に必須の研究環境の維持・改善（RI 実験）。RI 実験施設利用者減少への対応（老朽化した機器・設備の更新、新規機器導入による利用の呼び起こし、新たな RI 実験手法の紹介・提案と、共同・受託研究の実施によるサービス向上など）

■地域を志向した教育・研究に関する目標

中期目標:地域・社会への機器・設備開放と技術支援による地域の学術拠点としての、また技術習得拠点としての確立

中期計画:研究技術拠点としての産学官包括連携協定への参画、協力。地域（企業、NPO、他大学等を含む）向け公開技術講座の開催

■教育研究組織編成の見直しに関する目標

中期目標:部門再編と人員再配置（新規配置ならびに職位見直しを含む）によるセンター研究体制の増強

中期計画:現在の部門体制を時代にマッチしたものに再編し、それに見合う教職員配置（担当）を見直す。特に技術系職員の再配置により、教員と職員の職務分担の見直しを行い、教員はより研究に、職員はよ

り支援に特化して業務を行うことにより、センターの研究能力を強化する。また、新たな教職員配置ならびに職位見直しを行い、より一層の研究能力増強を行う

■財務内容の改善に関する目標

中期目標:大型研究機器設備のセンター集中管理の推進による財務改善(予算最適化)

中期計画:業務運営の改善及び効率化(1.組織運営改善):施設整備関連経費の重点的集中による学内資産(研究機器・設備関連)の重複・冗長化見直しによる財務改善(予算最適化)。具体的には、大型研究機器設備予算申請のセンター集中化、既存学部等管理機器・設備の情報収集と、センターへの管理運営権限委譲

■情報公開や情報発信等の推進に関する目標

中期目標:国民への説明責任を果たす情報公開

中期計画:情報公開の必要な項目について調査を行う。学内の関連委員会等と連携し、情報公開項目の項目・内容等について見直し、多様な手段で学外への情報発信を行う。また、特に動物実験については、第三者による検証を受ける

■法令遵守に関する目標

中期目標:法令を遵守した遺伝子組換え実験、動物実験、RI実験、化学実験等に対する適切な支援の実施

中期計画:法令遵守の推進。教育訓練体制の充実。教職員への啓蒙活動。関連業務への専任教職員の配置ならびにセンター業務体制の見直し

2. 部局等の概要

佐賀大学総合分析実験センターは、社会的な要請度の高い生命、環境、材料等の研究やこれらの複合領域研究に対応できる人材の育成を総合的かつ効果的に支援する体制を構築するために、平成14年4月1日に、「機器分析センター」、「放射性同位元素実験室」を、それぞれ「機器分析分野」、「放射性同位元素利用分野」に改組し、さらに、新設の「ライフサイエンス分野」を加えて学内共同教育研究支援施設として設立された。平成15年10月1日の佐賀医科大学との統合にあたり、同医科大学の動物実験施設、実験実習機器センター、RI実験施設を加え、「生物資源開発部門」、「機器分析部門」および「放射性同位元素利用部門」の3部門からなる全学的な研究教育支援施設となった。さらに、平成18年度に「環境安全部門」を新設し、これらの4部門が連携して学内の理工、農、医、文化教育学分野の研究教育を総合的に支援している。各部門は、佐賀大学の本庄地区と鍋島地区にそれぞれに配置されており、平成27年度はセンター長(併任)、副センター長(併任)、准教授4名、助教2名、教務員2名、技術専門職員3名、技術員4名(うち2名は再雇用)、非常勤職員6名、研究支援推進員1名から構成されている(次ページ図:平成27年度総合分析実験センターの構成および人員配置を参照)。

総合分析実験センター4部門が担当する支援業務を以下に列挙した。

生物資源開発部門

遺伝子組換え実験と動物実験に関する教育、研究、講習、教育訓練および安全管理ならびに動物福祉に配慮した実験動物の飼育管理

機器分析部門

大型高性能分析機器類の維持管理、総合的な分析・測定に関する教育と研究、分析機器の使用講習会および教育訓練

放射性同位元素利用部門

放射性同位元素等の利用に関する教育と研究、放射性同位元素等安全取扱講習会および安全管理

環境安全部門

環境分析機器の安全管理と教育講習、環境整備および環境分析に関する研究の支援、環境問題に関する共同研究の受入れおよび相談窓口、環境問題についての教育および情報提供、および学内環境安全業務

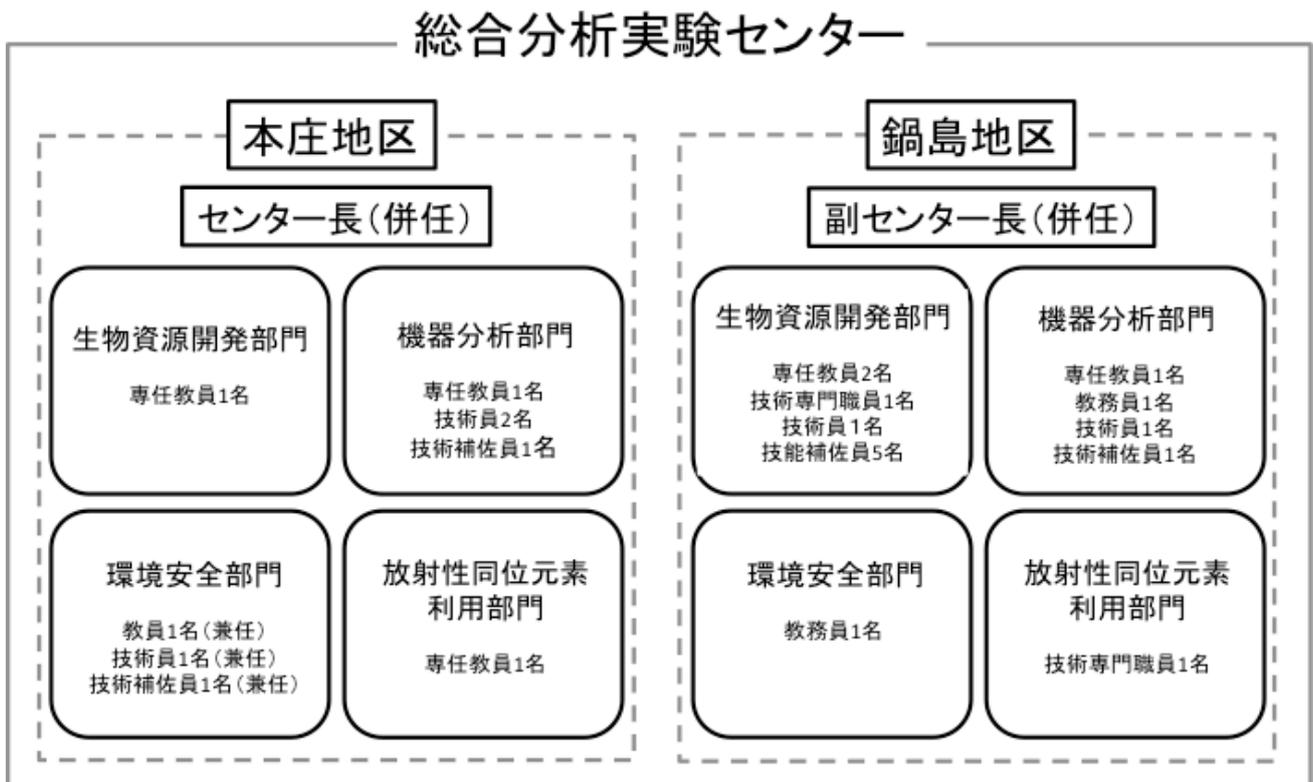


図:平成 27 年度総合分析実験センターの構成および人員配置

3. 領域別の自己点検評価

(1) 教育支援の領域

ア 教育支援環境に関する事項

総合分析実験センターを基盤として、実験機器類および生物資源の維持・開発と放射性同位元素利用に関する設備の整備拡充と全学的有効利用システムの構築を図り、学生教育並びに社会的ニーズに応じた教育訓練環境を整備するため、以下の事項を中心に取り組んだ。

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 共同利用可能機器に関する情報をウェブページに公開し、共同利用機器の予約申込み、予約状況ならびに運用状況の確認をオンラインでできる体制を整えている。また、機器分析部門鍋島地区においては利用者メーリングリストを構築し、機器運用に関して迅速な情報提供を行う体制を整えている。
- 2) 学外研究機関に所属する教職員等が総合分析実験センターを利用できるよう、平成 19 年度より本庄地区において「受託試験」(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>)を開始している。また、平成 22 年度からは鍋島地区の機器分析ならびに放射性同位元素利用両部門においても「受託試験」(<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)を開始した。今後も情報の周知と、受託可能な機器の拡充を図っていく予定である。
- 3) 機器利用システムのさらなる改善および共同利用機器数の増加を図るため、共同利用可能機器の調査依頼を全学に対して行い、共同利用可能機器の増加に努めるとともに、老朽化等により利用できなくなった機器については整理を行っている。平成 27 年度末現在の共同利用可能機器は全 152 台であり、そのうち本庄地区に 37 台、鍋島地区(鍋島機器部門と鍋島放射性同位元素利用部門)に 115 台が設置されている(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>)。
- 4) センター機器および施設を利用する教員、学生等の研究成果、外部資金獲得状況に関する情報収集を毎年度行っている(8 センター利用実績を参照)。
- 5) センター利用状況を毎年度集計し、その集計結果をもとにセンターにおける教育訓練環境の整備、改善を図っている。

イ センターが行う教育に関する事項(使用法、安全、規則等に関する教育)

総合分析実験センターが関わる施設・機器の使用法や法令・規則等の教育に関して、教職員や学生及び関係者に対して必要な教育活動を行い、その教育訓練体制の整備・改善を図るため、以下の事項に取り組んだ。

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 放射線および放射性同位元素の取扱に必要な放射線業務従事者講習会は、本庄地区と鍋島地区でそれぞれ行っている。受講者への便宜を図るため、どちらの地区でも受講できるようにしている。
- 2) 放射線業務従事者登録の便宜を図るため、本庄地区では、新規登録申込者に対する教育訓練は年 2 回(6 月と 12 月)行っており、さらに 5 名以上の希望者がいる場合には随時教育訓練を実施している。更新者用の教育訓練は、12 月から 3 月にかけて年 4 回開催している。鍋島地区では 4、5、10 月にそれぞれ新規および更新教育訓練を行うことに加え、要請に応じて随時、教育訓練を実施している。
- 3) 動物実験に関する教育訓練を学内の「動物実験委員会」と連携し、年 2 回、本庄地区と鍋島地区で実施している。これ以外にも、希望者に対しては随時、教育訓練を実施している。また、動物実験の実験計画書の作成の相談、指導、事前審査、受付業務を行っている。
- 4) 本庄地区および鍋島地区における遺伝子組換え実験に関する教育訓練を主導している。平成 21 年度からは新たに、英語による教育訓練も開始している。また、遺伝子組換え実験申請書の提出前の内容確認を行い、申請者への便宜を図っている。
- 5) センターが直接または間接的に関与して行われる教育訓練の際、アンケート調査を行い、利用者のニーズの把握に努めている。

- 6) 機器分析部門鍋島地区では、適宜、利用者ミーティングを開催し、利用者からのニーズを把握するとともに円滑な共同利用環境の醸成を図っている。
- 7) 環境安全部門を統括する本庄地区機器分析部門の専任教員は、本庄地区環境安全衛生委員会メンバーとして安全巡視や簡易作業環境測定業務を実施しており、理工学部循環物質化学科安全衛生委員会メンバーとして同学科の安全衛生管理に貢献している。同部門鍋島地区を担当する教務員は医学部安全衛生委員会メンバーとして鍋島キャンパスの安全衛生管理に貢献している。
- 8) 既に作成済みのマニュアル・手引きについて、更新が必要なものは随時更新を行なっている。
- 9) 機器分析部門鍋島地区では、機器導入機器の説明会や最新研究動向を知るための説明会およびデモンストレーションを7回、設置機器利用の習熟度向上のための機器利用講習会を3回行っている。

(本年度事項)

- 10) 動物実験に関する教育訓練について、定期に実施される教育訓練に加え、利用者の希望に応じて教育訓練を計26回実施し、利用者の便宜を図るとともに、動物実験計画書78件の作成指導・事前審査を実施した。
- 11) 生物資源開発部門本庄地区の教員1名が、今後の教育訓練に活かすために、「第7回遺伝子組換え実験安全研修会」に参加して、遺伝子組換え実験に関する安全管理に関する情報を収集した。

ウ センター教職員が行う、学部等における教育活動に関する事項

専任教員および技術職員は、センター利用者に対する教育訓練などの支援だけでなく、教養教育運営機構及び関連学部等に協力し学部および研究科の教育にあたっている。以下に専任教員が担当する講義名を示す。

| | |
|---------------------------|--|
| 機器分析部門(本庄) 専任教員1名 | 全学「佐賀環境フォーラムⅠ」「佐賀環境フォーラムⅡ」「佐賀環境フォーラムⅢ(インターフェース)」「佐賀環境フォーラムⅣ(インターフェース)」「教員のための環境教育」「地域の環境(前期・後期)」、「環境保全(概)論Ⅱ」、「作業環境測定概論」「環境教育Ⅱ(インターフェース)」「学内活動実習Ⅰ」、「学内活動実習Ⅱ」、「実験化学Ⅰ(分担)」 理工学部「分離化学」「環境化学」「循環物質化学」「大学入門科目(分担)」「理工学基礎科学(化学概説)(分担)」「機能物質化学実験Ⅰ(分担)」「循環物質化学特別実習・演習(前後期)」 文化教育学部「環境科学特別講義」 大学院工学系研究科博士前期課程「物質環境化学特論」「融合循環物質化学特論」「基礎反応化学特論(分担)」「循環物質化学セミナー(分担)」「循環物質化学特別演習(分担)」「基礎反応特論(分担)」 |
| 生物資源開発部門(本庄) 専任教員1名 | 農学部「分子細胞生物学」「遺伝子工学」「生化学実験(分担)」「専門外書講読(分担)」「演習(分担)」 大学院農学研究科「分子細胞生物学特論」「細胞情報学特論」「先端分析科学特論Ⅱ(分担)」「生命機能科学特論(分担)」「生命化学演習(分担)」「農学総合講義(分担)」 |
| 放射性同位元素利用部門(本庄) 専任教員1名 | 農学部「生化学実験(分担)」「専門外書講読(分担)」「演習(分担)」「生命化学概説(分担)」「基礎放射線科学」 大学院農学研究科「先端分析科学特論Ⅱ(分担)」 |
| 機器分析部門(鍋島) 専任教員1名 | 基本教養科目「衛生管理論」、「インターフェース～現代社会と医療Ⅳ」 大学院医学研究科修士課程「生体傷害分析法」「実験検査・機器特論」 大学院医学研究科博士課程「機器分析法」「アイソトープ実験法」 環境キャリア教育プログラム「環境科学Ⅰ」、「環境対話Ⅱ」、「環境教育Ⅱ」 |
| 生物資源開発部門(鍋島) 専任教員2名 | 基本教養科目「生命科学の基礎B(実験動物学)」 医学部「基礎科系実習(分担)」 大学院医学研究科修士課程「実験動物学特論」 大学院医学研究科博士課程「動物実験法」 |

(2) 研究支援の領域

ア 学術・研究活動に関する事項

センターの活動を通じて本学における学術・研究の推進を図るため、学内外との共同研究の推進、学外研究プロジェクトへの参画、シンポジウム等の開催を中心に取り組んでいる。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 生物資源開発部門鍋島地区では、医学部、および農・理工・文教学部とも連携できる研究テーマの一つとして、生活習慣病の病態モデルとなる遺伝子改変ウサギの開発とそれを用いた分子病理学的研究を行っている。これに関して、総合分析実験センターにおいて開発・維持されている遺伝子改変ウサギを他の研究機関に分与するとともに共同研究を推進している。
- 2) 機器分析部門鍋島地区では、教員 1 名が放射線医学総合研究所(平成 20 年度～)、ならびに京都大学原子炉実験所(平成 21 年度～)で共同利用研究員として活動し、放射線がん治療の基礎研究をテーマに共同研究を行っている。また、学外では広島大学大学院医歯薬学研究科教員ならびに近畿大学工学部教員と、学内では理工学部教員と共同研究を行い、学会発表 8 件を報告した。
- 3) 生物資源開発部門本庄地区では、開発したプラスミド DNA の分与を行っている。
- 4) センター各部門共同でセミナーを開催し、センター専任教員を中心とした部門間連携を強めるとともに、センターを中心として学内外との連携が可能な研究プロジェクトの検討を行っている。
- 5) 機器分析部門本庄地区専任教員 1 名が長崎県商工連携ファンド事業助成金を受け、長崎大学、京都工芸繊維大学、および一般企業とともに藻場再生に関する共同研究を行なっている。財団法人電力中央研究所との共同研究「地下水および表層水に存在する有機物の採取法検討と特性評価」の研究を行うとともに、地域の企業との共同研究「ポリアクリル酸水溶液中におけるリドカイン溶解状態の検証」を実施した。産学官連携機構(徐福ラボ)との連携を密にし、技術的な相談、情報収集、実施計画の提案、費用試算、予備実験の実施等で技術的な支援を実施している。

(本年度事項)

- 6) 生物資源開発部門鍋島地区で開発・維持している遺伝子改変ウサギを分与した(国内 2 機関、計 59 匹)。
- 7) 生物資源開発部門本庄地区で開発したプラスミドを国内の研究者(1 件)、米国の研究者(1 件)に分与した。なお、これらプラスミドは研究成果有体物として佐賀大学に知的財産登録しており、分与を希望する研究者との交渉は産学・地域連携機構の知財戦略・技術移転部門(TLO)が行った。
- 8) 総合分析実験センターセミナーとして、外部講師を招き 11 回のセミナーを開催した(7.業務等集計データを参照)。

イ 研究支援環境に関する事項

本学全体およびセンターにおける研究環境の改善、また、大学間の連携を高めて情報共有や機器の相互利用を推進のため、次のことに取り組んでいる。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 3. (1)ア-4)に示すように、共同利用可能機器に関する調査結果に基づいて、共同利用可能機器の増加を図っている。また、機器の運用状況がインターネットを通じて確認できるようにするなど、ホームページの改善も図っている。
- 2) 低利用頻度機器および譲渡希望機器の収納スペースを整備し(リサイクルファシリティ)、譲渡を希望する機器について情報を収集しホームページで情報開示するシステムの運用を開始している。また、HP やメールを利用してリサイクルファシリティの周知を図り、年度末などに向けてファシリティの活用を案内している。運用開始から平成 27 年 3 月 31 日までに 41 物品の譲渡を完了している。
- 3) 大学連携研究設備ネットワークに 3 台の機器を登録しネットワーク利用機器の充実を図っている。また、ネットワークを利用した共同研究を通じて、共同利用機器の利用活性化に協力している。
- 4) 動物実験に関して、研究テーマに即した飼育室・実験室の改善を図っている。特に、遺伝子組換えマウスの飼育スペースの不足に対して、設備や飼育器材の充実に向けて可能な限り対応している。
- 5) 生物資源開発部門鍋島地区では、学内研究者への研究支援としてマウス胚の凍結保存、遺伝子改

- 変動物の作成、動物実験手技の技術指導を行っている。
- 6) 学外研究機関等による総合分析実験センター利用のために、本庄・鍋島両地区機器分析部門において「受託試験」を行なっている。<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>
<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>。
 - 7) 他大学の共同利用可能機器に関する情報を大学内に発信している。
 - 8) 他大学へ総合分析実験センター内の共同利用可能機器に関する情報を発信している。
 - 9) 国立大学法人生命科学研究機器施設協議会に参画し、設備の大学間相互利用をはじめとした活動に協力している。
 - 10) 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会に参画し、設備の大学間相互利用をはじめとした活動や「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」へ対応するための活動に協力した。
 - 11) 「国立大学法人動物実験施設協議会」に参加し、動物実験および実験動物に関連する情報収集、意見交換を行なった。また、協議会の調査等に協力した。
 - 12) 平成 21 年度から研究支援推進員1名を継続して採用している。また、学内措置により、機器分析部門本庄地区において博士研究員1名を採用している。
- (本年度事項)
- 13) 総合分析実験センターQ&A を改訂し、センターユーザーだけでなく学内に広くセンター業務を周知するとともに、教職員ならびに学生に対する研究情報支援を行った。さらに、Q&A 英語版を作成、発行し(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>)、留学生に対するセンター業務の周知および支援を行っている。本 Q&A については、毎年改訂を行い、アップデートな情報提供を行なっている。
 - 14) 環境安全部門鍋島地区では、前項2)に関連して、鍋島地区ユーザーの利便性を高めるため、平成 23 年度より鍋島地区リサイクルファシリティーを運用している。平成 27 年度の譲渡実績は 6 物品であった(施設利用実績を参照)。
 - 15) 動物実験の研究支援に携わる技術職員一名が、支援技術の向上に努め、実験動物技術者 2 級の資格を取得した。

ウ センター職員による研究活動に関する事項

センターでは、ア、イに示す研究支援活動と並行して、教職員がそれぞれ独自の研究テーマを持ち研究を行っている。個々の専門分野で高いレベルの研究に携わり、その研究活動や研究交流を通じて最新の研究成果や情報を入手することにより、センターの教育研究支援の向上と、本学の研究教育の推進に貢献している。

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 生物資源開発部門本庄地区では、新しい遺伝子組換え技術の開発、様々な生物のオミックスをテーマに研究を行っている。鹿児島大学農学部、京大大学生態学研究センター、Renewable Natural Resources Research Centre Wengkharr (ブータン)、雲南農業大学(中国)、お茶の水女子大学、佐賀県果樹試験場、佐賀大学農学部などと共同研究を行っている。
- 2) 生物資源開発部門鍋島地区では、部門の研究テーマとして、1)ヒト疾患モデルとしての遺伝子改変ウサギの開発と医学研究への応用、2)ウサギ精子および胚の凍結保存に関する研究に取り組んでいる(共同研究先 山梨大学、神戸大学、秋田大学)。
- 3) 機器分析部門本庄地区では、自然界の土壌や水中に存在する腐植物質の構造特性、機能特性に関する研究を地球科学分野、原子力開発分野、農業分野等の研究者と共同して行っている。
- 4) 佐賀県医療法人「好生館」、佐賀大学、佐賀県、リサイクラー等との協働プロジェクト「医療機器リサイクル処理標準化プロジェクト」を立ち上げ、地域創生への取り組みをサポートしている。
- 5) 機器分析部門鍋島地区では、放射線や環境因子によるDNA傷害とその修復機構を生化学的、分子遺伝学的に検討し、生物の遺伝情報維持機構を明らかにするべく、准教授 1 名、教務員 2 名、技術員 1 名および研究支援推進員1名が協力して研究を行っている。また同准教授 1 名は、放射線医学総合研究所ならびに京都大学原子炉実験所の共同研究員として、放射線がん治療に関する基礎研究をテーマに共同研究を行うとともに、学内外の教員と共同研究を行っている(佐賀大学理工学部、広島大学、近畿大学)。
- 6) 放射性同位元素利用部門本庄地区では、昆虫の味覚・嗅覚機能の解明および摂食行動調節メカニ

ズムに関する研究を行っている。これらの研究は、佐賀大学農学部、総合分析実験センター、もしくは他大学・他研究機関(九州大学、京都大学、JT 生命誌研究館)と共同で行っている。

- 7) 各部門に配置されている技術系職員(含教務員)の研究への参画を促進しており、一部の技術系職員は独自の研究テーマに取り組んでいる。さらに、共同研究員として分析、調査を担当している。
- 8) 生物資源開発部門の教員が責任著者となった論文が、2010 から 2015 年の 6 年間に佐賀大学の論文(責任著者が佐賀大学教員)の中で、最も引用された。

(https://scholar.google.co.jp/scholar?q=%22Saga+University%22&hl=ja&as_sdt=1%2C5&as_vis=1&as_ylo=2010&as_yhi=)。

(本年度事項)

- 9) 平成 27 年度の研究成果は、原著論文 9 報、総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文 3 報、学会発表・招待講演など 15 件、外部資金獲得は 9 件であった。研究成果の詳細は「8. センター利用実績」に記す。
- 10) 継続事項(3)において、本年度は新たに状態解析技術を薬物の移動動態に応用した共同研究を実施している。
- 11) 継続事項(4)において、現在医療機器循環システム協議会の立ち上げ作業を実施している。

(3) 国際交流・社会貢献の領域

ア 教育における社会連携・貢献に関する事項

センターでは各センター教員の専門研究分野および各部門の特色を活かした社会貢献、地域社会との連携、他大学との教育における連携および地域に貢献する教育活動として以下の事項に取り組んでいる。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) センター教員が担当する講義「佐賀環境フォーラム I,II(身近な環境—調べよう・深めよう・伝えよう)」の一環として、学内に整備運営したビオトープ(ホタル池)を学生団体グリーンネクサスと提携して希少動物の保護・観察に役立てている。また鈴虫のイベントを実施し、保育園スタッフを含む地域市民と連携して、佐賀環境フォーラムワークショップ“環境教育”グループによる紙芝居を通じた地域の幼稚園児や小学生への環境教育を行い、同時に市民への憩いの時間を提供した。学生運営スタッフを指導しながら年 2 回(春と秋)の大学構内および近隣を流れるクリークの河川清掃を近隣自治会と協力して実施、運営しており毎回 60~100 名程度の参加者とともに社会へ貢献している。
- 2) センター職員が理事を務めるNPO主催で佐賀の伝統的な農業イベント「ごみくい」を企画し、学生約 40 名とともに参加した。
- 3) 本庄地区環境安全部門専任職員は学内を流れる河川清掃を近隣自治会(佐賀大学前自治会)とともに、年 2 回企画実施している。
- 4) 学生活動「チャリさがさいせい(チャリさ)」の顧問として、学内、および周辺アパートの放置自転車の回収・修理・販売・譲渡を行い、学内や近隣地域の放置自転車撲滅運動に貢献している。また同グループは地域のイベント「佐賀城下ひな祭り」「さがバルーンフェスタ」「呉服町万博」の期間中に再生自転車を利用したレンタサイクルを実施し、一般市民に①放置自転車の撲滅、②循環型社会の推進、③自動車を使わない省資源・健康な観光を提案し環境に関する啓蒙活動に貢献している。
- 5) 平成 22 年度より、本学文化教育学部附属中学校育友会が行なっている「佐賀大学の先生の授業を受けてみよう」に協力し、センター教員が講義を行なっている。

(本年度事項)

- 6) センター教員は、他大学・研究教育機関などでの講義・実習も担当している。広島大学大学院理学研究科における講義「遺伝子化学Ⅱ」、大川看護福祉専門学校における講義「生化学」、武雄看護リハビリテーション学校における講義「解剖生理学」を担当した。
- 7) 本学文化教育学部附属中学校育友会が行っている「佐賀大学の先生の授業を受けてみよう」では、「放射線を図る」を開講した。
- 8) 産業環境管理協会が実施する「公害防止管理者等資格認定講習」において「大規模水質特論」を 2 回行った。

- 9) 佐賀県教育センターの講座「高校生物 I 講座」に協力して、高校理科教員を対象にして、DNA 配列決定を指導した。
- 10) 「ものづくり技術者育成講座」の講義を担当した。
- 11) 科学研究費における研究成果の社会還元・普及事業「ひらめきときめきサイエンス」に採択され、講義および実験を行った。

イ 研究における社会連携・貢献に関する事項

学外の研究者が総合分析実験センター等の分析機器類を活用できるシステムの構築を図るため、また学外の研究者との連携を深めるとともに、地域社会の研究推進や学会活動に貢献するため、以下のことに取り組んだ。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 平成 19 年度から「受託試験」を開始している (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>
<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)。
- 2) 地域に貢献する研究支援活動を行うために、佐賀大学産学連携推進機構を活用し、同機構のホームページからの情報発信に協力している。
- 3) 佐賀県バイオマスエネルギー計画、佐賀市バイオマスタウン構想に協力し、民間の研究への相談に対応し、共同研究計画を策定中である。
- 4) 「佐賀環境フォーラム」の活動において、佐賀市と協力し、佐賀市内公立小中学校のシックスクール調査を行っている。
- 5) 産学官連携機構「徐福ラボ」との連携により、地域の民間会社からの技術的相談に対応している。

ウ その他国際交流・社会貢献に関する事項

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) ホームページを通じて、開発したベクター DNA を国内外に分与する活動を行っている (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/lifescience/pSU0/>)。
- 2) 日本腐植物質学会評議委員として、学会の運営に貢献している。
- 3) 環境関連の二つの NPO の理事として活動に協力している。
- 4) 毎年開催される韓国・大邱大学校とのジョイントセミナーに協力している。
- 5) 佐賀市環境審議会のメンバーとして佐賀市の環境行政に助言を行っている。

(本年度事項)

- 6) センター教員 1 名が佐賀市の委託を受け、佐賀市空き家等審議会委員として活動した。
- 7) センター教員 1 名が佐賀市の委託を受け、佐賀市環境マネジメントシステムにおける内部環境監査委員として活動した。
- 8) センター教員 1 名がおよび職員 1 名が 15th International Congress of Radiation Research (2015 May 25-29, Kyoto, Japan)に参加し、それぞれ研究発表を行うとともに同学会に参加した研究者と意見交換を行った。

(4) 組織運営の領域

ア 教育研究組織の編成

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 本庄地区と鍋島地区のテレビ会議システムを活用して会議を行っている。
- 2) 年間数回のスタッフ会議を開催し(本年度は2回開催)、研究支援、財務、組織運営などに関する方針や問題について討論している。

イ 管理運営に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 自己収入の増加を図ることも一つの目標として、学外研究機関による総合分析実験センター利用のために、「受託試験」を行っている (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>
<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)。
- 2) 平成19年度からセンター教員が本庄地区RI実験施設の作業環境測定を行っている。
- 3) 環境安全部門本庄地区は業務委託費の節約を図るため作業環境測定(有機溶媒)を自ら行うことを検討しており、一部建物での検知管による作業環境測定を実施している。今後も実施個所の増加を図っていく予定である。
- 4) 環境安全部門本庄地区は理工学部の実験実習、および大学入門課目において安全教育を担当し、安全教育に対する啓蒙をはかっている。
- 5) 環境安全部門鍋島地区は業務委託費の節約を図るため、必要箇所における作業環境測定(有機溶剤)を自ら実施している。

(本年度事項)

- 6) 放射線障害防止法の改正に伴い、放射線障害予防規程の改正を実施した。

ウ その他組織運営に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) エコアクション21の認証取得を目指した取り組みに参画している。詳細は、3.(1)ーイー7)、3.(2)ーイー2)を参照。
- 2) センター教員2名が「佐賀大学版環境教育」の実行委員として活動している。
- 3) 環境安全管理に関して、機器分析部門鍋島地区准教授1名が危険物取扱者資格取得および特別管理産業廃棄物主任の資格を取得し、鍋島地区のこれら業務を担当している。
- 4) 化学物質管理システム(CRIS)の全学運用に関して、鍋島地区機器分析部門准教授1名が管理主担当となり、環境安全衛生管理室と協力している。
- 5) 機器分析部門鍋島地区准教授1名は鍋島地区の国際規制物資管理者として関連業務を担当している。
- 6) 鍋島地区RI実験施設の作業環境測定を自ら行うため、同施設放射線取扱主任者である機器分析部門鍋島地区教員が資格を取得した。鍋島地区では、教務員1名が同資格(有機溶剤)を取得し、作業環境測定に協力するとともに、衛生工学衛生管理者を取得し、同資格が要求される附属病院衛生管理者を複数名確保することに協力し、同衛生管理者として選任されている。
- 7) その他、大学運営に関わる事項として、センター各教員が、動物実験委員会、遺伝子組換え実験安全委員会、放射性同位元素等安全管理委員会、鍋島キャンパスエネルギー管理協議会、環境安全衛生室会議、医学部安全衛生委員会、エコアクション21全学委員会、同医学部委員会委員、医学部エネルギー対策委員会、総合情報基盤センター運用委員会などに参画し、また、様々なワーキンググループに参画するなどして、その専門知識を活かして大学運営に貢献している。

(5) 施設の領域

ア 施設、設備等に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 総合分析実験センターとしての「災害対策マニュアル」を全学的なマニュアルと整合性をとりながら作成し、ホームページ上で公開している(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>)。なお、放射線施設に関しては、放射線障害予防規程に「地震等の災害時における措置」について定めている。また、動物実験施設においても動物実験における「緊急時対応マニュアル」を作成している。
- 2) 近年の研究方法の進歩により、動物実験施設の利用形態も多様化してきている。また、動物福祉の観点から実験動物の飼育環境の改善も重要な課題となってきた。利用者からのニーズに合わせ先端的研究の効率な推進、動物福祉への対応等を考慮し施設設備の整備・更新等の予算措置を申請している。

- 3) 平成 24 年度鍋島地区放射性同位元素利用部門の改修を行い、管理区域を 2/3 に縮小し、管理区域解除部分を鍋島地区共用スペースとして整備した。
- 4) 放射性同位元素利用部門(本庄地区)では、実験施設の有効活用のため、故障等によって使用できなくなった大型機器を順次廃棄処分している。

(本年度事項)

- 5) 放射性同位元素利用部門(本庄地区)では、6 月に原子力規制委員会による立入検査に対応した。
- 6) 放射性同位元素利用部門(本庄地区)では、専任教員が大学等放射線施設協議会に参加し放射線施設運営に関わる情報収集を行った。

4. 外部評価

国立大学法人佐賀大学大学評価の実施に関する規則改正に伴い、外部評価を2年ごとに実施することが可能となったため、本年度の自己点検評価報告書における外部評価は実施しない(改正前までは毎年実施)。

5. 明らかとなった課題および課題に対する改善の状況・方策

機器分析部門(本庄地区)

課題:機器分析部門(本庄地区)では紫外可視近赤外分光光度計や核磁気共鳴装置等の共同利用汎用機器の老朽化・陳腐化が進んでいる。設備更新の努力を重ねるとともに、実験設備の機能を維持できるようにメンテナンスに配慮が必要である。

改善の状況および対策:共同利用機器の機能維持へのメンテナンスの必要性について、ユーザーへの負担、相互扶助への理解を求めるとともに、概算要求等での機器の更新を図る。

生物資源開発部門(本庄地区)

課題:DNAシーケンサー(サンガー法によるもの)による研究支援を行っている。この研究手法が陳腐化した。

改善の状況および対策: 新技術・次世代シーケンサーに関する講習会を行った。また、平成27年度連合農学研究科先進的研究推進事業(2,000千円)(代表者:永野)を獲得し、学内研究者の新研究手法への参入を促進した。(2015年6月20-21日 第一回総合分析実験センター実習コース「次世代シーケンサーで得られたデータの解析の実践」を開催。農学系四名、基礎医学二名、臨床一名の参加者。90分×10回。)

(2015年7月12日および26日 第二回総合分析実験センター実習コース「次世代シーケンサーで得られたデータの解析の実践」を開催。農学系七名、臨床一名の参加者。90分×10回。)

環境安全部門(本庄地区)

課題:再活用室を含むリサイクルファシリティの稼働率が悪いこと。自前作業環境測定対応が遅れていること。

改善の状況及び対策:部門運営を鍋島地区と統合し、課題解決に務める。担当職員に資格取得を行わせるために環境安全衛生室と検討を行う。

放射性同位元素利用部門(本庄地区)

課題:実験施設および設備機器の老朽化・陳腐化が顕著であり一部の機器は故障により利用不可能であるため、設備更新を図りユーザーが利用しやすい実験環境を整備する必要がある。特に放射線環境モニタリング装置(水、ガスモニタ)、液体シンチレーションカウンタ、X線照射装置などの機器の更新が必要と考えられる。これらの設備は、施設の管理運営、作業環境測定、並びに放射性同位元素を利用した研究において必須な機器である。

改善の状況および対策:放射線を利用した研究に必要な機器について、概算要求を行っている。また施設の老朽化についても、学内営繕により改修を行う予定である。

機器分析部門(鍋島地区)

課題:研究設備の更新が滞っているため、老朽化・陳腐化、または故障して利用不能なものがあり、それらの更新が必要である。また、研究手段の進化により、新たな研究設備の導入も必要である。

改善の状況及び対策:利用料金の見直しによる受益者負担原則の実施と予算要求による設備の更新整備の実現。教職員のトレーニングを行い、自前メンテナンス、自前修理を実施することによる経費節減。利用状況ならびに利用者の要望を把握することによる必要な研究設備への資源投入の集中とその結果としての経費節減。

生物資源開発部門(鍋島地区)

課題:ウサギの飼養保管状況において、ケージサイズが小さいため、一部のウサギが日常的な動作を行うための空間が十分に確保できていない懸念がある。これは、佐賀大学動物実験委員会によるH27年度の動物実験に関する自己点検評価における指摘事項であり、国際基準に対応した大型ケージへの更新が必要である。

改善の状況および対策:大型ケージへの速やかな更新のための費用獲得に向けて予算申請に努めたが、予算獲得に至っていない。引き続き予算獲得に努める。

環境安全部門(鍋島地区)

課題:自前作業環境測定対応が遅れていること。

改善の状況及び対策:自前作業環境測定の導入について医学部・附属病院安全衛生委員会と検討を行う。

放射性同位元素利用部門(鍋島地区)

課題:施設の老朽化、ならびに研究設備の更新が滞っているため、老朽化・陳腐化、または故障して利用不能なものがあり、それらの改修ならびに更新が必要である。

改善の状況及び対策:施設改修については毎年予算要求を行っているが実施されていない。今年度も引き続き予算要求を行う。

6. 総括

本センターの主たる業務は、本学における教育・研究の支援である。「7. センター利用実績」に示すように、本年度から、鍋島地区機器分析部門の利用者数追加により総利用者数は大幅に増加している。このことは、センターによる支援が学内の研究活動に恒常的に寄与していることを示すとともに、業務の見直しや改善等により、利用数や利用率を向上させ、さらなる支援の強化が可能であることを示唆する。また、センター利用によって得られた業績数は依然として多く、本センターが教育・研究支援組織としての役割を十分に果たしていることがわかる。

本センターに所属する教員はそれぞれ独自の研究テーマを持ち、各教員がそれぞれ研究成果を挙げている。さらに、こうした研究活動や研究交流を通じて、センターの教育研究支援レベルの向上に寄与するとともに、その専門知識・技能・資格あるいは保有設備を活かして講義・実習を担当することにより、教育に直接関わるほか、委員会活動を通じて本学の運営にも貢献している。また、センターでは、学会活動や地域社会の研究推進や環境保全活動などに積極的に参加・協力しており、これらの活動が、地域社会あるいは国内外における本学に対する評価を高めている。

しかしながら、センターの保有機器、あるいは施設の老朽化が顕著であり、教育・研究の支援に支障を来していることは大きな問題となっている。本問題は、概算要求による大型機器の更新および施設の改修によって徐々に改善されているものの、まだ充分とは言えない。従って、施設の改修や新しい機器の導入のための概算要求などを継続して行い、それに加えて、現有の機器の保守・施設の維持管理に関わる学内の予算措置の要求を行っていく必要がある。さらに、機器の保守管理に必要な技術職員が不足しており、施設の大きさおよび保有機器数に見合った人員の確保が重要と考えられるが、昨今の大学環境の状況を鑑みれば、人員増はかなり困難なことであることが予想されることから、業務ならびに設備の現状を的確に把握し、その改善、見直しを図ることにより、人的資源を投入する業務ならびに設備の取捨選択と集中化が必要であり、そのことについて重点的に取り組む事が重要である。また、センターの予算的自立による設備更新費用や修理費用の確保については、利用者数増加の取り組みや学外利用、受託試験の増加計画等により取り組む必要があると考えられる。以上の自助努力を行った上で、佐賀大学における教育・研究支援組織の中核として位置づけられている総合分析実験センターの支援環境整備に、大学全体のご理解とご協力をお願いしたい。

7. 業務等集計データ(センター教職員が実施・開催したもの)

(1) 研修・作業環境測定を集計データ

実施した研修等

| 研修名 | 開催日 | 参加人数 |
|----------------------|---|------|
| 動物実験に関する教育訓練(定期) | H27.7.23、7.24 | 14 |
| 動物実験に関する教育訓練(不定期) | H27/4/2,4/3,4/7,4/15,4/16, 5/8,6/2,6/11,7/4,7/21,7/28, 8/3,8/4,10/22,11/30,12/3,12 /4,12/11, H28/1/20,1/22 | 37 |
| 動物実験に関する教育訓練(医学部学部生) | H27.10.19、10.22 | 105 |
| 動物実験に関する教育訓練(大学院講義等) | H28.1.28、2.22 | 7 |

| | | |
|-----------------------|------------------------|----|
| 放射線障害防止法に基づく教育訓練 | H27.1.27、3.17、4.1、3.14 | 41 |
| 放射線障害防止法に基づく教育訓練(不定期) | H27.6.15～H28.2.8 | 9 |

| | | |
|-----------------------|----------|----|
| 第1回衛生管理担当者説明会 | H27.7.23 | 55 |
| 第2回衛生管理担当者説明会 | H28.3.14 | 47 |
| 第1回 CRIS 利用講習会 | H27.5.15 | 7 |
| 第2回 CRIS 利用講習会 | H28.3.14 | 31 |
| 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会 | H27.9.2 | 1 |
| 第9回化学物質管理担当者連絡会 | H27.9.3 | 1 |

作業環境測定

| 単位作業場所 | 回数 | 対象物質 |
|---------------------------------|-----------|-----------------------|
| 基礎実習棟1階 生体構造機能学(解剖学・人類学)系統解剖実習室 | 2(再測定のため) | ホルムアルデヒド |
| 基礎研究棟2階 社会医学(法医学)2201室 | 1 | キシレン |
| 放射性同位元素実験室 | 12 | トリチウム, 14C, 32P, 125I |

(2) 開催セミナー・機器利用説明会・取扱説明会・デモ機設置の実績

総合分析実験センターセミナー

| 開催番号 | 演者 | 演題 | 場所 | 日時 |
|------|---|---|-----------------------|------------|
| 第1回 | サーモフィッシャーサイエンティフィック ライフサイエンスソリューションズ ライフテクノロジーズジャパン株式会社 テクニカルサポート 松村 直人 | DNAシーケンサーを用いたフラグメント解析 | 農学部大学院多目的講義室(101) | 2015.4.7 |
| 第2回 | ベックマン・コールター株式会社 担当者 | エントリーからハイエンドまでカバーする ハイパフォーマンスコンパクトフローサイトメーター CytoFLEX | 臨床研究棟2階2259室 南側 質量分析室 | 2015.6.3-4 |
| 第3回 | 奥 浩二 (ベイバイオサイエンス株式会社) | 医学研究における国産セルソーターの基礎と応用 | 臨床研究棟2階2260室 セミナー室 | 2015.6.16 |
| 第4回 | 今泉 隆次郎 (ライフテクノロジーズジャパン株式会社) | すっきり解決! リアルタイムPCR出張勉強会 | 臨床研究棟2階2260室 セミナー室 | 2015.7.3 |
| 第5回 | 野村 守 (株式会社パーキンエルマージャパンアプリケーションスペシャリスト) | 多重染色試薬のご紹介 ~免疫組織化学の新アプローチ~ | 臨床研究棟2階2260室 セミナー室 | 2015.7.7 |
| 第6回 | | | | |
| 第7回 | 五十嵐 健 (ライカマイクロシステムズ株式会社) | ライカ 共焦点顕微鏡 SP8 セミナー | 臨床研究棟2階2260室 セミナー室 | 2015.9.15 |
| 第8回 | 中田 宣之 (バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社) | タンパク質電気泳動テクニカルセミナー ウェスタンブロットにおける定量性向上のための改善法 | 臨床研究棟2階2260室 セミナー室 | 2015.9.29 |
| 第9回 | 湖城 恵 (エルピクセル株式会社) 及び アドビシステムズ | 画像不正と疑われないための画像処理 | 医学部 臨床小講堂 3114室 | 2015.10.16 |
| 第10回 | 横河電機株式会社 担当者 | ライブセルイメージングの多様性とデータ解析手法の紹介 | 臨床研究棟2階2260室 セミナー室 | 2015.10.29 |
| 第11回 | 柴田 加苗 (ライカマイクロシステムズ株) | レーザーマイクロダイセクション技術セミナー ―狙った細胞、核心への近道― | 臨床研究棟2階2260室 セミナー室 | 2015.11.10 |
| 第12回 | 木村圭 (低平地沿岸海域研究センター・講師) | 珪藻ウイルスの研究と展望 | 農学部大学院多目的講義室(101) | 2016.1.26 |

機器利用講習会(学内限定)

| 題目 | 品名 | 場所 | 日時 |
|-----------------------------------|---|----------------|-----------|
| 共焦点レーザー蛍光顕微鏡 利用講習会 | 共焦点レーザー蛍光顕微鏡 LSM 5 PASCAL G/B (カールツァイス) | 基礎研究棟 2階 2229室 | 2015.5.21 |
| 細胞自動解析装置 MACSQuant 利用講習会 | 相貌自動解析装置 MACSQuant (ミルテニー・バイオテック) | 院生研究棟 2階 2259室 | 2015.5.21 |
| 高速液体クロマトグラフ質量分析装置 LCMS-8030 利用講習会 | 高速液体クロマトグラフ質量分析装置 LCMS-8030 (島津製作所) | 基礎研究棟 4階 2417室 | 2015.6.12 |

新規導入機器 取扱説明会(学内限定)

| 題目 | 品名 | 場所 | 日時 |
|--------------------|---|--|--------------|
| 細胞自動解析装置 取扱説明会 | 細胞自動解析装置 FACSVerse (日本ベクトン・ディッキンソン株式会社) | 院生研究棟 2階 2259室 北側 | 2015.11.25 |
| IVIS LuminaⅢ 取扱説明会 | IVIS LuminaⅢ (住商ファーマインターナショナル) | 座学: 院生研究棟2階2260室 セミナー室 実技: 生物資源開発部門動物棟2階実験室 | 2016.1.21-22 |

デモ機設置(学内限定)

| 機器名 |
|-----------------------------|
| 細胞自動解析装置 CytoFLEX (Beckman) |
| ルミノグラフ (ATTO) |
| ケミドック (バイオ・ラッド) |
| ケミドックタッチ (バイオ・ラッド) |
| クライオスタット (ライカ) |

8. センター利用実績

(1) 平成27年度利用実績の概要

平成27年度のセンター施設利用者は、延人数41,222名であり、センターに設置している設備・機器利用回数は、延28,049回であった。また、センター利用者の業績は、著書57報、原著論文297報、総説、解説、資料など125報、受賞11件、症例報告41報、学会発表、招待講演など1,282件、外部資金獲得は、135件で総額235,904,000円である(知的財産等の出願は0件)。センター専任の教職員の業績は、原著論文9報、総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文3報、学会発表・招待講演など15件、外部資金獲得は9件で総額9,414,000円であった。

(2) センター利用実績の動向

センター利用実績およびユーザー業績の集計値および年次変動を表および図にまとめた。

まず、センターの利用実績について、今年度の施設利用数(のべ人数)は、41,222人であり多くのユーザーに利用されていることがわかる(表1)。平成25年度から鍋島地区機器分析部門ののべ人数を集計値に加えたため、当年度以降に大幅にユーザー数が増加した(表1、図1)。本庄地区機器分析部門および本庄地区生物資源利用部門においては出入管理室システムを所有していないため、のべ人数を把握することは困難であるが、本庄地区の機器利用数は6,979件(のべ使用回数)であることから、多数のユーザーによって利用されていることは明らかである(表1)。本庄地区の機器利用数(のべ回数)は例年と比較し大きく減少しているが、これは生物資源開発部門におけるDNAシーケンサーの利用回数の算出方法を総シーケンス数からのべ利用回数に変更したためである。総シーケンス数は例年とほぼ同様であるため(過去の自己点検評価報告書を参照)、ユーザーによる利用頻度は従来とほぼ変動はない。機器利用ののべ回数における年次変動は減少傾向にあるが、これは前述の算出方法の変更によるものである(図3)。RI実験施設は本庄・鍋島の両地区とも他部門と比較しユーザーのべ利用回数は少ないが、年次変動を見る限り、常に一定の研究活動を支援していることがわかる(表1、図2)。

近年、学外の放射線施設を利用するユーザーが増加し、それらユーザーの放射線業務従事者登録に必要な教育訓練を両地区RI施設ともに実施していることから、本学の放射線利用研究に大きく貢献していると言える。学内で唯一の実験動物飼育施設を有する鍋島地区生物資源開発部門における飼育頭数は、昨年同様に多数の実験動物の使用保管がなされており、本学の研究教育に大きく貢献していることがわかる(図7、8)。ユーザー利用実験の年次変動をみるといずれの集計データにおいても大幅な変動はないため、センターが本学の教育・研究において恒常的に役割を果たしていると言える(表1、図1、図2、図3)。

本年度から新たに鍋島地区環境安全部門が担当するリサイクルファシリティ、再活用室の集計値を加えた(表1)。リサイクルファシリティおよび再活用室が利用されることで、各教員・研究室が所有する設備・機器の有効利用が促進されており、学内の資産運用に大きく貢献している。

次に、ユーザー業績について、ユーザー業績は例年と比較し大きく増加している(表2、図4、図5、図6)。このことについて、センター利用実績は例年とほぼ変動がないため、その理由の詳細については把握が困難であり、主として各ユーザーの努力の賜物と考えられるが(表1、表2、図1、図4、図5、図6)、センターはそれらユーザーの研究・教育を支援していることから、学内の研究活動に貢献し、ユーザーの研究資金獲得に間接的に寄与していると言える。今後もセンター設備および機器利用によって得られたこれらの業績は常に一定数を維持し推移していくと考えられる。また、学会発表などの研究業績に多くの学生(博士・修士課程、および学部学生)が関与しているため、センターの支援業務は本学の研究教育に貢献していることが分かる(データ未記載)。

表1 センター利用実績の集計値

1) 利用実績の動向

| | | H21年度 | H22年度 | H23年度 | H24年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | 備考 |
|------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 施設利用 | 動物実験施設 | 10559 | 11491 | 12862 | 10855 | 12922 | | 12865 | のべ人数 |
| | RI実験施設(鍋島) | 1064 | 1407 | 1066 | 937 | 1071 | 847 | 911 | のべ人数 |
| | RI実験施設(本庄) | 800 | 750 | 487 | 452 | 475 | 489 | 494 | のべ人数 |
| | 鍋島地区機器分析部門 | | | | | 37662 | | 26952 | のべ人数 |
| | 合計 | 12423 | 13648 | 14415 | 12244 | 52130 | 1336 | 41222 | のべ人数 |

| | | | | | | | | | |
|------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 機器利用 | 鍋島 | 24289 | 13261 | 14759 | 14981 | 19446 | 11818 | 21070 | のべ回数 |
| | 本庄 | 11418 | 18597 | 21736 | 21327 | 21001 | 17995 | 6979 | のべ回数 |
| | 合計 | 35707 | 31858 | 36495 | 36308 | 40447 | 29813 | 28049 | のべ回数 |

| | | | | | | | | | |
|--------------|------------|--|--|--|--|--|--|----|----|
| リサイクルファシリティー | 鍋島地区環境安全部門 | | | | | | | 6 | 件数 |
| 再活用室 | 鍋島地区環境安全部門 | | | | | | | 36 | 件数 |

| | | | | | | | | | |
|----------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|
| 動物実験飼育頭数 | マウス | 2,711,530 | 2,587,800 | 2,592,215 | 2,838,345 | 2,840,095 | 2,543,299 | 2,143,610 | のべ頭数 |
| | ラット | 38,887 | 40,860 | 50,004 | 56,592 | 64,628 | 71,823 | 79,095 | のべ頭数 |
| | ハムスター | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,129 | 2,667 | 2,674 | のべ頭数 |
| | ウサギ | 65,358 | 73,454 | 75,239 | 61,240 | 59,300 | 46,958 | 21,654 | のべ頭数 |
| | イヌ | 5,736 | 5,388 | 229 | 5 | 0 | 0 | 0 | のべ頭数 |
| | ブタ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | のべ頭数 |
| | モルモット | 30 | 101 | 366 | 180 | 273 | 0 | 0 | のべ頭数 |

表2 ユーザー業績の集計値

| | | H21年度 | H22年度 | H23年度 | H24年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | 備考 | |
|------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|------|
| 業績 | 著書 | 7 | 19 | 42 | 23 | 38 | 16 | 63 | のべ件数 | |
| | 学術論文 | 119 | 161 | 268 | 211 | 215 | 109 | 273 | のべ件数 | |
| | 総説・解説・その他 | 25 | 45 | 97 | 62 | 56 | 22 | 112 | のべ件数 | |
| | 学会発表など | 452 | 462 | 637 | 599 | 622 | 381 | 1282 | のべ件数 | |
| | 受賞 | | | | | | | | 11 | のべ件数 |
| | 症例報告 | | | | | | | | 41 | のべ件数 |
| 外部資金 | 件数 | 88 | 67 | 89 | 149 | 109 | 65 | 135 | のべ件数 | |
| | 総額 | 179250 | 140780 | 213555 | 382782 | 243433 | 126009 | 235904 | 千円 | |

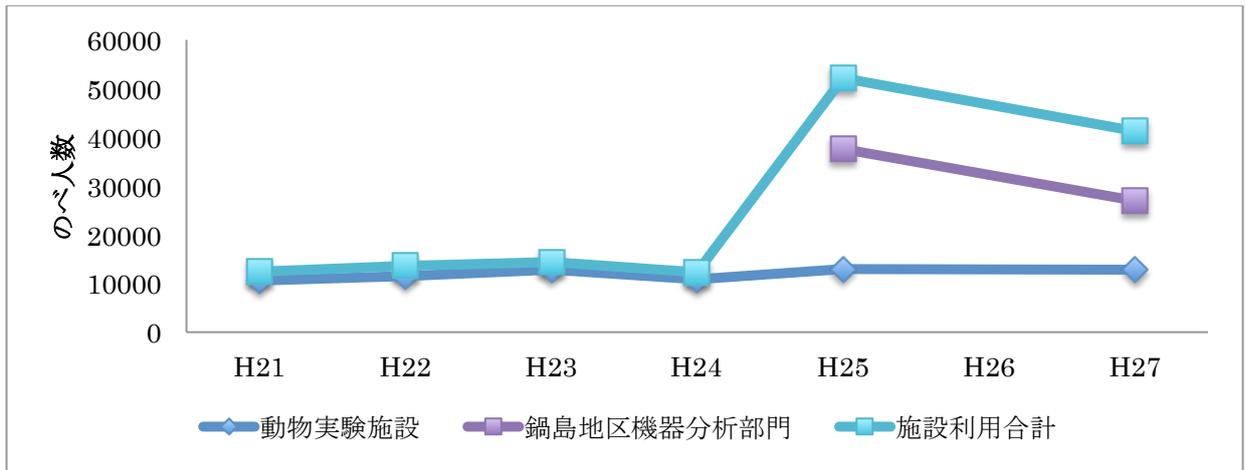


図1 施設利用者数の年次変化

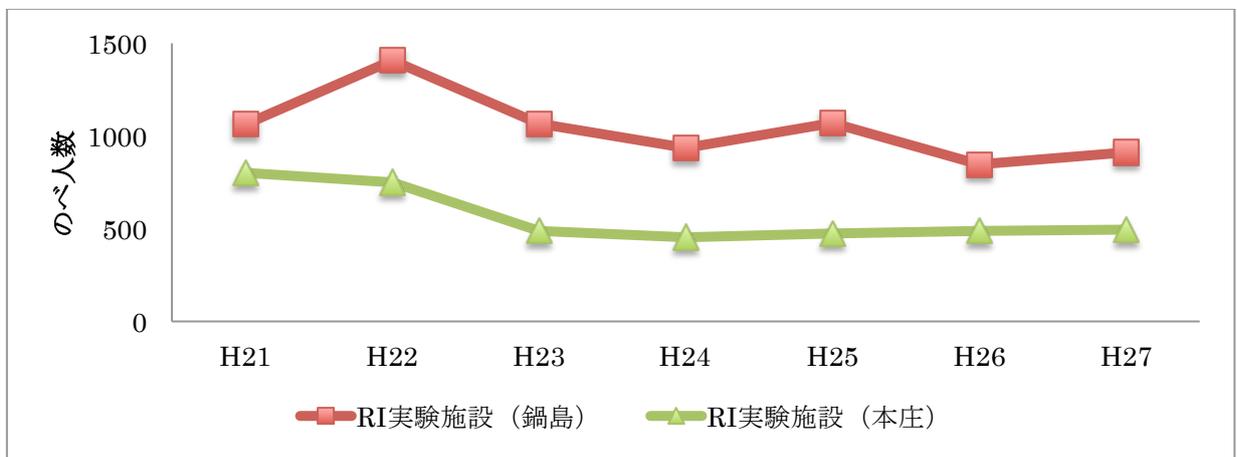


図2 施設利用者数の年次変化 (RI 実験施設のみ)

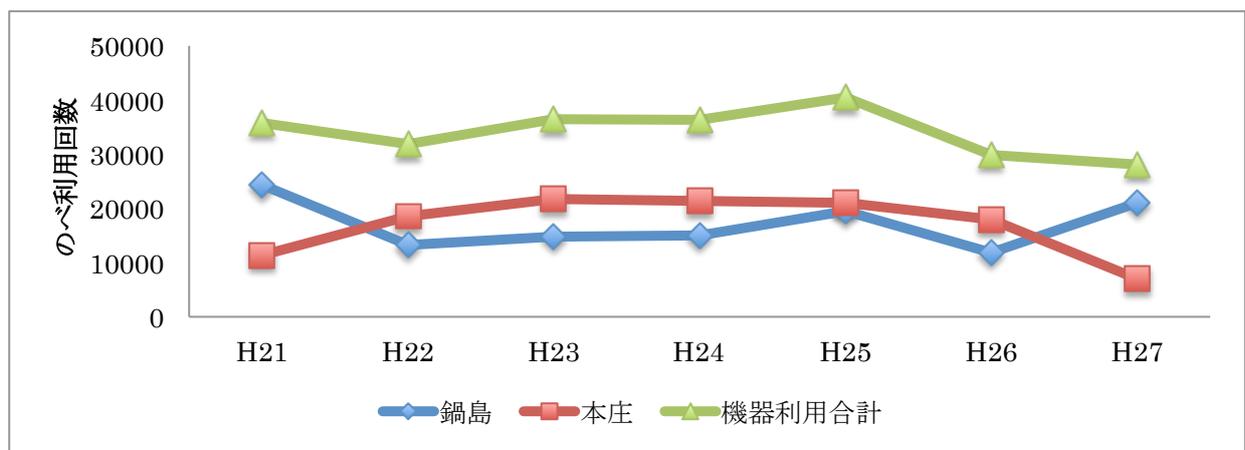


図3 機器利用数(のべ回数)の年次変化

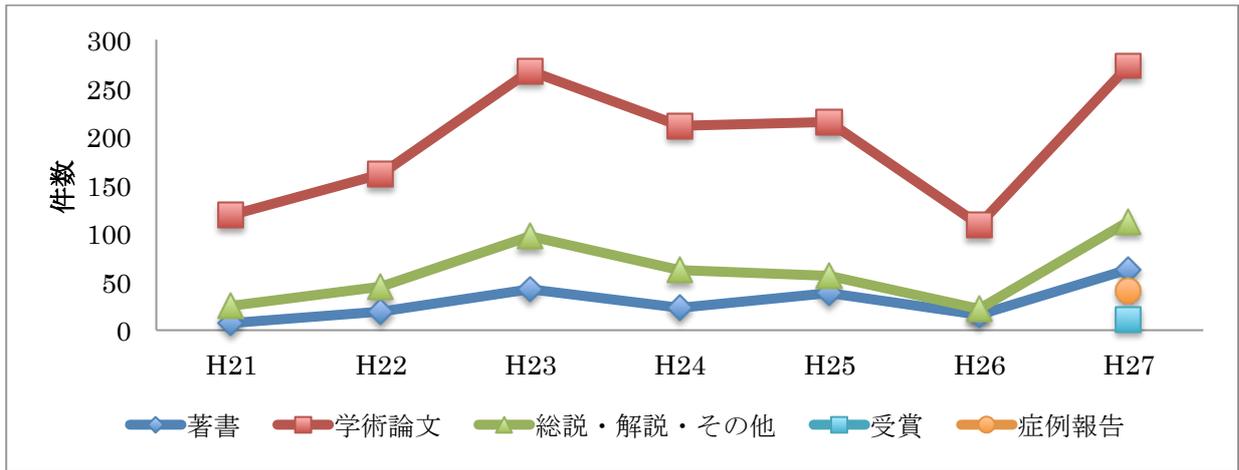


図4 ユーザー業績の年次変化

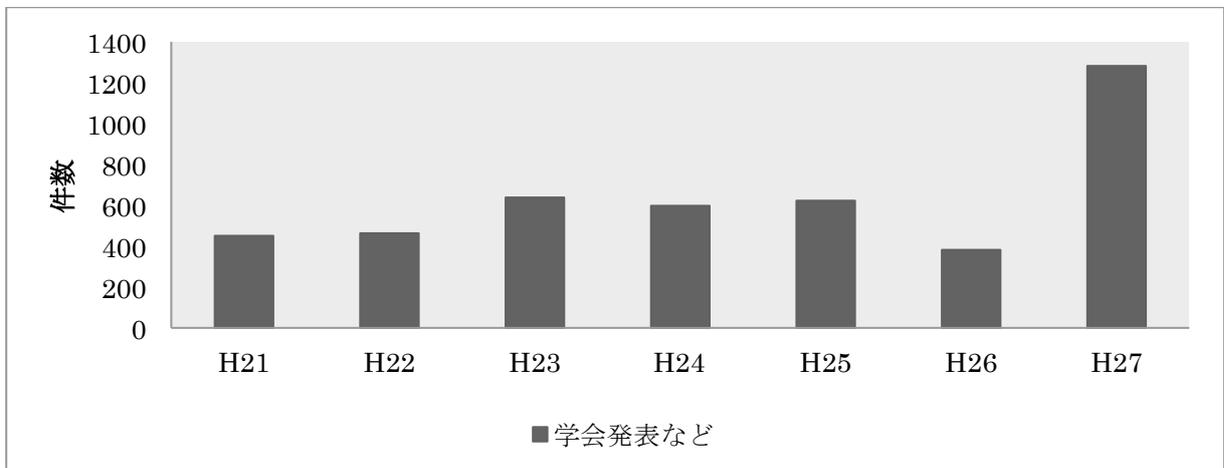


図5 ユーザー業績の年次変化(学会発表)

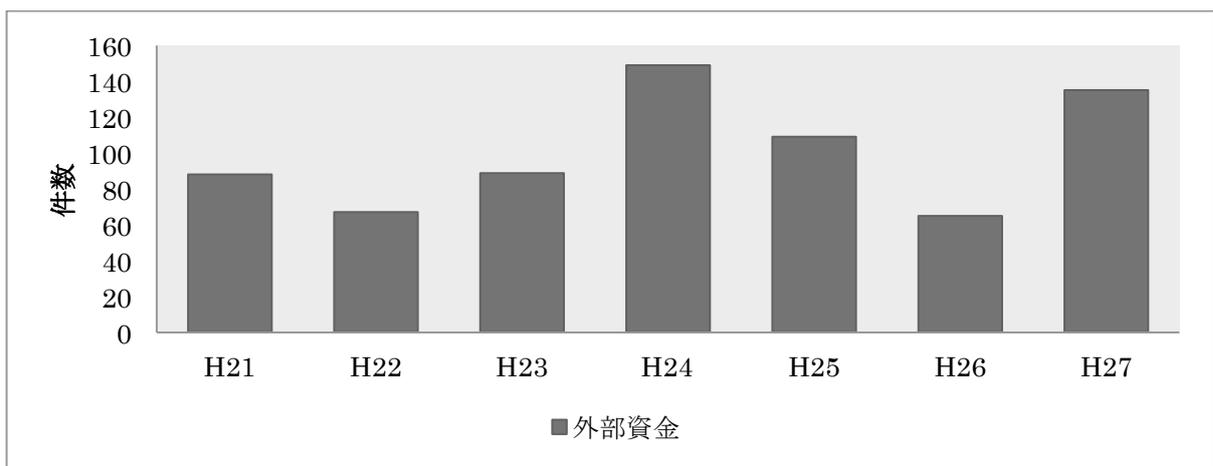


図6 ユーザー業績の年次変化(外部資金の件数)

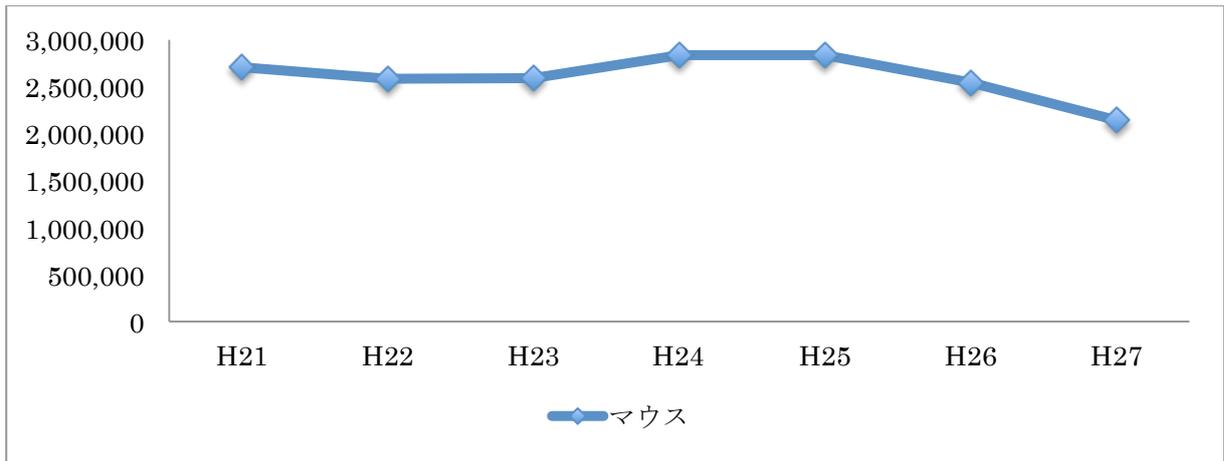


図7 飼育頭数の年次変化(マウスのみ)

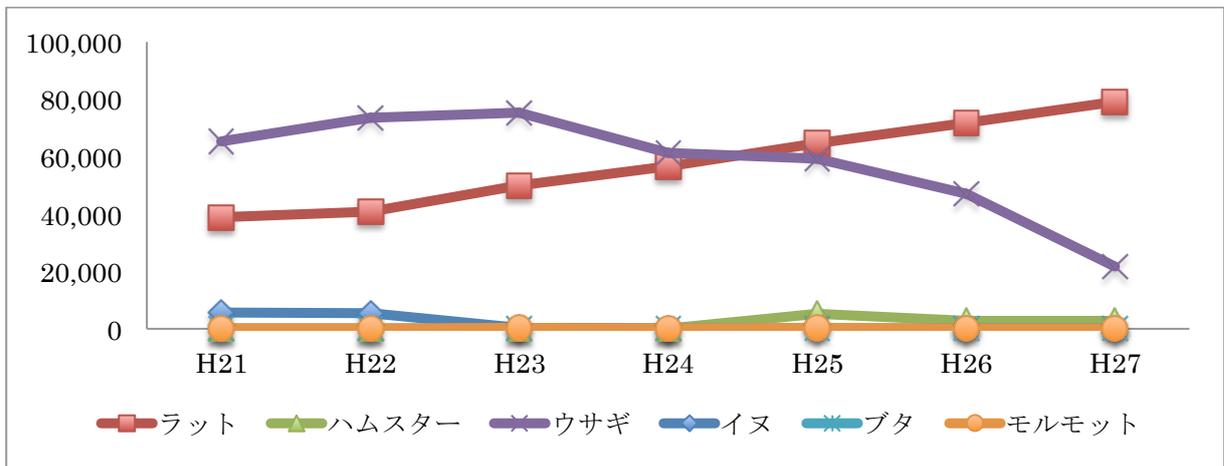


図8 飼育頭数の年次変化(ラット・ハムスター・ウサギ)

(3) センター施設、設備・機器利用数および利用機器

| 施設利用実績 | | |
|--------------------------|--------|--|
| 施設 | のべ利用者数 | 備考 |
| 動物実験施設 | 12,865 | 登録者数 教職員 251、学生 63 |
| 鍋島地区 RI 実験施設 | 911 | 登録者数 教職員 33、学生 10 |
| 本庄地区 RI 実験室 | 489 | 登録者数 教職員 35、学生 41 |
| 鍋島地区機器分析部門 | 26,952 | 登録者数 教職員 179、学生 48 |
| 機器利用数 | | |
| 機器 | のべ利用回数 | 備考 |
| 鍋島地区機器分析部門 | | |
| 院 1F 低温室 | 0 | H27 年 8 月～利用簿なし |
| 基 2F 製氷機・低温室・恒温室 | 753 | 入室回数 H27 年 7 月～恒温室廃止 |
| 院 2F 製氷機・低温室 | 500 | 入室回数 |
| 基 3F 製氷機・低温室・恒温室 | 1,094 | 入室回数 H27 年 7 月～恒温室廃止 |
| 基 4F 製氷機・低温室 | 1,043 | 入室回数 |
| エレクトロマシンショップ | 225 | 入室回数 |
| セミナー室 | 2,580 | 入室回数 |
| 低温貯蔵室 | 1,226 | 入室回数 |
| 培養室 | 777 | 入室回数 |
| 恒温振盪器 G-25 | 2 | 利用回数 H27 年 7 月～H28 年 1 月引越のため休止 |
| オートクレーブ FSX-500 (3 台) | 97 | 利用回数(3 台合計) H27 年 7 月～H28 年 1 月引越のため休止 (1 台) |
| 乾熱滅菌機 SG-62 (2 台) | 100 | 利用回数(2 台合計) H27 年 7 月～H28 年 1 月引越のため休止 (1 台) |
| 蒸留水製造装置 GlassStill8 | 3,367 | 採水量(リットル) |
| 超純水製造装置 NANOpure Diamond | 890 | 採水量(リットル) |
| 全自動アミノ酸分析システム Pico-Tag | 休止中 | 利用回数 H27 年 1 月より休止 |
| pH メーター F-55S | 6 | 利用回数 |
| 自記分光光度計 UV-2100PC | 2 | 利用回数 H27 年 7 月～H28 年 1 月引越のため休止 |
| 電子顕微鏡 JEM-1400 | 20 | 利用回数 |
| 電子顕微鏡 JEM-1220 | 42 | 利用回数 |
| 質量分析 TOF/TOF | 19 | 利用回数 |
| 共焦点レーザー蛍光顕微鏡 LSM PASCAL | 178 | 利用回数 |
| 一体型蛍光顕微鏡 FSX-100 | 83 | 利用回数 |
| デジタル蛍光顕微鏡 AxioPlan2 | 16 | 利用回数 |
| 2255 室 薄切室 | 1,056 | 入室回数 |
| 電子顕微鏡 JSM-6510 | 22 | 利用回数 |
| 分離用超遠心機 Optima L-70 | 1 | 利用回数 H27 年 7 月～H28 年 1 月引越のため休止 |

| | | |
|-----------------------------|-----|--|
| 卓上型分離用超遠心機 Optima-TLX | 2 | 利用回数 H27年7月～H28年1月引越のため休止 |
| 高速冷却遠心機 Beckman HP-25 | 5 | 利用回数 H27年7月～H28年1月引越のため休止 |
| 遠心式濃縮機 VC-36R | 24 | 利用回数 |
| 凍結乾燥機 FDU-2100 | 24 | 利用回数 H27年7月～H28年1月引越のため休止 |
| 紫外可視分光解析システム DU-650 | 38 | 利用回数 |
| 電子天秤 R200D | 4 | 利用回数 |
| 超音波洗浄機 | 2 | 利用回数 |
| ガスクロマトグラフ GC-2014AF | 7 | 利用回数 |
| ガスマス 島津 QP2010 | 19 | 利用回数 |
| LC-MS 質量分析装置 島津 LCMS-8030 | 82 | 利用回数 |
| 島津原子吸光分光光度計 AA-7000 | 1 | 利用回数 |
| 自動パルスフィールド電気泳動 | 2 | 利用回数 H27年7月～休止 |
| 二次元電気泳動装置 プロティアンIIスラブセル | 1 | 利用回数 H27年4月～休止 |
| 二次元電気泳動装置 Multiphor II | 1 | 利用回数 H27年4月～休止 |
| ゲル乾燥処理装置 AE-3750 | 2 | 利用回数 H27年7月～H28年1月引越のため休止 |
| 紫外線架橋機 ストラータリンカー | 12 | 利用回数 |
| トランスイルミネーター | 28 | 利用回数 |
| BIAcore T100 | 2 | 利用回数 H27年1月～休止 |
| 高速液体クロマトグラフ Prominence | 14 | 利用回数 |
| ロータリーエバポレーター | 休止中 | 利用回数 H27年7月～休止中 |
| 超音波破碎機 UD200 | 3 | 利用回数 H27年7月～H28年1月引越のため休止 |
| 自動顕像機 CEPROS Q | 468 | 利用枚数 |
| ゲル撮影装置 AE-6933FXCF | 14 | 利用回数 H27年7月～H28年1月引越のため休止 |
| 振盪培養器 E25R | 10 | 利用回数 |
| 精製クロマトグラフィー ÄKTA purifier | 2 | 利用回数 H27年1月より休止中 |
| 精製クロマトグラフィー ÄKTA explorer | 0 | 利用回数・H27年1月移管 |
| 多本架冷却遠心機 LX-141 | 50 | 利用回数 |
| DNA シーケンサー3130 (2台) | 861 | RUN数(2台合計) H27年4月～H28年1月雨漏り・引越のため休止(1台) |
| サーマルサイクラーPCR 2720 | 32 | 利用回数 |
| リアルタイム PCR StepOnePlus (2台) | 344 | 利用回数(2台合計) |
| PyroMarkQ24 | 210 | 利用回数 |
| MassArray | 33 | チップ数 |
| ナノ・ドロップ | 441 | 利用回数 |
| ゲル撮影装置 STAGE1000 | 349 | 利用回数 |
| マルチラベルプレートカウンター ARVO | 411 | 利用回数 |
| ルミノ・イメージアナライザー LAS3000 | 424 | 利用回数 |
| フルオロ・オメガアナライザー FLA7000 | 3 | 利用回数 H27年7月～H28年1月引越のため休止 |

| | | |
|---------------------------------|-------|--|
| エレクトロポレーションシステム GenePulser | 2 | 利用回数 H27年4月～H28年1月雨漏り・引越のため休止 |
| 微量高速遠心機 MX-305 | 17 | 利用回数 |
| PCR GeneAmp 9700 | 0 | 利用回数 |
| サーモサイクラー T-GRADIENT | 18 | 利用回数 |
| アジレント バイオアナライザー | 11 | 利用回数 H27年4月～11月雨漏り・引越のため休止 |
| GeneChip | 0 | アレイ数 H27年4月～6月雨漏りのため休止 |
| 細胞自動解析装置 FACSCalibur | 306 | 利用時間 H27年4月～6月雨漏りのため休止 |
| 細胞自動解析装置 MACSQuant | 411.5 | 利用時間 |
| FlowJo | 6 | 利用回数 |
| デジタル PCR システム | 625 | ウェル数 |
| 遺伝情報処理ソフト GENETYX | 168 | H27年2月導入 |
| プラスミド自動分離装置 KF4000s | 0 | 利用回数・H27年7月廃棄 |
| DNA シーケンサ 310 with Win(キャピラリー型) | 22 | 利用回数 H27年7月廃棄 |
| 分光蛍光光度計 RF-5000 | 0 | 利用回数 H27年7月～H28年1月引越のため休止 H28年1月廃棄 |
| 微量高速遠心機 MCX-150 | 0 | 利用回数・H27年7月廃棄 |
| 微量高速遠心機 MRX-150 | 0 | 利用回数 |
| 細胞自動解析装置 FACSVerse | 180.5 | 利用時間・H27年9月導入 |
| 桌上破砕機 シェイクマスター ネオ | 0 | 利用回数・H28年1月導入 |
| IVIS LuminaIII | 9 | 利用回数・H27年10月導入 |
| オートクレーブ SANYO MLS-3751 | 8 | 利用回数 |
| 細胞自動解析装置 Z1S | 37 | 利用回数 |
| 電子天秤 TXB6201L | 4 | 利用回数 |
| オートインジェクター スポッターシステム DiNa | 24 | 利用回数 |
| ProteinPilot | 0 | 利用回数 |
| 各種解析用 PC | 21 | 利用回数 Partek 平成 27 年契約終了 |
| 共同利用実験室(2230 室) | 1,030 | 入室回数 |
| 鍋島地区 RI 部門 | | |
| ガンマセル40 | 58 | 利用回数 |
| 液体シンチレーションカウンタ | 3 | 利用回数 |
| ベータプレート | 3 | 利用回数 |
| オートガンマカウンタ | 15 | 利用回数 |
| バイオイメージアナライザー | 5 | 利用回数 |
| X 線照射装置 | 55 | 利用回数 |
| 遺伝子増幅装置 T1 | 7 | 利用回数 |
| 本庄地区 RI 部門 | | |
| 液体シンチレーションカウンタ | 26 | 利用回数 (利用時間:30 h) |
| バイオイメージングアナライザー | 0 | 利用回数 |
| 焼却炉 | 0 | 利用回数 |
| 分光光度計 | 0 | 利用回数 (利用時間:0 h) |
| ガンマカウンタ | 0 | 利用回数 |

| | | |
|---------------------------------|------|--------------------|
| 空気捕集装置 | 12 | 利用回数 |
| H/C サンプラー | 12 | 利用回数 |
| 高温振とう器 | 0 | 利用回数 (利用時間: 0 h) |
| NaI シンチレーションカウンター | 24 | 利用回数 (利用時間: 24 h) |
| GM 計数管 | 24 | 利用回数 (利用時間: 24 h) |
| イオン交換水製造機 | 18 | 利用回数 |
| 人工気象器 | - | 利用回数(利用時間: 2160 h) |
| (本庄地区機器分析部門・生物資源開発部門) | | |
| 紫外可視近赤外分光光度計 | 70 | 59h |
| 電子スピン共鳴装置 | 20 | 29h |
| フーリエ変換赤外分光光度計 | 138 | 165h |
| ガスクロマトグラフ質量分析計 | 224 | |
| 超伝導高分解能フーリエ変換核磁気共鳴装置 | 2235 | 347h |
| 円偏光二色性分散計 | 78 | 118h |
| 蛍光光度計 | 4 | 11h |
| 旋光計 | 10 | 14h |
| エネルギー分散型蛍光X線分析装置 | 73 | 134h |
| ゼータ電位・粒径測定システム | 53 | 129h |
| フーリエ変換核磁気共鳴装置 (Agilent NMR 400) | 2654 | 209h |
| CCD 単結晶自動 X 線構造解析装置 | 19 | 456h |
| 水平型 X 線構造解析装置 | 575 | 970h |
| 透過電子顕微鏡 | 20 | 105h |
| パッチクランプイオンチャンネル計 | 69 | 325h |
| ガスクロマトグラフ質量分析計 (mate II) | 2 | 7h |
| 蛍光寿命測定装置 | 9 | 16h |
| 発光量子収率測定装置 | 78 | 186h |
| キャピラリー電気泳動装置 | 0 | |
| DSC 熱量計 | 54 | 187h |
| 振動式デジタル密度音速計 | 23 | 64h |
| 原子間力顕微鏡 | 66 | 242h |
| SQUID磁束計 | 18 | |
| DNAシーケンサー (Type3130) | 345 | 8,236 サンプル |
| ルミノイメージアナライザー | 1 | |
| DNA・RNA 定量装置 | 141 | 1,462 サンプル |

実験動物の使用保管実績 (動物実験施設)

| 動物種 | 延べ飼育匹数 | 備考 |
|-------|-----------|----|
| マウス | 2,143,610 | |
| ラット | 79,095 | |
| ハムスター | 2,674 | |
| ウサギ | 21,654 | |

リサイクルファシリティ

| 機器名 | 台数 | 年月日 |
|-----------------|----|----------|
| DNA 自動分離装置 | 1 | H27.6.30 |
| 蛍光顕微鏡 | 1 | H27.6.30 |
| 微量天秤 | 1 | H27.6.30 |
| DNA シーケンサー | 1 | H27.12.8 |
| ウルトラマイクローム | 1 | H27.12.8 |
| 精製クロマトグラフィーシステム | 1 | H27.12.8 |

再活用室

| 物品名 | 台数 | 利用期間 |
|--|----|-------------------|
| 机 2つ | 1 | H27.4.15~H28.3.31 |
| フラクションコレクター(CHF 100AA) | 1 | H27.4.14~H28.3.31 |
| デガッサー(Gastorr) | 1 | H27.4.14~H28.3.31 |
| 乾燥機(DO-450) | 1 | H27.4.14~H28.3.31 |
| ロータリーポンプ 3 台 | 1 | H27.4.14~H28.3.31 |
| Shaker(TAITEC Personal 11) | 1 | H27.4.14~H28.3.31 |
| Hitachi(PO-0.4L, Bebicon) | 1 | H27.4.14~H28.3.31 |
| カラムオープン(Waters) | 1 | H27.4.14~H28.3.31 |
| UV(AC-114) | 1 | H27.4.14~H28.3.31 |
| デジタル照度計 | 1 | H27.4.14~H28.3.31 |
| フラクションコレクター(DC-1200) | 1 | H27.4.14~H28.3.31 |
| Uni Ace Bath(NCB-2200) | 1 | H27.4.14~H28.3.31 |
| Water bath SB-11(EYELA) | 1 | H27.4.14~H28.3.31 |
| Vibro viscometer | 1 | H27.4.14~H28.3.31 |
| permeater(gastec, PD-1B) | 1 | H27.4.14~H28.3.31 |
| 振盪機(MM-10) | 1 | H27.4.15~H28.3.31 |
| AD-8723 DC POWER SUPPLY | 1 | H27.4.15~H28.3.31 |
| フッ素回収用作成装置(9 個) | 1 | H27.4.15~H28.3.31 |
| ローラーポンプ(RP-2000) | 1 | H27.4.15~H28.3.31 |
| 原子吸光装置(AA3100)本体 | 1 | H27.4.1~H28.3.31 |
| 原子吸光装置(AA3100)コンプレッサーおよびポンペ | 1 | H27.4.1~H28.3.32 |
| 表面積測定装置 | 1 | H27.4.1~H28.3.33 |
| DSM TEMPERATURE(CONTROL UNIT SHIMADEN) | 1 | H27.4.1~H28.3.34 |
| プリンター 他 3 台 | 1 | H27.4.1~H28.3.35 |
| 棚用アングル部品 | 1 | H27.4.1~H28.3.36 |
| MICRO CALORIE METER 204D2 | 1 | H27.4.1~H28.3.37 |
| サーモエリート低温恒温水槽(Yamato BH200) | 1 | H27.4.1~H28.3.38 |
| ロータリーエバポレーター(Yamato BM100)一式 | 1 | H27.4.1~H28.3.39 |
| クロマトパック(CR4A Shimada) | 1 | H27.4.1~H28.3.40 |
| AQUARIST(ガラス水槽) | 1 | H27.4.1~H28.3.41 |
| GPC system21(SHOWA DENKO K, K) | 1 | H27.4.1~H28.3.42 |
| 溶存有機物濃縮抽出システム(塩ビの加工品) | 1 | H27.4.1~H28.3.43 |
| NEDO 受託研究に関する資料・書籍等 | 1 | H27.5.11~H28.5.10 |
| バーベキューセット | 1 | H27.6.28~H28.3.31 |
| 循環式送水装置(Rigaku 4811D) | 1 | H28.2.1~H28.3.1 |
| マイクロプラズマ CVD 装置部品 | 1 | H28.2.1~H28.3.1 |

(4) 平成27年度利用者の業績及び外部資金

著書

| 著者名 | 題目 | 雑誌名 |
|---|---|--|
| 大津康徳 | 第2章「超撥水性表面を形成する材料と表面処理技術」第7節「プラズマCVD法による超撥水性薄膜合成」 | 「超撥水・超撥油・滑液性表面の技術」サイエンス&テクノロジーM026,91-96 |
| 大島一里 | カブモザイクウイルスの起源と拡散年代:種の壁を乗り越えて. | 植物防疫,69巻(12),810-813 |
| 大島一里 | 植物ウイルスの拡散:農業史及び人類移動との時間的関連. | ウイルス,65(2),229-238 |
| 森貞真太郎 | 液相吸着の特徴 | 吸着・分離材料の設計、性能評価と新しい応用,第1章,第2節,pp.20-27,(株)技術情報協会(ISBN:978-4-86104-597-4) |
| 穴井豊昭 | Mutant-based reverse genetics for functional genomics of non-model crops | Advances in Plant Breeding Strategies,1: Breeding, Biotechnology and Molecular Tools,473-487 |
| Yamawo, A. and Tokuda, M. | Extrafloral nectar production and plant defense strategy | Peck, R.L. (ed.) Nectar: Production, Chemical Composition and Benefits to Animals and Plants,59-76 |
| 東元 健, 副島 英伸 | Beckwith-Wiedemann syndrome | 日本臨床 家族性腫瘍学 73巻 増刊号 6 59-63 |
| 東元 健, 副島 英伸 | Beckwith-Wiedemann syndrome (BWS) | 臨床画像 Tumor syndrome 31巻 10月増刊号 189-191 |
| 出原賢治, 有馬和彦, 太田昭一郎 | ペリオスチンと呼吸器疾患 | Annual Review 2015 呼吸器 24-30 |
| 出原賢治 | 編集 | 臨床検査のガイドライン JSLM2015 検査値アプローチ・症候/疾患 |
| *Makiuchi, T., Mi-Ichi, F., Nozaki, T. | Mitosomes in entamoeba histolytica | Amebiasis: Biology and Pathogenesis of Entamoeba pp. 305-327 |
| 相島 慎一 | 肝細胞癌、胆管細胞癌の免疫染色による表現型と転移・予後予測 | 最新肝臓学 基礎と臨床の最新研究動向 73巻 p316-320 |
| 相島 慎一, 孝橋賢一 | 稀な非上皮性腫瘍および腫瘍性病変 | 胆道癌・膵癌 腫瘍病理鑑別診断アトラス p94-99 |
| 相島 慎一, 服部正見 | 胆道腫瘍診断に有用な免疫組織化学 | 胆道癌・膵癌 腫瘍病理鑑別診断アトラス p43-47 |
| 相島 慎一 | 胆道系の解剖 | 胆道病理テキスト p2-6 |
| Qu P-F., Kukita A. Li Y-J., Moriyama K., Lei L., Kukita T. | Involvement of deoxyadenosine and adenosine deaminase in the Methotrexate-induced suppression of inflammatory bone destruction. In "Adenosine Receptors: Pharmacology, Functions and Therapeutic Aspects" Ed. Kasandra Warrick, NOVA hardcover edited collection. | NOVA Science Publisher, p143-164 |
| 田中恵太郎, 他 45 名. | 診療や相談に役立つがん患者 100 の質問(安達洋祐編) | メディカルレビュー社, 東京 |
| Koarada S, Tokuda Y, Ono Y, Sadanaga Y, Tashiro S, Suematsu R, Ono O, Ohta A, Tada Y. | Early Diagnosis and Preventive Strategy of Corticosteroid Induced Osteonecrosis in Systemic Autoimmune Diseases | Corticosteroids and Steroid Therapy : New Research 4:79-100 |
| Koarada S and Tada Y. | The Correlation of Soluble Endothelial Protein C Receptor and High Dose Corticosteroid Therapy in Patients with Systemic Autoimmune Diseases | Corticosteroids and Steroid Therapy : New Research 5:101-108 |
| Kojima K, Andreeff M | TP53. | Targeted Therapy in Translational Cancer Research, pp. 353-359 |
| Kojima K, Vassilev LT | Targeting p53 tumor suppressor for AML therapy. | Targeted Therapy of Acute Myeloid Leukemia, pp. 135-150 |
| 小島研介, 木村晋也 | 治療総論 分子標的治療薬 | Principles and Practice 血液・造血器・リンパ系 |
| 小島研介 | ゲムツマブオゾガマイン | 新 ABC 血液領域の分子標的治療薬 pp. 21-26 |
| 久保田 寧 | 1 血液一般検査 C)凝固・線溶異常(凝固異常症の鑑別、凝固亢進型と線溶亢進型の評価と意義) | 日常診療のための検査値のみかた. 13-18 |
| 吉村麻里子 | モガムリズマブ | インフォームドコンセントのための図説シリーズ 抗悪性腫瘍薬 分子標的治療薬. 131-133 |
| 岩切龍一, 藤本一真 | 内視鏡検査時の抗血小板薬・抗凝固薬ガイドライン | 菅野健太郎, 上西紀夫, 小池和彦, 編集:消化器疾患最新の治療 2015-2016. 5-7. |
| 垣内俊彦, 中山愛子 | 自己免疫性肝炎の要素を有した原発性硬化性胆管炎の1例 | たんじゅうさん 14(1):16-17 |
| 松尾宗明 | 発作性舞踏アテーゼ | 今日の小児治療指針 第16版 水口雅 他編(分担) pp684 |
| 松尾宗明 | てんかんと発達障害 | 小児神経学の進歩 第44集 日本小児神経学会教育委員会編(分担) pp2-7 |
| 松尾宗明 | てんかんと自閉症 | 神経症候群IV 第2版 別冊 日本臨床(分担) pp508-511 |
| 松尾宗明, 濱崎雄平 | 点頭てんかんに対するステロイドの効果は? | ステロイドのエビデンス 川合真一編(分担)pp298-300 |

| | | |
|---|--|--|
| 松尾宗明 | シクロデキストリンの人道的使用 | ニーマン・ピック病 C 型の診断と治療 大野耕策編(分担) pp90-91 |
| 大塚泰史 | 小児慢性腎臓病患児に対する食事療法 | 今日の小児治療指針第 16 版 総編集 水口雅 市橋光 崎山弘(分担) pp610-611 |
| 河野博、上田純二、井手貴雄、能城浩和 | 膵 MCN の鑑別診断 | 膵癌・胆道癌-基礎と臨床の最新研究動向-73 増刊 3 287-290 |
| 能城浩和 | 胸腔鏡食道癌根治術 ダビンチ | 腹腔鏡下消化器外科手術 標準手技シリーズ 1. 上部消化管 |
| 森田茂樹 | 医学大辞典 | 医学大辞典 |
| 野口満 | 前立腺がんの増加と前立腺がん検診. | すくらむ佐賀. 夏号. Vol.5. 1-2. |
| 野口満 | 第 7 章 老年泌尿器科・前立腺肥大症: 前立腺肥大症の診断と治療 II. 診断と薬物療法. | 2015 年卒後教育テキスト(第 20 巻 2 号) 146-151. |
| 中尾佳史 | 第 2 章 卵巣癌 CQ20 治療後の経過観察で実施すべき診察・検査項目は何か?. | 卵巣がん治療ガイドライン 2015 年版 P111-114 |
| 横山正俊 | I. 腔・外陰疾患 1. 感染性疾患 (11)バルトリン腺嚢胞・膿瘍 (12)毛嚢炎 (13)疥癬 (14)ケジラミ。 | 研修ノート No.95 目で見てわかる腔・外陰・皮膚・乳房疾患のすべて. |
| 濱田さつき, 坂口嘉郎 (高崎真由美, 河本昌志, 木内恵子, 白神豪太郎, 萩平 哲) | 血友病 | まれな疾患の麻酔 AtoZ. 第 1 版 384-386 |
| 平川奈緒美 | 神経ブロック | 南山堂 医学大辞典. 第 20 版 1212 |
| 平川奈緒美 | 難治性疼痛 | 南山堂 医学大辞典. 第 20 版 1818 |
| 平川奈緒美 (ガイドライン作成ワーキンググループ) | 星状神経節ブロック(SGB) | がん性痛に対するインターベンショナル治療ガイドライン. 23-26 |
| 平川奈緒美 (ガイドライン作成ワーキンググループ) | トリガーポイント注射 | がん性痛に対するインターベンショナル治療ガイドライン. 5-7 |
| 平川奈緒美 (ガイドライン作成ワーキンググループ) | 腹腔神経叢(内臓神経)ブロック | がん性痛に対するインターベンショナル治療ガイドライン. 60-65 |
| 平川奈緒美(細川豊史) | 本邦で慢性疼痛に使用可能. もしくは近い将来使用可能なオピオイド鎮痛薬の特徴と注意点 オキシコドン | 慢性疼痛治療 ~現場で役立つオピオイド鎮痛薬の必須知識~. 74-81 |
| 平川奈緒美(井関雅子) | 乳房手術後の諸症状に対して SGB は有効か? | 痛みの Science & Practice 8 臨床に役立つ神経障害性痛の理解 |
| 平川奈緒美(ガイドライン作成チーム) | 腹腔神経叢(内臓神経)ブロック | インターベンショナル痛み治療ガイドライン. 39-42. |
| 出原賢治, 有馬和彦, 太田昭一郎 | ペリオスチンと呼吸器疾患 | Annual Review 2015 呼吸器 24-30 |
| 小網博之、阪本雄一郎、朽木規喜 | Human Soft Cadaversを用いた外傷ワークショップに参加して | 日外傷会誌 第 29 巻 1 号 p. 17-21 |
| 永嶋太、阪本雄一郎 | 【Acute care surgery を学ぶ】重症肝損傷に対する acute care surgery(解説/特集) | 外科 77(11)1245-1250 |
| 永嶋太、阪本雄一郎 | ダメージコントロールと deadly triad | 外傷外科手術パーフェクト 重症患者救命のためのベストアプローチ |
| 小網博之、阪本雄一郎 | 外傷性 DIC の診断と治療のポイントとは? | Thrombosis Medicine. 第 5 巻 3 号, p79-84. |
| 大田明英, 柿原奈保子 | 成人 Still 病. | 別冊日本臨床 免疫症候群(第 2 版) - その他の免疫疾患を含めて-. 661-665. |
| Okoarada S, Tokuda Y, Ono Y, Sadanaga Y, Tashiro S, Suematsu R, Ono O, Ohta A, Tada Y | Early Diagnosis and Preventive Strategy of Corticosteroid Induced Osteonecrosis in Systemic Autoimmune Diseases. | Corticosteroids and Steroid Therapy : New Research Chapter V: 79-100 |
| 相島 慎一 | 肝細胞癌、胆管細胞癌の免疫染色による表現型と転移・予後予測 | 最新肝臓学 基礎と臨床の最新研究動向 73 巻 p316-320 |
| 相島 慎一、孝橋賢一 | 稀な非上皮性腫瘍および腫瘍性病変 | 胆道癌・膵癌 腫瘍病理鑑別診断アトラス p94-99 |
| 相島 慎一、服部正見 | 胆道腫瘍診断に有用な免疫組織化学 | 胆道癌・膵癌 腫瘍病理鑑別診断アトラス p43-47 |
| 相島 慎一 | 胆道系の解剖 | 胆道病理テキスト p2-6 |
| 前田 美由紀, 藤戸 博 | めまい、悪心・嘔吐、潰瘍予防 | 脳の看護実践 10・11 月号 65-73 |
| 田中敦史、野出孝一 | 日本人の心不全の原因疾患について教えてください | 心不全診療 Q&A エキスパート 105 人からの回答, 84-86 |
| ○ 伊藤 学、中山 功一、野出孝一、森田 茂樹 | バイオ 3Dプリンターで立体造形した Scaffold Free の血管組織構築 | 最新医学 8 月号 70 巻 8 号 79-86 |

受賞

| 受賞者氏名 | 学術(学会)賞名 | 受賞課題 |
|------------------|---|--|
| 青木茂久 | 日本病理学会学術研究賞 | 物理刺激と細胞間相互作用を基盤とする新規病態解析モデル |
| 島ノ江 千里 | 第 22 回日本行動医学会学術総会 優秀演題賞 | 「5 年間の自覚ストレスと DNA 損傷マーカー (8OHdG) との関連」; JMICC study SAGA |
| Itamura Hidekazu | がん分子標的治療学会学術集会 | 優秀ポスター賞 |
| 白木 綾 | 日本高血圧学会 第2回 女性研究者奨励賞 | GLP-1 受容体アナログの非糖尿病性心不全における作用 |
| 脇山幸大 | 平成 26 年度佐賀大学医学部長賞受賞 | 「HIF- α と癌エネルギー代謝変容に着眼した新規胃癌治療の可能性」第 12 回がんハイボキシア研究会 においての演題 Selected oral 選出 |
| 伊藤 学 | Cardiovascular Translation Research Conference 第 11 回学術集会 優秀賞 | バイオ 3D プリンタによる scaffold free な機能的循環器系臓器の開発 |
| 伊藤 学 | 第十回高血圧と冠動脈疾患研究会 優秀賞 | バイオ 3D プリンタを用いた血管組織構築 |
| 小網博之 | 第 51 回腹部救急医学会、理事長賞 | 門脈ガス血症を伴う腸管壊死症例を予測する診断基準の作成ならびに有効性の検証～民間総合病院外科医と大学病院救急医のコラボレーション |
| Hiroyuki Koami | Singapore Trauma Conference 2015, Best Poster Award | What factor within JAAM DIC criteria is most strongly correlated with trauma induced DIC on the subject of ROTEM findings? |
| 柿原奈保子 | 第 3 回看護理工学会 | 優秀口演賞 |
| 秋吉俊明 | 山内・半田賞(九州実験動物研究会) | クライオトップを用いたウサギ桑葉胚の凍結における凍結保存液の検討 |

症例報告

| 著者名 | 題目 | 雑誌名, 巻, 号, 頁 |
|---|--|---|
| 上村裕平, 笹栗智子, 平川奈緒美 | 症候性舌咽神経痛の1例 | 慢性疼痛, 32(1) |
| ○中村光男, 甲斐敬太, 次富久之, 龍 由希子, 中村淳, 山口 健, 増田正憲, 高瀬ゆかり, 相島慎一 | 乳腺悪性葉状腫瘍の1例 | 日臨細胞九州会誌 46:31-4. |
| *尾形 正也, 甲斐 敬太, 鶴田 有紗, 井上 慎介, 永石 信二, 古垣 浩一, 酒井 正, 田淵 正延, 木戸 伸一 | 胆汁細胞診で確定診断を得たジアルジア症の1例 | 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 46 巻 Page83-86 |
| 中村 光男, 甲斐 敬太, 次富 久之, 龍 由希子, 中村 淳, 山口 健, 増田 正憲, 高瀬 ゆかり, 相島 慎一 | 乳腺悪性葉状腫瘍の1例 | 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 46 巻 Page31-34 |
| 甲斐 敬太 | スライドカンファレンス 呼吸器 | 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 46 巻 Page23-24 |
| * 山口太輔, 二尾健太, 吉岡智美, 坂田資尚, 下田良, 水口昌伸, 岩切龍一, 高瀬ゆかり | Brachyspira poliosicoli 感染性腸炎による敗血症の1例 | 日本消化器内視鏡学会雑誌 57(1)15-20 |
| 今吉美代子, 飯盛智子, 尾形善康, 山本修一, 市丸智浩, 濱崎雄平 | 全身性エリテマトーデス治療中に多発性脳静脈血栓を発生した女児例. | 日本小児血液・がん学会雑誌 52 巻 5 号 |
| 檀上敦, 山下佳雄, 下平大治, 進藤岳郎, 内橋和芳, 後藤昌昭 | Numb chin 症候群として発症したびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫(DLBCL)の1例 | 日本口腔外科学会雑誌61(1):10-14 |
| 山下佳雄, 下平大治, 檀上 敦, 後藤昌昭 | :長期経過観察できたアルミナセラミックス人工骨による下顎再建の1例. | 日本顎顔面インプラント学会誌 Vol.14(4): 285-290. |
| ○栗原有紀, 垣内俊彦, 松尾宗明, 石井清久, 田崎考 | リネゾリド投与が有効であった MRSA 人工呼吸器関連肺炎を発生した気管軟化症の1例. | 小児科診療 78(3): 403-405 |
| 垣内俊彦, 國場英雄 | 著名な搔痒を認めた進行性家族性肝内胆汁うっ滞症 2 型の1例. | 小児科 56: 225-226 |
| ○栗原有紀, 垣内俊彦, 松尾宗明, 石井清久, 田崎考 | 長期臥床にともなう気管軟化症の1例. | 小児科 56: 103-104 |
| *阪野 佳弘, 三好 篤, 松藤祥平, 堀田千恵子, 奥山桂一郎, 古賀 浩木, 姉川 剛, 池田 貯, 隅 健次, 田中 聡也, 北原 賢二, 佐藤 清治 | 右側肝門索に伴った急性胆嚢炎の1例 | 佐賀市医師会報 467:11-14 |
| 津田聡子, 大島侑子, 中山幸彦, 山本徒子, 津村圭介, 横山正俊 | 出生前診断しえた二分脊椎児の当院における周産期管理. | 佐賀産科婦人科学会佐賀県産婦人科医会会誌第 26 号 P69-72. |
| 檀上敦, 山下佳雄, 近藤成智, 下平大治, 後藤昌昭 | 外傷による上顎前歯部欠損に対して便宜抜去歯を移植し, 矯正治療にて咬合を再構築した1例 | 口腔顎顔面外傷 14:26-31 |
| 柿原奈保子, 田中沙恵, 徳田俊江, 新地浩一. | 経済連携協定(EPA)による外国人看護師候補生に対する新たな学習支援 | 看護教育, 56 巻(2), 156-159 |
| 平川奈緒美 | 受傷機転以外にも家族の問題が影響していた慢性痛の2症例:家族葛藤に関する情報の重要性 | ペインクリニック, 36(4): 531-538 |
| 柿原奈保子, 田中沙恵, 新地浩一 | 外国人患者の増加に対応するための医療通訳の重要性と必要性について | プレホスピタルケア, 28 巻(4), 95-99. |
| 小網博之, 阪本雄一郎, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池徹, 岩村高志, 井上聡 | 遅発性呼吸停止を来したグルホシネート中毒の1例 | 日本救急医学会雑誌 Vol26 Issue1 p30-35 |
| 田中秀弥, 古川浩二郎, 諸隈宏之, 野口 亮, 伊藤 学, 蒲原啓司, 森田茂樹 | 出血性脳梗塞発症急性期に左房粘液腫摘出術を行った1例 | 日心血外会誌, 44(2), 79-81 |
| 林 奈宜, 古川浩二郎, 諸隈宏之, 伊藤 学, 蒲原啓司, 森田茂樹 | 外傷性膝窩動脈損傷の治療経験 | 日血外会誌, 24(6), 867-870 |
| 増田 正憲, 山崎 真希子, 高瀬 ゆかり, 甲斐 敬太, 相島 慎一 | 高齢者に発症した若年型顆粒膜細胞腫の1例 | 診断病理, Vol.32, No.4, p323-236 |
| * 土井一義, 野口 亮, 迎 洋輔, 伊藤 学, 末永悦郎, 古川浩二郎, 森田茂樹, 伊藤 翼, 松本徳昭, 江崎さおり, 原 明美, 恒松あゆみ | 内視鏡による術中評価を行った大動脈弁形成術 | 胸部外科, 68(7), 496-499 |
| * 佐藤 久, 橋本 等, 内藤光三, 柚木純二 | 偶然発見された気管支動脈瘤と僧帽弁閉鎖不全症に対する同時手術の1例 | 胸部外科, 68(2), 145-148 |
| 森田茂樹 | 大動脈基部置換における冠状動脈再建 | 胸部外科, 68(10), 820-821 |
| Kai K, Miyosh A, Aishima S, Wakiyama K, Nakashita S, Iwane S, Azama S, Irie H, Noshiro H. | Granulomatous reaction in hepatic inflammatory angiomyolipoma after chemoembolization and spontaneous rupture. | World J Gastroenterol. 21: 9675-82. |
| ○柿原奈保子, 田中沙恵, 新地浩一 | 外国人患者の増加に対応するための医療通訳の重要性と必要性について | Prehospital Care, 28(4), 95-99 |
| *Dohmen K, Tanaka H, Haruno M, Shimoda S, Aishima S. | A case of drug-induced liver injury caused by Keishi-karyukotsu-boreito and Shin-i-seihaito | Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi, 112(6). |
| Hirachi T, Ishii H, Tada Y, Noguchi T, Haraguchi Y, Tateishi H, Mizoguchi Y, Kato TA, Kawashima T, Monji A. | Mania occurring during systemic lupus erythematosus relapse and its amelioration on clinical and neuroimaging follow-up. | Lupus. 24(9):990-3. |
| Hiroki Magarifuchi, Koji Kusaba, Hiroki Yamakuchi, Yohei Hamada, Toshiharu Urakami, Yosuke Aoki | Staphylococcus saprophyticus native valve endocarditis in a diabetic patient with neurogenic bladder: A case report | J Infect Chemother, 21, 9, 695-9 |
| *Harimoto N, Wang H, Aishima S, Maehara Y, et al. | Education and imaging. Hepatology: Rare Stevens-Johnson syndrome and vanishing bile duct syndrome induced by acetaminophen, requiring liver transplantation. | J Gastroenterol Hepatol, Apr;30(4):656. |

| | | |
|--|--|---|
| *Tsuda M, Nakashima Y, Aishima S, Takayanagi R, et al. | Intravascular Large B-Cell Lymphoma Complicated by Anti-Neutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis that was Successfully Treated with Rituximab-Containing Chemotherapy. | J Clin Exp Hematop, 55(1), 39-43 |
| *Yoshikai M, Ikeda K, Itoh M, Ueno Y. | Type IV dual left anterior descending coronary artery. | European Jouenao of Cardio-Thoracic Surgery |
| ○Koarada S, Tsuboi M, Komine M, Nakao Y, Tokuda Y, Ono Y, Tashiro S, Maruyama A, Ono N, Ohta A, Tada Y | Effectiveness of CertolizumabPegol in Treating RheumatoidArthritis Patients with PersistentInflamed Residual Mono-orOligosynovitis Resistant to PriorTNF- α Inhibitors | Case Reports inRheumatology |
| *Kinoshita Y, Sakamoto A, Aishima S, Hidaka K. | Granulomatous interstitial pneumonia induced by the intake of rice bran pickles: a rare subtype of pulmonary manifestation associated with food allergy. | BMJ Case Rep. Apr 9 |
| *Uchihara T, Yamashita Y, Aishima S, Maehara Y, et al. | Recurrence 11 years after complete response to gemcitabine, 5-Fluorouracil, and Cisplatin chemotherapy followed by radiotherapy in a patient with advanced pancreatic cancer: a case report. | Anticancer Res, 35, 2867-2871 |
| ○佐藤 博文, 井手 貴雄, 甲斐 敬太, 北原 賢二, 上田 純二, 能城 浩和 | 手術単独で治療した胆管原発小細胞癌の1例 | 日本臨床外科学会雑誌, 76 巻 9 号 Page2293-2298 |
| 野中 小百合, 藤井 進, 森田 茂樹 | 日本医療マネジメント学会雑誌 第15巻 第3号 197-202 | 2014 |

原著論文

| 著者名 | 題目 | 雑誌名, 巻, 号, 頁 |
|---|---|--|
| * Tanaka S, Kashida H, Saito Y, Yahagi N, Yamamo H, Saito S, Hisabe T, Yao T, Watanabe M, Yoshida M, Kudo S, Tsuruta O, Sugihara K, Watanabe T, Saitoh Y, Igarashi M, Toyonaga T, Ajioka Y, Ichinose M, Matsui T, Sugita A, Sugano K, Fujimoto K, Tajiri H. | Japan Gastroenterological Endoscopy Society: colorectal ESD/EMR guidelines. | Dig. Endosc. 27: 417-434 |
| Uchida Y, Goto M, Danjo A, Yamashita, Shibata, Kuraoka A | Anatomical relationship between the sublingual fossa and the lateral lingual foramen | Int J Oral Maxillofac Surg. Int J Oral Maxillofac Surg Vol 44, 1146-1151 |
| * Nishijima T, Nagata N, Watanabe K, Sekine K, Tanaka S, Kishida Y, Aoki T, Hamada Y, Yazaki H, Teruya K, Gatanaga H, Kikuchi Y, Igari T, Akiyama J, Mizokami M, Fujimoto K, Uemura N, Oka S. | HIV-1 infection, but not syphilis or HBV infection, is a strong risk factor for anorectal condyloma in Asian population: A prospective colonoscopy screening study | Int. J. Infect. Dis. 37: 70-76 |
| Fujiki H, Sueoka E, Watanabe T, Suganuma M. | Primary cancer prevention by green tea, and tertiary cancer prevention by the combination of green tea catechins and anticancer compounds. | J Cancer Prev. 2015 Mar;20(1):1-4. |
| * Suganuma M, Park T.J, Sueoka E, Iida K, Tanaka Y. | Highlights of the Twelfth Japan-Korea Joint Symposium on Cancer and Ageing Research. | J Cancer Res Clin Oncol. |
| 宮原 強, 小杉寿文, 仁田亜由美, 濱田 献, 日浦あつ子, 森 直美, 八谷由貴, 平川奈緒美, 佐藤英俊, 松永 尚 | 簡便な換算比を用いたオキシコドン注射剤のオピオイド・スイッチングに関する臨床的検討. | Palliative Care Research. 9(4): 125-130 |
| 島津倫太郎, 青木茂久, 倉富 勇一郎 | 胃酸逆流による下気道の組織学的変化の検討 | 日本気管食道科学会会報 66(4),245-249 |
| 東武昇平, 野口 満, 魚住二郎 | 11.先天性および小児泌尿器科疾患 91.神経因性膀胱. 脊髄髄膜瘤に対して出生直後、脳神経外科で手術を行った患児です。 | 臨床泌尿器科. 69(4) :361-365 |
| 野口宣人, 柴山薫, 松島尚子, 山崎達枝, 井上聡, 二宮宣文, 新地浩一 | 国際平和協力活動における救急救命士の活動 | Prehospital Care 28(5):66-71 |
| Oubel E, Bonnard E, Sueoka-Aragane N, Kobayashi N, Charbonnier C, Yamamichi J, Mizobe H, Kimura S | Volume-based response evaluations with consensual lesion selection using cloud solutions (SaaS) in clinical trials: a pilot study | Academic Radiology |
| Patil R, Ljubimov AV, Gangalum PR, Ding H, Portilla-Arias J, Wagner S, Inoue S, Konda B, Rekechenetskiy A, Chesnokova A, Markman JL, Ljubimov VA, Li D, Prasad RS, Black KL, Holler E, Ljubimova JY. | MRI virtual biopsy and treatment of brain metastatic tumors with targeted nanobioconjugates: nanoclinic in the brain. | ACS Nano. 2015 May 26;9(5):5594-608. |
| *Kyomoto M, Shobuie T, Moro T, Yamane S, Takatori Y, Tanaka S, Miyamoto H, Ishihara K | Prevention of bacterial adherence and biofilm formation on a vitamin E-blended, cross-linked polyethylene surface with a poly(2-methacryloyloxyethyl phosphorylcholine) layer | Acta Biomaterialia 24: 24-34 |
| *Tachibana T, Yoshida S, Kobayashi Y, Nakama T, Ishikawa K, Nakao S, Izuhara K, Kono T, Ishibashi I | Reduced vitreal concentration of periostin after vitrectomy in patients with proliferative diabetic retinopathy | Acta Ophthalmol. doi:10.1111/aos12752. |
| Sueoka-Aragane N, Kobayashi N, Bonnard E, Charbonnier C, Yamamichi J, Mizobe H, Kimura S | Evaluation of a cloud-based local-read paradigm for imaging evaluations in oncology clinical trials for lung cancer. | Acta Radiologica Open |
| *Nakamura Y, Nagashima H, Ohta S, Ono J, Yamauchi K, Izuhara K | Periostin in the bronchial lavage fluid of asthma patients | Allergol Int. 64 2: 209-210 |
| Nunomura S, Okayama Y, Matsumoto K, Hashimoto N, Endo-Umeda K, Terui T, Makishima M, Ra C | Activation of LXRs using the synthetic agonist GW3965 represses the production of pro-inflammatory cytokines by murine mast cells. | Allergol Int. 64S: S11-S17 |
| *Kabashima K, Izuhara K | Lipid mediators in allergy: Link between human and animal models. | Allergol Int. 64 1: 2-3 |
| Arima K, Ohta S, Takagi A, Shiraishi H, Masuoka M, Ontsuka K, Suto H, Suzuki S, Yamamoto K, Ogawa M, Simmons O, Yamaguchi Y, Toda S, Aihara M, Conway S, Ikeda S, Izuhara K | Periostin contributes to epidermal hyperplasia in psoriasis common to atopic dermatitis | Allergol Int. 64 1: 41-48 |
| *Matsusaka M, Kabata H, Fukunaga K, Suzuki Y, Masaki K, Mochimaru T, Sakamaki F, Oyamada Y, Inoue T, Oguma T, Sayama K, Koh H, Nakamura M, Umeda A, Ono J, Ohta S, Izuhara K, Asano K, Betsuyaku T. | Phenotype of asthma related with high serum periostin levels. | Allergol Int. 64 2: 175-180 |
| *Inoue Y, Izuhara K, Ohta S, Ono J, Shimojo N | No increase in the serum periostin level is detected in elementary school-age children with allergic diseases | Allergol Int. 64 3: 289-290 |
| Izuhara K, Matsumoto H, Ohta S, Ono J, Arima K, Ogawa M | Recent developments regarding periostin in bronchial asthma | Allergol Int. 64 S3-S10 |
| ○Arima K, Ohta S, Takagi A, Shiraishi H, Masuoka M, Ontsuka K, Suto H, Suzuki S, Yamamoto K, Ogawa M, Simmons O, Yamaguchi Y, Toda S, Aihara M, Conway SJ, Ikeda S, Izuhara K. | Periostin contributes to epidermal hyperplasia in psoriasis common to atopic dermatitis. | Allergol Int. Jan;64(1):41-8. |

| | | |
|---|--|---|
| *Nakamura Y, Nagashima H, Ohta S, Ono J, Yamauchi K, Izuhara K | Periostin in the bronchial lavage fluid of asthma patients. | Allergol. Int. 64(2): 209-210 |
| ○Arima K, Ohta S, Takagi A, Shiraishi H, Masuoka M, Ontsuka K, Suto H, Suzuki S, Yamamoto K, Ogawa M, Simmos O, Yamaguchi Y, Toda S, Aihara M, Conway S, Ikeda S, Izuhara K | Periostin contributes to epidermal hyperplasia in psoriasis common to atopic dermatitis. | Allergol. Int. 64(1): 41-48 |
| *Inoue Y, Izuhara K, Ohta S, Ono J, Shimojo N | No increase in the serum periostin level is detected in elementary school-age children with allergic diseases. | Allergol. Int. 64(3): 289-290 |
| *Song JS, You JS, Jeong SI, Yang S, Hwang IT, Im YG, Baek HS, Kim HY, Izuhara K | Serum periostin levels correlate with airway hyper-responsiveness to methacholine and mannitol in children with asthma. | Allergy. 70 6: 674-681 |
| Kito Y, Mitsui R, Ward SM, Sanders KM | Characterization of slow waves generated by myenteric interstitial cells of Cajal of the rabbit small intestine. | Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 308: G378-G388 |
| *Salaria SN, Graham RP, Aishima S, et al. | Primary hepatic tumors with myxoid change: morphologically unique hepatic adenomas and hepatocellular carcinomas. | Am J Surg Pathol, 39(3), 318-24. |
| *Atsushi Nakayama, Shigehisa Aoki, Kazuyoshi Uchihashi, Aki Nishijima-Matsunobu, Mihoko Yamamoto, Nahoko Kakiyama, Ryuichi Iwakiri, Kazuma Fujimoto, Shuji Toda. | Interaction between esophageal squamous cell carcinoma and adipose tissue in vitro. The | American Journal of Pathology. in press |
| Koarada S, Tashiro S, Tokuda Y, Ono Y, Sadanaga Y, Suematsu R, Ono N, Ohta A, and Tada Y. | Persistent expression of CXCR5 on plasmablasts in IgG4-related disease | Ann Rheum Dis 74: e32 |
| *Yamashita YI, Imai D, Aishima S, et al. | Surgical Outcomes of Hepatic Resection for Hepatitis B Virus Surface Antigen-Negative and Hepatitis C Virus Antibody-Negative Hepatocellular Carcinoma. | Ann Surg Oncol, 22, 2279-85. |
| Kamohara K, Furukawa K, Itoh M, Morokuma H, Tanaka H, Hayashi N, Morita S. | Evaluation of the Optimal Visceral Branch Configuration in Open Thoracoabdominal Aortic Repair by Computed Tomography | Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg, 21(1), 59-65 |
| Kamohara K, Furukawa K, Koga S, Yunoki J, Morokuma H, Noguchi R, Takase K, Tanaka A, Morita S. | Surgical strategy for retrograde type a aortic dissection based on long-term outcomes. | Ann. Thorac. Surg, 99(5), 1610-5 |
| Watanabe T, Sato A, Kobayashi-Watanabe N, Sueoka-Aragane N, Kimura S, Sueoka E | Torin2 potentiates anti-cancer effects for adult T-cell leukemia/lymphoma by inhibiting mammalian target of rapamycin. | Anticancer Res |
| *Otsu H, Oki E, Ikawa, Aishima S, Maehara Y, et al. | Correlation of HER2 expression with clinicopathological characteristics and prognosis in resectable gastric cancer. | Anticancer Res, 35, 2441-2446 |
| *Itoh S, Ikegami T, Aishima S, Shirabe K, Maehara Y, et al. | Long-term outcome of living-donor liver transplantation for combined hepatocellular-cholangiocarcinoma. | Anticancer Res, 35, 2475-2476 |
| Watanabe T, Sato A, Kobayashi-Watanabe N, Sueoka-Aragane N, Kimura S, Sueoka E | Torin2 potentiates anti-cancer effects for adult T-cell leukemia/lymphoma by inhibiting mammalian target of rapamycin. | Anticancer Res. 2015 in press |
| Nishida Y, Tanaka K, Hara M, Hirao N, Tanaka H, Tobina T, Ikeda M, Yamato H, Ohta M | Effects of home-based bench step exercise on inflammatory cytokines and lipid profiles in elderly Japanese females: A randomized controlled trial. | Arch. Gerontol. Geriatr. 61: 443-451 |
| *Motomura Y, Kanno S, Asano K, Tanaka M, Hasegawa Y, Katagiri H, Saito T, Hara H, Nishio H, Hara T and Yamasaki S | Identification of Pathogenic Cardiac CD11c+ Macrophages in Nod1-Mediated Acute Coronary Arteritis | Arterioscler Thromb Vasc Biol. 35(6):1423-33 |
| *Tanaka A, Tsukamoto H, Mitoma H, Kiyohara C, Ueda N, Ayano M, Ohta S, Kimoto Y, Akahoshi M, Arinobu Y, Niuro H, Tada Y, Horiuchi T, Akashi K. | Serum progranulin levels are elevated in dermatomyositis patients with acute interstitial lung disease, predicting prognosis | Arthritis research & therapy 17:27 |
| Shimazu R, Aoki S, Kuratomi Y | Experimental pulmonary fibrosis in rats with chronic gastric acid reflux esophagitis. | Auris Nasus Larynx, 42, (5), 382-384 |
| ○Shimazu R, Aoki S, Kuratomi Y. | Experimental pulmonary fibrosis in rats with chronic gastric acid reflux esophagitis. | Auris Nasus Larynx, Oct;42(5):382-4. |
| Matsuda K, Hattori S, Kariya R, Komizu Y, Kudo E, Goto H, Taura M, Ueoka R, Kimura S, Okada S. | Inhibition of HIV-1 entry by the tricyclic coumarin GUT-70 through the modification of membrane fluidity | Biochem Biophys Res Commun |
| *Singh S, Chen Y, Matsumoto A, Orlicky DJ, Dong H, Thompson DC, Vasilio V. | ALDH1B1 links alcohol consumption and diabetes. | Biochem Biophys Res Commun. 463(4):768-73. |
| Numomura S, Okayama Y, Terui T, Ra C | Treatment of murine mast cells with IgE κ and protein L enhances apoptotic cell death induced by IL-3 withdrawal. | Biochem Biophys Res Commun 456 2: 700-705 |
| Kang Q, Jiang C-Y, Fujita T, Kumamoto E | Spontaneous L-glutamate release enhancement in rat substantia gelatinosa neurons by (-)-carvone and (+)-carvone which activate different types of TRP channel. | Biochem. Biophys. Res. Commun. 459: 498-503 |
| Yokoo M, Kubota Y, Tabe Y, Kimura S | Comparative study of the anti-leukemic effects of imatinib mesylate, Glivec TM tablet and its generic formulation, OHK9511 | Biol Pharma Bulletin |

| | | |
|--|---|---|
| Koami H, Sakamoto Y, Ohta M, Goto A, Narumi S, Imahase H, Yahata M, Miike T, Iwamura T, Yamada KC, Inoue S. | Can rotational thromboelastometry predict septic disseminated intravascular coagulation? | Blood Coagul Fibrinolysis. 2015 Oct;26(7):778-83 |
| *Katsuya H, Ishitsuka K, Utsunomiya A, Hanada S, Eto T, Moriuchi Y, Saburi Y, Miyahara M, Sueoka E, Uike N, Yoshida S, Yamashita K, Tsukasaki K, Suzushima H, Ohno Y, Matsuoka H, Jo T, Amano M, Hino R, Shimokawa M, Kawai K, Suzumiya J, Tamura K. | Treatment and survival among 1594 patients with ATL diagnosed in the 2000s: a report from the ATL-PI project performed in Japan. | Blood. 2015 Sep 11. pii: blood-2015-03-632489. |
| OM Hara, M Fukuoka, K Tashiro, I Ozaki, S Ohfuji, K Okada, T Nakano, W Fukushima and Y Hirota. | Pertussis outbreak in university students and evaluation of acellular pertussis vaccine effectiveness in Japan. | BMC Infectious Diseases 15:45 |
| *Kobayashi Y, Yoshida S, Nakama T, Zhou Y, Ishikawa K, Arita R, Nakao S, Miyazaki M, Sassa Y, Oshima Y, Izuhara K, Kono T, Ishibashi T | Overexpression of CD163 in vitreous and fibrovascular membranes of patients with proliferative diabetic retinopathy: possible involvement of periostin. | Br J Ophthalmol. 99 4: 451-456 |
| *Yoshida S, Kobayashi Y, Nakama T, Zhou Y, Ishikawa K, Arita R, Nakao S, Miyazaki M, Sassa Y, Oshima Y, Izuhara K, Kono T, Ishibashi T | Increased expression of M-CSF and IL-13 in vitreous of patients with proliferative diabetic retinopathy: Implications for M2 macrophage-involving fibrovascular membrane formation. | Br J Ophthalmol. 99 4: 629-634 |
| Sueoka-Aragane N, Katakami N, Satouchi M, Yokota S, Aoe K, Iwanaga K, Otsuka K, Morita S, Kimura S, Negoro S | For Hanshin-Saga Collaborative Cancer Study Group. Monitoring EGFR T790M with plasma DNA from lung cancer patients in a prospective observational study. | Cancer Sci |
| *Wakai K, Sugawara Y, Tsuji I, Tamakoshi A, Shimazu T, Matsuo K, Nagata C, Mizoue T, Tanaka K, Inoue M, Tsugane S, Sasazuki S | Risk of lung cancer and consumption of vegetables and fruit in Japanese: a pooled analysis of cohort studies in Japan. | Cancer Sci. 106: 1057-1065 |
| Nishida Y, Maeda A, Chachad D, Ishizawa J, Yi Hua Q, Kornblau SM, Kimura S, Andreeff M, Kojima K | Preclinical activity of the novel BMI-1 inhibitor PTC-209 in acute myeloid leukemia: implications for leukemia therapy. | Cancer Sci. 106:1705-1713. |
| Matsumoto K, Maeda H, Oki A, Takatsuka N, Yasugi T, Furuta R, Hirata R, Mitsuhashi A, Kawana K, Fujii T, Iwata T, Hirai Y, Yokoyama M, Yaegashi N, Watanabe Y, Nagai Y, Yoshikawa H, and for the Japan HPV and Cancer(JHACC)Study Group | Human leukocyte antigen class II DRB1*1302 allele protects against cervical cancer:At which step of multistage carcinogenesis?. | Cancer Science Original Article 1-7. |
| *Natsuaki M, Node K. | Glycemic variability and cardiac remodeling in patients with acute myocardial infarction. | Circ J. 79(5):972-3 |
| Uozumi J, Noguchi M, Tokuda Y, Tobu S, Udo K, Kakinoki H, Kurata S, Nanri M, Ichibagase Y, Takahara K | Is the eGFR formula adequate for evaluating renal function before chemotherapy in patients with urogenital cancer? A suggestion for clinical application of eGFR formula. | Clin Exp Nephrol. 19:738-745. |
| Ohtsuka Y, Higashimoto K, Sasaki K, Jozaki K, Yoshinaga H, Okamoto N, Takama Y, Kubota A, Nakayama M, Yatsuki H, Nishioka K, Joh K, Mukai T, Yoshiura KI, Soejima H. | Autosomal recessive cystinuria caused by genome-wide paternal uniparental isodisomy in a patient with Beckwith-Wiedemann syndrome. | Clin. Genet., 88(3):261-266 |
| Bednar KJ, Tsukamoto H, Kachapati K, Ohta S, Wu Y, Katz JD, Ascherman DP, Ridgway WM | Reversal of New-Onset Type 1 Diabetes With an Agonistic TLR4/MD-2 Monoclonal Antibody. | Diabetes 64(10): 3614-3626 |
| 桑代卓也、安西慶三 | 肥満 2 型糖尿病の特異病態 | Diabetes Frontier Vol.26 No.1 2015-2 |
| *Asayama Y, Aishima S, Honda H, et al. | Distinguishing intrahepatic cholangiocarcinoma from poorly differentiated hepatocellular carcinoma using precontrast and gadoteric acid-enhanced MRI. | Diagn Interv Radiol, 21, 96-104. |
| *Yamashita Y, Shirabe K, Aishima S, Maehara Y. | Predictors of Microvascular Invasion in Hepatocellular Carcinoma. | Dig Dis, 33(5), 655-660 |
| Yamaguchi D, Sakata Y, Tsuruoka N, Shimoda R, Higuchi T, Sakata H, Fujimoto K, Iwakiri R. | Characteristics of patients with nonvariceal upper gastrointestinal bleeding taking antithrombotic agents | Dig. Endosc. 27: 30-36 |
| OYamanouchi K, Ogata S, Sakata Y, Tsuruoka N, Shimoda R, Nakayama A, Akutagawa T, Shirai S, Takeshita E, Yamamoto K, Fujimoto K, Iwakiri R. | Effect of additional surgery after noncurative endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer. | Endoscopy International open 2016 Jan;4(1):E24-9. |
| Ikeda Y, Takashima T, Fukuda M, Kishi T, Miyazono M, Uchiumi S, Sanematsu M, Matsumoto K, Yamaguchi S, Ikeda Y, Fujimoto K | Clinicopathological Significance of Urinary N-acetyl-beta-D Glucosaminidase (NAG) in Nephrotic Syndrome | Enliven: Nephrology and Renal Studies 1, 1, 1-3 |
| Akutagawa K, Iwakiri R, Hara M, Fujimoto K, Fujiwara Y, Inamori M, Tanaka J, Shimatani T, Akiyama J, Ando T, Manabe N, Kinjo F, Deguchi R, Kusano M. | Risk factors for low response to proton-pump inhibitor treatment in reflux esophagitis and non-erosive reflux disease evaluated by the frequency scale for the symptoms of gastroesophageal reflux disease. | Esophagus 12: 225-232 |
| O Akutagawa K, Iwakiri R, Hara M, Fujimoto K, Fujiwara Y, Inamori M, Tanaka J, Shimatani T, Akiyama J, Ando T, Manabe N, Kinjo F, Deguchi R, Kusano M | Risk factors for low response to proton-pump inhibitor treatment in reflux esophagitis and non-erosive reflux disease evaluated by the frequency scale for the symptoms of gastroesophageal reflux disease | Esophagus.12:225-232 |

| | | |
|--|--|---|
| <p>Mi-Ichi F, Nozawa A, Yoshida H, Tozawa Y, Nozaki T.</p> | <p>Evidence that the Entamoeba histolytica Mitochondrial Carrier Family Links Mitosomal and Cytosolic Pathways through Exchange of 3'-Phosphoadenosine 5'-Phosphosulfate and ATP.</p> | <p>Eukaryot Cell. 14(11): 1144-50.</p> |
| <p>Nunomura S, Ohtsubo-Yoshioka M, Okayama Y, Terui T, Ra C</p> | <p>FcR γ promotes contact hypersensitivity to oxazolone without affecting the contact sensitisation process in B6 mice.</p> | <p>Exp Dermatol 24 3: 204-208</p> |
| <p>Aijima R, Wang B, Takao T, Mihara H, Kashio M, Ohsaki Y, Zhang JQ, Mizuno A, Suzuki M, Yamashita Y, Masuko S, Goto M, Tominaga M, Kido MA</p> | <p>The thermosensitive TRPV3 channel contributes to rapid wound healing in oral epithelia.</p> | <p>FASEB J. 29(1): 182-192</p> |
| <p>*Sawada T, Yashiro M, Miyazaki K, Kai K, et al.</p> | <p>New molecular staging with G-factor supplements TNM classification in gastric cancer: a multicenter collaborative research by the Japan Society for Gastroenterological Carcinogenesis G-Project committee.</p> | <p>Gastric Cancer. 18:119-28</p> |
| <p>Tobu S, Noguchi M, Kurata S, Kakinoki H, Udo K, Tokuda Y, Uozumi J.</p> | <p>Usefulness of Blocksom vesicostomy in elderly men with chronic urinary retention and severe dementia.</p> | <p>Geriatr Gerontol Int. 15(8):997-1000</p> |
| <p>Ito Y, Maehara K, Kaneki E, Matsuoka K, Sugahara N, Miyata T, Kamura H, Yamaguchi Y, Kono A, Nakabayashi K, Migita O, Higashimoto K, Soejima H, Okamoto A, Nakamura H, Kimura T, Wake N, Taniguchi T, Hata K.</p> | <p>Novel Nonsense Mutation in the NLRP7 Gene Associated with Recurrent Hydatidiform Mole.</p> | <p>Gynecol. Obstet. Invest., 2015 Nov 26. [Epub ahead of print]</p> |
| <p>Kato T, Takashima A, Kasamatsu T, Nakamura K, Mizusawa J, Nakanishi T, Takeshima N, Kamiura S, Onda T, Sumi T, Takano M, Nakai H, Saito T, Fujiwara K, Yokoyama M, Itamochi H, Takehara K, Yokota H, Mizunoe T, Takeda S, Sonoda K, Shiozawa T, Kawabata T, Honma S, Fukuda H, Yaegashi N, Yoshikawa H, Konishi I, Kamura T</p> | <p>Clinical tumor diameter and prognosis of patients with FIGO stage IB1 cervical cancer (JCOG0806-A).</p> | <p>Gynecologic Oncology 137 (2015) 34-39</p> |
| <p>*Sato E, Tanaka A, Oyama JI, Yamasaki A, Shimomura M, Hiwatashi A, Ueda Y, Amaha M, Nomura M, Matsumura D, Nakamura T, Node K.</p> | <p>Long-term effects of AST-120 on the progression and prognosis of pre-dialysis chronic kidney disease: a 5-year retrospective study.</p> | <p>Heart Vessels. 2015 Dec 23. [Epub ahead of print]</p> |
| <p>OEguchi Y, Kitajima Y, Hyogo H, Takahashi H, Kojima M, Ono M, Araki N, Tanaka K, Yamaguchi M, Matsuda Y, Ide Y, Otsuka T, Ozaki I, Ono N, Eguchi T, Anzai K; Japan Study Group for NAFLD (JSG-NAFLD).</p> | <p>Pilot study of liraglutide effects in nonalcoholic steatohepatitis and nonalcoholic fatty liver disease with glucose intolerance in Japanese patients (LEAN-J).</p> | <p>Hepatol Res. 2015 45(3):269-78.</p> |
| <p>Furukawa E N, Yamashita S, Maeyama K, Oeda S, Iwane S, Hirai K, Ozaki I, Eguchi Y</p> | <p>Clinical course of hepatitis B surface antigen positive subjects following screening: A retrospective observational study from April 2008 to January 2013</p> | <p>Hepatology Research</p> |
| <p>藤江亮太, 東島直生, 河野俊介, 北島将, 園畑素樹, 馬渡正明</p> | <p>人工股関節全置換術後患者の膝伸筋力差における歩行能力の比較</p> | <p>Hip Joint '15 Vol.41</p> |
| <p>○東島直生, 藤江亮太, 河野俊介, 北島将, 園畑素樹, 馬渡正明</p> | <p>人工股関節全置換術後の身体活動量に影響を及ぼす要因</p> | <p>Hip Joint41: 180-182</p> |
| <p>○藤江亮太, 東島直生, 河野俊介, 北島将, 園畑素樹, 馬渡正明</p> | <p>関節全置換術後患者の膝伸筋力差における歩行能力の比較</p> | <p>Hip Joint41: 225-228</p> |
| <p>北島将, 河野俊介, 園畑素樹, 馬渡正明</p> | <p>転子下骨切り併用人工股関節全置換術後の片脚起立に影響する因子</p> | <p>Hip Joint41: 482-485</p> |
| <p>河野俊介, 北島将, 園畑素樹, 馬渡正明</p> | <p>後側方アプローチにおいて関節包修復が人工股関節全置換術後脱臼発生率を低下させる</p> | <p>Hip Joint41: 570-571</p> |
| <p>森本忠嗣, 北島将, 園畑素樹, 馬渡正明</p> | <p>60歳以上の人工股関節全置換術実施例における椎体骨折頻度と骨粗鬆症治療の実態</p> | <p>Hip Joint41: 69-71</p> |
| <p>*Tanaka Y, Aishima S, Oda Y, et al.</p> | <p>SALL4 immunopositivity is associated with EpCAM expression in combined hepatocellular and cholangiocarcinoma.</p> | <p>Histopathology, Aug 12.</p> |
| <p>Tanaka A, Node K.</p> | <p>A novel cardioprotective mechanism of exogenous nitric oxide: inhibition of Rho-associated kinase activity.</p> | <p>Hypertens Res. 38(7):461-2</p> |
| <p>*Chen CY, Lee JB, Liu B, Ohta S, Wang P-Y, Kartashov A, Mugge L, Abonia JP, Barski A, Izuhara K, Rothenberg ME, Finkelman FD, Hogan SP, Wang YS.</p> | <p>Induction of interleukin-9-producing mucosal mast cells promotes susceptibility to IgE-mediated experimental food allergy.</p> | <p>Immunity 43: 788-802</p> |
| <p>Chen CY, Lee JB, Liu B, Ohta S, Wang P-Y, Kartashov A, Mugge L, Abonia JP, Barski A, Izuhara K, Rothenberg ME, Finkelman FD, Hogan SP, Wang YS.</p> | <p>Induction of interleukin-9-producing mucosal mast cells promotes susceptibility to IgE-mediated experimental food allergy.</p> | <p>Immunity, 43:788-802</p> |
| <p>*Shimada S, Nunomura S, Mori S, Suemizu H, Itoh H, Takabayashi S, Okada Y, Yahata T, Shiina T, Katoh H, Suzuki R, Tani K, Ando K, Yagita H, Habu S, Sasaki E, Kametani Y</p> | <p>Common marmoset CD117+hematopoietic cells possess multipotency</p> | <p>Int Immunol. 27 11: 567-577</p> |
| <p>Nishikido T, Oyama J, Ohira H, Node K.</p> | <p>The effects and safety of vildagliptin on cardiac function after acute myocardial infarction.</p> | <p>Int J Cardiol. 188:13-5</p> |
| <p>*Suzuki M, Fukamizu S, Oyama J, Mizukami A, Matsumura A, Hashimoto Y, Node K.</p> | <p>Rationale and design of the efficacy of rivaroxaban on renal function in patients with non-valvular atrial fibrillation and chronic kidney disease: The X-NOAC study.</p> | <p>Int J Cardiol. 188:52-3</p> |

| | | |
|--|---|--|
| Hosoya K, Mochinaga S, Emoto A, Yokoo H, Tokushima H, Egoshi M, Sueoka-Aragane N, Kimura S | Failure mode and effects analysis of medication adherence in patients with chronic myeloid leukemia. | Int J Clin Oncol |
| Edagawa A, Kimura A, Kawabuchi-kurata T, Adachi S, Furuhashi K, Miyamoto H | Investigation of Legionella contamination in bath water samples by culture, amoebic co-culture, and real-time quantitative PCR methods | Int J Environ Res Public Health, 12:13118-13130 |
| Tanaka A, Yuasa S, Node K, Fukuda K. | Cardiovascular Disease Modeling Using Patient-Specific Induced Pluripotent Stem Cells. | Int J Mol Sci. 16(8):18894-922 |
| OMorito K, Nakamura J, Kitajima Y, Kai K, Tanaka T, Kubo H, Miyake S, Noshiro H. | The value of trefoil factor 3 expression in predicting the long-term outcome and early recurrence of colorectal cancer. | Int J Oncol. 46: 563-8 |
| Hosoya K, Mochinaga S, Emoto A, Yokoo H, Tokushima H, Egoshi M, Sueoka-Aragane N, Kimura S | Failure mode and effects analysis of medication adherence in patients with chronic myeloid leukemia | Int. J. Clin. Oncol. 20, 6: 1203-1210 |
| Oiwane S, Mizuta T, Kawaguchi Y, Takahashi H, Oza N, Oeda S, Nakashita S, Kuwashiro T, Otsuka T, Kawazoe S, Eguchi Y, Anzai K, Ozaki I, Fujimoto K | Impact of body weight reduction via diet and exercise on the anti-viral effects of pegylated interferon plus ribavirin in chronic hepatitis C patients with insulin resistance: a randomized controlled pilot trial | Intern Med 2015; 54: 3113-9 |
| Oiwane S, Mizuta T, Kawaguchi Y, Takahashi H, Oza N, Oeda S, Nakashita S, Kuwashiro T, Otsuka T, Kawazoe S, Eguchi Y, Anzai K, Ozaki I, Fujimoto K | Impact of body weight reduction via diet and exercise on the anti-viral effects of pegylated interferon plus ribavirin in chronic hepatitis C patients with insulin resistance: a randomized controlled pilot trial | Intern Med. 54: 3113-3119 |
| OFujiwara M, Eguchi Y, Fukumori N, Eguchi H, Tomonaga M, Yoshioka T, Hyakutake M, Sakanishi Y, Kyoraku I, Sugioka T, Fujimoto K, Kusano M, Yamashita S | The symptoms of gastroesophageal reflux disease correlate with high body mass index, the aspartate aminotransferase/alanine aminotransferase ratio and insulin resistance in Japanese patients with non-alcoholic fatty liver disease | Intern Med. 54:3099-3104 |
| *Kawaguchi Y, Iwane S, Kumagai T, Yanagita K, Yasutake T, Ide Y, Otsuka T, Eguchi Y, Ozaki I, Akiyama T, Kawazoe S, Mizuta T. | Efficacy and Safety of Telaprevir, Pegylated Interferon α -2b and Ribavirin Triple Therapy in Japanese Patients Infected with Hepatitis C Virus Genotype 1b. | Intern Med. 54(20):2551-60. |
| Oiwane S, Mizuta T, Kawaguchi Y, Takahashi H, Oza N, Oeda S, Nakashita S, Kuwashiro T, Otsuka T, Kawazoe S, Eguchi Y, Anzai K, Ozaki I, Fujimoto K. | Impact of Body Weight Reduction via Diet and Exercise on the Anti-Viral Effects of Pegylated Interferon Plus Ribavirin in Chronic Hepatitis C Patients with Insulin Resistance: A Randomized Controlled Pilot Trial. | Intern Med. 54(24):3113-9. |
| Nishida Y, Iyadomi M, Higaki Y, Tanaka H, Kondo Y, Otsubo H, Horita M, Hara M, Tanaka K | Association between PPARGC1A polymorphism and aerobic capacity in Japanese middle-aged men. | Intern. Med. 54: 359-366 |
| Imamura Y, Mizoguchi Y, Nabeta H, Matsushima J, Watanabe I, Kojima N, Kawashima T, Yamada S, Monji A | Belief in life after death, salivary 3-methoxy-4-hydroxyphenylglycol, and well-being among older people without cognitive impairment dwelling in rural Japan. | International Journal of Geriatric Psychiatry 30(3):256-264. |
| Kiyoto Morito, Jun Nakamura, Yoshihiko Kitajima, Keita Kai, Tomokazu Tanaka, Hiroshi Kubo, Shuusuke Myake, and Hirokazu Noshiro | The value of trefoil factor 3 expression in predicting the long-term outcome and early recurrence of colorectal cancer | International journal of Oncology 46 2:563-568 |
| *Kiyohara C, Washio M, Horiuchi T, Takahashi H, Tada Y, Kobashi G, Asami T, Ide S, Atsumi T and Kyushu Sapporo SLE(KYSS)Study Group | Dietary Patterns and the Risk of Systemic Lupus Erythematosus in a Japanese Population : the Kyushu Sapporo SLE(KYSS)Study | International Medical Journal 22: 110-115 |
| *Noguchi T, Tanaka A, Kawasaki T, Goto Y, Morita Y, Asaumi Y, Nakao K, Fujiwara R, Nishimura K, Miyamoto Y, Ishihara M, Ogawa H, Koga N, Narula J, Yasuda S. | Effect of intensive statin therapy on coronary high-intensity plaques detected by non-contrast T1-weighted imaging: the AQUAMARINE pilot study | J Am Coll Cardiol. 66(3):245-56. |
| OAoki S, Noguchi M, Takezawa T, Ikeda S, Uchihashi K, Kuroyama H, Chimuro T, Toda S | Fluid dwell impact induces peritoneal fibrosis in the peritoneal cavity reconstructed in vitro. | J Artif Organs Aug 30 [Epub ahead of print] PMID: 26318752 |
| Aoki S, Noguchi M, Takezawa T, Ikeda S, Uchihashi K, Kuroyama H, Chimuro T, Toda S. | Fluid dwell impact induces peritoneal fibrosis in the peritoneal cavity reconstructed in vitro. | J Artif Organs. PubMed PMID: 26318752. |
| *Kato T, Node K. | Docosahexaenoic Acid with a statin and endothelial function in patients with coronary artery disease. | J Atheroscler Thromb. 22(5):440-1 |
| Nishikido T, Oyama JI, Keida T, Ohira H, Node K. | High-dose statin therapy with rosuvastatin reduces small dense LDL and MDA-LDL: The Standard versus high-dose therapy with Rosuvastatin for lipid lowering (SARD) trial. | J Cardiol. 2015 Jul 7.[Epub ahead of print] |
| Oyama JI, Nagatomo D, Yoshioka G, Yamasaki A, Kodama K, Sato M, Komoda H, Nishikido T, Shiraki A, Node K. | The relationship between neutrophil to lymphocyte ratio, endothelial function, and severity in patients with obstructive sleep apnea. | J Cardiol. 2015 Sep 3. [Epub ahead of print] |
| *Uemura H, Katsura-Kamano S, Yamaguchi M, Arisawa K1, Hamajima N, Hishida A, Kawai S, Oze I, Shinchi K, Takashima N, Suzuki S, Nakahata N, Mikami H, Ohnaka K, Kuriyama N, Kubo M, Tanaka H, and Japan Multi-institutional Collaborative Cohort (J-MICC) Study Group | A variant of the CLOCK gene and related haplotypes are associated with the prevalence of type 2 diabetes in the Japanese population | J Diabetes. 2015 Sep 16. doi: 10.1111/1753-0407.12344. [Epub ahead of print] |
| Kudo K, Ito H, Ihara S, Terato H | Quantitative analysis of oxidative DNA damage induced by high-voltage pulsed discharge with cavitation. | J Electrostat, 73: 131-139 |
| * Sanai T, Okamura K, Kishi T, Miyazono M, Ikeda Y, Kitazono T. | Importance of specific reference values for evaluation of the deteriorating thyroid function in patients with end-stage renal disease on hemodialysis. | J Endocrinol Invest 38, 1, 47-56 |
| *Nanri H, Hara M, Nishida Y, Shimanoe C, Nakamura K, Higaki Y, Imaizumi T, Taguchi N, Sakamoto T, Horita M, Shinchi K, Kokaze A, and Tanaka K | Dietary Patterns and Serum Gamma-Glutamyl Transferase in Japanese Men and Women | J Epidemiol 2015, doi:10.2188/jea.JE20140158 |

| | | |
|--|---|---|
| ONoguchi R, Nakayama K, Itoh M, Kamohara K, Furukawa K, Oyama JI, Node K, Morita S. | Development of a three-dimensional pre-vascularized scaffold-free contractile cardiac patch for treating heart disease. | J Heart Lung Transplant. 35(1):137-145 |
| Osamu Ueda, Shinichi Tanaka, Zenzo Nagasawa, Hideaki Hanaki, Takeo Shobuie, Hiroshi Miyamoto. | Development of a novel matrix-assisted laser desorption/ionization time-of-flight mass spectrometry (MALDI-TOF-MS) -based typing method to identify methicillin-resistant Staphylococcus aureus clones. | J Hosp Infect Vol: 90: 2 147-155 |
| Yohei Hamada, Hiroki Magarifuchi, Megumi Oho, Zenzo Nagasawa, Mami Fukuoka, Hiroki Yamakuchi, Toshiharu Urakami, Yosuke Aoki | Clinical features of enterococcal bacteremia due to ampicillin-susceptible and ampicillin-resistant enterococci: An eight-year retrospective comparison study | J Infect Chemother, 21. 7. 527-530 |
| Shuichi Eto, Hiroshi Miyamoto, Takeo Shobuie, Iwao Noda, Takayuki Akiyama, Masatsugu Tsukamoto, Masaya Ueno, Shinsuke Someya, Shunsuke Kawano, Motoki Sonohata, Masaaki Mawatari. | Silver oxide-containing hydroxyapatite coating supports osteoblast function and enhances implant anchorage strength in rat femur. | J Orthop Res.33(9):1391-1397 |
| Kudo K, Ito H, Ihara S, Terato H | Oxidative DNA damage caused by pulsed discharge with cavitation on the bactericidal function. | J Phys. D. Appl Phys, 48: 365401 |
| Tokuyama Y, Furusawa Y, Ide H, Yasui A, Terato H | Role of isolated and clustered DNA damage and the post-irradiating repair process in the effects of heavy ion beam irradiation. | J Radiat Res, 56: 3, 446-455 |
| *Ikeda T, Kumashiro R, Aishima S, et al. | Evaluation of techniques to prevent colorectal anastomotic leakage. | J Surg Res, 194, 450-7. |
| 森本忠嗣, 塚本正紹, 吉原智仁 | 化膿性脊椎炎に対する経皮的病巣搔爬ドレナージ | J-Spine-Research 2015:1698-1702 |
| 森本忠嗣, 塚本正紹, 吉原智仁 | 佐賀県の3次救急医療機関における上位頸椎損傷患者の臨床像-2008年から2012までの5年間- | J-Spine-Research 2015:1733-1738 |
| * Fujishiro M, Higuchi K, Kato M, Kinoshita Y, Iwakiri R, Watanabe T, Takeuchi T, Sugisaki N, Okada Y, Ogawa H, Arakawa T, Fujimoto K, the PLANETARIUM Study Group. | Long-term efficacy and safety of rabeprazole in patients taking low-dose aspirin with a history of peptic ulcers: a phase 2/3, randomized, parallel-group, multicenter, extension clinical trial. | J. Clin. Biochem. Nutr. 56: 228-39 |
| Yamaguchi D, Tsuruoka N, Sakata Y, Shimoda R, Fujimoto K, Iwakiri R. | Safety and efficacy of botulinum toxin injection therapy for esophageal achalasia in Japan | J. Clin. Biochem. Nutr. 57: 239-243 |
| * Nanri H, Hara M, Nishida Y, Shimanoe C, Nakamura K, Higaki Y, Imaizumi T, Taguchi N, Sakamoto T, Horita M, Shinchi K, Kokaze A, Tanaka K | Dietary patterns and serum gamma-glutamyl transferase in Japanese men and women. | J. Epidemiol. 25 (5):378-386 |
| Hara M, Shimanoe C, Otsuka Y, Nishida Y, Nanri H, Horita M, Yasukata J, Miyoshi N, Yamada Y, Higaki Y, Tanaka K. | Factor associated with non-participation in face-to-face survey conducted 5 years after baseline survey. | J. Epidemiol. 25 (2) : 117-125 |
| OTakahashi H, Ono M, Hyogo H, Tsuji C, Kitajima Y, Ono N, Eguchi T, Fujimoto K, Chayama K, Saibara T, Anzai K, Eguchi Y. | Biphasic effect of alcohol intake on the development of fatty liver disease | J. Gastroenterol. 50: 1114-1123 |
| * Fukudo S, Kaneko H, Akiho H, Inamori M, Endo Y, Okumura T, Kanazawa M, Kamiya T, Sato K, Chiba T, Furuta K, Yamato S, Arakawa T, Fujiyama Y, Azuma T, Fujimoto K, Mine T, Miura S, Kinoshita Y, Sugano K, Shimosegawa T. | Evidence-based clinical practice guidelines for irritable bowel syndrome | J. Gastroenterol. 50:11-30 |
| Miyake Y, Oh-Hora M, Yamasaki S | C-type lectin receptor MCL facilitates Mincle expression and signaling through complex formation. | J. Immunol. 194 5366-5374 |
| OYakushiji Y, Noguchi T, Charidimou A, Eriguchi M, Nishihara M, Hara M, Nanri Y, Horikawa E, Nishiyama M, Werring DJ, Hara H. | Basal Ganglia Cerebral Microbleeds and Global Cognitive Function: The Kashima Scan Study. | J. Stroke Cerebrovasc. Dis. 24 (2): 431-439. |
| * Fukudo S, Kaneko H, Akiho H, Inamori M, Endo Y, Okumura T, Kanazawa M, Kamiya T, Sato K, Chiba T, Furuta K, Yamato S, Arakawa T, Fujiyama Y, Azuma T, Fujimoto K, Mine T, Miura S, Kinoshita Y, Watanabe M, Sugano K, Shimosegawa T. | Evaluation of Kampo medicine in the clinical practice guideline for irritable bowel syndrome. | J.Gastroenterol. 50: 817-818 |
| 野口宣人, 井上聡, 松島尚子, 山崎達枝, 柴山薫, 二宮宣文, 新地浩一 | 国際平和協力活動における救急救命士の活動に影響する関連要因 | J.J.Disast.Med, 20(1):30-39 |
| Yamada KC, Inoue S, Sakamoto Y. | An effective support system of emergency medical services with tablet computers. | JMIR Mhealth Uhealth. 2015 Feb 27;3(1) |
| ○染矢晋佑, 井手衆哉, 田島智徳, 長嶺里美 | 人工膝関節全置換術における3D-CTを利用した骨脆弱性の評価 | JOSKAS40(2):396-397 |
| Matsushima J, Kawashima T, Nabeta H, Imamura Y, Watanabe I, Mizoguchi Y, Kojima N, Yamada S, Moriji A | Association of inflammatory biomarkers with depressive symptoms and cognitive decline in a community-dwelling healthy older sample: A 3-year follow-up study | Journal of Affective 173(3):9-14 |
| Eto S, Kawano S, Someya S, Miyamoto H, Sonohata M, Mawatari M. | First clinical experience with thermal sprayed silver oxide-containing hydroxyapatite coating implant | Journal of Arthroplasty 2015 Dec 23. pii: S0883-5403(15)01115-8. doi: 10.1016/j.arth.2015.12.034. [Epub ahead of print] |
| OTsutsumi E, Murata Y, Sakamoto M, Horikawa E | Effects of exercise on the nephron of Goto-Kakizaki rats: Morphological, and advanced glycation end-products and inducible nitric oxide synthase immunohistochemical analyses | Journal of Diabetes and its Complications |

| | | |
|---|---|---|
| Kiyosuke M, Kibe Y, Oho M, Kusaba K, Shimono N, Hota T, Kan DC, Shobuike T, Miyamoto H. | Comparison of two types of matrix-associated laser desorption/ionization-time of flight mass spectrometers for the identification and typing of <i>Clostridium difficile</i> | Journal of Medical Microbiology : 64: 1144-1150 |
| *Murakami T, Noda I, Nakahara A, Miyamoto H, Mawatari M | Evaluation of the structure of Ag in thermal sprayed Ag-containing hydroxyapatite coatings | Journal of the Ceramic Society of Japan 123 [8] 667-671. |
| *Kashino I, Mizoue T, Tanaka K, Tsuji I, Tamakoshi A, Matsuo K, Wakai K, Nagata C, Inoue M, Tsugane S, Sasazuki S | Vegetable consumption and colorectal cancer risk: an evaluation based on a systematic review and meta-analysis among the Japanese population. | Jpn. J. Clin. Oncol. 45: 973-979 |
| *Mizuuchi Y, Aishima S, Oda Y, et al. | Anterior gradient 2 downregulation in a subset of pancreatic ductal adenocarcinoma is a prognostic factor indicative of epithelial-mesenchymal transition. | Lab Invest, 95, 193-206. |
| Imagawa J, Tanaka H, Okada M, Nakamae H, Hino M, Murai K, Ishida Y, Kumagai T, Sato S, Ohashi K, Sakamaki H, Wakita H, Uoshima N, Nakagawa Y, Minami Y, Ogasawara M, Takeoka T, Akasaka H, Utsumi T, Uike N, Sato T, Ando S, Usuki K, Morita S, Sakamoto J, Kimura S | Discontinuation of dasatinib in chronic myeloid leukaemia patients who have maintained deep molecular response for more than 1 year: the prospective, multicentre Dasatinib Discontinuation (DADI) Trial. | Lancet Haematology |
| Patil R, Gangalum PR, Wagner S, Portilla-Arias J, Ding H, Rekechenetskiy A, Konda B, Inoue S, Black KL, Ljubimova JY, Holler E. | Curcumin Targeted, Polymalic Acid-Based MRI Contrast Agent for the Detection of A β Plaques in Alzheimer's Disease. | Macromol Biosci. 2015 Jun 2. doi: 10.1002/mabi.201500062. |
| 杉 元子, 小荒田秀一, 末松梨絵, 小野伸之, 大田明英, 多田芳史 | 医療秘書における病診連携調査 | Medical Secretary |
| Kukita T., Takahashi A., Zhang J-Q., Kukita A. | Membrane Nanotube Formation in Osteoclastogenesis. | Methods. Mol. Biol. 1313 p193-202 |
| *Phongsisay V, Hara H, Fujimoto S | Toll-like receptors recognize distinct proteinase-resistant glycoconjugates in <i>Campylobacter jejuni</i> and <i>Escherichia coli</i> . | Mol Immunol. 64(1):195-203. |
| *Phongsisay V, Iizasa E, Hara H, Yoshida H | Evidence for TLR4 and FcR γ -CARD9 activation by cholera toxin B subunit and its direct bindings to TREM2 and LMIR5 receptors | Mol Immunol. 66(2):463-71 |
| *Hara H, Yokosuka T, Hirakawa H, Ishihara C, Yasukawa S, Yamazaki M, Koseki H, Yoshida H, and Saito T | Clustering of CARMA1 through SH3-GUK domain interactions is required for its activation of NF- κ B signaling | Nat Commun. 6:5555. |
| *Suzuki H, Aoki K, Chiba K, Motomura K, Yamamoto T, Ohka F, Tanahashi K, Ranjit M, Wakabayashi T, Sato Y, Shiozawa Y, Sanada M, Kondo Y, Shiraiishi Y, Niida A, Tanaka H, Nakamura H, Mizoguchi M, Abe T, Muragaki Y, Watanabe R, Ito I, Miyano S, Natsume A, Ogawa S | Mutational landscape and clonal architecture in grade-II/III gliomas. | Nature Genetics. 47:458-468 |
| *He-Cheng Wang, Tao Zhang, Bolati Kuerban, Ying-Lan Jin, Weidong Le, Hideo Hara, Dong-Sheng Fan, Yan-Jiang Wang, Takeshi Tabira, De-Hua Chui, | Autophagy is involved in oral rAAV/A β vaccine-induced A β clearance in APP/PS1 transgenic mice | Neurosci Bull . 31(4): 491-504. |
| Xu Z-H, Wang C, Fujita T, Jiang C-Y, Kumamoto E | Action of thymol on spontaneous excitatory transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons. | Neurosci. Lett. 606: 94-99 |
| Masuoka J, Matsushima T, Inoue K, Nakahara Y, Takase Y, Kawashima M | Outcome of microvascular decompression for trigeminal neuralgia treated with the stitched sling retraction technique. | Neurosurg Rev.38(2):361-5 |
| *Mori K, Noguchi M, Tobu S, Sato F, Mimata H, Pradeep Tyagi, Michael B. Chancellor, Yoshimura N | Age-Related Changes in Bladder Function With Altered Angiotensin II Receptor Mechanisms in Rats. | Neurourology and Urodynamics. DOI 10, 1002/nau. 22849 |
| *Yoneme H, Hatakeyama J, Danjo A, Oida H, Yoshinari M, Ajima R, Murata N, Watanabe T, Oki Y, Kido MA | Milk basic protein supplementation enhances fracture healing in mice. | Nutrition 31(2): 399-405 |
| Umeguchi H, Sueoka-Aragane N, Kobayashi N, Nakamura T, Sato A, Takeda Y, Hayashi S, Sueoka E, Kimura S. | Usefulness of plasma HGF level for monitoring acquired resistance to EGFR tyrosine kinase inhibitors in non-small cell lung cancer. | Oncol Rep |
| *Umeguchi H, Sueoka-Aragane N, Kobayashi N, Nakamura T, Sato A, Takeda Y, Hayashi S, Sueoka E, Kimura S. | Usefulness of plasma HGF level for monitoring acquired resistance to EGFR tyrosine kinase inhibitors in non-small cell lung cancer. | Oncol Rep. 2015 Jan;33(1):391-6. |
| *Namba T, Chu K, Kodama R, Byun S, Yoon KW, Hiraki M, Mandinova A, Lee SW. | Loss of p53 enhances the function of the endoplasmic reticulum through activation of the IRE1 α /XBP1 pathway. | Oncotarget |
| 大坪瀬奈, 藤田亜美, 宮原 萌, 松下晋大, 蔭 昌宇, 徐 志昊, 熊本栄一 | アロマ精油成分による化学構造に依存した蛙坐骨神経の複合活動電位抑制. | Pain Res. 30: 16-29 |
| *Ideno N, Ohtsuka T, Aishima S, et al. | Clinical Significance of GNAS Mutation in Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm of the Pancreas With Concomitant Pancreatic Ductal Adenocarcinoma. | Pancreas, 44, 311-20. |
| *Kimura H, Ohtsuka T, Aishima S, et al. | Predictors and Diagnostic Strategies for Early-Stage Pancreatic Ductal Adenocarcinoma: A Retrospective Study. | Pancreas, 44(7), 1148-1154 |

| | | |
|--|---|---|
| *Siregar JE, Kurisu G, Kobayashi T, Matsuzaki M, Sakamoto K, Mi-ichi F, Watanabe Y, Hirai M, Matsuoka H, Syafruddin D, Marzuki S, Kita K. | Direct evidence for the atovaquone action on the Plasmodium cytochrome bc1 complex. | Parasitol Int. |
| *Konradsen JR, Skantz E, Nordlund B, Lidegran M, James A, Ono J, Ohta S, Izuhara K, Dahlén S, Alving K, Hedlin G | Predicting asthma morbidity in children using proposed markers of Th2 -type inflammation. | Pediatr Allergy Immunol. Epub ahead of print doi: 10.1111/pai.12457 |
| Ohtsubo S, Fujita T, Matsushita A, Kumamoto E | Inhibition of the compound action potentials of frog sciatic nerves by aroma-oil compounds having various chemical structures. | Pharma. Res. Per. 3: e00127 |
| Kawasaki Y, Fujita T, Yang K, Kumamoto E | Anandamide depresses glycinergic and GABAergic inhibitory transmissions in adult rat substantia gelatinosa neurons. | Pharmacol. Pharm. 6: 103-117 |
| Yokoo M, Kubota Y, Motoyama K, Higashi T, Taniyoshi M, Tokumaru H, Nishiyama R, Tabe Y, Mochinaga S, Sato A, Sueoka-Aragane N, Sueoka E, Arima H, Irie T, Kimura S | 2-Hydroxypropyl- β -cyclodextrin Acts as a Novel Anticancer Agent. | PLoS One |
| Takashima T, Kishi T, Onozawa K, Rikitake S, Miyazono M, Otsuka T, Irie H, Iwakiri R, Fujimoto K, Ikeda Y | Significance of technetium-99m human serum albumin diethylenetriamine pentaacetic acid scintigraphy in patients with nephrotic syndrome. | PLoS One 10, 4, e0123036 |
| Shimano C, Hara M, Nishida Y, Nanri H, Otsuka Y, Nakamura K, Higaki Y, Imaizumi T, Taguchi N, Sakamoto T, Horita M, Shinchi K, Tanaka K. | Perceived stress and coping strategies in relation to body mass index: cross-sectional study of 12,045 Japanese men and women | PLoS One; 10(2): e0118105. |
| *Watanabe T, Takeuchi T, Handa O, Sakata Y, Tanigawa T, Shiba M, Naito Y, Higuchi K, Fujimoto K, Yoshikawa T, Arakawa T. | A Multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled trial of high-dose rebamipide treatment for low-dose aspirin-induced moderate-to-severe Small Intestinal Damage | PLoS One. 10:e0122330 |
| OTakashima T, Kishi T, Onozawa K, Rikitake S, Miyazono M, Otsuka T, Irie H, Iwakiri R, Fujimoto K, Ikeda Y. | Significance of technetium-99m human serum albumin diethylenetriamine pentaacetic Acid scintigraphy in patients with nephrotic syndrome | PLoS One. 10:e012303 |
| *Tabé Y, Kojima K, Yamamoto S, Sekihara K, Matsushita H, Davis RE, Wang Z, Ma W, Ishizawa J, Kazuno S, Kauffman M, Shacham S, Fujimura T, Ueno T, Miida T, Andreeff M (equal contribution) | Ribosomal biogenesis and translational flux inhibition by the selective inhibitor of nuclear export (SINE) XPO1 antagonist KPT-185. | PLoS One. 10:e0137210 |
| Ishizawa J, Kojima K, McQueen T, Ruvolo V, Chachad D, Nogueras-Gonzalez GM, Huang X, Pierceall WE, Dettman EJ, Cardone MH, Shacham S, Konopleva M, Andreeff M | Mitochondrial profiling of acute myeloid leukemia in the assessment of response to apoptosis modulating drugs. | PLoS One. 10:e0138377. |
| Oitoh M, Nakayama K, Noguchi R, Kamohara K, Furukawa K, Uchihashi K, Toda S, Oyama J, Node K, Morita S. | Scaffold-Free Tubular Tissues Created by a Bio-3D Printer Undergo Remodeling and Endothelialization when Implanted in Rat Aortae. | PLoS One. 10(9):e0136681 |
| Tanaka T, Kitajima Y, Miyake S, Yanagihara K, Hara H, Nishijima-Matsunobu A, Baba K, Shida M, Wakiyama K, Nakamura J, Noshiro H | The apoptotic effect of HIF-1 α inhibition combined with glucose plus insulin treatment on gastric cancer under hypoxic conditions. | PLoS One. 10(9):e0137257 |
| *Yokoo M, Kubota Y, Motoyama K, Higashi T, Taniyoshi M, Tokumaru H, Nishiyama R, Tabe Y, Mochinaga S, Sato A, Sueoka-Aragane N, Sueoka E, Arima H, Irie T, Kimura S. | 2-Hydroxypropyl- β -Cyclodextrin Acts as a Novel Anticancer Agent. | PLoS One. 2015 4;10(11):e0141946. |
| OShimano C, Hara M, Nishida Y, Nanri H, Otsuka Y, Nakamura K, Higaki Y, Imaizumi T, Taguchi N, Sakamoto T, Horita M, Shinchi K, Tanaka K | Perceived Stress and Coping Strategies in Relation to Body Mass Index: Cross-Sectional Study of 12,045 Japanese Men and Women. | PLoS One. 2015 Feb 12;10(2):e0118105. doi: 10.1371/journal.pone.0118105 |
| *Itoh M, Nakayama K, Noguchi R, Kamohara K, Furukawa K, Uchihashi K, Toda S, Oyama J, Node K, Morita S | Scaffold-Free Tubular Tissues Created by a Bio-3D Printer Undergo Remodeling and Endothelialization when Implanted in Rat Aortae. | PLoS One. 2015 Sep 1;10(9):e0136681. |
| *Fukuda K, Sugihara E, Ohta S, Izuhara K, Funakoshi T, Amagai M, Saya H | Periostin is a key niche component for wound metastasis of melanoma. | PLoS One, PLoS One. doi: 10.1371/journal.pone.0129704 |
| Mi-ichi F, Miyamoto T, Takao S, Jeelani G, Hashimoto T, Hara H, Nozaki T, Yoshida H. | Entamoeba mitosomes play an important role in encystation by association with cholesteryl sulfate synthesis. | Proc Natl Acad Sci U S A. 112 (22), pp. E2884-E2890 |
| *Nishio M, Sugimachi K, Aishima S, Suzuki A, et al. | Dysregulated YAP1/TAZ and TGF- β signaling mediate hepatocarcinogenesis in Mob1a/1b-deficient mice. | Proc Natl Acad Sci U S A. 2015 Dec 22. |
| *Tajiri M, Okamoto M, Fujimoto K, Johkoh T, Ono J, Tominaga M, Azuma K, Kawayama T, Ohta S, Izuhara K, Hoshino T | Serum level of periostin can predict long-term outcome of idiopathic pulmonary fibrosis | Respir Investig. 53 2: 73-81 |
| Uematsu, T. Iizasa, E. Kobayashi, N. Yoshida, H. Hara, H. | Loss of CARD9-mediated innate activation attenuates severe influenza pneumonia without compromising host viral immunity | Sci Rep. 5 17577 (10.1038/srep17577) |

| | | |
|---|---|---|
| * Koyama T, Matsui D, Kuriyama N, Ozaki E, Tanaka K, Oze I, Hamajima N, Wakai K, Okada R, Arisawa K, Mikami H, Shimatani K, Hirata A, Takashima N, Suzuki S, Nagata C, Kubo M, Tanaka H | Genetic variants of SLC17A1 are associated with cholesterol homeostasis and hyperhomocysteinemia in Japanese men. | Sci. Rep. 5: 15888 |
| *Yoon KW, Byun S, Kwon E, Hwang SY, Chu K, Hiraki M, Jo SH, Weins A, Hakroush S, Cebulla A, Sykes DB, Greka A, Mundel P, Fisher DE, Mandinova A, Lee SW. | Control of signaling-mediated clearance of apoptotic cells by the tumor suppressor p53. | Science. 349 1261669 |
| *Ma L, Aijima R, Hoshino Y, Yamaza H, Tomoda E, Tanaka Y, Sonoda S, Song G, Zhao W, Nonaka K, Shi S, Yamaza T | Transplantation of mesenchymal stem cells ameliorates secondary osteoporosis through interleukin-17-impaired functions of recipient bone marrow mesenchymal stem cells in MRL/lpr mice. | Stem Cell Res. Ther. 2015 May 27;6(1):104. |
| *Yamaza T, Alatas FS, Yuniartha R, Yamaza H, Fujiyoshi JK, Yanagi Y, Yoshimaru K, Hayashida M, Matsuura T, Aijima R, Ihara K, Ohga S, Shi S, Nonaka K, Taguchi T | In vivo hepatogenic capacity and therapeutic potential of stem cells from human exfoliated deciduous teeth in liver fibrosis in mice. | Stem Cell Res. Ther. 2015 Sep 10;6(1):171 |
| Koami H, Isa T, Ishimine T, Kameyama S, Matsumura T, Yamada KC, Sakamoto Y. | Risk factors for bowel necrosis in patients with hepatic portal venous gas. | Surg Today (2015) 45:156-161 |
| Noguchi R, Nakayama K, Itoh M, Kamohara K, Furukawa K, Oyama J, Node K, Morita S. | Development of a Three-Dimensional Prevascularized Scaffold-Free Contractile Cardiac Patch for Treating Heart Disease. | The Journal of Heart and Lung Transplantation |
| ○泉夏美, 大塚大河, 蒲池紗央里, 岡田倫明, 中下俊哉, 江口有一郎, 安西慶三 | 進行肝細胞癌に対するソラフェニブのサポートプログラム「ネクサルリンク」による服薬期間延長効果 | The Liver Cancer Journal 2015; 7: 64-5 |
| * Nishijima K, Kitajima S, Koshimoto C, Morimoto M, Watanabe T, Fan J, Matsuda Y | Motility and fertility of rabbit sperm cryopreserved using soybean lecithin as an alternative to egg yolk. | Theriogenology 84: 1172-1175 |
| *Iguchi T, Shirabe K, Aishima S, et al. | New Pathologic Stratification of Microvascular Invasion in Hepatocellular Carcinoma: Predicting Prognosis After Living-Donor Liver Transplantation | Transplantation, 99, 1236-42. |
| ○Yamamoto T, Takahara K, Inai T, Node K, Teramoto N. | Molecular analysis of ATP-sensitive K(+) channel subunits expressed in mouse portal vein. | Vascul Pharmacol.75:29-39 |
| Yamamoto T, Takahara K, Inai T, Node K, Teramoto N | Molecular analysis of ATP-sensitive K+ channel subunits expressed in mouse portal vein. | Vascular Pharmacology, 75, 29-39. |
| * Nagata N, Niikura R, Aoki T, Moriyasu S, Sakurai T, Shimbo T, Sekine K, Okubo H, Watanabe K, Yokoi C, Akiyama J, Yanase M, Mizokami M, Fujimoto K, Uemura N. | Risk factors for adverse in-hospital outcomes in acute colonic diverticular hemorrhage | World J. Gastroenterol. 21: 10697-10703 |
| *Fukuda K, Kataoka H, Nakajima N, Masuoka J, Satow T, Ihara K | Efficacy of Flow 800 with Indocyanine Green Videoangiography for the Quantitative Assessment of Flow Dynamics in Cerebral Arteriovenous Malformation Surgery. | WORLD NEUROSURGERY 83 (2):203-210 |
| Aoki S, Takezawa T, Ikeda S, Narisawa Y, Oshikata-Miyazaki A, Miyauchi S, Hirayama H, Sawaguchi T, Chimuro T, Toda S. | A new cell-free bandage-type artificial skin for cutaneous wounds. | Wound Repair Regen. 12;23(6):819-29. |
| 松久 菜一 | 精神的ストレスモデルマウスの血小板機能 | 九州実験動物雑誌 31: 5-9 |
| 伊藤 学, 中山功一, 野出孝一, 森田茂樹 | バイオ3Dプリンターで立体造形した Scaffold Free の血管組織構築 | 最新医学, 70(8), 79-86 |
| 西 順也, 持永 早希子, 田崎 正信, 橋口 真理子, 横山 正俊, 藤戸 博 | 妊婦における非ステロイド性抗炎症薬外用剤の使用実態調査 | 佐賀県病院薬剤師会誌 2014;vol. 42, No. 2 |
| ○染矢晋佑, 井手衆哉, 田島智徳, 長嶺里美, 園畑素樹, 馬渡正明 | 人工股関節置換術後感染に対する治療成績 | 整形外科と災害外科 64(2) : 272-274 |
| 吉原智仁, 森本忠嗣, 釘崎剣, 塚本正紹, 園畑素樹, 馬渡正明 | 腰椎単純X線正面像に股関節を含めているか? -佐賀県内整形外科標榜医療施設における検討- | 整形外科と災害外科 64(2) : 319-321 |
| * 平田寛人, 園畑素樹, 染矢晋佑, 河野俊介, 北島将, 森本忠嗣, 馬渡正明 | 変形性股関節症における神経障害性疼痛 | 整形外科と災害外科 64(2) : 336-339 |
| * 中島武馬, 森本忠嗣, 米倉豊, 河野俊介, 北島将, 園畑素樹, 馬渡正明 | 人工股関節全置換術後に生じたせん妄の検討 | 整形外科と災害外科 64(4) : 865-868 |
| 小網博之, 阪本雄一郎, 朽木規喜, Rattaplee Pakart | Human Soft Cadaversを用いた外傷ワークショップに参加して | 日本外傷学会雑誌 第29巻1号 p.17-21 |
| 八幡真由子, 太田美穂, 後藤明子, 鳴海翔悟, 今長谷尚史, 三池徹, 小網博之, 藤田亮, 永嶋太, 岩村高志, 山田クリス孝介, 井上聡, 阪本雄一郎 | エンドキシン吸着療法と遺伝子組み換えヒトロンボモジュリン製剤併用による効果の検討 | 日本急性血液浄化学会雑誌 第6巻2号 p.119-123 |
| 上田純二, 中村宏彰, 鶴安浩, 三宅修輔, 井手貴雄, 能城浩和 | 簡便・高画質・安価な内視鏡手術トレーニング用ドライボックス | 日本内視鏡外科学会誌 20 2:211-214 |
| 佐藤博文, 井手貴雄, 甲斐敬太, 北原賢二, 上田純二, 能城浩和 | 手術単独で治療した胆管原発小細胞癌の1例 | 日本臨床外科学会雑誌 76 9:2293-2298 |
| 山田麻里江, 山田尚友, 東谷孝徳, 太田昭一郎, 末岡榮三朗 | 当院における時間外勤務者輸血検査トレーニングの実施状況 | 臨床病理, 第63巻, 第11号, 1259-1263 |
| 松島 淳, 川島敏郎, 鍋田紘美, 今村義臣, 渡邊 至, 溝口義人, 小島直樹, 山田茂人, 門司 晃 | 地域在住の健康高齢者における炎症マーカーとうつ状態および認知機能低下との関連:3年間の追跡調査 | 九州神経精神医学. 60: 182-186 |
| 祖川 倫太郎, 持永 早希子, 前田 美由紀, 竹森 幸子, 古野 龍也, 江本 晶子, 田崎 正信, 藤戸 博 | 九州山口地区における病棟薬剤業務のアンケート調査 | 九州薬学会会報 Vol.69 63-66 |
| 栗原麻希子, 西山 哲, 光 貴子, 橋口真理子, 大隈 恵美, 中尾佳史, 横山正俊 | 当院における骨盤臓器脱手術に対する検討. | 佐賀産科婦人科学会佐賀県産婦人科医会会誌第26号 P47-51. |

| | | |
|--|--|--|
| 高島 利、坂田資尚、中山敦史、岩切龍一、藤本一真 | DSS 腸炎モデルへのオリーブオイル長期投与の炎症、細胞増殖、大腸発癌に及ぼす効果—STAT3 および pSTAT3 発現量における EVOO の効果 | 消化と吸収 37: 234236 |
| *渡辺 健太郎、藤満 幸子、原田 由美子、山田 クリス孝介、須永 剛司、小早川 真衣子、新野 佑樹、阪本 雄一郎、西村 拓一、本村 陽一 | 看護現場における業務経験の表現・共有支援システムの開発 | 情報処理学会論文誌 56(1):137-147 |
| 藏田彩、一番ヶ瀬優佳、南里麻己、野口満、魚住二郎 | 当院での骨盤臓器脱根治術における腔閉鎖術の位置付け | 西日泌尿. 77(9):321-325. |
| 多良 明子、鶴田 紀子、三砂 範幸、久保田 寧、近藤 めぐみ、成澤 寛 | Glomeruloid Hemangioma | 西日本皮膚科 77(1):1-2 |
| 徐 志昊、蔣 昌宇、藤田亜美、朱 蘭、王 獅、熊本栄一 | 成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達に及ぼすモルモールの作用 | 脊髄機能診断学, 36: 25-35 |
| 康 欽、蔣 昌宇、藤田亜美、朱 蘭、熊本栄一 | カルボンによる TRP チャネル活性化を介したラット脊髄膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達の促進 | 脊髄機能診断学, 36: 36-45 |
| 猪原哲、伊藤博徳、小林倫宣、井上侑子、寺東宏明、玉川雅章 | 水中キャビテーション・放電プラズマ併用方式によるブランクトンおよび大腸菌処理 | 電気学会論文誌 A(基礎・材料・共通部門誌), 135 (6) 357-365 |
| 山下佳雄、檀上 敦、後藤昌昭 | 保険診療でインプラント治療を行った口腔がん症例 | 頭頸部癌 Vol.41(4): 432-436 |
| * 藤城光弘、井口幹崇、角嶋直美、加藤元彦、坂田資尚、布袋屋修、片岡幹統、島岡俊治、矢作直久、藤本一真 | 非静脈瘤性上部消化管出血における内視鏡診療ガイドライン | 日消内誌 57: 1648-1666 |
| 一番ヶ瀬優佳、高原光平、藏田彩、柿木寛明、有働和馬、南里麻己、東武昇平、徳田雄治、野口満、魚住二郎 | 鏡視下腎生検の手法とその有用性についての検討 | 日泌尿会誌. 106(4): 243-248. |
| 平川奈緒美、長檜 巧、村川和重、樋口比登実、井関雅子 | わが国のがん性痛に対するインターベンショナル治療の現状 | 日本ペインクリニック学会誌. 22(4): 498-506 |
| 山下佳雄、後藤昌昭 | 口腔がん切除後の顎口腔機能回復を再考する。口腔癌術後へのインプラントを用いた顎口腔機能再建治療の長期安定性への維持と管理 | 日本顎顔面インプラント学会誌 Vol.14(4):314-316 |
| 内田 雄基、野口 信宏、檀上 敦、山下 佳雄、後藤昌昭 | 下顎の歯科インプラント手術精度向上のためのドリリング技能の評価:予備的研究 | 日本顎顔面インプラント学会誌 Vol.14(1):41-46 |
| 垣内俊彦、大枝敏、岩根紳治、泉夏美、江口一郎、松尾宗明 | 妊婦健診における肝炎ウイルス検査に対する意識調査の検討 | 日本肝臓学会雑誌「肝臓」 |
| Yahata M,Ota M,Goto A,Narumi S,Imahase H,Miike T,Koami H,Fujita R,Nagashima F,Iwamura T,Yamada KC,Inoue S,Sakamoto Y | Does recombinant thrombomodulin therapy have any positive effect on patients with septic shock when combined with Polymyxin B immobilized fiber column direct hemoperfusion? | 日本急性血液浄化学会雑誌 Vol6 No2 p. 119~123 |
| * 山本博徳、緒方晴彦、松本主之、大宮直木、大塚和朗、渡辺憲治、矢野智則、松井敏幸、樋口和秀、中村哲也、藤本一真 | 小腸内視鏡診療ガイドライン | 日本消化器内視鏡学会雑誌 57: 2685-2720 |
| * 良沢昭銘、糸井隆夫、湯沼朗生、岡部義信、加藤博也、洞口 淳、藤田直孝、安田健治朗、露口利夫、藤本一真 | EST 診療ガイドライン | 日本消化器内視鏡学会雑誌 57: 2721-2759 |
| 園畑素樹、河野俊介、北島将、馬渡正明 | ■人工股関節再置換術 臼蓋側 当科における臼蓋側人工股関節再置換術 | 日本人工関節学会誌 45:17-18 |
| 河野俊介、北島将、園畑素樹、馬渡正明 | ■THA 合併症 人工股関節全置換術後末梢神経麻痺合併症例の検討 | 日本人工関節学会誌 45:35-36 |
| ○田中里紀、北島将、河野俊介、上野雅也、江頭秀一、園畑素樹、馬渡正明 | ■THA バイオメカニクス 人工股関節全置換術後の歩行における足部方向の変化 | 日本人工関節学会誌 45:389-390 |
| 北島将、河野俊介、園畑素樹、馬渡正明 | ■THA バイオメカニクス 後方アプローチの人工股関節置換術後の筋力評価 | 日本人工関節学会誌 45:393-394 |
| ○染矢晋佑、井手栄哉、田島智徳、長嶺里美、園畑素樹、馬渡正明 | ■TKA 感染 人工膝関節全置換術後感染に対する治療法の検討 | 日本人工関節学会誌 45:671-672 |
| 東武昇平、野口 満、魚住二郎 | 11.先天性および小児泌尿器科疾患 93.急性陰囊症。6時間前から右の陰囊部の痛みを訴えている患児です。 | 臨床泌尿器科. 69(4):370-373. |
| 池田裕次、大塚伸、野中康徳、吉崎真衣、松本涼子、松本圭一郎、福田誠、力武修一、高島毅、岸知哉、宮園素明、藤本一真 | 試験紙法による検尿の問題点の検討試験紙による尿比重を加味した尿蛋白定性による尿蛋白の重症度判定における、目視法と自動分析機との比較(原著論文) | 臨床と研究 92, 10, 1317-1320 |
| 山本 忍、市場正良、濱野和可子、森浩司 | 尿中 N-メチルホルムアミド及び尿中 N-メチルアセトアミドのクロスチェック集計結果について(3) | 労働衛生管理 26:44-48 |
| T. Umecky, K. Suga, E. Masaki, T. Takamuku, T. Makino, M. Kanakubo | Solvation Structure and Dynamics of Li ⁺ in Lewis-basic Ionic Liquid of 1-Octyl-4-aza-1-azoniabicyclo[2.2.2]octane Bis(trifluoromethanesulfonyl)amide | Journal of Molecular Liquids,209,557-562 |
| T. Takamuku, Y. Hatomoto, J. Tonegawa, Y. Tsutsumi, T. Umecky | A Study of the Solvation Structure of L-Leucine in Alcohol-Water Binary Solvents through Molecular Dynamics Simulations and FT-IR and NMR Spectroscopy | ChemPhysChem,16,15,3190-3199 |

| | | |
|---|---|--|
| H. Shirota, S. Kakinuma, Y. Itoyama, T. Umecky, T. Takamuku | Effects of Tetrafluoroborate and Bis(trifluoromethylsulfonyl)amide Anions on the Microscopic Structures of 1-Methyl-3-octylimidazolium-based Ionic Liquids and Benzene Mixtures: A Multiple Approach by ATR-IR, NMR, and Femtosecond Raman-Induced Kerr Effect Spectroscopy | Journal of Physical Chemistry B,120,3,513-526 |
| Y.Ohtsu and T. Yanagise | Sustaining mechanism and spatial structure of high-density ring-shaped hollow cusped magnetized rf plasma for low-pressure plasma processing | Plasma Sources Science and Technology, Special Issue on Electron heating in technological plasmas,24,3,034005(9pp) |
| Y. Ohtsu, N. Matsumoto, J. Schulze and E. Schuengel | Capacitive radio frequency discharges with a single ring-shaped narrow trench of various depths to enhance the plasma density and lateral uniformity | PHYSICS OF PLASMAS,23,3,033510(7pp) |
| Jee Young Kim, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Yang Kim | Relationship between chemical structure and extraction efficiency toward palladium with ketone derivatives of p-tert-octylcalix[4]arene in nitric acid media | Journal of Inclusion Phenomena of Chemistry |
| Tadashi Okobira, Ai Matsuo, Hikaru Matsumoto, Takanori Tanaka, Kazuya Kai, Chie Minari, Muneharu Goto, Hidetaka Kawakita, Kazuya Uezu | Enhancement of immobilized lipase activity by design of polymer brushes on a hollow fiber membrane | Journal of Bioscience and Bioengineering |
| Tokuda, M., Nakashima, H., Kinoshita, M., Soejima, K., Adachi, S., Shirahama, S. & Yasuda, M. | Confirmation records of the Japanese dormouse <i>Glirulus japonicus</i> in Saga Prefecture, Kyushu, Japan | Saga Nature Study |
| Tokuda, M., Nakahara, M., Yamasaki, T. & Kamiaka, H. | Arthropod galls found on Mount Kinryu, Saga, Kyushu, Japan | Saga Nature Study |
| Iwamura, S. & Tokuda, M. | First record of <i>Asteralobia patriniae</i> (Shinji) (Diptera: Cecidomyiidae) from Kyushu, Japan | Saga Nature Study |
| Ohshima, K., Muraoka, S., Yasaka, R., Adachi, S. and Tokuda, M. | First report of wild Japanese garlic (<i>Allium macrostemon</i>) mosaic disease caused by Scallion mosaic virus in Japan | J. Gener. Plant Pathol.82,1,61-64 |
| Matsuo, K., Uechi, N., Tokuda, M., Maetô, K. and Yukawa, J. | Host range of braconid species (Hymenoptera: Braconidae) that attack <i>Asphondylia</i> (Diptera: Cecidomyiidae) in Japan | Entomol. Sci.19,1,3-8 |
| Adachi, S., Shirahama, S. and Tokuda, M. | Seasonal occurrence of <i>Uroleucon nigrotuberculatum</i> (Hemiptera: Aphididae) in northern Kyushu and mechanisms of its summer disappearance | Environ. Entomol.45,1,16-23 |
| Gibbs AJ, Wood J, Garcia-Arenal F, Ohshima K, Armstrong JS. | Tobamoviruses have probably co-diverged with their eudicotyledonous hosts for at least 110 million years | Virus Evolution,1(1),vev019 |
| He Z, Yasaka R, Li W, Li S, Ohshima, K. | Genetic structure of populations of sugarcane streak mosaic virus in China: Comparison with the populations in India. | Virus Research,211,103-116 |
| Ohshima K, Matsumoto K, Yasaka R, Nishiyama M, Soejima K, Korkmaz S, Ho SYW, Gibbs AJ, Takeshita M. | Temporal analysis of reassortment and molecular evolution of Cucumber mosaic virus: Extra clues from its segmented genome | Virology,487,188-197 |
| Matsumoto K, Yasaka R, Setoyama T, Kawano, S, Ohshima K. | Chilli pepper rugose mosaic disease caused by Pepper veinal mottle virus occurs on Ishigaki Island, Japan. | Journal of General Plant Pathology,82(1),57-60 |
| Ohshima K, Muraoka S, Yasaka R, Adachi S, Tokuda M. | First report of Scallion mosaic virus on wild Japanese garlic (<i>Allium macrostemon</i>) in Japan. | Journal of General Plant Pathology,82(1)61-64 |
| T. Fujisawa, H. Kuramochi, H. Hosoi, S. Takeuchi, T. Tahara | Role of Coherent Low-Frequency Motion in Excited-State Proton Transfer of Green Fluorescent Protein Studied by Time-resolved Impulsive Stimulated Raman Spectroscopy | Journal of the American Chemical Society,138,3942-3945(2016) |
| Hirotohi Sadamatsu, Takuya Hanada, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, and Keisuke Ohto | Comprehensive Comparison of Alkali Metal Extraction with a Series of Calix[4]arene Derivatives with Propyl and/or Acetic Acid Groups | J. Incl. Phenom. Macrocycl. Chem.84,1-2,87-97 |
| Shintaro Morisada, Shoko Kojima, Takahiro Sumi, Hidetaka Kawakita, and Keisuke Ohto | Fabrication of Non-Close-Packed Colloidal Monolayers by Convective Self-Assembly Using Cationic Polyelectrolyte-Grafted Silica Particles | Colloid Polym. Sci.293,10,2985-2993 |
| Masahiro Tanaka, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Katsutoshi Inoue, and Keisuke Ohto | Synthesis of a Cross Phosphonic Acid Type Calix[4]arene with Two Different Spacers and its Extractive Separation of Rare Earth Metals | J. Incl. Phenom. Macrocycl. Chem.82,1-2,33-41 |
| Jee Young Kim, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, and Yang Kim | Relationship between Chemical Structure and Extraction Efficiency toward Palladium with Ketonic Derivatives of p-tert-Octylcalix[4]arene in Nitric Acid Media | J. Incl. Phenom. Macrocycl. Chem.82,1-2,25-32 |
| Anup Basnet Chetry, Takashi Matsufuji, Birendra Babu Adhikari, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Tatsuya Oshima, and Jumina | Intramolecular Synergism for Group Separation Extraction of Trivalent Rare Earths by a Cross Type Calix[4]arene with Phosphonic and Carboxylic Acid Bifunctionality | J. Incl. Phenom. Macrocycl. Chem.81,3-4,301-310 |
| Hirotohi Sadamatsu, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, and Keisuke Ohto | Allosteric Coextraction of Sodium and Metal Ions with Calix[4]arene Derivatives 3. Effect of Propyl Groups on Size-Discrimination for the Second Coextracted Ion | Solvent Extr. Ion Exch.33,3,264-277 |
| M. Nagata, N. Yamamoto, T. Shigeyama, Y. Terasawa, T. Anai, T. Sakai, S. Inada, S. Arima, A.M. Hirsch, A. Suzuki | Red/far red light controls arbuscular mycorrhizal colonization via jasmonic acid and strigolactone signaling | Plant and Cell Physiology,56,11,2100-2109 |

| | | |
|--|---|---|
| M. Tsuda, A. Kaga, T. Anai, T. Shimizu, T. Sayama, K. Takagi, K. Machita, S. Watanabe, M. Nishimura, N. Yamada, S. Mori, H. Sasaki, H. Kanamori, Y. Katayose, M. Ishimoto | Construction of a high-density mutant library in soybean and development of a mutant retrieval method using amplicon sequencing. | BMC Genomics,16,1014 |
| D. Cao, Y. Li, S. Lu, J. Wang, H. Nan, X. Li, D. Shi, C. Fang, H. Zhai, X. Yuan, T. Anai, Z. Xia, B. Liu and F. Kong | GmCOL1a and GmCOL1b function as flowering repressor in soybean under long-day conditions | Plant Cell Physiol,56,12,2409–2422 |
| H.Osako, J.Taira, Y. Higashimoto, H. Kodama, S. Osada | Peptide Deformylase Processable Triazole-containing Formyl Peptide Mimetics | Pept. Sci. 2015,159–162 |
| B. A. Marekha, M. Briam, M. Moreau, I. de Waelev, F.-A. Miannay, Y. Smortsova, T. Takamuku, O. N. Kalugin, M. Kiselev, A. Idrissi | Intermolecular Interactions in Mixtures of 1-n-Butyl-3-methylimidazolium Acetate and Water: Insights from IR, Raman, NMR Spectroscopy and Quantum Chemistry Calculations. | J. Mol. Liquids,210,227–237 |
| Md Mizanur Rahim Khan, Mst Hasunnahar, Masaki Iwayoshi, Yuki Ogura-Tsujita, and Shiro Isshiki | Pollen Degeneration in Three Functional Male-Sterile Lines of Eggplant with the Wild Solanum Cytoplasms | Hort. Environ. Biotechnol.56,3,350–357 |
| Shuichiro TAGANE, Tomohisa YUKAWA, CHHANG Phourin, Yuki OGURA-TSUJITA, Hironori TOYAMA & Tetsukazu YAHARA | A new record of <i>Aphyllorchis pallida</i> (Orchidaceae) from Cambodia | Cambodian Journal of Natural History(2015)2,128–130 |
| Ogura-Tsujita, Y., Y. Hirayama, A. Sakoda, A. Suzuki, A. Ebihara, N. Morita, R. Imaichi. | Arbuscular mycorrhizal colonization in field-collected terrestrial cordate gametophytes of pre-polyopod leptosporangiate ferns (Osmundaceae, Gleicheniaceae, Plagiogyriaceae, Cyatheaceae). | Mycorrhiza,26,87–97 |
| Yoichi Ishiwata, Eiko Takahashi, Kenta Akashi, Masaki Imamura, Junpei Azuma, Kazutoshi Takahashi, Masao Kamada, Hirofumi Ishii, Yen-Fa Liao, Yasuhisa Tezuka, Yuji Inagaki, Tatsuya Kawae, Daisuke Nishio-Hamane, Masashi Nantoh, Koji Ishibashi, and Tetsuya Kida | Impurity-Induced First-order Phase Transitions in Highly Crystalline V2O3 Nanocrystals | Advanced Materials Interfaces 2 (2015) 1500132 |
| Satoshi Suehiro, Keisuke Horita, Masayoshi Yuasa, Tooru Tanaka, Katsuhiko Fujita, Yoichi Ishiwata, Kengo Shimano, and Tetsuya Kida | Synthesis of Copper-Antimony-Sulfide Nanocrystals for Solution-Processed Solar Cells | Inorganic Chemistry, 54 (2015) 7840 |
| Tetsuya Kida, Keisuke Horita, Satoshi Suehiro, Masayoshi Yuasa, Armando T. Quitain, Tooru Tanaka, Katsuhiko Fujita, Yoichi Ishiwata, and Kengo Shimano | Influence of Processing Conditions on the Performance of Cu ₂ ZnSnS ₄ Nanocrystal Solar Cells | ChemistrySelect, 1 (2016) 86–92 |

総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文

| 著者名 | 題目 | 雑誌名 |
|--|--|--|
| T. Umecky, M. Abe, T. Takamuku, T. Makino, M. Kanakubo | Densities, Viscosities, and Electrical Conductivities of 1-Ethyl-3-methylimidazolium Ionic Liquids with 2,4-Pentandionate and 1,1,1-Trifluoro-2,4-pentandionate Anions | Proceedings of 7th Molecular Thermodynamics and Molecular Simulation |
| Katsutoshi Inoue, Manju Gurung, Ying Xiong, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Shafiq Alam | Hydrometallurgical recovery of precious metals and removal of hazardous metals using persimmon tannin and persimmon wastes | Metals,5,1921-1926 |
| Ohshima K. | Spatial and temporal evolution of potyviruses | 12th PSJ Plant Virus Disease Workshop,12,17-22 |
| 森貞 真太郎 | 機能性高分子を利用した液相吸着剤の開発 | Adsorption News,29,3 |
| 東元健、副島英伸 | Beckwith-Wiedemann 症候群(BWS) | 臨床画像. 31(10増刊号):189-191 |
| 東元健、副島英伸 | Beckwith-Wiedemann syndrome | 日本臨床 家族性腫瘍学-家族性腫瘍の最新研究動向-. 73(増刊号 6):59-63 |
| 有馬和彦, 出原賢治 | IL-4 と IL-3 | 分子消化器病 12 3: 79-83 |
| 有馬和彦, 出原賢治 | ペリオスチン | 分子消化器病 12 1: 87-91 |
| 有馬和彦, 白石裕士, 出原賢治 | ペリオスチンによるアレルギー性炎症の増幅 | Cytometry Research 25 1: 13-18 |
| 出原賢治 | 気管支喘息におけるペリオスチンに関する最新知見 -基礎的立場から- | JMS. 227 35 |
| 出原賢治 | 組織炎症学のススメ | アレルギー免疫 22 4: 485 |
| 出原賢治 | ペリオスチン | アレルギー. 64 10: 1350-1351 |
| 布村聡 | 接触性皮膚炎におけるFc 受容体γ鎖の役割 | 化学と生物 53 10: 657-658 |
| 布村聡, 嶋田新, 羅智靖, 佐々木えりか, 亀谷美恵 | 免疫研究の霊長類モデルとしてのコモンマーモセット | 臨床免疫・アレルギー科 63 1: 78-83 |
| 〇太田昭一郎, 出原賢治 | 気管支喘息とペリオスチン | 分子呼吸器病 19 1: 20-23 |
| 〇太田昭一郎, 出原賢治 | ペリオスチン: 特発性肺線維症の新規診断薬 | 臨床化学 44: 30-36 |
| 〇太田昭一郎, 出原賢治 | 重症喘息患者治療におけるバイオマーカー(ペリオスチン) | Respiratory Trends 5:12-15 |
| 小川雅弘, 出原賢治 | 慢性アレルギー性疾患におけるペリオスチンの役割 | 呼吸と循環 63 10: 939-943 |
| *岡山吉道, 布村聡, 羅智靖 | ヒトマスト細胞における高親和性IgE 受容体β鎖の役割 | 化学と生物 53 4: 222-227 |
| *下川敏文, 布村聡, 藤澤大輔, 羅智靖 | IgA レセプター発現と顆粒球分化の転写調節機構 | 臨床免疫・アレルギー科 63 6: 577-584 |
| Yoshida, H. Hunter, C. A. | The immunobiology of interleukin-27 | Annu Rev Immunol. 33 417-43 |
| Teramoto N, Yotsu-Yamashita M | Selective blocking effects of 4,9-anhydrotetrodotoxin, purified from a crude mixture of tetrodotoxin analogues, on NaV1.6 channels and its chemical aspects. | Marine Drugs 13: 984-995 |
| 相島 慎一 | 過誤腫(胆管腺腫) | 病理診断クイックリファレンス p114 |
| 相島 慎一 | 限局性結節性過形成 | 病理診断クイックリファレンス p115 |
| 相島 慎一 | 原発性胆汁性肝硬変 | 病理診断クイックリファレンス p116 |
| 相島 慎一 | ヘモクロマトーシス | 病理診断クイックリファレンス p119 |
| 相島 慎一 | 胆管癌と肝/胆道ステム細胞 | 肝胆臓 特集コランギオパチー71 巻 5号 p911-918 |
| 相島 慎一 | 肝内胆管癌における腫瘍血管の多様性 | 肝臓 第56巻8号 p406-413 |
| 甲斐 敬太 | 【病理診断クイックリファレンス】(第7章)肝 C型肝炎 | 病理と臨床 33巻臨増 Page 118 |
| 甲斐 敬太 | 【病理診断クイックリファレンス】(第7章)肝 NASH | 病理と臨床 33巻臨増 Page 117 |
| 甲斐 敬太 | 病理診断クイックリファレンス】(第7章)肝 高分化型肝細胞癌 | 病理と臨床 33巻臨増 Page 113 |
| 松本明子 | 血清肝逸脱酵素値における 飲酒とALDH2 遺伝子多型の交互作用 | 細胞, 47, 14, 37-38 |
| 末松 梨絵, 多田芳史 | 成人スチル病における生物学的製剤治療 | 九州リウマチ 35:7-10 |
| 多田 芳史 | 成人 Still 病 | 日本内科学会雑誌 104: 2143-2148 |
| 多田 芳史 | マクロファージ活性化症候群 | リウマチ科 54: 238-242 |
| 江里口誠, 薬師寺祐介, 原英夫 | 脳血栓(ラクナ、アテローム)治療 | 脳の看護実践 |
| 安藤寿彦, 木村晋也 | 高齢者の急性白血球の特徴とマネジメント | 血液内科, 71(4): 437-442 |
| 荒金尚子 | 血漿 DNA を用いた肺がん遺伝子診断 | Annual Review 呼吸器 2015, 155-161 |
| 荒金尚子 | 血漿 DNA を用いた EGFR-TKI 獲得耐性モニタリング | 日本胸部臨床 74 (6), 659-667 |
| 荒金尚子, 小林直美, 中島千穂, 田代宏樹, 貞松宏典 | 呼吸器抄読会 | 呼吸 34, 629 |
| *Ishizawa J, Kojima K, Hail N Jr, Tabe Y, Andreoff M | Expression, function, and targeting of the nuclear exporter chromosome region maintenance 1 (CRM1) protein. | Pharmacol Ther. 153:25-35 |
| 木村晋也 | 血液がん(慢性骨髄性白血病を中心に) | 癌の臨床, 60(6):579-586 |
| 木村晋也 | 慢性骨髄性白血病 (CML) に対する ABL チロシキナーゼ阻害剤の耐性メカニズム | 医学の歩み, 252(7):777-781 |
| 木村晋也, 荒金尚子 | V 慢性骨髄性白血病 (CML) 2. BCR-ABL の点突然変異の解析方法は? | 白血病 Q&A(松村到編集), 中外医学社. P196-199 |

| | | |
|---|--|--|
| 小宮一利、荒金尚子 | 非小細胞肺がんの化学療法 | 臨床と研究、92 巻 7 号、861-865 |
| 久保田 寧、横尾 眞子、木村 晋也 | 慢性骨髄性白血病治療の進歩とその成果 | 分子生物学的治療効果判定と第二世代(新規)TKI の選択 Medical Practice 32(2):299-303 |
| 西岡敦二郎、木村晋也 | T3151 に対する治療 | 慢性骨髄性白血病(CML)の基礎と臨床 医薬ジャーナル社 P115-124 |
| 進藤岳郎、木村晋也 | 多発性骨髄腫における免疫異常 | 日本臨床、73(1): 52-61 |
| 末岡榮三郎、木村晋也 | 輸血後鉄過剰症の現状と今後の展開 | 血液・腫瘍内科、70(3):343-348 |
| *伊藤学、中山功一、野出孝一、森田茂樹 | バイオ 3D プリンターで立体造形した Scaffold Free の血管組織構築 | 最新医学、70(8):1655-1662 |
| 琴岡憲彦、野出孝一 | 慢性冠動脈疾患—冠動脈プラークの把握における PTX3 の測定意義— | Heart View、9(12):37-38 |
| 野出孝一、小松愛子 | 医窓通信 | 新医療、33:96-97 |
| 野出孝一、尾山純一、勝谷友宏、坂田泰彦、今井潤 | 体内時計と循環器病の連関の解明 | 先進医療研究振興財団 2014 年度研究成果報告集、182-183 |
| 内田匡彦、藤本一真 | 大腸癌の疫学:大腸癌の危険因子 | 日本臨床 73: (suppl 4): 55-58 |
| 岩切 龍一、藤本 一真 | 「抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン」の要点 | 日本臨床 73: (suppl 4):593-597 |
| 岩切 龍一、藤本 一真 | 画像ファイリングシステムの特徴 :富士フィルムメディカル: NEXUS® | 消化器内視鏡 27:1768-1774 |
| 坂田 資尚、岩切 龍一 | 消化器内視鏡による検査や治療時の抗凝固薬管理 | Cardio-Coagulation 2:189-194 |
| 坂田 資尚、鶴岡 ななえ、岩切 龍一 | PPI 抵抗性 GERD への対応・工夫 | 消化器の臨床 18:253-257 |
| 山内康平、下田 良、藤本一真 | 超高齢者内視鏡検査の前に—安全確保対策(safety management) | Intestine 19: 35-38 |
| 溝口義人、鍋田紘美、今村 義臣、原口祥典、門司 晃 | 免疫系と精神疾患:BDNF と細胞内 Ca2+シグナリングの関与 | 日本生物学的精神医学会誌 Vol.26.No.1.38-45 |
| 溝口義人、門司 晃 | うつ病とマイクログリア | Clinical Neuroscience33(12)1412-1414 |
| *Ishikura K, Matsumoto S, Sako M, Tsuruga K, Nakanishi K, Kamei K, Saito H, Fujinaga S, Hamasaki Y, Chikamoto H, Ohtsuka Y, Komatsu Y, Ohta T, Nagai T, Kaito H, Kondo S, Ikezumi Y, Tanaka S, Kaku Y, Iijima K | Japanese Society for Pediatric Nephrology; Japanese Society for Pediatric Nephrology. Clinical practice guideline for pediatric idiopathic nephrotic syndrome 2013: medical therapy. | Clin Exp Nephrol 19(1):6-33. doi: 10.1007/s10157-014-1030-x. |
| *Kaku Y, Ohtsuka Y, Komatsu Y, Ohta T, Nagai T, Kaito H, Kondo S, Ikezumi Y, Tanaka S, Matsumoto S, Sako M, Tsuruga K, Nakanishi K, Kamei K, Saito H, Fujinaga S, Hamasaki Y, Chikamoto H, Ishikura K, Iijima K | Japanese Society for Pediatric Nephrology. Clinical practice guideline for pediatric idiopathic nephrotic syndrome 2013: general therapy. | Clin Exp Nephrol 19(1):34-53. doi: 10.1007/s10157-014-1031-9. |
| 田代克弥 | 子供たちを守るための予防注射について:最新の動向を踏まえて | 佐賀母性衛生学会雑誌 18(1):11-15 |
| 三宅修輔、能城浩和 | 13.集中治療 C)播種性血管内凝固と多臓器不全 | 外科 11 月増刊号 77 12:1471-1475 |
| 能城浩和、與田幸恵、平木将紹、河野博 | 胸部食道癌に対する内視鏡外科手術における自動吻合器を用いた後縦隔経路・頸部食道胃管三角吻合術 | 消化器外科 38 7:1017-1024 |
| 上田純二、平木将紹、井手貴雄、田中雅夫、能城浩和 | 慢性肺炎に対する開腹 Partington 手術 | 手術 69 9:1307-1310 |
| 森田茂樹 | 外科医待遇の施設間格差は大きい 待遇改善に向けた施設の取り組み | Medical Tribune、10 |
| 森田茂樹 | 手術時期決定に関する統計学的エビデンス | The Mainichi Medical Journal、131 |
| 森田茂樹 | 大病院における個人へのインセンティブ支給の実際 | 日本外科学会雑誌、2-5 |
| 河島 雅到 | 脳内出血・くも膜下出血～塩酸ファスジル投与は止血が完成してから!投与後は頭蓋内出血に注意!～. | 脳の看護実践、10.11 月号:19-23 |
| 増岡 淳 | 下垂体腫瘍の周術期～薬剤の水とナトリウムに及ぼす作用を理解し、体液のバランスをコントロールする～. | 脳の看護実践、10.11 月号:39-44 |
| 緒方 敦之 | 脳血管内治療(血栓回収術、コイル、ステント)～脳血管内治療前の抗血小板剤服用は“中止したらダメ!”～. | 脳の看護実践、10.11 月号:24-30 |
| 相原聡美 | 連載 がん薬物療法専門医講座 がん薬物療法専門医のための模擬テスト 67. | 腫瘍内科 16(5):492. |
| 相原聡美 | 連載 がん薬物療法専門医講座 がん薬物療法専門医のための模擬テスト 67 —解答と解説—. | 腫瘍内科 16(6):613-614. |
| 光 貴子、相原聡美、横山正俊 | 特集 家族性腫瘍・感染による腫瘍に対する取り組み パピローマウイルスによる子宮頸がんの予防と治療. | 腫瘍内科 第 16 巻第 3 号 P267-270. |
| 島津倫太郎、富倉勇一郎 | 耳鼻咽喉科の疾患・症候別薬物療法 逆流性食道炎 | JOHNSI(9)1340-1342 |
| 平川奈緒美 | 頭痛に関する一般的事項 頭痛診療における三叉神経痛. | ペインクリニック、36: S51-S60 |
| 小杉寿文 | がん性痛に対する脊髄鎮痛法(硬膜外鎮痛・くも膜下鎮痛) | ペインクリニック、36(4): 461-470 |
| 小杉寿文 | トラマドール(トラマール®・トラムセット®)が有用な場合はどういときか? | プロフェッショナル がんナーシング、5(5): 45-46 |
| 小杉寿文、佐藤英俊 | 麻酔科医だからできる緩和医療:脊髄くも膜下鎮痛法 | 日本臨床麻酔学会誌、35(5): 673-678 |
| 坂口嘉郎 | 術前合併症のコントロールにおける諸問題膠原病と内分泌疾患. | 麻酔、64(9): 922-927 |
| 坂口嘉郎 | 麻酔科医から見た周術期感染対策 | 感染防止、25(6): 6-11 |
| 坂口嘉郎 | エポック血液ガス分析装置 | 循環制御、36(3): 224-228 |

| | | |
|---|---|---|
| 坂口嘉郎 | 炭酸ガスモニターの解釈を極める | 日本臨床麻酔学会誌. 35(1): 130-137 |
| 坂口嘉郎 | 「デクスメトジンの手術麻酔への応用」によせて | 日本臨床麻酔学会誌. 35(1): 73 |
| Olzuhara K, Matsumoto H, Ohta S, Ono J, Arima K, Ogawa M | Recent developments regarding periostin in bronchial asthma | Allergol. Int. 64: S3-S10 |
| 太田昭一郎, 出原賢治 | 気管支喘息とペリオスチン | 分子呼吸器病 19(1): 20-23 |
| 太田昭一郎, 出原賢治 | 重症喘息患者治療におけるバイオマーカー(ペリオスチン) | Respiratory Trends 5: 12-15 |
| 太田昭一郎, 出原賢治 | 呼吸器疾患マーカーとしてのペリオスチン | Medical Technology 43(5): 688-690 |
| * 中村葉々子, 井澤修平, 山田クリス孝介 | ストレス・マネジメント行動の阻害要因 | 日本行動医学会誌 Vol. 21, No.2 p69-75 |
| 青木洋介 | 高齢者・医療関連肺炎のマネジメント:理論と実践 | http://medical.radionikkei.jp/kansenshotoday_pdf/kansenshotoday-150624.pdf |
| 青木洋介 | 呼吸器感染症における抗菌薬療法の適正化 | 呼吸器内科 28(1): 52-57 |
| 青木洋介 | 感染症・化学療法の領域における医師の思考と正診率 | 化学療法の領域, 31: 1789. |
| 青木洋介 | 熱帯でもインフルエンザが流行するのはなぜですか | インフルエンザ 16, 181 |
| 青木洋介 | 医師がやること・心得 | Infection Control 創刊号 50-55 |
| 青木洋介 | ICUにおける抗菌薬処方への心構え | レジデント 8, 6-8 |
| 青木洋介 | 55歳女性:発熱, 悪心嘔吐, めまい | Clinica magazine, No.553,35/68-69 |
| 濱田洋平, 青木洋介 | 〔重症・劇症型感染症の診断と治療〕② ビブリオ・ブルニフィカス感染症 | 感染症, 45, 3 27-30, 34-37 |
| 濱田洋平, 青木洋介 | 感染制御に注意を要する病原体 ダニ -日本紅斑熱、ツツガムシ病、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)などを含めて | 救急医学, 39, 10, 1412-1416 |
| 河野 史 | 脳室周囲器官(CVOs) | 分子精神医学, 15, 114-117 |
| 大田明英, 柿原奈保子 | 成人 Still 病 | 別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ 免疫症候群(第2版) |
| * Fan J, Kitajima S, Watanabe T, Xuc J, Zhang J, Liu E, Chen YE | Rabbit models for the study of human atherosclerosis: From pathophysiological mechanisms to translational medicine. | Pharmacology & Therapeutics 146: 104-119 |
| ○園畑素樹, 井手衆哉, 森本忠嗣, 馬渡正明 | 【運動器慢性疼痛管理ストラテジー】膝、股関節の診断と治療(含隣接関節障害) | Monthly book Orthopaedics 28:10-18 |
| 田中敦史, 野出孝一 | 患者特異的 iPS 細胞を用いた肥大型心筋症の基礎的病態解明 | 循環器専門医.23(2):273-281 |
| 田中敦史, 野出孝一 | ミトコンドリアプロトフォアの徐放製剤はラットの2型糖尿病および脂肪性肝炎の病態を改善する | 尿酸と血糖.1(3):142-145 |
| 田中敦史, 野出孝一 | キサランチンオキシダーゼ(XO)阻害薬の心血管作用 | 尿酸と血糖.1(3):128-132 |
| 田中敦史, 野出孝一 | 左室駆出率が保たれた心不全(HFPEF) | 循環器内科.77(1):87-94 |
| 錦戸利幸, 野出孝一 | インクレチン関連薬とRAS | Angiotensin Research.12(3):149-153 |
| 田中敦史, 野出孝一 | 循環器疾患肥大型心筋症(HCM) | 遺伝子医学 MOOK.27:104-110 |
| 錦戸利幸, 野出孝一 | Bedside Teaching SGLT2 阻害薬と心血管疾患 | 呼吸と循環. 63(6):577-581 |
| 田中敦史, 野出孝一 | Controlled-release mitochondrial protonophore reverses diabetes and steatohepatitis in rats. | 尿酸と血糖. 1(3):46-49 |

| 一般講演・招待講演・特別講演(学会シンポジウム等での講演を含む) | | |
|--|--|---|
| 発表者 | 題目 | 会議等名 |
| 杉原千耶・柳川勝紀・狩野彰宏・高島千鶴・奥村知世・Agung Harijoko | トラバーチンみられる微生物分帯:スマトラ島北部の例 | |
| 高島千鶴 | 鉄質温泉堆積物に見られる織状組織の生成プロセス | |
| 都築奈美・高島千鶴 | 鹿児島県塩湯温泉に見られる堆積物の特徴 | |
| 都築奈美・高島千鶴 | 鹿児島県塩湯温泉に発達する温泉堆積物 | |
| 川頭祐太郎、保家宇宙、梅木辰也、小堤和彦、高椋利幸 | イミダゾリウム系イオン液体中における遷移金属イオンと分子性液体との錯形成 | 第 52 回化学関連支部合同九州大会 |
| 藤貴弘、波戸本洋平、戸根川順子、堤陽一、梅木辰也、高椋利幸 | 脂肪族アルコール-水およびフッ化アルコール-水混合溶液中のロイシン分子の溶媒和構造 | 第 52 回化学関連支部合同九州大会 |
| 川頭祐太郎、保家宇宙、梅木辰也、小堤和彦、高椋利幸 | イミダゾリウム系イオン液体中における遷移金属イオンと分子性液体との錯形成 | 第 33 回九州分析化学若手の会夏季セミナー |
| 藤貴弘、波戸本洋平、利根川順子、堤陽一、梅木辰也、高椋利幸 | 脂肪族アルコール-水およびフッ化アルコール-水混合溶液中のロイシン分子の溶媒和構造 | 第 33 回九州分析化学若手の会夏季セミナー |
| 梅木辰也、田中翔梧、亀崎義規、高椋利幸、牧野貴至、金久保光央 | DBU-アルコール-CO ₂ 系の溶液構造に及ぼすアルキル基の構造効果 | 日本分析化学会第 64 年会 |
| 梅木辰也、高椋利幸、牧野貴至、金久保光央 | 超強塩基 DBU と低級アルコールからなる溶液の CO ₂ 吸収・放散特性 | 第 38 回溶液化学シンポジウム プレシンポジウム |
| 川頭祐太郎、保家宇宙、山田泰教、梅木辰也、小堤和彦、高椋利幸 | イミダゾリウム系イオンと分子性液体混合溶液中における Co ₂ +および Ni ₂ +の錯形成平衡 | 第 38 回溶液化学シンポジウム |
| 高椋利幸、糸山ゆう、梅木辰也、柿沼翔平、城田秀明 | イミダゾリウム系イオン液体とベンゼンの混合に対する陰イオンの効果 | 第 38 回溶液化学シンポジウム |
| 渡辺日香里、梅木辰也、土井寛之、齊藤蒼思、高椋利幸、亀田恭男、梅林泰宏 | 中性子回折実験と MD シミュレーションによるイミダゾール-酢酸等量混合液体の液体構造とダイナミクス | 第 38 回溶液化学シンポジウム |
| 梅木辰也 | 環境低負荷型技術の高度化を指向した溶液中の分子間相互作用に関する研究 | 第 38 回溶液化学シンポジウム |
| 牧野貴至、梅木辰也、金久保光央 | カルボン酸系イオン液体の CO ₂ 吸収機構 | 第 6 回イオン液体討論会 |
| 渡辺日香里、梅木辰也、松上優、土井寛之、齊藤蒼思、神崎亮、高椋利幸、亀田恭男、梅林泰宏 | 擬プロトン性イオン液体イミダゾール-酢酸等量混合物の液体構造と超 Arrhenius プロトン伝導 | 第 6 回イオン液体討論会 |
| 渡辺日香里、梅木辰也、土井寛之、齊藤蒼思、高椋利幸、亀田恭男、梅林泰宏 | 擬プロトン性イオン液体イミダゾール-酢酸混合物の液体構造とダイナミクス | 第 29 回分子シミュレーション討論会 |
| 梅木辰也 | 超強塩基 DBU-低級アルコール-CO ₂ 混合系の溶液構造 | 電気化学会第 83 回大会 |
| T. Umecky, M. Abe, T. Takamuku, T. Makino, M. Kanakubo | Densities, Viscosities, and Electrical Conductivities of 1-Ethyl-3-methylimidazolium Ionic Liquids with 2,4-Pentandionate and 1,1,1-Trifluoro-2,4-pentandionate Anions | 7th Molecular Thermodynamics and Molecular Simulation |
| T. Takamuku, Y. Kawazu, H. Hoke, Y. Yamada, T. Umecky, K. Ozutsumi | Complex Formation of Transition Metal Ions in Imidazolium-based Ionic Liquid-Molecular Liquid Binary Solvents | EMLG/JMLG Annual Meeting 2015 "Molecular Liquids Meet Ionic Liquids: From Fundamentals to Applications" |
| H. Doi, H. Watanabe, T. Sonleitner, A. Nazet, S. Saito, K. Fujii, T. Umecky, T. Takamuku, Y. Kameda, R. Buchner, Y. Umebayashi | High Energy X-ray Scattering Studies on Liquid Structure of Pseudo-Protic Ionic Liquid N-Methylimidazole and Acetic Acid Equimolar Mixture with the Aids of MD Simulations | EMLG/JMLG Annual Meeting 2015 "Molecular Liquids Meet Ionic Liquids: From Fundamentals to Applications" |
| Y. Umebayashi, H. Watanabe, T. Umecky, H. Doi, S. Saito, K. Fujii, T. Takamuku, Y. Kameda | Possibility of Super Arrhenius Proton Conduction in Pseudo-Protic Ionic Liquids: Imidazole and Acetic Acid Equimolar Mixture | EMLG/JMLG Annual Meeting 2015 "Molecular Liquids Meet Ionic Liquids: From Fundamentals to Applications" |
| 井手 翼、碓 絃一郎、大津 康徳、田原 竜夫、本村大成 | 薄膜材料ターゲット均一利用のための十字磁化プラズマスパッタ装置の開発 | 第 23 回電子情報通信学会九州支部学生会講演会 |
| 高田祐輔、大津康徳、高崎雅也 | RF マグネトロンスパッタによるポリカーボネートへのフッ素樹脂薄膜合成 | 第 23 回電子情報通信学会九州支部学生会講演会 |
| 住山貴史、大津康徳、山口真依 | リング状磁化放電スパッタによる AZO 薄膜合成 | 第 23 回電子情報通信学会九州支部学生会講演会 |
| 井手 翼、碓 絃一郎、大津 康徳、田原 竜夫、本村大成 | 角形磁石を用いた十字磁化プラズマの開発と銅ターゲット均一利用 | プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部 第 19 回支部大会 |
| 住山貴史、山口真依、大津康徳 | リングホール電極を用いた RF マグネトロンスパッタリングによる AZO 薄膜合成 | プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部 第 19 回支部大会 |
| 高田祐輔、高崎雅也、大津康徳 | RF マグネトロンスパッタによるポリカーボネートへの PVDF 薄膜合成 | プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部 第 19 回支部大会 |
| 井手 翼、碓 絃一郎、大津康徳、田原竜夫、本村大成 | 角形磁石による十字磁化プラズマの開発と銅ターゲット均一利用 | 第 18 回連携大学院産学官交流セミナー |
| Yasunori Ohtsu | Production of plasma sources by capacitively coupled discharge plasma(CCP) for functional thin film preparation | Special lecture on Plasma Physics and Technology, West Virginia University, USA |
| Yasunori Ohtsu, Naoki Matsumoto, Yuto Morita, Julian Schulze, Edmund Schuengel | Characteristics of Ring-Shaped Hollow Cathode Plasma with a Narrow Trench for High-density Capacitive Plasma Sources | The 10th Asian-European International Conference on Plasma Surface Engineering, Korea, P2-17 |

| | | |
|--|--|--|
| Yasunori Ohtsu, Shohei Tsuruta, Tatsuo Tabaru and Morito Akiyama | Plasma characteristics and target erosion profile of racetrack-shaped RF magnetron plasma with weak rubber magnets for full circular target utilization | The 10th Asian-European International Conference on Plasma Surface Engineering, Korea, P2-18 |
| Yasunori Ohtsu, Naoki Matsumoto, Yuto Morita, Schulze Julian, Schuengel Edmund | Spatial structures of ring-shaped hollow cathode RF plasma with a single narrow trench for high-density plasma sources | The 76th JSAP Autumn meeting, 2015, Nagoya |
| 大津 康徳、住山 貴史、山口 真依、田原 竜夫、本村 大成 | 円筒型ターゲットを用いた高周波磁化プラズマパッチによるAZO薄膜の低温合成 | 第63回応用物理学会春季学術講演会、19p-P6-2、東工大、201603 |
| M. A. Hossain, K. Ikari, T. Ide, Y. Ohtsu | Development of High-Density RF Magnetized Sputtering Plasma Source with Square-Shaped Arrangement of Magnets for Uniform Target Utilization | 2016年第63回応用物理学会春季学術講演会、19p-P8-1、東工大、201603 |
| 川喜田英孝、森貞真太郎、大渡啓介、山本英樹 | コロイド粒子導入膜による大豆タンパク質懸濁液のろ過および吸着 | 分離技術会年会 2015, 明治大学生田キャンパス |
| 川喜田英孝、森貞真太郎、大渡啓介 | イオン交換膜と溶媒抽出を利用したゲルマニウムの回収 | 分離技術会年会 2015, 明治大学生田キャンパス |
| Hidetaka Kawakita | Modification of membrane and bead surface with dextran produced by enzymatic reaction | 5th International Colloids Conference, Amsterdam |
| | 吸着分離のための材料と物質移動 | シンポジウム 化学工学の過去から未来を考える(第1回)、早稲田大学 |
| Hiromune Sakamoto, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita, Wenwen Zhao, Hideyuki Noguchi | Distributed adsorption of tyramine to graphite oxide | 3rd International Symposium on Host Compounds for separation and Functionality in Saga |
| 川喜田英孝 | ながれと膜 | 佐賀大学オープンキャンパス |
| 川喜田英孝、森貞真太郎、大渡啓介、山本英樹 | コロイド導入多孔性膜を用いた大豆タンパク質のろ過分離 | |
| 川喜田英孝、宮川洋一、森貞真太郎、大渡啓介 | デキストラン溶液を透過した螺旋状チューブによるコロイド粒子の分離 | 化学工学会第47回秋季大会、北海道大学 |
| 川喜田英孝、宮川洋一、森貞真太郎、大渡啓介 | デキストラン溶液を流した螺旋状チューブによるデンプン粒のサイズ分離 | 第64回日本応用糖質科学会、奈良 |
| Hidetaka Kawakita | Filtration of starch granules with assembled magnetite | |
| 川喜田英孝、森貞真太郎、大渡啓介、山本英樹 | コロイド粒子を導入した多孔性膜による食品タンパク質のろ過・吸着特性 | 濾過分離シンポジウム、Times24、東京 |
| 川喜田英孝、岩崎渉、寺崎正 | 管内に充填したゲル粒子による糖の吸着 | 第18回連携大学院産学官交流セミナー、産総研九州センター |
| Tokuda, M., Konishi, R., Ueno, D., Tanaka, S., Kawaura, K. and Ogihara, Y. | Varietal differences in feeding inhibitory effects of barley against the migratory locust <i>Locusta migratoria</i> (Orthoptera: Acrididae) and investigation of feeding deterrents contained in barley leaves | XVIII IPPC, Berlin, Germany |
| Adachi, S., D., Honma, T., B., Yasaka, R., D., Ohshima, K. and Tokuda, M. | Reproductive performance of two vector aphids of Turnip mosaic virus on the infected and non-infected plants | XVIII IPPC, Berlin, Germany |
| 藤井智久・松尾和典・阿部芳久・徳田 誠・上地奈美・金 旺奎・湯川淳一 | タブスフシタマバエ(ハエ目:タマバエ科)に寄生する <i>Simplicibracon curticaudis</i> (ハチ目:コムバチ科)の寄生戦略の解明 | 日本昆虫学会第75回大会 |
| 望岡佑佳里・大橋英純・小西令子・徳田 誠 | ムラサキツバメの産卵場所選択と適応的意義 | 日本昆虫学会第75回大会 |
| 白濱祥平・山尾 僚・徳田 誠 | オオイヌタデの無毛・有毛型におけるタデキボンソノガの産卵嗜好性 | 日本昆虫学会第75回大会 |
| 小西令子・石丸幹二・上野大介・田中誠二・川浦香奈子・徳田 誠 | オオムギ品種におけるグラミン含有量とトノサマバッタ摂食阻害活性の比較 | 日本昆虫学会第75回大会 |
| 那須翔太・今坂正一・鈴木邦雄・徳田 誠 | イチゴハムシにおける分散能力と繁殖能力のトレードオフ | 日本昆虫学会第75回大会 |
| 岡本宇宙・宮内博至・白濱祥平・那須翔太・徳田 誠 | イチゴハムシによる特定外来生物オオフサモの摂食およびオオフサモ上での発育増殖特性 | 日本昆虫学会第75回大会 |
| Elsayed, A. K., Ogata, K., Kaburagi, K., Yukawa, J. and Tokuda, M. | Taxonomic status of a gall midge (Diptera: Cecidomyiidae) associated with <i>Symplocos cochinchinensis</i> (Symplocaceae) | 日本昆虫学会第75回大会 |
| 金 旺奎・徳田 誠・湯川淳一 | タマバエ相から見た朝鮮半島と九州の間の飛び石島としての対馬の役割 | 日本昆虫学会第75回大会 |
| 徳田 誠 | 伊豆諸島におけるゴール形成タマバエ類の顕著な密度変動とその要因 | 日本昆虫学会第75回大会 |
| 本間智己・安達修平・八坂亮祐・大島一里・徳田 誠 | TuMV発生圃場およびその周辺におけるアブラナ科植物寄生性アブラムシの季節消長 | 第90回九州病害虫研究発表会 |
| 藤井智久・松尾和典・阿部芳久・湯川淳一・徳田 誠 | マサキタマバエ(ハエ目:タマバエ科)を寄主とする <i>Platygaster</i> sp. (ハチ目:ハラビロクロバチ科)の寄主操作により生じた寄生蜂の種間関係の変化 | 第90回九州病害虫研究発表会 |
| 吉田一貴・真田幸代・徳田 誠 | ヒメトビウカの生殖を操作する2種の内部共生細菌が宿主の発育と増殖に及ぼす影響 | 第90回九州病害虫研究発表会 |
| 安達修平・城所 隆・徳田 誠 | 東北地方と九州におけるセイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシの発生消長 | 日本昆虫学会九州支部第63回大会 |
| 原本すみれ・徳田 誠 | アリ散布型および重力散布型スゲ属植物における種子発芽特性 | 日本昆虫学会九州支部第63回大会 |
| 岡本宇宙・白濱祥平・徳田 誠 | イチゴハムシの特定外来生物オオフサモ上での大発生とミズキンバイの摂食 | 日本昆虫学会九州支部第63回大会 |

| | | |
|---|---|--|
| 甲斐進也・神代 瞬・鈴木義人・徳田 誠 | ヒゲトガリキジラミのゴール形成と関連する植物ホルモン | 日本昆虫学会九州支部第 63 回大会 |
| Tokuda, M. | Mechanism and adaptive significance of host manipulation by insects | The 1st Regional Cooperation Workshop on Agricultural Pest Leafminer Invasion Biology among China-Japan-Korea |
| 安達修平・古川直希・遠藤信幸・徳田 誠 | ホソヘリカメムシによる花芽吸汁がツルマメの生育および種子生産に及ぼす影響 | 第 91 回九州病害虫研究発表会 |
| 吉岡裕哉・明石夏澄・木下智章・副島和則・安田雅俊・徳田 誠 | 佐賀県西部におけるヤマメの生息状況 | 第 23 回佐賀自然史研究会研究発表会 |
| 明石夏澄・吉岡裕哉・木下智章・副島和則・安田雅俊・徳田 誠 | 多良山系のヤマメにおける活動の季節性 | 第 23 回佐賀自然史研究会研究発表会 |
| 徳田 誠・吉田一貴・Ayman K. Elsayed・松浦秀明・堀込 充・藍沢 亨 | 日本国内で初めて発生が確認されたブルーベリータマバエ | 日本昆虫学会第 76 回大会・第 60 回日本応用動物昆虫学会大会合同大会 |
| 湯川淳一・キム ワンギュウ・奥那嶺要・喜久村智子・上地奈美・徳田 誠・岩崎暁生・橋本直樹・角野晶大 | 旧北区各地でほぼ同時に発見された新害虫トマトウロコタマバエの続報 | 日本昆虫学会第 76 回大会・第 60 回日本応用動物昆虫学会大会合同大会 |
| 安田慶次・喜友名朝次・玉城雅範・松尾和典・徳田 誠・上地奈美・喜久村智子・湯川淳一 | デイゴヒメコバチ <i>Quadrastichus erythrinae</i> (以下 Qe) の天敵デイゴカタバコバチ <i>Eurytoma erythrinae</i> (以下、Ee) の寄主範囲の検討 | 日本昆虫学会第 76 回大会・第 60 回日本応用動物昆虫学会大会合同大会 |
| 安達修平・本間智己・八坂亮祐・大島一里・徳田 誠 | マアブラムシの有翅虫は、寄生できないはずのダイコンにウイルスを媒介しているか？ | 日本昆虫学会第 76 回大会・第 60 回日本応用動物昆虫学会大会合同大会 |
| 望岡佑佳里・岸田 竜・徳田 誠 | ムラサキツバメ幼虫の発音の意義 | 日本昆虫学会第 76 回大会・第 60 回日本応用動物昆虫学会大会合同大会 |
| Elsayed, A. K., Karam H. H., Abo-Mostafa, A.-B., Gaber, M. and Tokuda, M. | Two new species of <i>Stefaniola</i> (Diptera: Cecidomyiidae) from Egypt | 日本昆虫学会第 76 回大会・第 60 回日本応用動物昆虫学会大会合同大会 |
| 大島一里 | Spatial and temporal evolution of potyviruses. | 第 12 回植物ウイルス病研究会 |
| 八坂亮祐・大島一里 | Temporal and spatial evolution of a plant virus viewed from agriculture development: A case study of Turnip mosaic virus | |
| 八坂亮祐・Maneechoat P.・Chiemsombat P.・竹下稔・大島一里 | タイ王国におけるカブモザイクウイルスの生物学的・遺伝学的性質 | |
| 三苦 真一郎・野見山 玲衣・大島 一里 | 罹病スイセンから得られたカブモザイクウイルス分子系統グループの新種ウイルス様配列 | |
| 日井彩夏・石丸幹二・福田伸二・大島一里・松尾洋介・田中隆 | ノビルのフェノール成分解析と生育地域別の含量調査 | |
| 吉田麻衣・野見山玲衣・富永 薫・三苦真一郎・大島一里 | 日本産 <i>Narcissus degeneration virus</i> の全ゲノム構造の決定と海外産株との比較 | |
| 野見山玲衣・大島一里 | 日本における <i>Narcissus late season yellows virus</i> の発生生態と遺伝集団 | |
| 安達修平・本間智己・八坂亮祐・大島一里・徳田誠 | 野外における TuMV 感染動態調査から見えてきた予期せぬ媒介者の可能性 | |
| 八坂亮祐・Charith Raj Adkar・Purushothama・Seint San Aye・Tin Aye Aye Naing・古屋成人・李世訪・大島一里 | カブモザイクウイルスの南アジアから東アジアへと続く拡散経路とその時期について | |
| 高橋宏幸・中嶋正敏・小川愛海・根津修・八坂亮祐・大島一里・宇垣正志・鈴木匡 | ラッカセイ矮化ウイルス P1 系統は外被タンパク質がジベレリンの減少を介してラッカセイを矮化させる | |
| Takahiro Sumi, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, and Shintaro Morisada | Fabrication of Colloidal Layers through Convective Self-Assembly Using Cationic or Anionic Polyelectrolyte-Grafted Silica Particles | The 6th Saga University-Liaoning University Joint Seminar, P-08, Saga University, Saga, Japan |
| Shunsuke Shuto, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, and Shintaro Morisada | Effect of Bubbles on Pt Nanocube Synthesis by Liquid-Phase Reduction | The 6th Saga University-Liaoning University Joint Seminar, P-07, Saga University, Saga, Japan |
| Shunsuke Shuto, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, and Shintaro Morisada | Preparation of Pt Nanocubes by Liquid-Phase Reduction Using Poly(N-isopropylacrylamide) Nanogels | 2015 Taiwan/Korea/ Japan Joint Meeting on Chemical Engineering, P2-008, Kaohsiung, Taiwan |
| Takahiro Sumi, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, and Shintaro Morisada | Colloidal Layer Fabrication by Convective Self-Assembly Using Polyelectrolyte-Grafted Silica Particles | 2015 Taiwan/Korea/Japan Joint Meeting on Chemical Engineering, P1-033, Kaohsiung, Taiwan |
| Takahiro Sumi, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, and Shintaro Morisada | Effect of Substrate Surface Charge on the Structures of Silica Particle Films Prepared by Convective Self-Assembly | 3rd International Symposium on Host Compounds for Separation and Functionality in Saga, P-14, Saga University, Saga, Saga, Japan |
| Shunsuke Shuto, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, and Shintaro Morisada | Effect of Bubbles on Pt Nanoparticle Shapes Prepared by Liquid-Phase Reduction | 3rd International Symposium on Host Compounds for Separation and Functionality in Saga, P-16, Saga University, Saga, Saga, Japan |
| Shintaro Morisada, Shoko Kojima, Takahiro Sumi, Hidetaka Kawakita, and Keisuke Ohto | Non-Close-Packed 2D Colloidal Array Prepared by Using Polymer-Grafted Silica Particles | The 5th International Colloids Conference 2015, P157, Amsterdam, the Netherlands |
| Shintaro Morisada, Shoko Kojima, Satoshi Muta, Hidetaka Kawakita, and Keisuke Ohto | Preparation of Non-Close-Packed Colloidal Array by Convective Self-Assembly Using Polymer-Grafted Silica Particles | The 15th Conference of the International Association of Colloid and Interface Scientists (IACIS 2015), O-311, Mainz, Germany |
| 首藤俊介, 前田悠介, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森真真太郎 | Pt ナノキューブの液相還元合成における気泡の影響 | 化学工学会第 47 回秋季大会, ZB2P41, 北海道大学 |
| 角 崇弘, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森真真太郎 | 高分子電解質修飾シリカ粒子を用いた移流集積法による単粒子膜の作製 | 化学工学会第 47 回秋季大会, ZB2P21, 北海道大学 |
| 角 崇弘, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森真真太郎 | 高分子電解質修飾シリカ粒子を用いた粒子膜作製における基板電荷の影響 | 第 26 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会, 65, 伊万里グランドホテル |

| | | |
|---|---|---|
| 首藤俊介, 前田悠介, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎 | ゲル微粒子を保護剤としたPtナノ粒子の液相還元合成における気泡の影響 | 第26回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会, 64, 伊万里グランドホテル |
| 角 崇弘, 牟田諭司, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎 | 高分子修飾シリカ粒子を用いた単粒子膜の作製と膜構造に対する基板電荷の影響 | 第52回化学関連支部合同九州大会, CE-1-0021, 北九州国際会議場 |
| 首藤俊介, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎 | ハイドロゲル微粒子を保護剤としたPtナノ粒子合成における気泡の影響 | 第52回化学関連支部合同九州大会, CE-1-0016, 北九州国際会議場 |
| 川島季晋, 兒玉浩明, 長田聰史 | Z体選択的フルオロオレフィン合成のための新規Julia反応剤 | 第52回化学関連支部合同九州大会(2015年6月27日, 北九州国際会議場, 北九州) |
| 矢野孝行, 兒玉浩明, 長田聰史 | S-リポシルホモシステインミミックの合成研究 | 第52回化学関連支部合同九州大会(2015年6月28日, 北九州国際会議場, 北九州) |
| 大迫拓輝, 兒玉浩明, 長田聰史 | Peptide deformylaseによって活性化されるMetAP阻害候補化合物 | 第52回化学関連支部合同九州大会(2015年6月29日, 北九州国際会議場, 北九州) |
| 渡邊裕大, 川節あかね, 長田聰史, 兒玉浩明 | 環状オクタペプチドの鎖鎖構造とイオンチャネル活性 | 第52回化学関連支部合同九州大会(2015年6月30日, 北九州国際会議場, 北九州) |
| 栗原滉季, 片瀬友加里, 古賀裕也, 長田聰史, 兒玉浩明 | 異なるFPRサブタイプに選択性を持つペプチド二量体の鎖鎖依存性 | 第52回化学関連支部合同九州大会(2015年6月31日, 北九州国際会議場, 北九州) |
| H. Osako, J. Taira, Y. Higashimoto, H. Kodama, S. Osada | Peptide deformylase processable triazole-containing formyl peptide mimetics | The 52nd Japanese Peptide Symposium (Nov. 16, 2015, Chuo Community Center, Hiratsuka) |
| 川節あかね, 渡邊裕大, Jelokhani-Niaraki Masoud, 長田聰史, 兒玉浩明 | 折れ曲がり配列を持つAibペプチドの合成とイオンチャネル活性 | 日本化学会 第96春季年会(2016年3月26日, 同志社大学, 京田辺市) |
| K. Arima, K. Kurihara, H. Kodama, S. Osada | Agonistic and Antagonistic properties of triazole-containing non-formyl peptides against formyl peptide receptor | 日本化学会 第96春季年会(2016年3月26日, 同志社大学, 京田辺市) |
| 吉田祥輝, 関 清彦, 光富 勝, 宗 伸明, 上田敏久 | 環状ジペプチド型の α -アミラーゼ阻害剤 | 第52回化学関連支部合同九州大会 |
| 南川朋花, 牟田典恵, 藤島 稜, 上田敏久, 宗 伸明, 鎌田 海 | 無機ナノシートに二種の酵素と磁気ビーズを複合化したハイブリッド体の開発と酵素の繰り返し利用 | 日本分析化学会第64年会 |
| H. Doi, H. Watanabe, T. Sonneleitner, S. Saito, K. Fujii, T. Umecky, T. Takamuku, Y. Kameda, R. Buchner, Y. Umebayashi | Possible Proton Conduction Mechanism in N-Methylimidazole and Acetic Acid Equimolar Mixture; the pseudo-Protonic Ionic Liquid | 34th International Conference on Solution Chemistry, Prague, Czech Republic |
| 藤 貴弘, 波戸本洋平, 戸根川順子, 堤 陽一, 梅木辰也, 高椋利幸 | 脂肪酸アルコール-水およびフッ化アルコール-水混合溶液中のロイシン分子の溶媒和構造 | 第52回化学関連支部合同九州大会, 小倉 |
| 川頭祐太郎, 保家宇宙, 山田泰教, 梅木辰也, 小堤和彦, 高椋利幸 | イミダゾリウム系イオン液体中における遷移金属イオンと分子性液体との錯形成 | 第52回化学関連支部合同九州大会, 小倉 |
| 藤 貴弘, 波戸本洋平, 戸根川順子, 堤 陽一, 梅木辰也, 高椋利幸 | 水溶液中のロイシン分子の溶媒和構造に対するアルコール添加の効果 | 第38回溶液化学シンポジウム, 高知 |
| 川頭祐太郎, 保家宇宙, 山田泰教, 梅木辰也, 小堤和彦, 高椋利幸 | イミダゾリウム系イオン液体と分子性液体混合溶液中におけるCo ²⁺ およびNi ²⁺ の錯形成平衡 | 第38回溶液化学シンポジウム, 高知 |
| 高椋利幸, 糸山ゆう, 梅木辰也, 柿沼翔平, 城田秀明 | イミダゾリウム系イオン液体とベンゼンの混合に対する陰イオンの効果 | 第38回溶液化学シンポジウム, 高知 |
| 渡辺日香里, 梅木辰也, 松上 優, 土井寛之, 齋藤蒼思, 神崎 亮, 高椋利幸, 亀田恭男, 梅林泰宏 | 擬プロトン性イオン液体イミダゾール-酢酸等量混合物の液体構造と超 Arrhenius プロトン伝導 | 第6回イオン液体討論会, 京都 |
| 渡辺日香里, 梅木辰也, 土井寛之, 齋藤蒼思, 高椋利幸, 亀田恭男, 梅林泰宏 | 擬プロトン性イオン液体イミダゾール-酢酸混合物の液体構造とダイナミクス | 第26回分子シミュレーション討論会, 新潟 |
| 高椋利幸 | 量子ビームで観測するイオン液体の物性 | 佐賀大学シンクロトロン光応用研究センター講演会, 鳥栖 |
| Yuki Ogura-Tsujita, Kazuhiro Suzuki, Tomohisa Yukawa | Conservation by in situ seed germination techniques: a case for wild orchids of Japan | 11th International Symposium on Diversity and Conservation of Asian Orchids |
| 北御門雄大, 長谷川裕之 | 相変態領域におけるクロム系硬質膜の表面特性 | 精密工学会 九州支部講演会 |
| Hiroaki Kitamura, Tomomi Kashiwada, Kazutoshi Komiya, Yukihiko Nakayama, Takahiko Nakazono, Yukari Takase, Naoko Aragane, Shinya Kimura | A case with cancer of unknown primary diagnosed pathologically retroperitoneal squamous cell carcinoma. | 73th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association |
| Hirakawa N, Sasaguri T | Evaluation of the analgesic effect of duloxetine for neuropathic pain. | Pain Society of Busan·Ulsan·Kyungnam |
| 佐藤慎太郎, 島津倫太郎, 倉富勇一郎 | 当科における唾液導管癌の検討 | 第28回日本口腔・咽喉科学会総会・学術集会 |
| ○野口 満, 南里麻己, 東武昇平, 大塚泰史, 魚住二郎 | VUR index は果たして自然治癒予測に有用か? | :第24回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会 |
| 溝口達弘, 在津正文 | 佐賀大学病院小児科におけるアナフィラキシーでの受診者の実態について. | :第64回日本アレルギー学会学術集会 |
| 井上將成, 山下佳雄, 下平大治, 檀上 敦, 後藤昌昭 | 広範囲顎骨支持型装置および広範囲顎骨指示型補綴の応用症例について | (公社)日本口腔インプラント学会第32回九州支部学術大会 |
| 中山雪詩, 野林勝司, 檀上 敦, 山下佳雄, 後藤昌昭 | 高齢者におけるデジタルワークフローのインプラント治療の有効性について | (公社)日本口腔インプラント学会第32回九州支部学術大会 |
| 古川 隆, 下川 尚子, 江橋 諒, 高口 素史, 伊藤 寛, 若宮 富浩, 緒方 敦之, 高瀬 幸徳, 中原 由紀子, 増岡 淳, 河島 雅到, 阿部 竜也 | 小児硬膜下血腫の臨床的検討. | (一社)日本脳神経外科学会第74回学術総会. |
| 高瀬 幸徳, 緒方 敦之, 阿部 竜也, 河島 雅到, 増岡 淳, 下川 尚子, 中原 由紀子, 吉岡 史隆, 若宮 富浩, 高口 素史, 古川 隆, 江橋 諒, 平井 徹良, 西原 正志 | 脊髄血管病変診断における多列CTを用いたCT angiographyの有用性の検討. | (一社)日本脳神経外科学会第74回学術総会. |
| 河島 雅到, 吉岡 史隆, 緒方 敦之, 高瀬 幸徳, 中原 由紀子, 下川 尚子, 増岡 淳, 阿部 竜也, 松島 俊夫 | 前交通動脈瘤に対する半球開裂アプローチ:嗅神経を温存するための工夫. | (一社)日本脳神経外科学会第74回学術総会. |
| 高口 素史, 吉岡 史隆, 中原 由紀子, 下川 尚子, 増岡 淳, 河島 雅到, 上村 哲司, 阿部 竜也 | 当院における頭蓋骨縫合早期癒合症の手術とその工夫. | (一社)日本脳神経外科学会第74回学術総会. |

| | | |
|---|---|--|
| 下川 尚子,阿部 竜也,河島 雅到,増岡 淳,中原 由紀子,高瀬 幸徳,緒方 敦之,吉岡 史隆,若宮 富浩,高口 素史,伊藤 寛,江橋 諒,上村 哲司 | 頭蓋縫合早期癒合症の術後 bone remodeling とキアリ I 型奇形についての検討. | (一社) 日本脳神経外科学会第 74 回学術総会. |
| 吉岡 史隆,下川 尚子,高口 素史,古川 隆,伊藤 寛,緒方 敦之,高瀬 幸徳,中原 由紀子,増岡 淳,河島 雅到,阿部 竜也 | 二分脊椎に伴う側弯症患者における Curved Planar Reconstruction 画像の有用性. | (一社) 日本脳神経外科学会第 74 回学術総会. |
| 江橋 諒, 下川 尚子, 吉岡 史隆, 古川 隆, 伊藤 寛, 高口 素史, 若宮 富浩, 緒方 敦之, 中原 由紀子, 高瀬 幸徳, 増岡 淳, 河島 雅到, 阿部 竜也 | 腹腔内偽性嚢胞に対する V-P シヤント改訂術の検討. | (一社) 日本脳神経外科学会第 74 回学術総会. |
| Nakazono T, Yamaguchi K, Egashira R, Takase Y, Mizuguchi M, Irie H | Radiologic Findings of Pleural Tumors and Tumor-like Lesions | 101th Scientific assembly and annual meeting of Radiological Society of North America, Chicago |
| Nakazono T, Yamaguchi K, Egashira R, Takase Y, Mizuguchi M, Irie H | Radiologic Findings of Pleural Tumors and Tumor-like Lesions | 101th Scientific assembly and annual meeting of Radiological Society of North America, Chicago |
| Nakazono T, Yamaguchi K, Egashira R, Mizuguchi M, Takase Y, Irie H | Diffusion Weighted MR Imaging and Apparent Diffusion Coefficient Values of Mediastinal Lesions: Usefulness and Pitfalls in Differential Diagnosis | 101th Scientific assembly and annual meeting of Radiological Society of North America, Chicago |
| Terato H, Kudo K, Mori K, Tokuyama Y, Tanaka H, Saito T | Clustered and isolated oxidative DNA damages induced by atomic reactor neutron radiations. | 15th International Congress of Radiation Research |
| Koami H, Sakamoto Y, Inoue S | The rotational thromboelastometry (ROTEM) is an accurate measure to diagnose trauma induced disseminated intravascular coagulation. | 16th European Congress of Trauma & Emergency Surgery |
| Kazutoshi Komiya, Tomomi Nakamura, Hironori Sadamatsu, Chiho Nakashima, Koichiro Takahashi, Hitomi Umeguchi, Naomi Kobayashi, Akemi Sato, O Yuji Takeda, Shinya Kimura, Naoko Sueoka-Aragane | SPARC, a possible predictive marker to albumin-bound paclitaxel (nab-paclitaxel) in non-small cell lung cancer | 16th World Conference on Lung Cancer |
| Aishima S. | Pathological Aspect of Liver Neoplasia | 18th National Congress and Annual Scientific Meeting, Indonesia IAP |
| Aishima S. | Molecular Update of in Liver Disease | 18th National Congress and Annual Scientific Meeting, Indonesia IAP |
| Yamada K, Fujimitsu S, Harada Y, Watanabe K, Sunaga T, Kobayakawa M, Sakamoto Y, Nishimura T | A co-design project for a nursing information system | 19th Triennial Congress of the International Ergonomics Association (IEA) |
| 松本直樹、大津康徳 | リング状ホロー電極型容量結合プラズマの空間分布に及ぼす溝深さの影響 | 2014 年度(平成 26 年度)応用物理学会九州支部学術講演会、大分大学、2014.12.6, 6Fa-1, p124 |
| 鶴田昇平、大津康徳 | 材料ターゲット高効率利用のためのレーストラック型マグネトロンスパッタ装置の特性 | 2014 年度(平成 26 年度)応用物理学会九州支部学術講演会、大分大学、2014.12.6, 6Fa-3, p126 |
| 松本直樹、大津康徳 | リング状ホロー電極を用いた容量結合型プラズマに及ぼす溝深さの影響 | 2014 年度電子情報通信学会九州支部学生会講演会、C-28、鹿児島大学、2014.9.20 |
| 市川健太郎、上田敏久、宗 伸明 | 分枝状ポリエチレングリコールを修飾した西洋ワサビペルオキシダーゼの酵素活性 | 2014 年度日本農芸化学会西日本支部大会 |
| 山口 彩、古賀裕也、林 良、藤田一郎、長田聰史、兒玉浩明 | ホルミルペプチドアンタゴニスト WRW4 の構造活性相関 | 2014 年日本化学会中国四国支部大会 |
| Itoh M, Mukae Y, Matsubayashi K, Kawakatsu M, Furukawa K, Uchihashi K, Toda S, Oyama J, Node K, Nakayama K, Morita S. | The effectiveness of using a bio-3D printer in the development of a scaffold-free regenerative vascular graft. | 2015 4th TERMIS World Congress |
| O Itoh M, Mukae Y, Matsubayashi K, Kawakatsu M, Furukawa K, Uchihashi K, Toda S, Oyama J, Node K, Nakayama K, Morita S | The effectiveness of using a bio-3D printer in the development of a scaffold-free regenerative vascular graft. | 2015 4th TERMIS World Congress |
| *Noda I, Miyamoto H, Ueno M, Eto S, Tsukamoto M, Kawano S, Sonohata M, Mawatari M | Next Generation type Silver-containing Hydroxyapatite Coating | 2015 Annual meeting Orthopaedic Research Society |
| Oizuhara K, Ohta S, Okamoto M, Sakamoto N, Takahashi K, Yamamoto H, Kushima H, Akasaka K, Fujimoto K, Ono J | A Multicenter Evaluation of a New Periostin Detection Kit for Idiopathic Pulmonary Fibrosis. | 2015 ATS International Conference |
| *Nagasaki T, Matsumoto H, Kanemitsu Y, Izuohara K, Tohda Y, Horiguchi T, Kita H, Tomii K, Fujimura M, Yokoyama A, Nakano Y, Hozawa S, Ito I, Oguma T, Izuohara Y, Tajiri T, Iwata T, Ono J, Ohta S, Yokoyama T, Niimi A, Mishima M, | Using Exhaled Nitric Oxide and Serum Periostin as a Composite Marker to Identify Severe/Steroid-insensitive Asthma. | 2015 ATS International Conference |
| 阪本雄一郎、山田クリス孝介 | 救急医療における ITC 利用 | 2015 年春季大会フォーラム(28.交通事故損害予測と予防・医療) |
| 大津康徳、松本直樹 | リング状ホロー電極型高密度容量結合プラズマの溝深さの影響 | 2015 年第 62 回応用物理学会春季学術講演会、12p-P10-3 |
| 山田 クリス孝介、藤満 幸子、原田 由美子、渡辺 健太郎、須永 剛司、小早川 真衣子、阪本 雄一郎、本村 陽一、西村 拓一 | モノ・コトづくり支援のための現場参加型研究: 佐賀大学医学部附属病院における事例 | 2015 年度 人工知能学会全国大会 |
| ODanjo A, Yamashita Y, Aijima R, Katsuki T, Goto M. | Histological Evaluation of the Bone Healing by Osteotomy with Ultrasonic Osteotomy Devices. | 22nd International Conference on Oral & Maxillofacial Surgery |
| Danjo A, Yamashita Y, Aijima R, Katsuki T, Goto M | Histological Evaluation of the Bone Healing by Osteotomy with Ultrasonic Osteotomy Devices | 22nd International Conference on Oral & Maxillofacial Surgery |

| | | |
|---|--|---|
| Yamaguchi D, Shiraishi R, Mannen K, Tsuruoka N, Takeshita E, Yukimoto T, Matsuura S, Morisaki T, Iwakiri R, Fujimoto K. | Efficacy of endoscopic hemostasis with the endoscopic submucosal dissection technique for upper gastrointestinal bleeding over a 12-year period. | 23rd United European Gastroenterology Week 2015. |
| *Abe K, Nunomura S, Ra C, Tajima A, Fuchs H, Angelis H | Abnormal innate immune responses of ENU-induced al18 and al14mutant mice lead to autoinflammatory syndrome-like phenotypes | 29th International Mammalian Genome Conference |
| Tsukamoto M, Morimoto T, Yoshihara T, Kitajima M, Sonohata M, Mawatari M | A method to determine the pelvic tilt based on anteroposterior radiographs. | 42nd ISSLS Annual Meeting |
| Yoshihara T, Morimoto T, Tsukamoto M, Sonohata M, Mawatari M | Spino-pelvic alignment in patients with completely dislocated hips. | 42nd ISSLS Annual Meeting |
| Morimoto T, Tsukamoto M, Yoshihara T, Sonohata M, Mawatari M | Validation of anthropometric tools for screening of undiagnosed vertebral fractures in elderly females. | 42nd ISSLS Annual Meeting |
| Atsushi Miyoshi, Hiroki Koga, Takao Ide, Kenji Kitahara, Hirokazu Noshiro, | ACOUSTIC RADIATION FORCE IMPULSE ELASTOGRAPHY AS A PREDICTOR OF POSTOPERATIVE COMPLICATIONS AFTER HEPATIC RESECTION | 46TH WORLD CONGRESS OF SURGERY WCS 2015 |
| Yasuo Koga, Akinari Nomura, Hirokazu Noshiro, | CME WITH CVL IN LAPAROSCOPIC SURGERY FOR TRANSVERSE COLON CANCER | 46TH WORLD CONGRESS OF SURGERY WCS 2015 |
| Takao Ide, Masatsugu Hiraki, Junji Ueda, Hirokazu Noshiro | LAPAROSCOPIC REPEAT HEPATECTOMY FOR RECURRENT HEPATOCELLULAR CARCINOMA | 46TH WORLD CONGRESS OF SURGERY WCS 2015 |
| ○Nishida, Y, Nishijima, K., Mi-ichi, F., Yamada, Y., Tanaka, H., Fan, J., Kitajima, S., Tanaka, K. | Metabolomic profiling reveals muscle metabolites that are associated with favorable glucose, lipid and energy metabolism in lipoprotein lipase transgenic rabbits. | 5th ICCR Congress on Chronic Societal Cardiometabolic Diseases |
| Nishida Y, Nishijima K, Mi-ichi F, Yamada Y, Tanaka H, Fan J, Kitajima S, Tanaka K | Metabolomic profiling reveals muscle metabolites that are associated with favorable glucose, lipid and energy metabolism in lipoprotein lipase transgenic rabbits. | 5th ICCR Congress on Chronic Societal Cardiometabolic Diseases. |
| Koami H, Sakamoto Y, Noguchi R, Sato N, Miyasho T, Kai K, Inoue S | Impact of haptoglobin on the association between inflammation and coagulation in a rat burn model. | 74th Annual Meeting of the American Association for the Surgery of Trauma & Clinical Congress of Acute Care Surgery |
| Koami H, Sakamoto Y, Inoue S | What factor within JAAM DIC criteria is most strongly correlated with trauma induced DIC on the subject of ROTEM findings? | 9th Annual Singapore Trauma Conference 2015 |
| Araki K, Hara M, Shimanoe C, Nishida Y, Matuo M, Tanaka K | Estimating rotavirus vaccine effectiveness in Japan by use of case-population method | 9th Vaccine & ISV Congress |
| Watanabe T, Aragane N, Sueoka E | Inhibition of mammalian target of rapamycin by Torin2, an ATP-competitive inhibitor, induces growth inhibition in adult T cell leukemia | American Association for Cancer Research Annual Meeting 2015 |
| Oyama JI, Nagatomo D, Yoshioka G, Yamasaki A, Komoda H, Node K. | Continuous positive airway pressure therapy improves endothelial function and neutrophil-lymphocyte ratio in patients with obstructive sleep apnea syndrome. | American College of Cardiology |
| ○Takashi Akutagawa, Hiroharu Kawakubo, Kohei Yamanouchi, Nanae Tsuruoka, Yasuhisa Sakata, Ryuichi Iwakiri, Kazuma Fujimoto | Sedation induced by dexmedetomidine hydrochloride is applicable for endoscopic submucosal dissection of esophageal and gastric upper tumors: a pilot trial in Saga Medical School Hospital | American college of gastroenterology |
| *Niuro H, Tsukamoto H, Arinobu Y, Akahosh Mi, Mitoma H, Oryoji K, Inoue Y, Sawabe T, Nagano S, Nishizaki H, Yoshizawa S, Tada Y. | Correlation Between Efficacy of Tocilizumab and Levels of Oxidative Stress Markers in Patients with Rheumatoid Arthritis : the 52-Week Analysis | American College of Rheumatology annual meeting |
| Tada Y, Koarada S, Ono N, Maruyama A, Tashiro S, Tokuda Y, Ono Y, Nakao Y and Ohta A. | The Balance of Foxp3/Ror-γ Expression Is Altered By Tocilizumab and By Abatacept in Patients with Rheumatoid Arthritis | American College of Rheumatology annual meeting |
| *Kirino Y, Kawaguchi Y, Tada Y, Minota S, Ota T, Nagasawa K, Tsukamoto H, Takei S, Horiuchi T, Takahashi H, Ichida H, Iwamoto M, Ueda A, Ohta A, Ishigatsubo Y | Use of Serum Ferritin and Heme Oxygenase 1 for the Diagnosis of Adult-Onset Still's Disease: A Preliminary Report of Multicenter Study | American College of Rheumatology annual meeting |
| Koami H, Sakamoto Y, Inoue S | Hyperfibrinolysis in patients with out-of-hospital cardiac arrest may contribute to poor outcome. | American Heart Association 2015 |
| Nishikido T, Oyama J, Shiraki A, Komoda H, Node K. | Apoptosis Inhibitor of Macrophage Activates Inflammatory Response After Acute Myocardial Infarction | American Heart Association Scientific Sessions |
| Hiroki Tashiro, Koichiro Takahashi, Go Kato, Naoko Sueoka-Aragane, Shinya Kimura, Shinichiro Hayashi | Monocytes IL-33 contributes to HDM-induced allergic airway inflammation | American Thoracic Society 2015 International Conference in Denver |
| Kenji Izuhara, Shoichiro Ohta, Masaki Okamoto, Norio Sakamoto, Koichiro Takahashi, Hiroshi Yamamoto, Naoko Kushima, Keiichi Akasaka, Kiminori Fujimoto, Junya Ono | A multicenter evaluation of a new periostin detection kit for idiopathic pulmonary fibrosis | American Thoracic Society 2015 International Conference in Denver |
| ○Tada Y, Koarada S, Ono N, Maruyama A, Tashiro S, Tokuda Y, Ono Y, Nakao Y, Ohta A | The Balance of Foxp3/Ror-γ Expression Is Altered By Tocilizumab and By Abatacept in Patients with Rheumatoid Arthritis | American College of Rheumatology Annual Meeting |
| *Kirino Y, Kawaguchi Y, Tada Y, Minota S, Ota T, Nagasawa K, Tsukamoto H, Takei S, Horiuchi T, Takahashi H, Ichida H, Iwamoto M, Ueda A, Ohta A, Ishigatsubo Y | Use of Serum Ferritin and Heme Oxygenase 1 for the Diagnosis of Adult-Onset Still's Disease: A Preliminary Report of Multicenter Study | American College of Rheumatology Annual Meeting |

| | | |
|---|---|--|
| *Koganebuchi K, Nakagome S, +A3:C1233Kawamura S, Kimura R, Ishida H, Joh K, Fujimoto K, Soejima H, Sato K, Yasui Y, Kumabe T, Fujii K, Akiyama T, Ogawa M, Hanihara T, Oota H. | An evolutionary study of the RNF213 gene associated with Moyamoya disease in the people of the Japanese archipelago. | Annual meeting of the Society for Molecular Biology and Evolution |
| Sakata Y, Shimoda R, Matuura S, Shiraiishi R, Endo H, Koyama T, Watanabe A, Matsunaga K, Nakayama M, Ono A, Sakata H, Sonoda R, Iwakiri R, Fujimoto K. | Endoscopic ulcer closure using hemoclips prevent delayed bleeding after endoscopic submucosal dissection for colorectal neoplasms. | Asian Pacific Digestive Week 2015. |
| Takedomi H, Sakata Y, Matsuura S, Endo H, Koyama T, Nakayama M, Matsunaga K, Ono A, Shiraiishi R, Sakata H, Sonoda R, Iwakiri R, Fujimoto K. | Trends in the eradication therapy of Helicobacter pylori infection for seven years. | Asian Pacific Digestive Week 2015. |
| Izuhara K, Ohta S, Okamoto M, Sakamoto N, Takahashi K, Yamamoto H, Kushima H, Akasaka K, Fujimoto K, Ono J | A multicenter evaluation of a new periostin detection kit for idiopathic pulmonary fibrosis | ATS 2015 |
| *Nagasaki T, Matsumoto H, Kanemitsu Y, Izuhara K, Tohda Y, Horiguchi T, Kita H, Tomii K, Fujimura M, Yokoyama A, Nakano Y, Hozawa S, Ito I, Oguma T, Izuhara Y, Tajiri T, Iwata T, Ono J, Ohta S, Yokoyama T, Niimi A, Mishima M. | Using exhaled nitric oxide and serum periostin as a composite marker to identify severe/steroid-insensitive asthma | ATS 2015 |
| OGuo J, Xia J, Kuwashiro T, Kojima M, Ozaki I, Anzai K, Matsuhashi S. | PDCD4 knockdown inhibits cell growth by interfering cell cycle regulators via upregulation of p21 expression in hepatoma cells. | BMB2015 第38回日本分子生物学会年会・第88回日本生化学会大会合同大会 |
| 井原秀之, 岡田貴裕, 池田義孝 | 親水性相互作用クロマトグラフィーを用いた大腸菌由来 GDP-mannose 分解酵素活性測定 | BMB2015(第38回日本分子生物学会年会、第88回日本生化学会大会 合同大会) |
| 岡田貴裕, 井原秀之, 伊東利津, 池田義孝 | マクロファージの炎症性変化における糖鎖合成系の変動 | BMB2015(第38回日本分子生物学会年会、第88回日本生化学会大会 合同大会) |
| Itamura H, Shindo T, Tawara I, Kariya R, Okada S, Komanduri KV, Kimura S | The MEK inhibitor trametinib selectively suppresses GVHD, while sparing GVT effects. | BMT Tandem Meetings 2015 |
| 伊藤 学, 中山功一, 野出孝一, 森田茂樹 | バイオ 3Dプリンタによる scaffold free な機能的循環器系臓器の開発 | Cardiovascular Translation Research Conference 第11回学術集会 |
| 柚木純二 | Trans-Apical TAVI の Suicide left ventricle 症例を経験して | CCT2015 |
| Maeda T, Mareska RJ, Higashimoto K, Yatsuki H, Nishioka K, Joh K, Soejima H | Comprehensive and quantitative multilocus methylation analysis in Beckwith-Wiedemann syndrome and hepatoblastoma. | Clinical Epigenetics Society 5th International Meeting |
| Yasunobu Miyake Sho Yamasaki Hiroki, Yoshida | C-type lectin receptor MCL stabilizes Mincle through complex formation for enhancement of inflammatory cytokine production upon mycobacterial infection | Cytokines Congres 2015 (3rd Annual Meeting of the International Cytokine and Interferon Society) |
| 石川慎一郎 | 眼科医からみる糖尿病 | Diabetes Care Forum in Saga |
| 小網博之 | Thromboelastometry(ROTEM R)を用いたDICの病態解析 | DIC セミナーin Kurume(特別講演 I) |
| Kawakubo H, Tanaka Y, Tsuruoka N, Okamoto N, Shirai S, Yamamoto K, Uchida M, Yamanouchi K, Sakata Y, Iwakiri R, Fujimoto K. | Upper gastrointestinal symptoms evaluated by questionnaire are exaggerated in females compared to males in young adults healthy volunteers. | Digestive Disease Week 2015. |
| Yamanouchi K, Iwakiri R, Nakayama A, Tsuruoka N, Sakata Y, Shimoda R, Ogata S, Sakata H, Fujimoto K. | Long term prognosis after non-curative endoscopic submucosal dissection for gastric cancer. | Digestive Disease Week 2015. |
| Hirayama J, Kainuma K, Nagao M, Fujisawa T, Ohta S, Izuhara K | Clinical utility of new biomarkers, periostin and SCCA1/SCCA2, in childhood asthma and atopic dermatitis | EAACI Congress 2015 |
| *Okada N, Fujishima H, Fukagawa K, Izuhara K, Ohta S, Ono J, Matsuda A, Saito H, Matsumoto K | Up-regulation of periostin production in tears of allergic ocular disease patients | EAACI Congress 2015 |
| *Okada N, Fujishima H, Fukagawa K, Izuhara K, Ohta S, Ono J, Matsuda A, Saito H, Matsumoto K | Up-regulation of periostin production in tears of allergic ocular disease patients. | EAACI Congress 2015 |
| *Inoue T, Akashi K, Suzuki R, Watanabe M, Izuhara K, Ohta S, Ono J, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M, Ashizuka S, Katsunuma T | Usefulness of periostin as a biomarker of pediatric asthma | ERS International Congress 2015 |
| Izuhara K, Ohta S, Okamoto M, Sakamoto N, Takahashi K, Yamamoto H, Kushima H, Akasaka K, Fujimoto K, Ono J | A multicenter evaluation of a new Periostin detection kit for idiopathic pulmonary fibrosis | ERS International Congress 2015 |
| *Nakamura H, Akashi K, Watanabe M, Ohta S, Ono J, Azuma Y, Sekine T, Izuhara K, Katsunuma T | Up-regulation of serum periostin and squamous cell carcinoma antigen levels in respiratory syncytial virus bronchitis of infants | ERS International Congress 2015 |
| *Nakamura H, Akashi K, Watanabe M, Ohta S, Ono J, Azuma Y, Sekine T, Izuhara K, Katsunuma T | Up-regulation of serum periostin and squamous cell carcinoma antigen levels in respiratory syncytial virus bronchitis of infants. | ERS International Congress 2015 |
| *Inoue T, Akashi K, Suzuki R, Watanabe M, Izuhara K, Ohta S, Ono J, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M, Ashizuka S, Katsunuma T | Usefulness of periostin as a biomarker of pediatric asthma. | ERS International Congress 2015 |
| Yakushiji Y, Charidimou A, Hara M, Eriguchi M, Noguchi T, Nishihara M, Nanri Y, MD, Nishiyama M, Werring D.J., Horikawa E, Hara H | The concept of "total small vessel disease score" in healthy adults: validation in the Kashima Scan Study. | European Stroke Organization Conference 2015 |

| | | |
|---|---|--|
| 石川慎一郎 | 検査部門システムの活用事例 | FUJIFILM MEDICAL SEMINAR 2015in 東京 |
| 石川慎一郎 | 薬物治療 | Fukuoka Glaucoma Council 2015 |
| Yamada K, Watanabe K, Hope T, Sunaga T, Kobayakawa M, Nishimura T, Sakamoto Y, Motomura Y | Co-design Project for a nursing information system at a University Hospital in Japan | HAT-MASH 2015 (Healthy Aging Tech mashup service, data and people) (as part of JSAI-isAI2015, supported by Society for Serviceology) |
| Asami T., Kitajima M., Naniri Y., Tanaka A | The effect of combined botulinum therapy and robot rehabilitation on outpatients | ISPO2015 |
| Asami T., Kitajima M., Naniri Y., Tanaka A | Effectiveness of combined botulinum therapy and robot suit HAL on stroke patients | ISPRM2015 |
| 白木 綾 | 動脈硬化残余リスクの最新知見 インクレチンと動脈硬化の関連 | J-ISCIP 国際心血管薬物療法学会日本部会 |
| * 河口康典, 大塚大河, 井手康史, 川副広明, 柳田公彦, 安武努, 江口有一郎, 尾崎岩太, 熊谷貴文, 秋山巧, 川添聖治, 水田敏彦 | 実臨床における Genotype 1 型 C 型慢性肝炎に対する PEG-IFN/RBV/Telaprevir, PEG-IFN/RBV/Simeprevir および Daclatasvir/Asunaprevir 併用療法の治療成績 | JDDW 2015TOKYO |
| 野口満 | PD 継続のための PD カテーテル留置とトラブル対処. | JMS 社内講演会. |
| OTsutsumi E, Murata Y., Sakamoto M., Horikawa E | Effects of exercise on the nephron of Goto-Kakizaki rats: Morphological, and advanced glycation end-products and inducible nitric oxide synthase immunohistochemical analyses | Journal of Diabetes and its Complications |
| 小網博之 | インストラクター | JPTEC 佐賀インストラクターコース |
| 中尾佳史 | ワークショップⅡ「婦人科悪性腫瘍のガイドラインから画像フォローアップを考える」卵巣癌:再発スクリーニングで行うべき検査とは?. | JSAWI2015 第 16 回シンポジウム. |
| Itoh M. | Development of a scaffold free regenerative vascular graft | Korea-Japan Joint symposium |
| Aijima R, Wang B, Takao T, Mihara H, Kashio M, Ohsaki Y, Zhang JQ, Masuko S, Tominaga M, Kido MA. | The role of thermosensitive TRP channel in oral wound healing. | Kyudai Oral Bioscience 2015 -9th international symposium- |
| Kito Y | Properties of slow waves ICC recorded from myenteric interstitial cells of Cajal distributed in the rat small intestine. | Multicellular Inputs Regulating Muscle Excitability |
| Jiang C-Y, Fujita T, Zhu L, Wang C, Yu T, Hirao R, Kumamoto E | Developmental change in the modulation by oxytocin of synaptic transmission in rat spinal substantia gelatinosa neurons. | Neuroscience 2015 - Society for Neuroscience the 45th Annual Meeting |
| Kang Q, Fujita T, Jiang C-Y, Zhu L, Wang C, Yu T, Hirao R, Kumamoto E | Carvone presynaptically enhances glutamatergic spontaneous excitatory transmission by activating TRP channels in the adult rat spinal substantia gelatinosa. | Neuroscience 2015 - Society for Neuroscience the 45th Annual Meeting |
| Wang C, Xu Z-H, Fujita T, Jiang C-Y, Zhu L, Yu T, Hirao R, Kumamoto E | Spontaneous L-glutamate release enhancement and outward current produced by thymol in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons. | Neuroscience 2015 - Society for Neuroscience the 45th Annual Meeting |
| 山下佳雄 | 血液がん「がん治療継続中の口腔ケア」 | NPO 法人血液情報広場・つばさフォーラム in 佐賀 |
| MasayaUeno,RikiTanaka, Shuichi Eto,Masatsugu Tsukamoto, Shunsuke Kawano, Masaru Kitajima, Motoki Sonohata, Etsuo Horikawa, Masaaki Mawatari | Recovery of Gait and Changes of Pelvic Motion After Total Hip Arthroplasty. | ORS2015 |
| Yamada KC, Sone Y, Crews DE, Kusano Y, Aoyagi K, Maeda T, Iwamoto A | Association between Allostatic Load and Activities of Daily Living in Older Japanese | The 12th International Congress of Physiological Anthropology |
| Jiang C-Y, Fujita T, Zhu L, Wang C, Kumamoto E | Synaptic modulation by oxytocin in adult rat superficial dorsal horn neurons. | The 12th Korea-Japan Joint Symposium of Brain Sciences, and Cardiac and Smooth Muscle Sciences |
| Kumamoto E, Fujita T, Jiang C-Y, Zhu L, Wang C | TRP activation by plant-derived chemicals in the adult rat superficial dorsal horn. | The 12th Korea-Japan Joint Symposium of Brain Sciences, and Cardiac and Smooth Muscle Sciences |
| Tajima D, Matsuo M, Sato T | Clinical features and developmental outcome for 12cases with Abusive Head Trauma. | The 13th Asian and Oceania Congress of Child Neurology,Taipei |
| *Kido MA, Kitsuki T, Aijima R, Utsunomiya R, Zhang JQ, Ohsaki Y. | Temperature sensitive TRP channels in Oral Epithelial Barrier. | The 13th International Symposium on Molecular and Neural Mechanisms of Taste and Olfactory Perception |
| *Yoshimoto RU, Aijima R, Oyama Y, Yoshizumi J, Kitsuki T, Danjo A, Yamashita Y, Kido MA. | Burning Sensation and Degeneration in Labial Epithelium of Xerostomia Patients. | The 13th International Symposium on Molecular and Neural Mechanisms of Taste and Olfactory Perception |
| *Yoshimoto RU, Aijima R, Oyama Y, Yoshizumi J, Kitsuki T, Danjo A, Yamashita Y, Kido MA | Burning Sensation and Degeneration in Labial Epithelium of Xerostomia Patients | The 13th International Symposium on Molecular and Neural Mechanisms of Taste and Olfactory Perception 2015, 11, 3-4 |
| ○Shimano C, Higaki Y, Nishida Y, Hara M, Nanri H, Nakamura K, Imaizumi T, Sakamoto T, Taguch N, Horita M, Shinchi K, Tanaka K | Significant interaction between ADIPOQ gene and higher BMI on HbA1c levels in a Japanese general population; | The 25th Annual Scientific Meeting of the Japan Epidemiological Association 2015.1.21-23, Nasgoya, Japan |
| ○ Nishida Y, Shimano C, Higaki Y, Taguch N, Hara M, Nakamura K, Imaizumi T, Sakamoto T, Shimano C, Horita M, Shinchi K, Tanaka K | Association between objectively measured physical activity and serum adiponectin in the middle-aged population; | The 25th Annual Scientific Meeting of the Japan Epidemiological Association 2015.1.21-23, Nasgoya, Japan |
| *原田紀宏, 原田園子, 石森絢子, 桂蓉子, 松野圭, 竹重智仁, 糸魚川幸成, 牧野文彦, 伊藤潤, 熱田了, 千葉麻子, 出原賢治, 三宅幸子, 高橋和久 | 気管支喘息における末梢血中 Mucosal-associated invariant T 細胞の解析 | The 25th Congress of Interasma Japan/North Asia |

| | | |
|--|--|--|
| *原田紀宏, 原田園子, 石森絢子, 松野圭, 竹重智仁, 田辺悠記, 笹野仁史, 桂蓉子, 糸魚川幸成, 牧野文彦, 伊藤潤, 熱田了, 出原賢治, 高橋和久 | 気管支喘息における血清テネシシン C の解析 | The 25th Congress of Interasma Japan/North Asia |
| Izuhara K | Recent progress in the basic research of periostin in bronchial asthma | The 25th Congress of Interasma Japan/North Asia |
| Yasunobu Miyake, Sho Yamasaki, Hiroki Yoshida | Phospholipids bind to siglec-9 and induce immunosuppressive effect against LPS stimulation. | The 44th annual meeting of the Japanese Society for Immunology |
| Miyake, Yasunobu Yamasaki, Sho Yoshida, H | Phospholipids bind to siglec-9 and induce immunosuppressive effect against LPS stimulation | The 44th annual meeting of the Japanese Society for Immunology |
| *Kimura, D, Miyakoda, M, Doe, Henrietta Terko, Kimura, K, Hara, H, Yoshida, H, Yui, K | IL-27-producing CD4+ T cells induced during malaria infection are distinct from Tr1 cells. | The 44th annual meeting of the Japanese Society for Immunology |
| Asami T., Nanri Y., Kitajima M | The effect of combined botulinum therapy and robot rehabilitation on outpatients | The 4th Japan-Korea NeuroRehabilitation Conference |
| *Kitsuki T, Ajima R, Hatakeyama J, Ohsaki Y, Zhang J, Kido M. | Effect of TRPV4 gene deletion to barrier function in gingival epithelium. | The 63rd Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research |
| *Yoshimoto R, Ajima R, Oyama Y, Yoshizumi J, Kitsuki T, Danjo A, Yamashita Y, Kido M. | Hydropic Degeneration of Labial Mucosal Epithelium and Infiltration of Macrophages in Xerostomia Patients. | The 63rd Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research |
| *Yoshimoto R, Ajima R, Oyama Y, Yoshizumi J, Kitsuki T, Danjo A, Yamashita Y, Kido M | Hydropic Degeneration of Labial Mucosal Epithelium and Infiltration of Macrophages in Xerostomia Patients | The 63rd Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research |
| Aoki S, Ohba T, Okajima M, Higashimoto K, Soejima H, Katabuchi H. | Clinical and histopathological features of placental mesenchymal dysplasia. | The 6th Asan-Kumamoto Joint Symposium |
| Shigeki Morita, Sayuri Nonaka, Susumu Fujii, Koichi Node | Comparison of Cost-Benefit Performance between Percutaneous Coronary Intervention and Coronary Artery Bypass Grafting | The 78th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society |
| Susumu Fujii, Shigeki Morita, Sayuri Nonaka, Koichi Node | Assignments for Infrastructure Development of Large Medical Database for Preventive Medicine and Disease Management | The 79th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society |
| ○Shigeki Morita, Susumu Fujii, Sayuri Nonaka, Koichi Node | Cost-Effective Analysis of Transarterial Aortic Valve Implantation and Conventional Aortic Valve Replacement: A Comparative Study Using DPC Data | The 79th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society |
| Yamanouchi K, Sakata Y, Uchida M, Kawakubo H, Shimamura T, Akutagawa T, Miyahara K, Kawachi K, Nakano R, Tsuruoka N, Shimoda R, Sakata H, Iwakiri R, Fujimoto K. | Advantage of additional mucosal cutting biopsy for diagnosis of the gastric submucosal tumor in the patient who was failed in histological diagnosis with endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration. | The American College of Gastroenterology 2015. |
| Akutagawa T, Kawakubo H, Yamanouchi K, Tsuruoka N, Sakata Y, Iwakiri R, Fujimoto K. | Sedation induced dexmedetomidine hydrochloride is applicable for endoscopic submucosal dissection of esophageal and gastric upper tumors. | The American College of Gastroenterology 2015. |
| Kawakubo H, Tanaka Y, Yamanouchi K, Uchida M, Shimamura T, Akutagawa T, Miyahara K, Kawachi K, Nakano R, Sakata Y, Tsuruoka N, Shimoda R, Sakata H, Iwakiri R, Kusano M, Fujimoto K. | Evaluation of upper gastrointestinal symptoms by questionnaire, FSSG, revealed that the symptoms were more frequent in females compared to males in Japanese young adults healthy volunteers. | The American College of Gastroenterology 2015. |
| Uchida M, Yamanouchi K, Sakata Y, Kawakubo H, Shimamura T, Akutagawa T, Miyahara K, Kawachi K, Nakano R, Iwakiri R, Fujimoto K. | Clinical outcome in patients with endoscopic submucosal dissection for colorectal neoplasm. | The American College of Gastroenterology 2015. |
| 榎本純二 | 当院における TAVI チームの立ち上げ | The CONNECT EVT Meeting 2015 |
| Hiroaki Kitamura, Tomomi Kashiwada, Kazutoshi Komiya, Yukihiko Nakayama, Takahiko Nakazono, Yukari Takase, Naoko Aragane, Shinya Kimura | A case with cancer of unknown primary diagnosed pathologically retroperitoneal squamous cell carcinoma. | The Japanese Society of Medical Oncology 2015 Annual Meeting |
| Minesaki A, Shimazaki E, Saitou M, Suzuki K, Monji M, Satou S, Shimazu R, Kuratomi Y | Clinical Study of Malignant Lymphomas in the parotid gland | The joint Meeting of 4th Congress of Asian Society of Head and Neck Oncology & 39th Annual Meeting of Japan Society for Head and Neck Cancer |
| Shimazaki E, Monji M, Minesaki A, Saitou M, Suzuki K, Satou S, Shimazu R, Kuratomi Y | Hypersensitivity to Cetuximab : Report of Two Patients with HNC who showed Allergy to Red Meat | The joint Meeting of 4th Congress of Asian Society of Head and Neck Oncology & 39th Annual Meeting of Japan Society for Head and Neck Cancer |
| Shimazu R, Shimazaki E, Minesaki A, Kuratomi Y | Prognosis According with the Mode of Invasion in Early-stage Carcinoma of the Oral Tongue. | The joint Meeting of 4th Congress of Asian Society of Head and Neck Oncology & 39th Annual Meeting of Japan Society for Head and Neck Cancer |
| 徳田 悠希子 | 関節症状で発症した ANCA 関連血管炎の5症例 | Vasculitis Forum in Fukuoka 2015 |
| 古川浩二郎 | AVP、External ring annuloplasty 後の LV Pseudoaneurysm に対する手術 | WEP2015「難渋した再手術」 |
| *Inoue Y, Izuhara K, Ohta S, Ono J, Shimojo N, | No increase in the serum periostin level is detected in elementary school-age children with allergic diseases | XXIV World Allergy Congress |
| Izuhara K | Potential protein markers for asthma | XXIV World Allergy Congress |
| *Inoue Y, Izuhara K, Ohta S, Ono J, Shimojo N, | No Increase in the Serum Periostin Level is Detected in Elementary School-Age Children with Allergic Diseases. | XXIV World Allergy Congress |
| Itamura H, Shindo T, Kubota Y, Kimura S | The MEK inhibitor Trametinib selectively suppresses Graft-versus-Host Disease (GVHD), while sparing Graft-versus-Tumor (GVT) effects. | がん分子標的治療学会学術集会(ポスター発表) |
| 梅木俊晴, 榎本純二, 挽地裕, 下村光洋, 坂本佳子, 秋吉妙美, 秋吉重康, 小松愛子, 末岡榮三朗, 森田茂樹, 野出 孝一 | 重度 AS に対しバルーン大動脈弁形成術後、待機的に TAVI を行った 1 症例 | 九州心エコーカンファレンス |

| | | |
|--|--|---|
| *塚野美和, 高島利, 河野史 | 食後の上体拳上時間の形態機能学的考察-LESに対する消化管ホルモンの影響- | コメディカル形態機能学会 第14回学術集会・総会 |
| 中村 光男 | 良性プレッナー腫瘍の1例 | 細胞診合同勉強会 |
| 塚本正紹 | ロコモティブシンドロームのすべて～概念から最近の知見まで～ | 佐賀医師会・日医障害教育講座プログラム 社会保険指導者講習会伝達講演 |
| 立石 洋, 諸隈暢, 平地徹, 藤田知哲, 松島淳, 丸尾謙二, 稲葉隆緒, 西原正志, 大塚貴輝, 今村義臣, 鍋田紘美, 前川敏彦, 溝口義人, 浅見豊子, 川島敏郎, 門司晃 | 当院におけるrTMS治療の現状 | 佐賀県精神科病院協会学術講演会(第200回佐賀精神科集談会) |
| 立石 洋, 松島 淳, 今村義臣, 鍋田紘美, 西原正志, 大塚貴輝, 前川敏彦, 浅見豊子, 溝口義人, 川島敏郎, 門司 晃 | 当院における経頭蓋磁気刺激法の現状 | 佐賀精神科アーベント |
| 野口満 | メタボリック症候群とLUTS. | ザルティア錠発売1周年記念講演会in徳島. |
| 小荒田秀一 | 佐賀大学及び関連施設におけるシムジアの使用経験 | シムジア発売一周年記念講演会 |
| 與田幸恵, 三宅修輔, 河野博, 平木将紹, 古賀靖大, 野村明成, 能城浩和 | 胃癌に対するロボット支援手術の現状 | 第105回日本消化器病学会九州支部例会第99回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 |
| 野村明成, 古賀靖大, 河野博, 三宅修輔, 與田幸恵, 能城浩和 | 下部直腸癌に対するロボット支援手術 | 第105回日本消化器病学会九州支部例会第99回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 |
| 稲葉隆緒, 祖川倫太郎, 原口祥典, 丸尾謙二, 立石洋, 國武 裕, 溝口義人, 川島敏郎, 門司 晃 | 双極性感情障害におけるlamotrigineの再投与を行った症例の臨床的検討 | 第111回日本精神神経学会学術総会 |
| 立石 洋, 松島 淳, 今村義臣, 鍋田紘美, 平地 徹, 稲葉隆緒, 西原正志, 大塚貴輝, 前川敏彦, 浅見豊子, 溝口義人, 川島敏郎, 門司 晃 | 反復性傾経頭蓋磁気刺激による気分障害治療でのバイオマーカー及び神経機能画像の変化 | 第111回日本精神神経学会学術総会 |
| 馬場耕一, 北島吉彦, 三宅修輔, 中村淳, 柳原五吉, 田中智和, 池田貯, 能城浩和 | ANGPTL4とLOXL2はスキルス胃癌腹膜転移に関わる遺伝子の可能性がある | 第115回日本外科学会定期学術集会 |
| 脇山幸大, 北島吉彦, 田中智和, 志田雅明, 馬場耕一, 中村淳, 能城浩和 | HIF-1 α と癌エネルギー代謝変容に着眼した新規胃癌治療の可能性 | 第115回日本外科学会定期学術集会 |
| 能城浩和, 與田幸恵, 三宅修輔 | SY-1-3 シホジウム 進行胃癌に対する内視鏡外科手術の適応と限界 | 第115回日本外科学会定期学術集会 |
| 野村明成, 古賀靖大, 河野博, 與田幸恵, 池田貯, 能城浩和 | 下部直腸癌に対する内視鏡下直腸間膜全切除術の現状と展望～腹腔鏡手術とロボット支援手術～ | 第115回日本外科学会定期学術集会 |
| 古賀靖大, 野村明成, 河野博, 與田幸恵, 三宅修輔, 池田貯, 能城浩和 | 局所進行結腸癌に対する腹腔鏡下手術手技と治療成績 | 第115回日本外科学会定期学術集会 |
| 三宅修輔, 上田純二, 井手貴雄, 能城浩和 | 高度炎症を伴う症例に対して安全に腹腔鏡下胆嚢摘出術を完遂する工夫 | 第115回日本外科学会定期学術集会 |
| 河野博, 與田幸恵, 池田貯, 古賀靖大, 野村明成, 上田純二, 能城浩和 | 高齢者に対する腹腔鏡下幽門側胃切除におけるBillroth II法再建 | 第115回日本外科学会定期学術集会 |
| 與田幸恵, 池田貯, 中村宏彰, 佐伯潔, 三宅修輔, 河野博, 能城浩和 | 食道胃接合部癌の鏡視下手術における切除再建法 | 第115回日本外科学会定期学術集会 |
| 上田純二, 三宅修輔, 井手貴雄, 寺坂喜子, 松田やよい, 山口美幸, 安西慶三, 能城浩和 | 膈全摘術における人口膈臓を用いた術後血糖管理 | 第115回日本外科学会定期学術集会 |
| 井手貴雄, 三宅修輔, 上田純二, 能城浩和 | 切除可能膵癌に対する術前化学療法の有効性 | 第115回日本外科学会定期学術集会 |
| 志田雅明, 北島吉彦, 田中智和, 馬場耕一, 三宅修輔, 脇山幸大, 中村淳, 井手貴雄, 柳原吾吉, 能城浩和 | マイトファジ機構の破綻により, ROS/HIF-1 α 経路が活性化され, 胃癌浸潤能が増強される | 第115回日本外科学会定期学術集会 |
| 河野史, 増子貞彦 | Relationship between cFos- and nitric oxide synthase-immunoreactivity in neurons in the rat subfornical organ after intraperitoneal injection of hypertonic saline | 第120回日本解剖学会総会・全国集会/第92回日本生理学大会合同大会 |
| *末次宏晃, 河野俊介, 北島将, 園畑素樹, 馬渡正明 | セメントレス人工股関節全置換術後の長期成績-合併症率と生存率- | 第129回西日本整形・災害外科学術集会 |
| 北島将, 河野俊介, 園畑素樹, 馬渡正明 | 後方アプローチを用いた人工股関節置換術前後の外旋筋力の回復率 | 第129回西日本整形・災害外科学術集会 |
| 伊藤康志, 森本忠嗣, 塚本正紹, 吉原智仁, 園畑素樹, 馬渡正明 | 膝蓋腱反射の増強手技の検討 | 第129回西日本整形・災害外科学術集会 |
| ○中山大資, 染矢晋佑, 井手衆哉, 長嶺里美, 田島智徳, 園畑素樹, 馬渡正明 | TKA術後に著名な膝関節腫脹を呈した1例 | 第129回西日本整形・災害外科学術集会 |
| 河野俊介, 北島将, 園畑素樹, 馬渡正明 | Ceramic-on-ceramic THAの15年成績 | 第130回西日本整形・災害外科学術集会 |
| 戸田雄, 河野俊介, 北島将, 園畑素樹, 馬渡正明 | セメントレス人工股関節全置換術後の中期成績-合併症率と生存率- | 第130回西日本整形・災害外科学術集会 |
| 北島将, 河野俊介, 園畑素樹, 馬渡正明 | 関節温存術後の関節症に対する人工股関節置換術 | 第130回西日本整形・災害外科学術集会 |
| 塚本正紹, 森本忠嗣, 吉原智仁, 北島将, 園畑素樹, 馬渡正明 | 骨盤X線正面像より矢状面 Pelvic Tiltを求める方法～Blondel法、北島法、土井口法の比較検討～ | 第130回西日本整形・災害外科学術集会 |
| 伊藤康志, 森本忠嗣, 吉原智仁, 塚本正紹, 園畑素樹, 馬渡正明 | 仙椎の部位別CTハンスフィールド値の検討 | 第130回西日本整形・災害外科学術集会 |
| 水田和孝, 森本忠嗣, 塚本正紹, 園畑素樹, 馬渡正明 | 殿筋内高位脱臼股における腰椎前弯の Sagittal alignmentの検討 | 第130回西日本整形・災害外科学術集会 |
| ○村山雅俊, 長嶺里美, 井手衆哉, 馬渡正明 | 内側型変形性膝関節症における損傷の予測～頰窩骨棘と前後関節症との関係～ | 第130回西日本整形・災害外科学術集会 |
| 細矢 和久, 持永 早希子, 江本 晶子, 横尾 広美, 徳島 英明, 江越 正芳, 荒金 尚子, 木村 晋也 | 慢性骨髄性白血病患者の服薬アドヒアランスに対する失敗様式と影響分析 | 第13回日本臨床腫瘍学会学術集会 |

| | | |
|--|---|--|
| * 松林 久美香、川勝 美穂、伊藤 学、森田 茂樹、中山 功一 | 細胞構造体連結による臨床利用可能な血管様細胞構造体の作製 | 第 14 回日本再生医療学会総会 |
| 井手貴雄 | 体にやさしい最新の肝がん外科治療 | 第 15 回県民公開講座 肝炎・肝臓の最新治療 |
| 末岡榮三朗、福島伯泰、木村晋也 | B 細胞性リンパ系腫瘍に対するリツキシマブ使用後の二次性低γグロブリン血症の実態 | 第 16 回日本検査血液学会学術集会 |
| 大江智満、若山一夫、本田美穂、海野晃久、東谷孝徳、木村晋也、末岡榮三朗 | 顆粒球肉腫を呈した慢性骨髄性白血病の一例 | 第 16 回日本検査血液学会学術集会 |
| *西垣みなみ、秋吉俊明、南志穂、松尾完、池田聡、上田泰子、福岡倫子、山口敦巳、岡本純英 | 胚盤胞および初期胚の形態的評価からみた移植胚の選択 | 第 18 回日本 IVF 学会 |
| 今長谷尚史、阪本雄一郎、岩村高志、太田美穂、後藤明子、八幡真由子、小網博之、三池徹、藤田亮、永嶋太、山田クリス孝介、井上聡 | 集中治療室からプレホスピタルケアを考える～佐賀大学医学部附属病院EICU立ち上げにおける課題からみえたもの～ | 第 19 回日本救急医学会九州地方会(一般演題 口演体制) |
| *小野原貴之、阪本雄一郎、井上聡、岩村高志、永嶋太、藤田亮、小網博之、三池徹、八幡真由子、今長谷尚史、平原健司、佐藤友子、小山敬、松本康、吉富有哉 | 佐賀県内離島におけるドクターヘリ利用の現状 | 第 19 回日本救急医学会九州地方会(一般演題 ポスター 災害・プレホスピタル) |
| 山田クリス孝介、岩村高志、永嶋太、藤田亮、小網博之、三池徹、八幡真由子、今長谷尚史、太田美穂、井上聡、阪本雄一郎 | 佐賀県における循環器系疾患による救急搬送の状況 | 第 19 回日本救急医学会九州地方会(一般演題 ポスター 循環器) |
| 小網博之、阪本雄一郎、太田美穂、後藤明子、鳴海翔梧、今長谷尚史、八幡真由子、三池徹、藤田亮、永嶋太、岩村高志、井上聡 | Thromboelastometry (ROTEM®)を用いて急性期の輸血管理を行った内胸静脈損傷の一例. | 第 19 回日本救急医学会九州地方会(一般演題 口演外傷①) |
| 阪本雄一郎、小網博之 | ラット熱傷モデルにおけるハプトグロビンの凝固炎症反応連関に対する効果. | 第 1 回 ER メディチーナ コンフェレンツァ(教育講演) |
| 末岡榮三朗、南雲文夫、野中小百合、藤井進 | バイオバンクの連携を目指した臨床情報データベースの構築 | 第 1 回クリニカルバイオバンク研究会シンポジウム |
| *小杉寿文、八谷由貴、野田歌織、宮原強、松永尚、佐藤英俊 | フェンタニルパッカル錠の舌下投与と腸閉塞や頭頸部がんなどの内服困難症例に対する使用経験 | 第 20 回日本緩和医療学会学術大会 |
| 岩村高志、櫻井良太、太田美穂、後藤明子、今長谷尚史、八幡真由子、梅香満、三池徹、小網博之、藤田亮、永嶋太、井上聡、阪本雄一郎 | ドクターヘリによる隣県対応の現状と考察 | 第 22 回航空医療学会(一般演題3:連携1) |
| 中村淳、鶴安浩、江戸都、佐藤博文、上田純二、能城浩和 | 乳腺内視鏡手術導入に際しての問題点と手技の工夫 | 第 23 回日本乳癌学会学術総会 |
| 森本忠嗣、塚本正昭、吉原智仁、園畑素樹、馬渡正明 | 膝蓋腱反射の増強手技の検討 | 第 23 回日本腰痛学会 |
| 三宅修輔、野村明成、北川浩、古賀靖大、能城浩和 | S 状結腸癌・上部直腸癌に対する腹腔鏡下手術の手術教育～技術認定医取得に向けて～ | 第 25 回九州内視鏡下外科手術研究会 |
| 與田幸恵、三宅修輔、河野博、平木将紹、古賀靖大、野村明成、能城浩和 | 胃癌に対するロボット支援下手術の現状 | 第 25 回九州内視鏡下外科手術研究会 |
| 上田純二、前田佐知子、中村宏彰、河野博、井手貴雄、能城浩和 | 大きな膵嚢胞性腫瘍に対する脾臓脾動脈温腹腔鏡下尾側隣切除術 | 第 25 回九州内視鏡下外科手術研究会 |
| 野村明成、古賀靖大、三宅修輔、河野博、與田幸恵、能城浩和 | 下部直腸癌に対するロボット支援下手術 | 第 25 回九州内視鏡下外科手術研究会 |
| 藤井昌志、與田幸恵、伊藤孝太郎、三宅修輔、平木将紹、能城浩和、 | 感染性動脈瘤食道穿破に対する鏡視下食道切除術 | 第 25 回九州内視鏡下外科手術研究会 |
| 平木将紹、中村宏彰、藤井昌志、伊藤孝太郎、與田幸恵、武田雄二、能城浩和 | 食道気管瘻に対する鏡視下食道切除術および心膜パッチを使用した気管瘻閉鎖術の工夫 | 第 25 回九州内視鏡下外科手術研究会 |
| 河野博、前田佐知子、中村宏彰、井手貴雄、上田純二、能城浩和 | 腺体尾部切除後膀胱液瘻に対する経乳頭的ドレナージ | 第 25 回九州内視鏡下外科手術研究会 |
| 北川浩、古賀靖大、三宅修輔、野村明成、能城浩和 | 大腸憩室炎に対する腹腔鏡下手術 | 第 25 回九州内視鏡下外科手術研究会 |
| 古賀靖大、野村明成、三宅修輔、北川浩、能城浩和 | 腹腔鏡下横行結腸切除術における術前シミュレーションと全結腸間膜切除(CME) | 第 25 回九州内視鏡下外科手術研究会 |
| 井手貴雄、河野博、上田純二、能城浩和 | 腹腔鏡下肝切除における肝切離の工夫と治療成績 | 第 25 回九州内視鏡下外科手術研究会 |
| 北川浩、野村明成、古賀靖大、三宅修輔、能城浩和、 | 腹腔鏡下大腸癌手術の教育方法～若手外科医の立場から～ | 第 25 回九州内視鏡下外科手術研究会 |
| 伊藤孝太郎、與田幸恵、藤井昌志、平木将紹、能城浩和 | 右側 Bochdalek 孔ヘルニアに対する腹腔鏡下ヘルニア修復術 | 第 25 回九州内視鏡下外科手術研究会 |
| 河野博、前田佐知子、中村宏彰、井手貴雄、上田純二、能城浩和 | ロボット支援下脾温存腺体尾部切除術 | 第 25 回九州内視鏡下外科手術研究会 |
| 徳島 英明、持永 早希子、江越 正芳、細矢 和久、江本 晶子、田崎 正信、原 英夫 | 重複癌に対するバクリタキセルとレトゾール併用の相互作用により著明な好中球減少症を認めた 1 症例 | 第 25 回日本医療学会年会 |
| 古野 龍也、傍示 幸、持永 早希子、與田 幸恵、鈴木 久美子、上田 純二、柏田 知美、荒金 尚子、田崎 正信、木村 晋也、原 英夫 | 傾向スコアを用いた NK1 受容体拮抗薬における化学療法誘発性悪心嘔吐(CINV)の発現時期に関する比較検討 | 第 25 回日本医療学会年会 |
| 矢ヶ部 良太、傍示 幸、江口 弘晃、園畑 素樹、田崎 正信、馬渡 正明、原 英夫 | 人工関節置換術後患者における NSAIDs 使用状況と急性腎障害に関連する因子の検討 | 第 25 回日本医療学会年会 |
| 内田 任仁弘、矢ヶ部 良太、竹内 耕治、細矢 和久、持永 早希子、田崎 正信、原 英夫 | BD PhaSeal™ プロテクタ P55 の適正使用に向けた検討 | 第 25 回日本医療学会年会 |
| ○Shimanoec C, Higaki Y, Nishida Y, Hara M, Nanri H, Nakamura K, Imaizumi T, Sakamoto T, Taguchi N, Horita M, Shinchi K, Tanaka K, J-MICC Study Group | Significant interaction between ADIPOQ gene and higher BMI on HbA1c levels in a Japanese general population | 第 25 回日本疫学会学術総会 |
| 河野俊介 | Periprosthetic Fracture(THA)の治療 | 第 26 回佐賀骨折治療研究会 |

| | | |
|--|---|--|
| 今長谷尚史、阪本雄一郎、八幡真由子、小網博之、井上聡 | 敗血症治療における抗凝固薬の効果 (動物実験モデルと in vitroでの検討) | 第26回日本急性血液浄化学会(パネルディスカッション2-1) |
| 梅本俊晴、秋吉妙美、秋吉重康、坂本佳子、小松愛子、琴岡憲彦、諸隈宏之、蒲原啓司、末岡榮三朗、森田茂樹、野出孝一 | 巨大冠動脈瘤を合併した左冠動脈冠静脈洞瘻の診断に心エコー図が有用であった1例 | 第26回日本心エコー図学会学術集会 |
| 古賀浩木、三好篤、山口友範、山地康太郎、姉川剛、篠崎由賀里、隅健次、田中聡也、北原賢二、佐藤清治 | 肝門部領域胆管癌術後の膵内胆管再発に対し亜全胃温存膵頭十二指腸切除術を施行した一例 | 第27回日本肝胆膵外科学会・学術集会 |
| 三好篤、井手貴雄、山口友範、山地康太郎、古賀浩木、姉川剛、篠崎由賀里、隅健次、田中聡也、北原賢二、佐藤清治、能城浩和 | 肝予備能不良症例(ICGR15>30%)に対する腹腔鏡下肝切除術 | 第27回日本肝胆膵外科学会・学術集会 |
| 上田純二、平木将紹、井手貴雄、能城浩和 | 自動縫合器による膵離断・断端閉鎖を行う膵管空腸吻合術 | 第27回日本肝胆膵外科学会・学術集会 |
| 井手貴雄、平木将紹、中村淳、上田純二、能城浩和 | 腹腔鏡下尾側膵切除の治療成績～腹腔鏡下胃全摘併設による術後膵液瘻発生の増加 | 第27回日本肝胆膵外科学会・学術集会 |
| 能城浩和、與田幸恵、平木将紹、古賀靖大、野村明成 | Robo-enhanced surgical anatomy と合併症軽減の試み | 第28回日本内視鏡外科学会総会 |
| 古賀靖大、野村明成、三宅修輔、與田幸恵、平木将紹、能城浩和 | Stage II、III 進行大腸癌に対する腹腔鏡手術の長期成績 | 第28回日本内視鏡外科学会総会 |
| 野村明成、古賀靖大、三宅修輔、平木将紹、與田幸恵、能城浩和 | 下部直腸癌に対するロボット支援下手術の安全な導入と定型化 | 第28回日本内視鏡外科学会総会 |
| 井手貴雄、河野博、上田純二、能城浩和 | 肝予備能不良肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除術 | 第28回日本内視鏡外科学会総会 |
| 平木将紹、藤井昌志、伊藤孝太郎、與田幸恵、能城浩和 | 高齢者食道癌患者における鏡視下食道切除術の検討 | 第28回日本内視鏡外科学会総会 |
| 能城浩和、與田幸恵、平木将紹 | 食道胃接合部癌に対する完全内視鏡外科手術:高位食道切離と胸腔内再建 | 第28回日本内視鏡外科学会総会 |
| 能城浩和、與田幸恵、古賀靖大、井手貴雄、野村明成 | 費用対効果を考慮してロボット支援手術の保険収載に関する課題 | 第28回日本内視鏡外科学会総会 |
| 野村明成、古賀靖大、三宅修輔、平木将紹、與田幸恵、能城浩和 | 腹腔鏡下・ロボット支援下にみた肛門管周囲の手術解剖 | 第28回日本内視鏡外科学会総会 |
| 池田貯、松藤祥平、堀田千恵子、奥山桂一郎、古賀浩木、姉川剛、三好篤、隅健次、田中聡也、北原賢二、佐藤清治 | 腹腔鏡下胃全摘術における術後合併症を減らすための工夫～脾を温存した脾上縁・脾門部リンパ節郭清～ | 第28回日本内視鏡外科学会総会 |
| 河野博、中村宏彰、前田佐知子、井手貴雄、上田純二、能城浩和 | 腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術における胆道再建 | 第28回日本内視鏡外科学会総会 |
| 田中聡也、松藤祥平、堀田千恵子、奥山桂一郎、古賀浩木、姉川剛、池田貯、三好篤、隅健次、北原賢二、佐藤清治 | 腹腔鏡下胆嚢摘出術後の胆汁漏に PTPE が有効であった一例 | 第28回日本内視鏡外科学会総会 |
| 野村明成、古賀靖大、能城浩和、坂井義治 | 腹腔鏡下低位前方切除術における縫合不全予防策～肛門管ドレーンの立場から～ | 第28回日本内視鏡外科学会総会 |
| 上田純二、前田佐知子、中村宏彰、河野博、井手貴雄、能城浩和 | 腹腔鏡下尾側膵切除術一特に脾動脈温存における工夫について | 第28回日本内視鏡外科学会総会 |
| 三宅修輔、古賀靖大、北川浩、野村明成、能城浩和 | 腹腔鏡下腹壁瘻痕ヘルニア手術におけるポイント | 第28回日本内視鏡外科学会総会 |
| 與田幸恵、平木将紹、井手貴雄、古賀靖大、野村明成、能城浩和 | ロボット支援胃癌手術～利点を活かして安全に行う工夫～ | 第28回日本内視鏡外科学会総会 |
| 渡邊達郎、荒金尚子、進藤岳郎、木村晋也、末岡榮三朗 | ATP 競合性 mTOR 阻害剤 Torin2 による ATL 細胞株における Akt のリン酸化抑制と生育阻害 | 第2回日本 HTLV-1 学会学術集会 |
| 太田美穂、阪本雄一郎 | CHDF 膜がプレセプシン値に与える影響 | 第30回日本Shock学会(会長賞選考演題1) |
| 小網博之、阪本雄一郎 | 抹消循環不全に伴う凝固傷害の診断に対する血清乳酸値の有用性について | 第30回日本Shock学会(パネルディスカッション) |
| 小網博之、阪本雄一郎 | Thromboelastometry (ROTEM) を用いたアナフィラキシーショックにおける線溶亢進の機能解析 | 第30回日本Shock学会(会長賞選考演題3) |
| 今長谷尚史、阪本雄一郎、八幡真由子、小網博之 | 救急集中治療における安全管理について～インシデントからシステム改善へ～ | 第30回日本救命医療学会総会・学術集会(一般演題④心肺停止・安全管理) |
| ○松田和也、小網博之、櫻井良太、太田美穂、後藤明子、今長谷尚史、八幡真由子、梅香満、三池徹、山田クリス孝介、藤田亮、永嶋太、岩村高志、井上聡、阪本雄一郎 | Thromboelastometry を用いて大量輸血、トラスネキサム酸を投与した重症頭部外傷に伴う凝固線溶異常の一例 | 第30回日本救命医療学会総会・学術集会(ポスター②敗血症・DIC・ショック) |
| 染矢晋佑、江頭秀一、園畑素樹、馬渡正明 | 銀含有ハイドロキシアパタイトコーティングインプラントの特性 | 第30回日本整形外科学会基礎学術集会 |
| 江頭秀一、宮本比呂志、野田岩男、秋山隆行、塚本正紹、上野雅也、染矢晋佑、園畑素樹、馬渡正明 | 銀含有ハイドロキシアパタイトはインプラントの骨内固定力を増強する | 第30回日本整形外科学会基礎学術集会 |
| 上野雅也、田中里紀、江頭秀一、塚本正紹、河野俊介、北島将、森田由佳、園畑素樹、堀川悦夫、馬渡正明 | 三次元動作解析による変形性股関節症患者の立位時の歩行時の骨盤矢状面アライメント変化 | 第30回日本整形外科学会基礎学術集会 |
| *原口祥典、松永高政、井上素彦、吉本静志、門司晃 | アルツハイマー病の BPSD に対するメマンチンの有効性・安全性の検討 | 第30回日本老年精神神経医学会 |
| 今村義臣、溝口義人、鍋田結美、松島 淳、川島敏郎、小島直樹、山田茂人、門司 晃 | 地域在住の高齢者における来世信念とオキシトシンの関係 | 第30回日本老年精神神経医学会 |
| 野村明成、古賀靖大、河野博、三宅修輔、與田幸恵、能城浩和 | 腹腔鏡下内側アプローチによる中結腸動脈根部への確実な到達方法 | 第31回福岡大腸手術手技研究会 |
| *小杉寿文、平田道彦、島川勇介、濱田献、久保麻悠子、佐藤英俊、平川奈緒美、坂口嘉郎 | プレガバリンの大量服薬と飲酒による乱用で幻覚妄想をみとめた1例 | 第33回九州ペインクリニック学会 |

| | | |
|---|---|--|
| *西垣みなみ、秋吉俊明、南志穂、松尾完、池田聡、上田泰子、松尾恵子、佐藤春菜、海端彩乃、小林奈央子、福嶋倫子、山口敦巳、岡本純英 | 初期胚の形態的評価および胚発生速度良好胚盤胞移植の臨床成績に及ぼす影響 | 第33回日本受精床学会学術講演会・総会 |
| ○末岡 榮三郎、藤井 進、野中 小百合、南雲 文夫、*堀田 多恵子、*中島 直樹、*康 東天 | 統合的解析が可能な大規模医療情報データベース構築に向けた地域の医療情報の現状と課題 | 第35回医療情報学連合大会 |
| 井手貴雄、堀田千恵子、鶴安浩、佐伯潔、平木将紹、上田純二、能城浩和 | 肝細胞癌に対する経皮的ラジオ波焼灼後の横隔膜ヘルニア | 第36回九州肝臓外科研究会学術集会 |
| 古賀浩木、三好篤、山口友範、山地康太郎、姉川剛、篠崎由賀里、隅健次、田中聡也、佐藤清治 | 肝粘液嚢胞性腫瘍の一例 | 第36回九州肝臓外科研究会学術集会 |
| ○鍋田結美、今村義臣、溝口義人、小島直樹、山田茂人、門司 晃 | 高齢者のうつ症状と生理学的指標との関連についての検討 | 第37回日本生物学的精神医学会 |
| 溝口義人、門司 晃 | 免疫系と精神疾患—BDNF、proBDNFと細胞内Ca ²⁺ シグナリングの関与— | 第37回日本生物学的精神医学会 |
| 今長谷 尚史、阪本 雄一郎、永嶋太、岩村 高志、小網 博之、三池 徹、後藤美穂、櫻井良太、八幡真由子、梅香 満、山田 クリス孝介、井上 聡 | 佐賀大学医学部付属病院におけるハリーコール対応 | 第38回佐賀救急医学会(シンポジウム) |
| 吉岡めぐみ、釘本とよ子、田中まゆこ、白濱泉、濱田 猷、佐藤英俊 | 家族の相談に対応しつづけ、家へ帰ることができた終末期がん患者の1例 | 第39回日本死の臨床研究会 |
| 馬場耕一、北島吉彦、三宅修輔、柳原五吉、志田雅明、久保洋、平木将紹、中村淳、池田貯、能城浩和 | ANGPTL4は低酸素環境下のスキルス胃癌細胞にアノキス耐性を誘導し、腹膜播種転移形成を促進する可能性がある | 第3回がんと代謝研究会 金沢大学がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点 シンポジウム |
| 脇山幸大、北島吉彦、田中智和、中村淳、柳原五吉、能城浩和 | 固形癌の低酸素環境下エネルギー代謝変容に着眼したHIF-1 α 阻害剤+GI療法の新機序解析と臨床応用への可能性 | 第3回がんと代謝研究会 金沢大学がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点 シンポジウム |
| 志田雅明、北島吉彦、中村淳、平木将紹、柳原五吉、能城浩和 | 低酸素誘導性マトリックスの破壊を介したスキルス胃癌細胞の高悪性度獲得機序についての新知見 | 第3回がんと代謝研究会 金沢大学がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点 シンポジウム |
| 森本忠嗣、塚本正紹、吉原智仁 | 胸椎化膿性脊椎炎(T2/3)に対する胸腔鏡補助下の前方固定術の1例 | 第3回九州MIST研究会 |
| ○登川誠也、江里口誠、前田香織、山口香織、松島淳、嘉村 颯、溝口 恵、植田友貴、古川愛子、小柳みどり、中迫正臣、浅見豊子、原 英夫 | 当院における ALS 患者への在宅支援、地域・訪問スタッフとの連携～症例を通して支援状況の現状～ | 第3回日本難病医療ネットワーク学会学術集会 |
| 井手貴雄、平木将紹、上田純二、能城浩和 | 肝切除術後管理におけるシステイン&テアニンの使用経験 | 第40回九州代謝・栄養研究会 |
| 田中太、上田純二、平木将紹、井手貴雄、大塚大河、能城浩和 | 腹腔鏡下ボタン型腸瘻造設術 | 第40回九州代謝・栄養研究会 |
| 前間真弓、林 章浩、池田弘典、梶島久美子、田籠康洋、黒岩智子、山崎由美、朝長元輔、井手貴雄、北村浩晃、水田敏彦、江口有一郎 | 婦人科癌におけるNST介入の意義—治療継続と緩和医療— | 第40回九州代謝・栄養研究会 |
| ○前間 真弓、林 章浩、池田 弘典、梶島 久美子、田籠 康洋、黒岩 智子、山崎 由美、朝長 元輔、井手 貴雄、北村 浩晃、水田 敏彦、江口 有一郎 | 婦人科癌におけるNST介入の意義 —治療継続と緩和医療— | 第40回九州代謝・栄養研究会 |
| 古賀靖大、野村明成、三宅修輔、平木将紹、與田幸恵、能城浩和 | 切除可能StageIV大腸癌に対する治療について | 第40回日本大腸肛門病学会九州地方会 |
| ○田島智徳、井手衆哉、長嶺里美、染矢晋佑、園畑素樹、馬渡正明 | 開大高位脛骨骨切り術後の骨濃度変化について | 第41回九州膝関節研究会 |
| 今長谷 尚史、阪本 雄一郎、岩村 高志、太田 美穂、後藤 明子、鳴海 翔梧、八幡 真由子、三池 徹、小網 博之、井上 聡 | 初期研修医の視点によって、救命救急センターの診療の質を改善することができる | 第42回日本集中治療医学会学術集会(ラウンドテーブル 2 集中治療における倫理を語る) |
| 岩村高志、太田美穂、後藤明子、鳴海翔梧、今長谷尚史、八幡真由子、三池徹、小網博之、井上聡、阪本雄一郎 | 心停止蘇生後に発症した paroxysmal sympathetic hyperactivity の1例 | 第42回日本集中治療医学会学術集会(一般演題 ポスター 38 心臓停止 症例 ①) |
| 戸田雄、河野俊介、北島将、園畑素樹、馬渡正明 | セメントレス人工股関節全置換術後の中期成績—合併症率と生存率 | 第42回日本股関節学会学術集会 |
| 河野俊介、北島将、園畑素樹、馬渡正明 | セラミック摺動面使用後の人工股関節再置換術 | 第42回日本股関節学会学術集会 |
| 森本忠嗣、北島将、河野俊介、園畑素樹、馬渡正明 | 急速破壊型股関節症の矢状面脊椎骨盤アライメント | 第42回日本股関節学会学術集会 |
| ○田中里紀、北島将、上野雅也、塚本正紹、河野俊介、園畑素樹、馬渡正明 | 三次元歩行解析を用いた寛骨臼移動術前後の歩行状態の評価 | 第42回日本股関節学会学術集会 |
| ○松本幸、東島直生、河野俊介、森本忠嗣、北島将、園畑素樹、馬渡正明 | 術前の脊柱側弯カーブと人工股関節全置換術の機動的脚長差との関連性について | 第42回日本股関節学会学術集会 |
| 園畑素樹、福森則明、北島将、河野俊介、馬渡正明 | 人工股関節全置換術後の疼痛に対する静注アセトアミノフェン製剤の追加投与による鎮痛効果 | 第42回日本股関節学会学術集会 |
| ○東島直生、松本幸、河野俊介、北島将、園畑素樹、馬渡正明 | 人工股関節全置換術後患者の歩行速度に影響を及ぼす因子 | 第42回日本股関節学会学術集会 |
| ○東島直生、松本幸、河野俊介、北島将、園畑素樹、馬渡正明 | 人工股関節全置換術後早期の睡眠と影響を及ぼす因子の検討 | 第42回日本股関節学会学術集会 |
| 河野俊介、北島将、園畑素樹、馬渡正明 | 人工股関節全置換術後脱臼の選発性発生例の検討 | 第42回日本股関節学会学術集会 |
| 水田和孝、北島将、河野俊介、園畑素樹、馬渡正明 | 大腿骨短縮骨切り術併用の人工股関節置換術の成績 | 第42回日本股関節学会学術集会 |
| 北島将、河野俊介、園畑素樹、馬渡正明 | 当院における寛骨臼移動術の成績 | 第42回日本股関節学会学術集会 |
| 上野雅也、田中里紀、江頭秀一、河野俊介、北島将、園畑素樹、堀川悦夫、馬渡正明 | 両側変形性股関節症患者の骨盤・体幹運動 | 第42回日本股関節学会学術集会 |

| | | |
|--|---|--|
| 園畑素樹, 北島将, 河野俊介, 馬渡正明 | 小児麻痺(ポリオ)患者への人工股関節全置換術 | 第43回日本関節病学会 |
| 梅香 満, 小網 博之, 後藤 明子, 今長谷 尚史, 八幡真由子, 三池 徹, 藤田 亮, 永嶋 太, 岩村 高志, 井上 聡, 阪本 雄一郎 | 腹痛を契機に発見された上腸間膜静脈(SMV)ガス血症の1例 | 第43回日本救急医学会 (口演 62 消化管 3) |
| *齋藤 大蔵, 丸藤 哲, 佐々木 淳一, 池田 弘人, 上山 昌史, 田熊 清継, 荒木 恒敏, 小倉 裕司, 藤島清太郎, 阿部 智一, 白石 淳, 久志本 成樹, 真弓 俊彦, 射場 敏明, 岡本 好司, 小谷 穰治, 阪本 雄一郎, 椎野 泰和, 白石 振一郎, 武山 直志, 樽井 武彦, 鶴田 良介, 中田 孝明, 水島 靖明, 一三 亨, 藤見 聡, 増野 智彦, 三木 靖雄, 山下 典雄 | 広範囲熱傷の初期輸液に関する多施設共同前向き無作為比較対照試験の計画 | 第43回日本救急医学会 (シンポジウム 5 学会主導多施設共同研究について考える) |
| 永嶋 太, 阪本 雄一郎, 井上 聡, 岩村 高志, 小網 博之, 三池 徹, 梅香 満, 八幡 真由子, 今長谷 尚史, 太田 美穂, 櫻井 良太 | これからの救命救急センターのあり方 | 第43回日本救急医学会 (パネルディスカッション 2) |
| ○中山 賢人, 小網 博之, 櫻井 良太, 今長谷 尚史, 八幡 真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村 高志, 井上 聡, 阪本 雄一郎 | 超急性期より血液透析と持続血液濾過透析を施行することで、明らかな副作用なく救命できた急性リチウム中毒の1例 | 第43回日本救急医学会 (学生・研修医セッション 17 薬物中毒 1) |
| ○松田 知也, 梅香 満, 今長谷 尚史, 八幡 真由子, 三池 徹, 小網 博之, 藤田 亮, 永嶋 太, 岩村 高志, 井上 聡, 阪本 雄一郎 | 治療に難渋した腐食性胃食道炎の1例 | 第43回日本救急医学会 (学生・研修医セッション 6 腹部疾患) |
| 三池 徹, 阪本 雄一郎, 櫻井 良太, 太田 美穂, 後藤 明子, 今長谷 尚史, 八幡 真由子, 小網 博之, 永嶋 太, 岩村 高志, 井上 聡 | 高気圧酸素環境が健常血液の血栓形成能に及ぼす影響 | 第43回日本救急医学会 (口演 106 環境異常 2) |
| 太田 美穂, 櫻井 良太, 今長谷 尚史, 八幡 真由子, 梅香 満, 三池 徹, 小網 博之, 永嶋 太, 岩村 高志, 井上 聡, 阪本 雄一郎 | 中枢神経感染症におけるプレセプシンの有用性 | 第43回日本救急医学会 (口演 79 感染症・敗血症 10) |
| 山田 クリス孝介, 阪本 雄一郎 | 佐賀県における交通事故に関する調査と研究会の設立 | 第43回日本救急医学会 (口演 90 地域医療 1) |
| 櫻井 良太, 今長谷 尚史, 太田 美穂, 八幡 真由子, 梅香 満, 三池 徹, 小網 博之, 永嶋 太, 岩村 高志, 井上 聡, 阪本 雄一郎 | リツキシマブが奏効した重症血小板減少性紫斑病の1例 | 第43回日本救急医学会 (口演 25 血液凝固 2) |
| 小網 博之, 阪本 雄一郎, 櫻井 良太, 太田 美穂, 今長谷 尚史, 八幡 真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村 高志, 井上 聡 | 急性期DIC基準の中で、敗血症性DICに最も関与している因子は何か? | 第43回日本救急医学会 (口演 5 感染症・敗血症 1) |
| 今長谷 尚史, 岩村 高志, 阪本 雄一郎, 櫻井 良太, 太田 美穂, 後藤 明子, 八幡 真由子, 三池 徹, 小網 博之, 永嶋 太, 井上 聡 | 精神科病院入院中に救命救急センターに紹介・救急搬送された患者から考察する精神科病院と救急の連携 | 第43回日本救急医学会 (主題関連セッション 25 パネルディスカッション 5 精神疾患合併症例への対応) |
| 今長谷 尚史, 阪本 雄一郎, 岩村 高志, 小網 博之, 山田 クリス孝介, 太田 美穂, 櫻井良太, 三池 徹, 梅香 満, 永嶋 太, 井上 聡 | 敗血症の早期診断の重要性をICUから発信する~救急ICUにおける敗血症死亡患者の検討から~ | 第43回日本救急医学会 (主題関連セッション 10 シンポジウム 1 集中治療は予後を改善するか) |
| 塚本正紹, 森本忠嗣, 吉原智仁, 園畑素樹, 馬渡正明 | 下肢人工関節置換術前後の矢状面脊椎-骨盤アライメントの検討 | 第44回日本脊椎骨髄病学会 |
| 森本忠嗣, 塚本正紹, 吉原智仁 | 急速破壊型股関節症の脊椎骨盤矢状面アライメント | 第44回日本脊椎骨髄病学会 |
| 吉原智仁, 森本忠嗣, 塚本正紹, 園畑素樹, 馬渡正明 | 高位脱臼股に対する人工股関節全地下術前後の矢状面脊椎-骨盤アライメントの変化 | 第44回日本脊椎骨髄病学会 |
| 森本忠嗣, 塚本正紹, 吉原智仁 | 変形性股関節症における腰椎すべりと矢状面脊椎骨盤アライメントの関係 | 第44回日本脊椎骨髄病学会 |
| 河野俊介, 北島将, 園畑素樹, 馬渡正明 | 人工股関節全置換術後末梢神経麻痺合併症例の検討 | 第45回日本人工関節学会 |
| 立石 洋, 諸隈暢, 平地徹, 藤田知哲, 松島淳, 丸尾謙二, 稲葉隆雄, 西原正志, 大塚貴輝, 今村義臣, 鍋田敏美, 前川敏彦, 溝口義人, 浅見豊子, 川島敏郎, 門司晃 | rTMSによるうつ病性障害治療中のバイオマーカー群の変化について | 第45回日本臨床神経生理学会学術大会 |
| 古川浩二郎, 蒲原啓司, 柚木純二, 古賀秀剛, 諸隈宏之, 野口 亮, 森田茂樹 | 僧帽弁前尖逸脱に対する人工腱索再建術の長期遠隔成績 | 第45回日本心臓血管外科学会学術総会 |
| 上田純二, 平木将紹, 井手貴雄, 宮坂義浩, 大塚隆生, 高畑俊一, 田中雅夫, 能城浩和 | 膝頭切除術を施行した慢性膝炎症例の短期および長期成績: Frey手術非適応症例の検討 | 第46回日本膝学会大会 |
| 森本忠嗣, 塚本正紹, 吉原智仁, 園畑素樹, 馬渡正明 | シャルコー-骨髄炎の1例 | 第48回脊椎外科同好会 |
| 藤井昌志, 與田幸恵, 奥山桂一郎, 伊藤孝太郎, 三宅修輔, 平木将紹, 柚木純二, 能城浩和 | 感染性動脈瘤食道穿孔に対する鏡視下食道切除術 | 第48回日本胸科外科学会九州地方会総会 |
| 山田クリス孝介 | 敗血症治療における統計的手法により考察について | 第4回佐賀救急フォーラム(演題) |
| 江川 紀幸, 河野博, 古賀靖大, 野村明成, 能城浩和 | XELOX+アパステン療法を用いた術前補助化学療法による括約筋温存への挑戦 | 第4回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会 |
| 山口友範, 内川和也, 三好 篤, 山地康太郎, 古賀浩木, 姉川 剛, 篠崎由賀里, 隅 健次, 田中聡也, 北原賢二, 佐藤清治 | 胆嚢捻転症の1例 | 第4回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会 |
| 井手貴雄, 河野博, 平木将紹, 上田純二, 能城浩和 | 再発肝細胞癌に対する腹腔鏡下再肝切除の検討 | 第51回日本肝癌研究会 |
| 山口友範, 隅健次, 山地康太郎, 古賀浩木, 姉川剛, 篠崎由賀里, 三好篤, 田中聡也, 北原賢二, 佐藤清治 | 腸結核嚢腫部に発生した上行結腸癌の1例 | 第52回九州外科学会, 第51回九州内分科外科学会, 第52回九州小児外科学会 |
| 堀田千恵子, 古賀浩木, 松藤祥平, 奥山桂一郎, 姉川剛, 池田貯, 三好篤, 隅健次, 田中聡也, 北原賢二, 佐藤清治 | 肝粘液性嚢胞腫瘍の1例 | 第52回九州外科学会, 第51回九州内分科外科学会, 第52回九州小児外科学会 |

| | | |
|---|--|------------------------------|
| 永嶋太 | 座長 | 第5回 日本臨床外科学会 佐賀県支部学術集会(一般講演) |
| * 福島伯泰、末岡榮三朗、木村晋也 | 血清 diamine oxidase の経時的測定を使用した造血幹細胞移植時消化管関連合併症評価の有用性の検討 | 第62回 日本臨床検査医学会学術集会 |
| 末岡榮三朗 | フローサイトメトリー法による HTLV-1 関連疾患のモニタリングの試み | 第62回 日本臨床検査医学会学術集会 |
| 末岡榮三朗 | 臨床検査専門医のための血液学-基礎と最近の動向- | 第62回 日本臨床検査医学会学術集会 |
| 山田尚友、山田麻里江、中尾真実、久保田寧、木村晋也、東谷孝徳、末岡榮三朗 | 自治体の支援による造血幹細胞保存センターの設置と造血幹細胞移植医療機関との連携 | 第63回 日本輸血細胞・治療学会総会 |
| 山田麻里江、山田尚友、中尾真実、東谷孝徳、久保田寧、木村晋也、末岡榮三朗 | 当院におけるクリオプレシベートの使用状況と問題点 | 第63回 日本輸血細胞・治療学会総会 |
| 末岡榮三朗 | 輸血後鉄過剰症とその対策 | 第63回 日本輸血細胞・治療学会総会 |
| 末岡榮三朗 | HTLV-1 感染の現状 | 第64回 日本医学検査学会 |
| 末岡榮三朗 | ICTとアナログシステムの融合による新しい輸血部体制の構築-プログラム、システム、ネットワーク- | 第64回 日本医学検査学会 |
| 小松千夏、橋本優佑、於保恵、草場耕二、東谷孝徳、太田昭一郎、末岡榮三朗 | 多種類の抗菌薬測定を目的に開発された微生物感受性分析装置「DPS192iX」の精度検証 -自動細菌同定感受性装置 VITEK2 との比較- | 第64回 日本医学検査学会 |
| 橋本優佑、小松千夏、於保恵、草場耕二、東谷孝徳、太田昭一郎、末岡榮三朗 | 多種類の抗菌薬測定を目的に開発された微生物感受性分析装置「DPS192iX」の精度検証 -マイクロスキャン WalkAway96 Plus との比較- | 第64回 日本医学検査学会 |
| 石川慎一郎 | 病院情報システムアップデートの傾向と対策~その時、現場はどうすればいい?~ | 第67回 九州消化器内視鏡技師研究会 |
| 立石 洋、松島 淳、今村義臣、鍋田紘美、西原正志、大塚貴輝、前川敏彦、浅見豊子、溝口義人、川島敏郎、門司 晃 | rTMS によるうつ病性障害治療中のバイオマーカー群の変化について | 第68回 九州精神神経学会第61回九州精神医療学会 |
| ○祖川倫太郎、下村由貴、南 智香子、丸尾謙二、國武 裕、溝口義人、川島敏郎、門司 晃、原 英夫 | アリビプラゾール投与患者におけるプロラクチン値の検討 | 第68回 九州精神神経学会第61回九州精神医療学会 |
| * 原口祥典、松永高政、井上素仁、吉本静志、門司 晃 | アルツハイマー病の BPSD に対するメマンチン塩酸塩の有効性・安全性の検討 | 第68回 九州精神神経学会第61回九州精神医療学会 |
| 藤田知哲、諸隈 暢、平地 徹、稲葉隆緒、松島 淳、丸尾謙二、立石 洋、堤あき子、國武 裕、溝口義人、川島敏郎、門司 晃 | クエチアピン使用により食後高インスリン血症を起し低血糖を来した双極性障害の一例 | 第68回 九州精神神経学会第61回九州精神医療学会 |
| ○鍋田紘美、今村義臣、溝口義人、原口祥典、松島 淳、小島直樹、山田茂人、門司 晃 | 高齢者のうつ症状と生理学的指標との関連についての検討 | 第68回 九州精神神経学会第61回九州精神医療学会 |
| * 會田千重、上野雄文、中山政弘、鍋田紘美、今村義臣、溝口義人、門司 晃 | 知的障害児・者における障害特性とオキシトシン血中濃度の関連 | 第68回 九州精神神経学会第61回九州精神医療学会 |
| 今村義臣、鍋田紘美、原口祥典、溝口義人、松島 淳、小島直樹、山田茂人、門司 晃 | 地域在住の高齢者におけるオキシトシン(OT)と来世信念 | 第68回 九州精神神経学会第61回九州精神医療学会 |
| 諸隈 暢、平地 徹、藤田知哲、稲葉隆緒、丸尾謙二、立石 洋、國武 裕、堤あき子、溝口義人、川島敏郎、門司 晃 | 統合失調症に合併した腸管気腫症の1例 | 第68回 九州精神神経学会第61回九州精神医療学会 |
| 松島 淳、立石 洋、今村義臣、鍋田紘美、稲葉隆緒、藤田知哲、平地 徹、諸隈 暢、溝口義人、川島敏郎、門司 晃 | 反復性経頭蓋磁気刺激を用いた気分障害治療における認知機能の変化 | 第68回 九州精神神経学会第61回九州精神医療学会 |
| 上田純二、平木将紹、井手貴雄、能城浩和 | トライツ帯からのアプローチを先行させる膵体尾部脾臓摘出術 | 第69回 回手術手技研究会 |
| 野村明成、古賀靖大、河野博、三宅修輔、與田幸恵、能城浩和 | 内視鏡下括約筋温存直腸間膜全切除術における縫合不全ゼロに向けた工夫 | 第69回 回手術手技研究会 |
| 古賀靖大、野村明成、河野博、三宅修輔、與田幸恵、能城浩和 | 腹腔鏡下横行結腸切除術における術前シミュレーションと全結腸間膜切除(CME) | 第69回 回手術手技研究会 |
| 與田幸恵、三宅修輔、河野博、中村淳、井手貴雄、能城浩和 | Linear stapler を用いた三角吻合による食道胃管吻合物 | 第69回 日本食道学会学術集会 |
| 野村明成、古賀靖大、河野博、三宅修輔、與田幸恵、能城浩和、 | 【International Video Symposium】Laparoscopic and Robotic Function Preserving Operation for Lower Rectal Cancer. | 第70回 日本消化器外科学会総会 |
| 平木将紹、江川紀幸、河野博、井手貴雄、上田純二、能城浩和 | 合流部結石症に対する胆嚢後壁パッチグラフトを用いた腹腔鏡下総胆管形成術 | 第70回 日本消化器外科学会総会 |
| 河野博、江川紀幸、古賀靖大、野村明成、上田純二、能城浩和 | 高齢者に対する腹腔鏡補助下結腸切除術 | 第70回 日本消化器外科学会総会 |
| 三宅修輔、與田幸恵、河野博、古賀靖大、野村明成、能城浩和 | 進行胃癌に対する腹腔鏡下手術導入後の短期及び中期成績 | 第70回 日本消化器外科学会総会 |
| 上田純二、鶴安浩、佐伯深、江川紀幸、平木将紹、井手貴雄、能城浩和 | 正常膵に対する自動縫合器による膵断端閉鎖を用いた膵管空腸吻合術 | 第70回 日本消化器外科学会総会 |
| 鶴安浩、江川紀幸、三宅修輔、平木将紹、井手貴雄、上田純二、能城浩和 | 胆嚢管癌の鑑別診断の限界 | 第70回 日本消化器外科学会総会 |
| 古賀靖大、野村明成、河野博、能城浩和 | 腹腔鏡下横行結腸癌手術における確実な全結腸間膜切除(CME)と中樞側高位結紮(CVL) | 第70回 日本消化器外科学会総会 |
| 三好篤、古賀浩木、井手貴雄、北原賢二、能城浩和、 | 腹腔鏡下肝切除におけるCUSAとソフト凝固による肝離断法 | 第70回 日本消化器外科学会総会 |
| 井手貴雄、平木将紹、上田純二、能城浩和 | 腹腔鏡下再肝切除術~再発肝細胞癌に対する適応拡大への試み~ | 第70回 日本消化器外科学会総会 |

| | | |
|---|--|--|
| 與田幸恵、三宅修輔、河野博、古賀靖大、野村明成、能城浩和、 | 分離肺換気を用いない腹臥位胸腔鏡下食道切除術の有用性 | 第70回日本消化器外科学会総会 |
| 田中聡也、山口知範、山地康太郎、古賀浩木、姉川剛、篠崎由賀里、三好篤、隅健次、北原賢二、佐藤清治 | 小腸原発 Ewing 肉腫/peripheral primitive neuroectodermal tumor の1例 | 第70回日本消化器外科学会総会 |
| *松尾完、秋吉俊明、南志穂、西垣みなみ、池田聡、山口敦巳、岡本純英 | 胚盤胞保存に至るまでの培養時間および収縮回数が保存胚盤胞移植の臨床成績に与える影響 | 第72回九州沖縄生殖医学会 |
| 馬場耕一、北島吉彦、三宅修輔、柳原五吉、久保洋、平木将紹、中村淳、池田貯、能城浩和、 | ANGPTL4 はスキルス胃癌腹膜播種転移関連遺伝子の可能性がある | 第74回日本癌学会学術総会 |
| 末岡榮三朗、渡邊達郎、荒金尚子、木村晋也 | ATP 競合性 mTOR 阻害剤 Torin2 は G1 細胞周期停止を介して成人 T 細胞白血病細胞株の生育を抑制する | 第74回日本癌学会学術総会 |
| 藤木博太、末岡榮三朗、渡邊達郎、菅沼雅美 | EGCG と抗がん剤の併用による、ヒトがん細胞株に対する抗がん効果の増強 | 第74回日本癌学会学術総会 |
| 脇山幸大、北島吉彦、田中智和、志田雅明、馬場耕一、中村淳、能城浩和、 | HIF-1 阻害剤+GI 療法は胃癌に対する理想的薬物療法となりうる | 第74回日本癌学会学術総会 |
| ○佐藤明美、荒金尚子、中島千穂、小林直美、渡邊達郎、末岡榮三朗、岡田誠治、木村晋也 | ヒト肺がん転移モデルマウスを用いた EGF 受容体チロシンキナーゼ阻害剤耐性機構のモニタリング | 第74回日本癌学会学術総会 |
| 志田雅明、北島吉彦、脇山幸大、馬場耕一、田中智和、三宅修輔、平木将紹、中村淳、井手貴雄、柳原五吉、能城浩和 | マイトファジー機構の破綻により、胃癌細胞株の悪性度は増強する | 第74回日本癌学会学術総会 |
| 渡邊達郎、荒金尚子、木村晋也、末岡榮三朗 | ATP 競合性 mTOR 阻害剤 Torin2 は成人 T 細胞白血病細胞株の Akt/リン酸化と生育を抑制する | 第77回日本血液学会学術集会 |
| 永嶋太、井上聡、岩村高志、阪本雄一郎 | 日本における Acute Care Surgery の現状と将来 | 第77回日本臨床外科学会(ワークショップ 21 Acute Care Surgery の現状と将来) |
| 與田幸恵、三宅修輔、河野博、平木将紹、中村淳、井手貴雄、能城浩和 | 胃癌に対する腹腔鏡下手術～適応拡大の妥当性～ | 第77回日本臨床外科学会総会 |
| 野村明成、古賀靖大、三宅修輔、平木将紹、與田幸恵、能城浩和 | 下部直腸癌に対するロボット支援下直腸間膜全切除術(TME)・側方リンパ節郭清術(LLND) | 第77回日本臨床外科学会総会 |
| 井手貴雄、河野博、上田純二、能城浩和 | 鏡視下肝切除における肝切離の工夫と手術成績 | 第77回日本臨床外科学会総会 |
| 古賀靖大、野村明成、三宅修輔、與田幸恵、平木将紹 | 切除不能 Stage4 大腸癌に対する原発巣先行切除の意義 | 第77回日本臨床外科学会総会 |
| 三宅修輔、古賀靖大、北川浩、野村明成、能城浩和 | 大腸癌イレウスに対する大腸ステントの有用性 | 第77回日本臨床外科学会総会 |
| 北川浩、古賀靖大、三宅修輔、野村明成、能城浩和 | 大腸憩室炎に対する腹腔鏡下手術 | 第77回日本臨床外科学会総会 |
| 與田幸恵、三宅修輔、河野博、平木将紹、能城浩和 | 腹腔鏡下胃切除術・胃全摘術における再建(完全腔内吻合)の工夫 | 第77回日本臨床外科学会総会 |
| 平木将紹、北川浩、藤井昌志、伊藤孝太郎、與田幸恵、能城浩和 | 腹腔鏡下胃切除術後の内ヘルニアの原因と対策 | 第77回日本臨床外科学会総会 |
| 河野博、中村宏彰、前田佐知子、井手貴雄、上田純二、能城浩和 | 腹腔鏡下降頭十二指腸切除術における隣空腸吻合 | 第77回日本臨床外科学会総会 |
| 上田純二、前田佐知子、中村宏彰、河野博、井手貴雄、能城浩和 | 腹腔鏡下尾側隣切除術における工夫 | 第77回日本臨床外科学会総会 |
| 末岡榮三朗、渡邊達郎、進藤岳郎、内丸薫、木村晋也 | Association of CADM1/TSLC-1 positive fraction with clinical parameters in HTLV-1 infected patients | 第78回日本血液学会学術集会 |
| 井手衆哉、長嶺里美、田島智徳、染矢晋佑、園畑素樹、馬渡正明 | 強直股関節における膝関節アライメント Coxitis Knee の検討 | 第7回 JOSKAS2015(日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会) |
| ○長嶺里美、井手衆哉、田島智徳、染矢晋佑、園畑素樹、馬渡正明 | トモシンセスを用いた TKA 術後早期の大腿骨 component 固着状態の評価 | 第7回 JOSKAS2015(日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会) |
| ○染矢晋佑、井手衆哉、長嶺里美、田島智徳、園畑素樹、馬渡正明 | TKA における大腿骨 posterior condylar offset の変化量と術後ストレス撮影での屈曲・伸展 gap との検討 | 第7回 JOSKAS2015(日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会) |
| ○田島智徳、井手衆哉、長嶺里美、染矢晋佑、園畑素樹、馬渡正明 | Opening wedge HTO 術後の脛骨骨密度変化について | 第7回 JOSKAS2015(日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会) |
| ○山本岳史、井手衆哉、東島直生、松本幸、志波徹、船津文香、園畑素樹 | 両側同時・片側人工膝関節全置換術後早期における歩行能力の検討 | 第7回 JOSKAS2015(日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会) |
| 細矢 和久 | 大腸がんの liquid biopsy | 第7回佐賀臨床腫瘍勉強会 |
| 小網博之、阪本雄一郎、永嶋太、岩村高志、井上聡 | 抹消循環不全に伴う外傷患者の凝固傷害を診断するのに血清乳酸値が有用か？ | 第7回日本 Acute Care Surgery 学会学術集会(一般演題 P&PC P13「凝固」) |
| 小網博之、阪本雄一郎、永嶋太、岩村高志、井上聡 | 抹消循環不全に伴う外傷患者の凝固傷害を診断するのに血清乳酸値が有用か？ | 第7回日本 Acute Care Surgery 学会学術集会(一般演題 P&PC P13「凝固」) |
| 與田幸恵、三宅修輔、河野博、古賀靖大、野村明成、能城浩和 | 胃癌に対するロボット支援下手術の現状 | 第7回日本ロボット外科学会 |
| 野村明成、古賀靖大、河野博、三宅修輔、與田幸恵、池田貯、能城浩和 | ロボット支援下直腸癌手術を普及させるためには何が必要か？ | 第7回日本ロボット外科学会 |
| 森本忠嗣、塚本正紹、吉原智仁、生田光、小河賢司 | 横突起骨折と骨盤骨折の関係 | 第83回西日本脊椎研究会 |
| 森本忠嗣、塚本正紹、吉原智仁、園畑素樹、馬渡正明 | 軸椎の部位別 CT ハンスフィールド値の検討 | 第84回西日本脊椎研究会 |
| 草場耕二、於保恵、浦上宗治、濱田洋平、青木洋介 | 血液培養より <i>Leptotrichia trevisanii</i> および <i>Streptococcus oralis</i> が検出されたびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫の一例 | 第85回日本感染症学会西日本地方学術集会 |
| 能城浩和、與田幸恵、三宅修輔 | EV2-3 胃癌および食道胃接合部癌に対するロボット手術 | 第87回日本胃癌学会総会 |
| 與田幸恵、池田 貯、鶴 安浩、江川紀幸、中村宏彰、佐伯潔、河野博、浅井雅子、中村淳、井手貴雄、能城浩和 | 腹腔鏡下胃全摘術における完全鏡視下での再建法の工夫～Overlap 法を安全に行うコツ～ | 第87回日本胃癌学会総会 |

| | | |
|---|---|--|
| 塚本正紹, 森本忠嗣, 吉原智仁, 北島将, 園畑素樹, 馬渡正明 | X線正面像から矢状面 pelvic tilt を求める方法-北島法、土井法、Blondel 法の比較検討- | 第 88 回日本整形外科学会学術集会 |
| 吉原智仁, 森本忠嗣, 塚本正紹, 園畑素樹, 馬渡正明 | 高位脱臼股の脊椎-骨盤矢状面アライメント | 第 88 回日本整形外科学会学術集会 |
| 森本忠嗣, 塚本正紹, 吉原智仁, 園畑素樹, 馬渡正明 | 骨粗鬆症スクリーニング検査の骨粗鬆症性椎体骨折に対する診断能 | 第 88 回日本整形外科学会学術集会 |
| 上野雅也, 田中里紀, 江頭秀一, 塚本正紹, 河野俊介, 北島将, 園畑素樹, 堀川悦夫, 馬渡正明 | 三次元動作解析による片側人工股関節置換術前後の歩行の変化 | 第 88 回日本整形外科学会学術集会 |
| 北島将, 河野俊介, 園畑素樹, 馬渡正明 | 人工股関節置換術は死亡率に影響を与えているか | 第 88 回日本整形外科学会学術集会 |
| 園畑素樹, 北島将, 河野俊介, 馬渡正明 | 大腿骨骨切り術後症例に対するステム挿入の問題点 | 第 88 回日本整形外科学会学術集会 |
| 森本忠嗣, 塚本正紹, 吉原智仁, 園畑素樹, 馬渡正明 | 変形性股関節症の臥位・立位骨盤傾斜の変化と矢状面脊椎骨盤アライメントの関係 | 第 88 回日本整形外科学会学術集会 |
| ○染矢晋佑, 井手衆哉, 田島智徳, 長嶺里美, 園畑素樹, 馬渡正明 | 人工膝関節全置換術後感染に対する治療法の検討 | 第 88 回日本整形外科学会学術集会 |
| 浦上宗治 | 薬剤師による感染症コンサルテーションの基本的な考え方 -実症例を交えて- | 第 9 回佐賀好生館薬剤師セミナー |
| 小網博之, 阪本雄一郎 | 急性期 DIC 基準の中で、外傷性 DIC に最も関与している因子は何か? ~thromboelastmetryを用いた後ろ向き検討~ | 第 9 回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (DIC 部会「新DIC診断基準と実際の臨床」) |
| 永嶋太 | 講師 | 第一種免許に係る応急救護処置指導員養成講習 |
| 溝口 義人 | 精神科医からみた現状と対処 | 超高齢社会での Better Life を考える会 テーマ:認知症・精神疾患と排泄障害 |
| 藤井 進, 野中 小百合, 森田 茂樹 | 地域完結型医療における役割分担下での経営収支指標の考察 | 日本医療マネジメント学会 |
| * 志波 孝治, 藤井 進, 高崎 光浩, 森田茂樹 | 結腸癌手術における予防的抗生物質投与の検討 | 日本医療マネジメント学会 |
| 藤井 進, 野中 小百合, 森田 茂樹 | DPC 点数表から簡易的に得られる経営指標の算出の試みと評価 | 日本医療マネジメント学会 |
| 野中 小百合, 藤井 進, 森田茂樹 | 紹介入院にみる佐賀大学医学部附属病院の役割についての考察 | 日本医療マネジメント学会 |
| ○Murata Y, Honda Y, Masuko S | Expression of vasopressin in rat peripheral tissues. | 日本解剖学会 |
| 渡邊達郎, 佐藤明美, 小林直美, 荒金尚子, 木村晋也, 末岡榮三朗 | ATP 競合性 mTOR 阻害剤 Torin2 は成人 T 細胞白血病細胞株の G2/M における細胞周期の停止を誘導し生育を抑制する | 日本癌分子標的治療学会第 19 回学術集会 |
| ○小林直美, 佐藤明美, 渡邊達郎, 小島研介, 末岡榮三朗, 木村晋也, 荒金尚子 | 肺扁平上皮がんにおける Discoidin Domain Receptor 2 の機能解析 | 日本癌分子標的治療学会第 19 回学術集会 |
| ○佐藤明美, 荒金尚子, 小林直美, 渡邊達郎, 末岡榮三朗, 岡田誠治, 木村晋也 | ヒト肺がん転移モデルマウスを用いた EGF 受容体チロシンキナーゼ阻害剤耐性機構のモニタリング | 日本癌分子標的治療学会第 19 回学術集会 |
| 井上 聡 | 試験(口頭試問)委員 | 日本外科学会外科専門医認定試験 |
| 川崎佳奈子, 島津倫太郎, 内橋和芳, 倉富勇一郎 | 硬口蓋に生じた乳頭状唾液腺腫(Sialadenoma papilliferum)の 1 例 | 日本耳鼻咽喉科学会第 31 回九州連合地方部会学術講演会 |
| 錦戸利幸, 尾山純一, 白木綾, 琴岡憲彦, 挽地裕, 野出孝一 | 脂質低下療法における高用量スタチンと標準量スタチンの比較試験(SARD trial) | 日本脳心血管抗加齢研究会 |
| 錦戸利幸, 尾山純一, 白木綾, 琴岡憲彦, 挽地裕, 野出孝一 | 心筋梗塞後の心機能障害に対するビルダグリブチンの効果 | 日本脳心血管抗加齢研究会 |
| Matsumoto Y., Andou A., Tanabe I., Higashitani T., Oota S., Oiwane S., Sueoka E | 当院におけるウイルス性慢性肝炎の肝硬度測定についての検討 | 日本臨床検査技師会全国学会 |
| * 千葉正志, 末岡榮三朗 | 臨床検査情報システムの歩みとこれから | 日本臨床検査自動化学会第 47 回大会 |
| 井上 聡 | 座長 | 敗血症治療の医師カアップセミナー(教育講演) |
| 住山貴史, 大津康徳 | ホロー電極と永久磁石を用いた低気圧高密度プラズマの空間分布計測 | プラズマ・核融合学会 九州・沖縄・山口支部第 18 回支部大会, P-37, 2014.12.20. 九州大学総理工 |
| 草場耕二, 吉原瑠美, 小松千夏, 橋本優佑, 於保恵, 東谷孝徳, 太田昭一郎, 末岡榮三朗 | <i>Schizophyllum commune</i> によるアレルギー性気管支肺真菌症の一例 | 平成 27 年度日臨技九州支部医学検査学会(第 50 回記念学会) |
| 吉原瑠美, 小松千夏, 橋本優佑, 於保恵, 草場耕二, 東谷孝徳, 太田昭一郎, 末岡榮三朗 | 質量分析装置を用いた嫌気性菌測定における各種測定法の比較検討 | 平成 27 年度日臨技九州支部医学検査学会(第 50 回記念学会) |
| 小松千夏, 吉原瑠美, 橋本優佑, 於保恵, 草場耕二, 東谷孝徳, 太田昭一郎, 末岡榮三朗 | 免疫抑制患者の異なる部位で原発性皮膚ノカルジア症と黒色真菌感染症を併発した一症例 | 平成 27 年度日臨技九州支部医学検査学会(第 50 回記念学会) |
| 多田 芳史 | リウマチ最新治療と HBV 再活性化 | 伊万里有田地区医師会 HBV 再活性化対策セミナー |
| 古藤田信博・林秀洋・五十嵐彩・Charlotte Voogd・RongMei Wu・Roger Hellens・Erika Varkonyi-Gasic | リンゴの APETALA1 相同タンパク質は、開花に関与する MADS-box 転写因子と相互作用する | 園芸学研究 |
| 阿部和幸・副島淳一・岩波宏・古藤田信博・森谷茂樹・高橋(住吉)佐栄・伊藤祐司・別所英男・岡田和馬・加藤秀憲・小森貞男・土師岳・石黒亮 | 果肉が赤く甘い食味のリンゴ新品種 'ルビースイート' | 園芸学研究 |
| 松尾 龍基 竹下 道範 | フォトクロミックスイッチをもつカリックスアレーンの開発 | 化学関連支部九州大会 |
| 前田悠介, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎 | 感温性高分子と界面活性剤を用いた液相還元法による Pt ナノキューブの合成 | 化学工学会第 46 回秋季大会, ZC2P64, 九州大学 |
| 伊藤 学 | バイオ 3D プリンタを用いた小口径人工血管の開発 | 株式会社サイフーズ 創立 5 周年記念イベント |
| 小荒田 秀一 | リウマチ科における実臨床での関節エコーの利用 | 嬢野関節エコー研修会 |
| 平川奈緒美 | 慢性痛の薬物治療について | 宮崎リエゾン慢性痛治療研究会 |
| 塩谷 孝夫 | オプティカル・キモグラフィオン:筋収縮を記録する新しい方法論と、その学生実習への応用 | 筋生理の集い |

| | | |
|--|---|--|
| 森田茂樹 | 心臓血管外科手術と弊社製品について(日本メトロニック) | 九州心臓血管外科医を集めた会 |
| 鬼丸翔平,池田達郎,成田貴行,大石祐司 | 光応答性ゲルの体積挙動:ヒステリシスの効果 | 九州地区高分子若手研究会・冬の講演会 |
| 上田千穂,谷川義則,今村乙峰,高松千洋,平川奈緒美,坂口嘉郎 | 血液ガス分析用ヘパリン添加採血管を用いた血小板数測定の検証. | 九州麻科学会 第 53 回大会 |
| 西原仁子,濱田さつき,三浦大介,山田友子,上村聡子,坂口嘉郎 | 産科大量出血に対しクリオプレシブテートを使用した 2 症例 | 九州麻科学会 第 53 回大会 |
| 天本啓介,四宮宗一郎,濱田 献,久保麻悠子,高松千洋,坂口嘉郎 | 予期せぬ血小板減少を認め手術中断となった一症例 | 九州麻科学会 第 53 回大会 |
| 多田 芳史 | 関節リウマチ治療におけるアパタセプトのポジション | 熊本 RA 治療カンファランス |
| 山下佳雄 | 第 5 回 人工呼吸器の基礎講座「人工呼吸器装着患者のオーラルマネージメント」 | 熊本県臨床工学技士会 |
| 相島 慎一 | 肝幹細胞と肝癌の発育・進展 | 熊本県臨床細胞学会 |
| 貞永 裕梨,徳田悠希子,小野行秀,田代知子,末松梨絵,小野伸之,小荒田秀一,千布 裕,大田明英,多田芳史 | 強皮症に合併した急性腎不全の検討 | 厚生労働省「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」研究班 2013 年度班会議・第 18 回強皮症研究会議 |
| ○貞永裕梨,徳田悠希子,小野行秀,田代知子,末松梨絵,小野伸之,小荒田秀一,千布 裕,大田明英,多田芳史 | 強皮症に合併した急性腎不全の検討 | 厚生労働省「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」研究班 2014 年度班会議・第 18 回強皮症研究会議 |
| 進藤岳郎 | 次世代シークエンサーを用いた TCR レパトア解析でみる ATL | 厚生科研・末廣班研究班会議(口演) |
| 小荒田秀一 | リウマチ実診療における関節エコー検査の活用 | 広島市整形外科リウマチ講演会 |
| 田代克弥 | 当科における成人先天性心疾患管理の現状. | 佐賀サーキュレーション |
| 有働和馬 | 知って得する前立腺がん～検診と最新治療～. | 佐賀県前立腺がん市民公開講座. |
| 大隈良一,西山 哲,大隈恵美,福田亜紗子,加藤麻衣子,中尾佳史,横山正俊 | 紹介患者から見た当院婦人科の現状と未来. | 佐賀産科婦人科学会第 212 回学術研修会. |
| 大隈香奈,津村圭介,中橋弘顕,山本徒子,内野美穂,横山正俊 | 妊娠管理症例から見た当院産科の現状と未来. | 佐賀産科婦人科学会第 212 回学術研修会. |
| 津村圭介,福田亜紗子,大隈香奈,山本徒子,中橋弘顕,横山正俊 | 受講生アンケートから考察した ALSO プロバイダーコースの意義. | 佐賀産科婦人科学会第 213 回学術研修会. |
| 川崎いづみ,西山 哲,大隈香奈,大隈良一,内野美穂,福田亜紗子,相原聡美,中尾佳史,横山正俊 | 診断に難渋した腹膜・胸膜腫瘍の一例. | 佐賀産科婦人科学会第 213 回学術研修会. |
| 大隈良一,津村圭介,大隈香奈,内野美穂,川崎いづみ,山本徒子,中橋弘顕,横山正俊 | 当院で経験したリンパ脈管筋腫症(Lymphangioliomyomatosis:LAM)合併妊娠. | 佐賀産科婦人科学会第 213 回学術研修会. |
| 徳田 誠・中嶋ひかる・木下智章・副島和則・安田雅俊 | 多良山系および青振山系東部の佐賀県側におけるヤマノ分布状況 | 佐賀自然史研究会第22回総会・会員発表会 |
| 下川 尚子,中原 由紀子,井上 浩平,吉岡 史隆,高口素史,江橋 諒,松尾 宗明,田島 大輔,前田 寿幸,平原 恵子 | ITB 療法～手術の実際とトラブルシューティング～. | 佐賀産科婦人科学会第 213 回学術研修会. |
| 相島 慎一 | 胃癌の HER2 診断 適切な組織検体とは? | 佐世保 HER2 講演会 |
| 野口満 | メタボリック症候群と排尿障害. | 佐世保泌尿器科学会学術講習会. |
| 中村 光男 | 尿液中に 2 種類の異型細胞を認めた IPMN の 1 例 | 細胞診好生館症例検討会 |
| 中村 光男 | malignant lymphoma と鑑別を要した Glioblastoma の 1 例 | 細胞診好生館症例検討会 |
| 浦上宗治 | 在宅ケアにおける消毒薬・抗菌薬の選び方・活かし方 | 在宅ネット・さが在宅感染対策講演会 |
| 市場正良,関 顯,杉山浩貴,森 浩司,金村 茂,濱野和可子,木戸誠二郎,竹嶋 淳,錦織千賀,天野有康,高橋紀博,佐藤和也,廣瀬隆穂,川澄八重子,渡辺雅春,園藤陽子,小川孝司 | 特殊健診における生物学的モニタリングの精度管理—25 年間の改善— | 産業中毒・生物学的モニタリング研究会 |
| 多田 芳史 | 関節リウマチ診療の最前線 | 宗像内科医会 学術講演会 |
| 東武昇平 | 腎癌手術術式による outcome と function. | 腎癌治療セミナー in 佐賀. |
| 青木茂久 | 腹膜組織における中皮細胞-内皮細胞間相互作用は物質透過性の規定因子である in vitro 腹膜透過性評価モデルの開発 | 腎病理研究会 |
| 合島怜央奈,王 冰,高尾知佳,三原 弘,加塩麻紀子,大崎康吉,張 旌旗,木附智子,村田 祐造,富永真琴,城戸瑞穂 | 温度感受性 TRP チャネルを介した口腔粘膜の創傷治療制御 | 生理学研究所研究会「生体ホメオスタシスの gateway としての上皮膜輸送マイクロホメオスタシス機構」 |
| 青木茂久 | 脂肪組織の新規培養法の確立と疾病モデルへの応用:脂肪細胞を元気に培養する Tips | 西日本肥満研究会 |
| 相島 慎一 | 標本切り出しの実際とポイント | 全国大学病院病理部技術者連絡会 |
| ○岩根紳治 | C 型肝炎の最新治療 | 多久市肝がん撲滅プロジェクト |
| 柚木純二 | 佐賀大学病院における TAVI 導入の経験 | 大隅鹿屋病院ハートカンファレンス |
| 古賀靖大 | ロンサーフ症例発表 | 大隅癌 Expert Meeting in saga |
| 野中俊宏,薬師寺祐介,井手俊宏,河本和裕,雪竹基弘,原英夫 | 発症 1 ヶ月前に MRI 上の脳表ヘモジドリン沈着が認められていた脳アミロイドアンギオパチー関連脳出血の一例 | 第 210 回日本神経学会九州地方会 |
| 鬼丸翔平,池田達郎,成田貴行,大石祐司 | 光-熱変換型ハイドロゲルの光駆動型振動材料への応用 | 第 31 回九州コロイドキウム |
| 秋丸 佳廣・崎村 峻・成田 貴行・大石祐司 | 形態観察に基づくポリエチレン単結晶形態に及ぼす Self-seeding 操作の影響 | 第 31 回九州コロイドキウム |

| | | |
|---|---|--|
| 大塚泰史、岡 政史、陣内久美子、佐藤忠司、進藤岳郎、木村晋也、川崎誠二、末岡榮三朗、松尾宗明 | Thrombotic microangiopathy における抗 CFH 抗体の解析。 | 第 52 回日本補体学会学術集会 |
| *大村 拓、渡邊栄三、大塚泰史、吉田瑠子、加藤秀樹、南学正臣、織田成人 | 非志賀毒素産生性菌による腸炎を契機に発症しエクリズマブが奏功した血栓性微小血管症の一例。 | 第 52 回日本補体学会学術集会 |
| 大塚泰史、岡 政史、陣内久美子、佐藤忠司、進藤岳郎、川崎誠二、末岡榮三朗、木村晋也、松尾宗明 | 本邦における非典型型溶血性尿毒症症候群の臨床像。 | 第 52 回日本補体学会学術集会 |
| 下田 良、坂田資尚、岩切龍一 | 消化器癌診断と治療の温故知新：大腸腫瘍の拾い上げ診断における BLI (Blue Laser Imaging) の有用性の検討 | 第 100 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 |
| 白井慎平、坂田資尚、岩切龍一 | 炎症性腸疾患における内視鏡検査・治療の有用性：潰瘍性大腸炎の白血球除去療法前後の内視鏡所見は再燃を予測する因子となり得るか | 第 100 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 |
| 藤本一眞 | 薬剤性胃・十二指腸潰瘍：出血性潰瘍を中心に | 第 101 回日本消化器病学会総会 |
| 山内康平、下田 良、岩切龍一、芥川剛至、内田匡彦、坂田資尚、緒方伸一、坂田祐之 | 早期胃癌に対する ESD 非治療切除症例の長期予後 | 第 101 回日本消化器病学会総会 |
| 永瀬圭野口満、高原光平、一番ヶ瀬優佳、藏田彩、柿木寛明、有働和馬、南里麻己、東武昇平、徳田雄治、魚住二郎 | メタボリック症候群は膀胱癌の進展リスク因子である。 | 第 103 回日本泌尿器科学会総会 |
| 徳田雄治、中尾功、東武昇平、有働和馬、楠本美華、野口満、江内田寛、秦野直、魚住二郎 | ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術 (RALP) 周術期の眼圧変化に関する検討。 | 第 103 回日本泌尿器科学会総会 |
| 東武昇平、野口満、永瀬圭、高原光平、一番ヶ瀬優佳、藏田彩、柿木寛明、有働和馬、南里麻己、徳田雄治、魚住二郎 | 腎癌術後の腎機能変化は術後早期の変化率が影響する。 | 第 103 回日本泌尿器科学会総会 |
| 藏田彩、高原光平、一番ヶ瀬優佳、柿木寛明、有働和馬、南里麻己、東武昇平、徳田雄治、野口満、魚住二郎 | 婦人科悪性腫瘍における尿管ステント留置症例のアウトカム。 | 第 103 回日本泌尿器科学会総会 |
| 南里麻己、有働和馬、内橋和芳、青木茂久、野口満、戸田修二、魚住二郎 | 脂肪組織間質細胞が膀胱癌の生存・増殖・遊走・浸潤に及ぼす役割。 | 第 103 回日本泌尿器科学会総会。2015.4.18.総会賞応募ポスター。 |
| 甲斐 敬太、山崎 真希子、増田 正憲、高瀬 ゆかり、相島 慎一 | 胆嚢癌における腫瘍細胞形態および発現形質の検討 | 第 104 回 日本病理学会総会 |
| 内橋和芳、青木茂久、山本美保子、米満伸久、峯子、鶴田敏幸、戸田修二 | 弾発指における腱滑膜の病理組織学的検討 | 第 104 回 日本病理学会総会 |
| 高瀬ゆかり | 特別企画：徒然病理医絵巻～女性病理医の日常～ | 第 104 回日本病理学会総会 |
| 大崎 隼、柚木純二、田中厚寿、蒲原啓司、古賀秀剛、諸隈宏之、野口 亮、古川浩二郎、森田茂樹 | TEVAR で完治した Listeria 菌による感染性胸部大動脈瘤の 1 例 | 第 105 回日本血管外科学会九州地方会 |
| 芥川剛至、山内康平、内田匡彦、坂田資尚、下田良、緒方伸一、岩切龍一、藤本一眞 | 高齢者早期食道癌の治療成績と問題点：高齢者における ESD の検討 | 第 105 回日本消化器病学会九州支部例会 |
| 林 昌孝、山内康平、前田稔弘、芥川剛至、内田匡彦、鶴岡ななえ、坂田資尚、岩切龍一、藤本一眞 | 胃癌、大腸癌の術後経過中に胆管癌を合併した Cronkhite-Canada 症候群の 1 例 | 第 105 回日本消化器病学会九州支部例会 |
| 島村拓弥、川久保洋晴、中山敦史、鶴岡ななえ、坂田資尚、岩切龍一、藤本一眞 | 清肺湯の長期服用が疑われる腸間膜静脈硬化症の 1 例 | 第 105 回日本消化器病学会九州支部例会 |
| 垣内俊彦、松尾宗明、工藤豊一郎 | 小児 C 型慢性肝炎における PEG-IFN α 2a+Ribavirin dose up 療法の有効性の検討。 | 第 105 回日本消化器病学会九州支部例会 |
| *古賀秀剛、蒲原啓司、高木 淳、林 奈宜 | EVAR 後のエンドリークに対して、遠隔期に動脈瘤拡大のため人工血管置換を行った 1 例 | 第 106 回日本血管外科学会九州地方会 |
| 木塚貴浩、野上英次郎、野口 亮、麓 英征、柚木純二、古川浩二郎、森田茂樹、與田幸恵、能代浩和 | 感染性胸部大動脈瘤食道癌に、TEVAR+胸腔鏡下食道切除で人工血管置換を回避した一例 | 第 106 回日本血管外科学会九州地方会 |
| 福地絢子、内田匡彦、鶴岡ななえ、白井慎平、竹下枝里、坂田資尚、岩切龍一、藤本一眞 | 食道潰瘍が発見の契機となった 1 Crohn 病の 1 例 | 第 106 回日本消化器病学会九州支部例会 |
| 中山賢一郎、山内康平、川村紗奈江、松浦聡子、川久保洋晴、鶴岡ななえ、坂田資尚、岩切龍一、藤本一眞 | 急性腹症、大腸腹水の病像を呈した膀胱自然破裂の 1 例 | 第 106 回日本消化器病学会九州支部例会 |
| 中山愛子、垣内俊彦、飯田千晶、田代克弥、松尾宗明 | フォンタン循環における門脈血流、脾臓エラストグラフィおよびアジアロシチの肝線維化指標としての有用性。 | 第 106 回日本消化器病学会九州支部例会 |
| 佐藤慎太郎、島津倫太郎、倉富勇一郎 | 当科における唾液腺導管癌の検討 | 第 109 回日本耳鼻咽喉科学会佐賀県地方部会学術講演会 |
| 鶴田紀子、森田駿、永瀬浩太郎、井上卓也、成澤寛 | 紹介患者報告 | 第 10 回 佐賀臨床皮膚科医会 |
| 前田寿幸、荒木薫、松尾宗明、加藤光広 | GABRA1 遺伝子異常を伴った早期ミオクローニー脳症の一例。 | 第 10 回日本てんかん学会九州地方会 |
| ○稲葉 隆緒、祖川 倫太郎、原口 祥典、丸尾 譲二、立石 洋、國武 裕、溝口 義人、川島 敏郎、門司 晃 | 双極性障害における lamotrigine の再投与を行った症例の臨床的検討 | 第 111 回日本精神神経学会学術総会 |
| *長嶋一昭、田中大祐、東元 健、八木ひとみ、杉崎和、田原 裕美子、副島英伸、稲垣暢也 | Beckwith-Wiedemann 症候群における新生児期低血糖合併機序の検討 | 第 112 回日本内科学会総会 |
| 野下祥太郎、江里口誠、薬師寺祐介、北島雄人、森法道、田中淳、原英夫 | 脳アミロイド血管症における血栓溶解療法関連多発皮質下出血の一例 | 第 112 回日本内科学会総会・講演会 |
| 森田茂樹、宮崎耕治 | 「こんなにも違う外科医の待遇」大学病院における個人へのインセンティブ支給の実際 | 第 115 回日本外科学会定期学術集会 |
| 大崎 隼、柚木純二、蒲原啓司、田中厚寿、挽地 裕、下村光洋、坂本佳子、諸隈宏之、古賀秀剛、野口 亮、古川浩二郎、野出孝一、森田茂樹 | 高度頸動脈病変を有する重症 AS 患者に対し、頸動脈ステント留置術施行後に TAVI を行った一例 | 第 118 回日本循環器学会九州地方会 |
| ○平田静香、野口 亮、蒲原啓司、柚木純二、諸隈宏之、古賀秀剛、田中厚寿、古川浩二郎、森田茂樹 | 中枢性尿管症患者における開心術後管理に難渋した一例 | 第 118 回日本循環器学会九州地方会 |

| | | |
|---|--|---|
| 宮崎元子、樋渡敦史、長友大輔、下村光洋、小松愛子、尾山純一、挽地裕、野出孝一 | 第118回日本循環器学会九州地方会 | 第118回日本循環器学会九州地方会 |
| *大崎隼、柚木純二、蒲原啓司、田中厚寿、挽地裕、下村光洋、坂本佳子、諸隈宏之、古賀秀剛、野口亮、古川浩二郎、野出孝一、森田茂樹 | 高度頸動脈病変を有する重症AS患者に対し、頸動脈ステント留置術施行後にTAVIを行った一例 | 第118回日本循環器学会九州地方会 |
| *清水瑞巳、山崎あゆむ、坂本佳子、梶原正貴、野副純世、古山准二郎、琴岡憲彦、野出孝一 | 心臓3D-CTによる評価が有用であった巨大冠静脈洞憩室頸部副伝導路による房室回帰性頻拍の1例 | 第118回日本循環器学会九州地方会 |
| *森永智子、山崎あゆむ、合力悠平、小松愛子、琴岡憲彦、野出孝一 | F-FDG-PETが診断および病勢の評価に有用であった心サルコイドーシスの2例 | 第118回日本循環器学会九州地方会 |
| 垣内俊彦、松尾宗明、青木知信 | 長期間腹痛・嘔吐を有する小児に対する上部消化管内視鏡検査についての検討 | 第118回日本小児科学会学術学会 |
| 尾形善康、天本宗次朗、生野猛、松尾宗明 | 外科的摘出後に診断となった異所性胸腺の一例 | 第118回日本小児科学会学術学会 |
| 土井大人、古賀佳代、南里亜由美、荻原俊、溝口達弘、小野晋康、佐藤忠司 | 外転神経麻痺を契機に診断に至った脳静脈洞血栓症の一例 | 第118回日本小児科学会学術学会 |
| 溝口達弘、在津正文 | 佐賀大病院におけるアナフィラキシーでの受診者の実態について | 第118回日本小児科学会学術学会 |
| ○上野雄司、山崎あゆむ、兼田浩平、坂本佳子、下村光洋、七條正英、野上英次郎、野口亮、麓英征、柚木純二、古川浩二郎、挽地裕、森田茂樹、野出孝一 | 冠動脈CTによる血管壁の評価が有用であった左冠動脈主幹部狭窄を伴う労作性狭心症の1例 | 第119回日本循環器学会九州地方会 |
| *高木淳、蒲原啓司、古賀秀剛、林奈宜、石崎正彦、武野正義 | 血管攣縮によりカテーテル治療を要した冠動脈バイパス術後の1例 | 第119回日本循環器学会九州地方会 |
| 白木綾、尾山純一、野出孝一 | インクレチン関連薬の不全心に与える作用 | 第119回日本循環器学会九州地方会 |
| *上野雄司、山崎あゆむ、兼田浩平、坂本佳子、下村光洋、七條正英、野上英次郎、野口亮、麓英征、柚木純二、古川浩二郎、挽地裕、森田茂樹、野出孝一 | 冠動脈CTによる血管壁の評価が有用であった左冠動脈主幹部狭窄を伴う労作性狭心症の1例 | 第119回日本循環器学会九州地方会 |
| 伊藤寛、飯沢美文、中原由紀子、河島雅到、阿部竜也 | 全摘出術後に再発を来したLow grade astroblastomaの一例 | 第119回日本脳神経外科学会九州支部会 |
| 野口満 | 腸管利用造瘻術の経験 | 第11回佐賀ウロギネコロジー研究会 |
| 高島利、長家智子、坂田資尚、中山敦史、岩切龍一、藤本一真 | DSS腸炎モデルにおけるオリブオイルの炎症と細胞増殖に対する効果 | 第11回日本消化管学会総会学術集会 |
| 田中雄一郎、川久保洋晴、坂田資尚 | 若年健康成人における逆流性食道炎:背景因子と臨床症状の検討 | 第11回日本消化管学会総会学術集会 |
| 高良吉迪、芥川剛至、山内康平、坂田資尚、下田良、岩切龍一 | 大腸ESDにより一括切除しえたpyogenic granulomaの1例 | 第11回日本消化管学会総会学術集会 |
| 合島怜央奈、木附智子、王冰、高尾知佳、三原弘、加塩麻紀子、大崎康吉、張旌旗、富永真琴、城戸瑞穂 | 口腔粘膜におけるTRPV3チャネルのEGFRシグナルを介した速やかな創傷治癒への関与 | 第120回日本解剖学会総会・全国学術集会 第92回日本生理学会大会(合同大会) |
| *木附智子、合島怜央奈、畠山純子、大崎康吉、張旌旗、城戸瑞穂 | 歯肉上皮バリア機能へのTRPV4の関与 | 第120回日本解剖学会総会・全国学術集会 第92回日本生理学会大会(合同大会) |
| *張旌旗、合島怜央奈、木附智子、大崎康吉、久木田敏夫、城戸瑞穂 | 温度感受性TRPVチャネル遺伝子欠失マウスにおけるエナメル質の形成異常 | 第120回日本解剖学会総会・全国学術集会 第92回日本生理学会大会(合同大会) |
| Shioya T | Functional characterization of calcium holes in heart cells | 第120回日本解剖学会総会・全国学術集会・第92回日本生理学会大会合同大会 |
| *Kurebayashi N, Odagiri F, Inoue H, Sugihara M, Suzuki T, Murayama T, Shioya T, Konishi M, Morimoto S (シンポジウム) | Angiotensin II receptor blocker (ARB)-sensitive and insensitive remodeling in hearts of inherited DCM mice | 第120回日本解剖学会総会・全国学術集会・第92回日本生理学会大会合同大会 |
| 桃崎明彦、古川隆、高瀬幸徳、下川尚子、増岡淳、河島雅到、阿部竜也、寒竹大地、石川慎一郎 | ガラス片による穿通性頭部外傷の一例 | 第120回日本脳神経外科学会九州支部会 |
| 江橋諒、高瀬幸徳、緒方敦之、阿部竜也、溝口恵 | マダニ咬傷に伴う内径動脈閉塞症に対し血管内治療を行った1例 | 第120回日本脳神経外科学会九州支部会 |
| 岡村誠司、下川尚子、吉岡史隆、江橋涼、古川隆、高口素史、若宮富浩、緒方敦之、高瀬幸徳、中原由紀子、増岡淳、河島雅到、阿部竜也、平川奈緒美、坂口嘉郎 | 脊髄脂肪腫術後に発症した偽性髄膜瘤に対し内視鏡併用硬膜修復術を行った一例 | 第121回日本脳神経外科学会九州支部会 |
| 小野大地、中原由紀子、江橋涼、古川隆、若宮富浩、吉岡史隆、緒方敦之、高瀬幸徳、下川尚子、増岡淳、河島雅到、阿部竜也 | 側頭骨へ中頭蓋窩に進展した顔面神経鞘腫の一例 | 第121回日本脳神経外科学会九州支部会 |
| 楠元美華、寒竹大地、横尾摩耶、石川慎一郎、江内田寛 | 当院における緑内障手術時の抗血栓薬の取り扱いと出血性合併症の検討 | 第125回佐賀大学眼科臨床懇話会 |
| 石川慎一郎、江内田寛 | 当院におけるリバスズル点眼薬の短期使用成績 | 第126回佐賀大学眼科臨床懇話会 |
| 井上卓也 | 皮膚科診療に関わる最近の新しい治療薬について | 第12回佐賀臨床皮膚科医会 |
| 西岡憲一 | ポリコムサイレンシングを制御する新規メカニズムの発見 | 第12回さががけ領域会議 |
| 松永妃都美、新地浩一 | 大規模災害を契機に乳幼児と被災地を離れ、九州北部での生活を継続する保護者達の人生の経路—複線経路・等至性アプローチ(Trajectory Equifinality Approach: TEA)— | 第12回に本質の心理学会 仙台 2015.10.3-4 |
| 南里麻己、藏田彩、東武昇平、野口満、魚住二郎、江頭智子、高柳俊光、野見山亮 | 救命できなかった胎児両側水腎症の1例 | 第12回九州小児泌尿器研究会 |

| | | |
|---|---|--|
| 永瀬圭,大塚泰史,松尾宗明,野口満,東武昇平,魚住二郎,津田兼之介,田中征治 | 胎児期から管理された馬蹄腎および後部尿道弁の1例. | 第12回九州小児泌尿器研究会. |
| 稲田由紀子,大塚泰史,垣内俊彦,岡政史,陣内久美子,横田吾郎,小野晋康,松本志郎,阪本靖介,松尾宗明 | 高アンモニア血症に対して早期に体外循環治療を施行できたカルバミルリン酸合成酵素欠損症の一例. | 第12回九州先天代謝異常研究会 |
| ○泉夏美,大塚大河,荒木紀匡,岡田倫明,磯田広史,田中まゆこ,尾崎岩太,江口有一郎,安西慶三 | 肝細胞癌に対するソラフェニブのサポートプログラム「ネクサリンク」による服薬期間延長効果 | 第12回日本肝がん分子標的治療研究会 |
| *吉村 歩,松原理沙,田中秀門,今市悠太郎,吉田悟,萩田薫,野村武雅,側島健宏,松下博亮,白井憲司,南野初香,元重京子,木部哲也,東元健,副島英伸 | Beckwith-Wiedemann 症候群と診断した1絨毛膜2羊膜性双胎の一女児例 | 第137回日本小児科学会静岡地方会 |
| 平川奈緒美 | 慢性痛の薬物治療 | 第13回 痛みの臨床フォーラム |
| 相島 慎一 | 胃癌、大腸癌と肝・膵癌の病理学的類似性 | 第13回九州消化器外科学術講演会 |
| 小宮一利,中村朝美,貞松 宏典,中島千穂,高橋浩一郎,木村晋也,荒金尚子 | 当院における ALK 阻害剤の効果と安全性の後方視的検討 | 第13回日本臨床腫瘍学会学術集会 |
| 相原聡美,橋口真理子,大隈恵美,西山 哲,中尾佳史,横山正俊 | Associations between early end of life discussion and care received near death in advanced ovarian cancer patients. | 第13回日本臨床腫瘍学会学術集会. |
| ○太田友里,新納宏昭,中山剛志,植木尚子,太田俊一郎,續啓史,Siamak Jabbarzadeh-Tabrizi,赤星光輝,有信洋二郎,久木田明子,塚本浩,赤司浩一 | 関節リウマチにおける RANK 陽性エフェクターB 細胞の同定 | 第14回西日本骨・関節関連疾患患談会 |
| ○上原範久,久木田明子,久本由香里,保田尚孝,久木田敏夫 | 細胞外マトリックス分子ラミニン332の破骨細胞形成抑制作用 | 第14回西日本骨・関節関連疾患患談会 |
| Xu Xianghe, Makoto Shiraki, Asana Kamohara, Toshio Kukita, Akiko Kukita | Novel role of Nedd4 adaptor protein, Pmpa1 in the differentiation and function of osteoclasts | 第14回西日本骨・関節関連疾患患談会 |
| 飯田千晶,岩永晃,田代克弥 | 川崎病急性期における血清 IgG 値推定の有用性. | 第14回九州川崎病研究会 |
| 下川 尚子,阿部 竜也,河島 雅到,増岡 淳,中原 由紀子,高瀬 幸徳,伊藤 寛,高口 素史,古川 隆 | 頭蓋縫合早期癒合症の手術. | 第14回佐賀脳神経外科手術手技研究会. |
| 迎 洋輔,伊藤 学,野口 亮,諸隈宏之,古賀秀剛,柚木純二,蒲原啓司,古川浩二郎,中山功一,野出孝一,森田茂樹 | ヒトiPS細胞由来心筋細胞凝集塊の機能的解析 | 第14回再生心臓血管外科治療研究会 |
| 野口 亮,蒲原啓司,古川浩二郎,森田茂樹 | 細胞のみで3次元脈管構造体を簡便に作成する技術開発 | 第14回日本再生医療学会総会 |
| 下川 尚子,高口 素史,吉岡 史隆,伊藤 寛,緒方 敦之,高瀬 幸徳,中原 由紀子,増岡 淳,河島 雅到,阿部 竜也,上村 哲司 | 頭蓋縫合早期癒合症に対する3D実体モデルを用いた術前シミュレーション～その有効性と問題点について～. | 第15回 日本術中画像情報学会. |
| 小網博之,阪本雄一郎 | Thromboelastometry(ROTEM)における線溶亢進の診断と血餅退縮(clot retraction)について. | 第15回 TTM フォーラム |
| 河島 雅到,増岡 淳,下川 尚子,中原 由紀子,高瀬 幸徳,緒方 敦之,吉岡 史隆,若宮 富浩,高口 素史,古川 隆,江橋 諒,阿部 竜也 | OA-PICA バイパスを併用して治療した解離性椎骨動脈瘤. | 第15回佐賀脳神経外科手術手技研究会. |
| 石川慎一郎 | 佐賀大学における最近の緑内障点眼薬の使用経験と新しい24時間眼圧評価の試み | 第16回沖縄眼研究フロンティア |
| Tomomi Nakamura, Akemi Sato, Naomi Kobayashi, Hitomi Umeguchi, Kazutoshi Komiya, Shinya Kimura, Naoko Aragane | Potential predictive markers for re-challenge with first generation and second generation EGFR-TKI | 第16回世界肺癌学会 |
| * 田口尚人,西田裕一郎,畠中大誠,綾部誠也,森村和浩,三好伸幸,平野雅巳,松垣靖樹,田中宏暁 | 保健指導該当高齢者に対する運動支援を柱にした長期介入の効果～教室開催期間と自宅での任意継続期間に着目して～ | 第16回日本健康支援学会年次学術大会 |
| 西田裕一郎(座長),中田由夫,綾部誠也,生田純男 | ワークショップ①高い身体活動を維持するコツは? | 第16回日本健康支援学会年次学術大会(ワークショップ) |
| 緒方 敦之,河島 雅到,江橋 諒,古川 隆,高口 素史,若宮 富浩,吉岡 史隆,高瀬 幸徳,中原 由紀子,下川 尚子,増岡 淳,阿部 竜也 | 頸動脈狭窄症における放射線学的プラーク診断と免疫組織化学的検討. | 第16回日本分子脳神経外科学会. |
| 石川慎一郎,江内田寛,吉永幸靖,中村大輔,岡田龍夫,石橋達朗 | 新しい眼底酸素飽和度測定装置の開発-1 | 第16回有明眼科懇話会,第124回佐賀大学眼科臨床懇話会 |
| 北村二雄,小山西重蔵,宮崎真佐也 | 二酸化炭素を原料とする有機合成反応の開発 | 第16回連携大学院産学官交流セミナー |
| 牟田健祐,北村二雄 | ヨードシラレーンを用いたアセトフェノン誘導体の簡便なフッ素化反応 | 第17回 ヨウ素学会シンポジウム |
| 松永妃都美,新地 浩一 | 乳幼児と東日本大震災を経験した保護者の防災対策と防災への意識変化 | 第17回 日本災害看護学会 (2015.8.8-9 仙台) |
| 藏田彩,草野脩平,一番ヶ瀬優佳,柿木寛明,南里麻己,有働和馬,東武昇平,野口満,魚住二郎 | チェーン CG 検査で骨盤臓器脱術後の腹圧性尿失禁は予測可能か?. | 第17回日本女性骨盤底医学会. |
| 川久保洋晴,竹下枝里,鶴岡ななえ,坂田資尚,岩切龍一,藤本一真 | 若年成人における上腹部症状を訴える頻度についての比較検討 | 第17回日本神経消化器病学会・第9回機能性ディスぺシア研究会合同学術集会2015 |
| 竹下枝里,川久保洋晴,鶴岡ななえ,坂田資尚,岩切龍一,藤本一真 | Functional dyspepsia 様症状を有する検診受診者の特徴 | 第17回日本神経消化器病学会・第9回機能性ディスぺシア研究会合同学術集会2015 |
| 鶴岡ななえ,竹下枝里,川久保洋晴,坂田資尚,岩切龍一,藤本一真 | 機能性ディスぺシアの性別による比較検討 | 第17回日本神経消化器病学会・第9回機能性ディスぺシア研究会合同学術集会2015 |

| | | |
|---|---|---|
| ○粕谷加代子、江頭玲子、中園貴彦、山口 健、入江裕之、宮本詩子、武田雄 二、高瀬ゆかり | 経過で増大と縮小を繰り返し診断に苦慮した原発性肺癌の一 例 | 第 181 回日本医学放射線学会九州地方会 |
| ○粕谷加代子、江頭玲子、中園貴彦、山口 健、入江裕之、宮本詩子、武田雄 二、高瀬ゆかり | 経過で増大と縮小を繰り返し診断に苦慮した原発性肺癌の一 例 | 第 181 回日本医学放射線学会九州地方会 |
| 柿原奈保子 | 創傷に対するマヌカ精油の治癒促進効果 | 第 18 回日本アロマセラピー学会 |
| 竹下枝里、鶴岡ななえ、岩切龍一、藤本一真 | 高齢者の検診上部消化管内視鏡検査における特徴 | 第 18 回日本高齢消化器病学会総会 |
| 鶴岡ななえ、竹下枝里、岩切龍一、藤本一真 | 当院における 90 歳以上の超高齢者に対する ERCP の特徴 | 第 18 回日本高齢消化器病学会総会 |
| * 藤田 亮、阪本 雄一郎、井上 聡、岩村 高志、小網博之、永嶋 太、三池 徹、今長谷 尚史、鳴海 翔悟、後藤 明子 | 生前に確定診断に至らなかった細菌性髄膜炎を合併した頸椎周囲膿瘍の一例 | 第 18 回日本臨床救急医学会総会・学術集会(揭示演題 39)「感染症(1)」 |
| 中村朝美、佐藤明美、小林直美、梅口仁美、小宮一利、木村晋也、荒金尚子 | | 第 19 回日本がん分子標的治療学会 |
| 山下雄平、山下佳雄、轟岡祥子、下平大治、檀上敦、後藤昌昭 | 顎顔面外傷症例に対するインプラント補綴の臨床的検討 | 第 19 回日本顎顔面インプラント学会学術大会 |
| 山下佳雄 | シンボジウム「顎骨再建症例へのインプラント治療保険導入後の評価」 | 第 19 回日本顎顔面インプラント学会学術大会 |
| 副島英伸 | インプリンティング関連疾患のゲノム・エピゲノム解析 | 第 19 回日本内分泌病理学会 |
| 青木茂久 内橋和芳 山本美保子 戸田修二 | 細胞社会と細胞動態解析システム 微小環境再現モデルによる病態解明と再生医療への応用 | 第 19 回日本内分泌病理学会学術総会 |
| 内橋和芳、青木茂久、山本美保子、米満伸久、戸田修二 | FGF23 の作用過剰による低リン血症は canonical Wnt シグナルの影響を受けるか | 第 19 回日本内分泌病理学会学術総会 |
| 山本美保子、青木茂久、内橋和芳、米満伸久、杉原甫、小池英介、戸田修二 | 3 次元培養における濾胞細胞の濾胞構築に与える脂肪組織の影響 | 第 19 回日本内分泌病理学会学術総会 |
| 出原賢治 | マトリセルラータンパク質であるペリオスチンによる炎症惹起機序とその臨床応用 | 第 19 回日本内分泌病理学会学術総会 |
| 相島 慎一 | 遺伝子病理診断でわかること | 第 1 回佐賀がんフォーラム |
| 須山ゆかり、木村亜由美、古賀大介、永井功造、尾形善康、松尾宗明 | 第Ⅹ因子および aPCC 製剤によるアナフィラキシーを認めたインヒビター陽性重症血友病 B の一例 | 第 1 回西日本血友病 B 研究会 |
| 江里口誠 | 医科における摂食嚥下、そして歯科にもとめられること | 第 1 回摂食嚥下スペシャリスト養成研修会 |
| 中山賢人、田畑絵美、井手俊宏、薬師寺祐介、森法道、溝口恵、小杉雅史、江里口誠、原英夫 | 急性の意識障害、ミオクローヌスを生じ CJD と鑑別を要した慢性アルコール関連脳症の 1 例 | 第 209 回日本神経学会九州地方会 |
| 祖川 倫太郎、持永 早希子、稲葉 隆緒、門司 晃、藤戸 博 | 精神科領域におけるラモトリギンの長期服用の実態調査 | 第 20 回 向精神薬フォーラム |
| 小野南月、田中淳、薬師寺祐介、原英夫 | 肺動静脈瘻コイル塞栓術により前兆を伴う片頭痛が改善した一例 | 第 211 回 日本神経学会九州地方会 |
| 石川亜佐子、濱田 献、笹栗智子、平川奈緒美 | 胸腔鏡下胸部交感神経遮断術後の患者満足度について | 第 21 回 日本胸腔鏡下交感神経遮断研究会 |
| 濱田 献、石川亜佐子、笹栗智子、平川奈緒美 | 当院における胸腔鏡下交感神経遮断術(ETS)再手術症例の検討 | 第 21 回 日本胸腔鏡下交感神経遮断研究会 |
| 相島 慎一 | 胆管細胞癌における Vascularity の多様性 病理の見地から | 第 21 回肝血流動態・機能イメージ研究会 |
| 田中沙恵、新地浩一 | "Pacific Partnership 2014" におけるフィリピン・レイテ島での医療活動報告 | 第 21 回日本集団災害医学会総会・学術退会、2015.2.26-28、東京 |
| 青木早織、東元健、樋高秀憲、大塚泰史、三嶋博之、吉浦孝一郎、大場隆、片淵秀隆、副島英伸 | 間葉性異形成胎盤におけるインプリント DMR のエピジェノタイプ変化 | 第 22 回遺伝性疾患に関する出生前診断研究会 |
| 伊藤 学 | バイオ 3D プリンタによる Scaffold free な小口径人工血管の開発 | 第 22 回大隅循環器研究会 |
| 島ノ江 千里、原 めぐみ、西田 裕一郎、大塚康子、南里 妃名子、堀田 美加子、安方 淳、三好信行、山田陽介、Yun-Shan Li、河井一明、葛西 宏、松垣靖樹、田中 恵太郎 | 5 年間の自覚ストレスと DNA 損傷マーカー(8OHdG)との関連—JMICC study SAGA | 第 22 回日本行動医学会学術総会 |
| 東島直生、山本岳史、松本幸、志波徹、船津文香、河野俊介、北島将、園畑素樹、馬渡正明 | 人工股関節全置換術後早期における身体活動量の関連因子 | 第 23 回佐賀県理学療法士学会 |
| ○青木早織、東元 健、樋高秀憲、渡邊英孝、大塚泰史、三嶋博之、吉浦孝一郎、八木ひとみ、西岡憲一、城圭一郎、大場 隆、片淵秀隆、副島英伸 | 間葉性異形成胎盤の分子遺伝学的解析 | 第 23 回日本胎盤学会 |
| 青木早織、東元健、樋高秀憲、渡邊英孝、大塚泰史、三嶋博之、吉浦孝一郎、八木ひとみ、西岡憲一、城圭一郎、大場隆、片淵秀隆、副島英伸 | 間葉性異形成胎盤の分子遺伝学的解析 | 第 23 回日本胎盤学会学術集会 |
| 古川 隆、高瀬 幸徳、江橋 諒、緒方 敦之、河島雅到、阿部竜也 | コイルおよび n-BCA を用いた経動脈塞栓が奏功した特発性頸動脈海綿静脈洞瘻(Barrow type B)の一例 | 第 23 回日本脳神経血管内治療学会九州地方会 |

| | | |
|--|--|---------------------------------------|
| 山口可奈、田代加代子、佐藤清治、西村真二、井上浩平、伊東美知代 | 小児の虐待症例における相談支援センターの関わりについて～現状と課題～ | 第 24 回好生館医学会総会 |
| 長友大輔、下村光洋、琴岡憲彦、尾山純一、挽地裕、野出孝一 | PIT catheter PIT カテーテルによる選択的冠動脈血栓溶解療法の有効性について | 第 24 回心血管インターベンション治療学会 |
| 小荒田秀一、田代知子、中尾嘉修、徳田悠希子、小野行秀、丸山暁人、小野伸之、大田明英、多田芳史 | IgG4 関連疾患における形質芽細胞の CXCR5 の発現の検討 | 第24回日本シェーグレン症候群学会学術集会 |
| 藤本一真 | 脂質の安全性と健康、脂肪摂取と大腸発癌：動物実験による検証 | 第 24 回日本脂質栄養学会大会 |
| *永瀬 圭、大塚泰史、松尾宗明、野口 満、東武昇平、魚住二郎、津田兼之介、田中征治 | 胎児期から管理された馬蹄腎および後部尿道弁の 1 例 | 第 24 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会 |
| 野口満、南里麻己、東武昇平、大塚泰史、魚住二郎 | VUR index は果たして自然治療予測に有用か？ | 第 24 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会 |
| 野口満 | シボゾウム 1「小児泌尿器科疾患診療指針作成委員会報告」治療方針の決定・手術適応 | 第 24 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会 |
| 東武昇平、野口満、魚住二郎 | シボゾウム 2「小児泌尿器科学における基礎研究の意義と面白さ」小児泌尿器領域で基礎研究は臨床に生かせるか？ | 第 24 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会 |
| 野口満、有働和馬、東武昇平、魚住二郎 | ワークショップ 2「極める一次世代の小児泌尿器科医・外科医に求められる医術を教授します」小児泌尿器科医の育成を極める一私、研修医を絶対に振り向かせます | 第 24 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会 |
| 平川奈緒美 | ペインクリニックにおける慢性痛の治療 | 第 25 回 中国四国ペインクリニック学会 |
| 傍示 幸、祖川 倫太郎、持永 早希子、島ノ江 千里、田崎 正信、原 英夫 | ラモトリギンの皮膚障害に関するリスク因子の検討と発現時期の調査 | 第 25 回医療薬学会年会 |
| 白濱 和加子、前田 美由、飛田 修康、祖川 倫太郎、林 章浩、持永 早希子、田崎 正信、原 英夫 | 病棟薬剤師による情報共有ツールを活用した簡易懸濁法の運用とその効果 | 第 25 回医療薬学会年会 |
| 飛田 修康、前田 美由紀、祖川 倫太郎、持永 早希子、田崎 正信、三原 由紀子、原 英夫 | 効率的な投薬注射状況の把握のための新たなシステムとその効果 | 第 25 回医療薬学会年会 |
| 南 智香子、祖川 倫太郎、大塚 泰史、持永 早希子、田崎 正信、松尾 宗明、原 英夫 | 小児においてシクロスポリンとミコナゾールゲルの薬物間相互作用を評価した 1 症例 | 第 25 回医療薬学会年会 |
| 山口 美紗子、久保 陽平、祖川 倫太郎、今長谷 尚史、進藤 岳郎、原 英夫 | 血栓性血小板減少性紫斑病患者のバルプロ酸ナトリウム血中濃度に血漿交換療法が影響したと考えられた 1 症例 | 第 25 回医療薬学会年会 |
| 有働和馬、一番ヶ瀬優佳、草野脩平、高原光平、藏田彩、柿木寛明、南里麻己、東武昇平、野口満 | 医学部学生を対象とした腹腔鏡ドライボックス実習の効果についての検討 | 第 25 回九州内視鏡下外科手術研究会 |
| 野口満 | 前立腺癌手術に於ける開腹術との比較 | 第 25 回九州内視鏡下外科手術研究会 |
| 田代宏樹、高橋浩一郎、加藤剛、林真一郎、木村晋也、荒金尚子 | Monocytes IL-33 contributes to HDM-induced airway inflammation | 第 25 回国際喘息学会、日本・北アジア部会学術集会 |
| ○傍示 幸、祖川 倫太郎、持永 早希子、島ノ江 千里、田崎正信、原 英夫 | ラモトリギンの皮膚障害に関するリスク因子の検討と発現時期の調査 | 第 25 回日本医療薬学会年会 |
| Hara M, Nishida Y, Shimanoe C, Otsuka Y, Nanri H, Higaki Y, Horita M, Kawai K, Li YS, Kasai J, Kasai H, Tanaka K. | Association between moderate/vigorous intensity of physical activity and urinary levels of 8-hydroxydeoxyguanosine in middle-aged Japanese men and women | 第 25 回日本疫学会学術総会 |
| Nishida Y, Higaki Y, Taguchi N, Hara M, Nakamura K, Nanri H, Imaizumi T, Sakamoto T, Shimanoe C, Horita M, Shinchi K, Tanaka K | Association between objectively measured physical activity and serum adiponectin in the middle-aged population. | 第 25 回日本疫学会学術総会 |
| 長友大輔、下村光洋、琴岡憲彦、尾山純一、挽地裕、野出孝一 | 感染性大動脈瘤のステントグラフト術後に炎症性大動脈瘤を発症したと考えられる一例 | 第 25 回日本心血管画像動態学会 |
| 多胡素子、坂本佳子、尾山純一、野出孝一 | 2 型糖尿病高齢者におけるシタグリブチンの有効性と安全性 | 第 25 回日本老年医学会九州地方会 |
| 松本明子、小中原猛雄、市場正良、矢嶋伊知郎、Vasilis Vasiliou、藤田真由美 | 飲酒と ALDH2 欠損によって生じる色素沈着症の研究 | 第 26 回日本色素細胞学会学術大会 |
| *坂本佳子、琴岡憲彦、小松愛子、秋吉妙美、秋吉重康、梅木俊春、下村光洋、挽地裕、柚木純二、蒲原啓司、田中厚寿、古川浩二郎、森田茂樹、野出孝一 | 重症大動脈弁狭窄症に対する TAVI 前後における心エコー図の変化と合併症の検討について | 第 26 回日本心エコー図学会学術集会 |
| ○梅木俊春、秋吉妙美、秋吉重康、坂本佳子、小松愛子、琴岡憲彦、諸隈宏之、蒲原啓司、末岡榮三朗、森田茂樹、野出孝一 | 巨大冠動脈瘤を合併した左冠動脈冠静脈洞瘻の診断に心エコーが有用であった 1 例 | 第 26 回日本心エコー図学会学術集会 |
| 秋吉妙美、琴岡憲彦、小松愛子、坂本佳子、浅香真知子、多胡素子、秋吉重康、梅木俊春、森田茂樹、野出孝一 | 僧帽弁逸脱症における経胸壁心エコー図所見と手術所見の比較検討 | 第 26 回日本心エコー図学会学術集会 |
| *原博満、飯笹英一、清原秀泰、中馬康志、矢野郁也、植松崇之、久保田未央、梅村正幸、山崎晶、松崎吾朗、吉田裕樹 | 自然免疫 ITAM 関連受容体による結核菌脂質の認識と免疫応答 | 第 26 回日本生体防御学会学術総会 シンポジウム「自然免疫研究の新展開」 |
| 石川慎一郎、江内田寛 | 当院におけるリバスジル点眼薬の短期使用経験 | 第 26 回日本緑内障学会 |
| *船島由美子、永沢善三、宮本比呂志 | Microwave を利用した迅速抗酸菌染色法の検討 | 第 27 回臨床微生物迅速診断研究会総会 |
| 四宮宗一郎、濱田 献、平川奈緒美 | 神経症を伴う慢性痛患者における抑肝散の有効性の検討 | 第 28 回 日本疼痛漢方研究会学術集会 |
| ○Tokumaru S, Uno T, Kaneyasu Y, Kazumoto T, Harima Y, Noda S, Niibe Y, Shimanoe C, Toita T | Outcomes of postoperative radiotherapy for pelvic lymph node-positive uterine cervical cancer: A multi-institutional survey in Japan | 第 28 回日本放射線腫瘍学会学術大会 |

| | | |
|--|--|--|
| 草野脩平, 藏田 彩, 野口 満, 魚住二郎 | コメディカルは排尿記録を有効活用できているか？ | 第 28 回日本老年泌尿器科学会 |
| 東武昇平, 野口満, 藏田彩, 魚住二郎 | 高齢膀胱癌症例の膀胱全摘尿路変更術後における抑うつ症状発症危険因子の検討 | 第 28 回日本老年泌尿器科学会 |
| 大塚泰史, 稲田由紀子, 垣内俊彦, 岡政史, 陣内久美子, 横田吉郎, 小野晋康, 松本志郎, 阪本 靖介, 松尾宗明 | 高アンモニア血症に対して早期に体外循環治療を施行できたカルバミルリン酸合成酵素欠損症の一例 | 第 29 回九州小児ネフロロジー研究会 |
| 柿木寛明 | PNL | 第 29 回日本泌尿器内視鏡学会総会 |
| 永瀬浩太郎, 古場慎一, 井上卓也, 成澤 寛 | Vascular E-selectin Expression Correlates with CD8 Lymphocyte infiltration and Improved outcome in Merkel cell carcinoma | 第 29 回表皮細胞研究会 |
| 三浦大介, 中村公秀, 濱田 献, 平川奈緒美, 坂口嘉郎 | 超音波ガイド下持続胸部傍脊椎ブロックを用いた心尖部アプローチの経カテーテル的大動脈弁移植術の術後疼痛管理 | 第 2 回 日本区域麻酔学会 |
| 中村公秀, 濱田 献, 平川奈緒美, 坂口嘉郎 | 当院における人工膝関節全置換術に対する持続大腿神経ブロックの鎮痛効果-片側と両側の比較検討- | 第 2 回 日本区域麻酔学会 |
| 柚木純二 | ～TAVI～ハンズオンセミナー インストラクター | 第 2 回 Student Heart Disease for Surgeons |
| 相島 慎一 | NASH の病理診断 | 第 2 回炎症と生活習慣病 研究会 |
| 小荒田秀一 | リウマチ・膠原病における関節エコーと鑑別診断 | 第2回埴野関節エコー研修会 |
| 石川慎一郎 | 糖尿病網膜症 | 第 2 回佐賀糖尿病療養指導士認定研修会 |
| 野口満 | 排尿障害のケアと処方箋 | 第2回専門医から学ぶ総合診療講演会 |
| 北村浩晃, 柏田知美, 小宮一利, 大隈恵美, 高瀬ゆかり, 荒金尚子, 木村晋也 | 原発不明の両側卵巣印環細胞癌 | 第 309 回日本内科学会九州地方会 |
| 松尾清美, ノノ瀬浩幸, 坂本雄一郎, 坂井吉祥 | 円背などの脊椎の変形があっても安全に座れる自動車シート | 第 30 回リハ工学カンファレンス |
| 松尾清美, ノノ瀬浩幸, 石橋弘人, 古賀慎弥 | 膝当て移乗動作の研究 | 第 30 回リハ工学カンファレンス |
| 松尾清美 | 歩きにくくなった人や歩けなくなった人の乗り物について | 第 30 回リハ工学カンファレンス 乗り物 SIG 基礎セミナー |
| Tanaka A, Yuasa S, Node K, Fukuda K. | Recent progress in pathophysiology of hypertrophic cardiomyopathy using iPS cells. | 第 30 回日本不整脈学会学術大会・第 32 回日本心電学会学術集会合同学術大会 |
| *渡邊裕子, 山口由衣, 渡邊友也, 高村直子, 太田昭一郎, 東義則, 出原賢治, 相原道子 | 乾癬における血清 Squamous cell carcinoma antigen 2 値の検討 | 第 30 回日本乾癬学会学術大会 |
| 鶴田紀子, 久富万智子, 永瀬浩太郎, 井上卓也, 成澤 寛 | Pegylated interferon alfa-2a で誘発され, 肢端に著明な角化を呈した乾癬の 1 例 | 第 30 回日本乾癬学会学術大会 |
| *野田岩男, 宮本比呂志, 上野雅也, 江頭秀一, 塚本正紹, 河野俊介, 園畑素樹, 馬渡正明 | 銀含有 HA コーティングからの銀イオンの徐放性評価 | 第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会 |
| ○前間 真弓, 林 章浩, 池田 弘典, 花島 久美子, 田籠 康洋, 黒岩 智子, 山崎 由美, 朝長 元輔, 井手 貴雄, 北村 浩晃, 水田 敏彦, 江口 有一郎 | 婦人科癌における NST 介入の意義-介入状況と経過に関するカルテレビュー | 第 30 回日本静脈経腸栄養学会学術集会 |
| 中尾嘉修, 徳田悠希子, 小野行秀, 田代知子, 丸山暁人, 小野伸之, 小荒田秀一, 大田明英, 多田芳史 | 金属アレルギーにより増悪した掌蹠膿疱症性骨関節炎の 1 例 | 第 310 回九州地方会 |
| 上床希久, 薬師寺祐介, 井手俊宏, 田畑絵美, 吉川正章, 原 英夫 | ダビガラン内服で内頸動脈可動性血栓が消失した非弁膜症性心房細動合併アテローム血栓性脳梗塞の 1 例 | 第 310 回日本内科学会九州地方会 |
| 美奈川 紘, 溝口 恵, 小杉雅史, 薬師寺祐介, 原 英夫 | 一度の髄液排除試験のみで歩行障害・認知機能障害が改善し, 持続する特発性正常圧水頭症の 1 例 | 第 310 回日本内科学会九州地方会 |
| 貞松宏典, 高橋浩一郎, 栗原有紀, 平川治樹, 小宮一利, 中村朝美, 木村晋也, 荒金尚子 | 肺ノカルジア症を合併した気管支喘息の一例 | 第 310 回日本内科学会九州地方会 |
| 白井慎平, 山内康平, 鶴岡ななえ, 坂田資尚, 岩切龍一, 藤本一真, 岸 知哉, 池田裕次 | 当院における潰瘍性大腸炎に対する血球成分除去療法の治療効果に関する検討 | 第 310 回日本内科学会九州地方会 |
| 東友梨恵, 山崎あゆむ, 井上洋平, 小松愛子, 琴岡憲彦, 野出孝一 | 深部静脈のみならず動脈内にも多量の血栓を認めた Type1 プロテイン C 欠損症の 1 例 | 第 310 回日本内科学会九州地方会 |
| 永瀬浩太郎, 井上卓也, 篠田洋介, 三砂範幸, 成澤 寛 | 後頭部の腫瘍 | 第 31 回 日本皮膚病理解組織学会 |
| 高瀬 幸徳 | multidetector-row CT での CTA による背髄血管病変描出能の検討 | 第 31 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会 |
| 緒方敦之 | TOF MRA 高信号ブランクに対する頸動脈ステント留置術の治療成績 | 第 31 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会 |
| 相島 慎一 | 肝・胆・膵腫瘍における病理、 日常の細胞診に役立つ病理学的知識 | 第 31 回佐賀県臨床細胞学会 |
| 相島 慎一 | 肝・胆・膵腫瘍における病理、 日常の細胞診に役立つ病理学的知識 | 第 31 回佐賀県臨床細胞学会 |
| 中原 由利重, 檜崎 さやか, 甲斐 敬太, 中村 光男, 次富 久之, 山崎 真希子, 増田 正憲, 高瀬 ゆかり, 相島 慎一, 戸田 修二 | 捺印細胞診で推定困難であった大腿部 Myeloid sarcoma の一例 | 第 31 回佐賀県臨床細胞学会地方会 |

| | | |
|--|--|---|
| 西山 哲、橋口真理子、山本美保子、野口光代、山崎文朗、内山倫子、中尾佳史、横山正俊 | 子宮頸部大細胞神経内分泌癌の診断に至った一例。 | 第 31 回 佐賀県臨床細胞学会地方会。 |
| 田中浩暁、榑保彦、西ノ首知永子、横山正俊、福田耕一 | 当センターにおける佐賀市 HPV 併用子宮頸がん検診にみる実績報告について。 | 第 31 回 佐賀県臨床細胞学会地方会。 |
| 松尾清美、一ノ瀬浩幸、上村哲司、浅見豊子 | 下肢のエレベーターによる身体への影響 | 第 31 回 日本義肢装具学会 |
| 古場慎一、永瀬浩太郎、井上卓也、成澤 寛 | 自然消退傾向を示した有棘細胞癌を合併するメルケル細胞癌の 1 例 | 第 31 回 日本皮膚悪性腫瘍学会総会 |
| 米倉直美、井上卓也、三砂範幸、成澤寛、新井貴之、横山庫一郎 | 背部に生じた皮膚原発骨外性 Ewing 肉腫の 1 例 | 第 31 回 日本皮膚悪性腫瘍学会総会 |
| 北村 捷、甲斐 敬太、佐藤 慎太郎、中村 光男、次富 久之、山崎 真希子、増田 正憲、高瀬 ゆかり、倉富 勇一郎、相島 慎一 | 上咽頭に発生した Synovial sarcoma の 1 例 | 第 31 回 日本臨床細胞学会九州連合会学会 |
| 坂田省三、武田雄二、大庭大治、宮本詩子、森田茂樹 | 悪性黒色腫からの転移性肺腫瘍と鑑別困難であった特発性肺内血腫の 1 例 | 第 32 回 日本呼吸器外科学会総会 |
| 武田雄二、坂田省三、宮本詩子 | 縦隔内に転移を来した Myxofibrosarcoma の 1 例 | 第 32 回 日本呼吸器外科学会総会 |
| 宮本詩子、武田雄二、坂田省三、森田茂樹 | 術中迅速病理検査にて胸腺カルチノイドと診断され、追加拡大切除を行った一症例 | 第 32 回 日本呼吸器外科学会総会 |
| 垣内俊彦、中山愛子、江口有一郎、松尾宗明 | 佐賀県小児科勤務医における小児 B 型/C 型肝炎母子感染に対する意識・診療実態調査。 | 第 32 回 日本小児肝臓研究会 |
| 吉岡 史隆、下川 尚子、高口 素史、古川 隆、伊藤 寛、緒方 敦之、高瀬 幸徳、中原 由紀子、増岡 淳、河島 雅到、阿部 竜也 | 二分脊椎に伴う側弯症患者における Curved Planar Reconstruction 画像の有用性。 | 第 32 回 日本二分脊椎研究会。 |
| ○Sasaguri T, Yasaka T, Ishikawa A, Murata Y, Hara H, Yoshida H, Hirakawa N | Pain Behavior of Interleukin-27 Knockout Mice. | 第 33 回 九州ペインクリニック学会 |
| Sasaguri T, Yasaka T, Ishikawa A, Murata Y, Hara H, Yoshida H, Hirakawa N | Pain Behavior of Interleukin-27 Knockout Mice. | 第 33 回 九州ペインクリニック学会 |
| 濱田 献、平川奈緒美、濱田さつき、四宮宗一郎、坂口嘉郎 | SUNA に対してプレガバリンが奏功した一例 | 第 33 回 九州ペインクリニック学会 |
| 小杉寿文、平田道彦、島川勇介、濱田 献、久保麻悠子、佐藤英俊、平川奈緒美、坂口嘉郎 | プレガバリンの大量服薬と飲酒による乱用で幻覚妄想を認めた 1 例。 | 第 33 回 九州ペインクリニック学会 |
| 山田クリス孝介、井澤修平、菅谷 渚、木村健太、小川奈美子、城月健太郎、長野祐一郎 | 急性ストレスに対する認知的評価が心臓血管およびコルチゾール反応に与える影響 | 第 33 回 日本生理心理学会大会(ポスター発表) |
| *井澤修平、菅谷 渚、木村健太、小川奈美子、山田クリス孝介、城月健太郎、長野祐一郎 | 主観的幸福感と急性ストレス場面におけるコルチゾール反応 | 第 33 回 日本生理心理学会大会(ポスター発表) |
| 秋吉俊明、松久葉一、江里口理嘉、森本正敏、北嶋修司 | クライオトップを用いたウサギ桑実胚の凍結における凍結保存液の検討 | 第 33 回 九州実験動物研究会総会 |
| 下川 尚子、吉岡 史隆、江橋 諒、古川 隆、高口 素史、若宮 富浩、緒方 敦之、高瀬 幸徳、中原 由紀子、増岡 淳、河島 雅到、阿部 竜也、平川 奈緒美、坂口 嘉郎 | 脊髄脂肪腫術後に発症した偽性髄膜瘤に対し、内視鏡併用硬膜修復術を行った一例。 | 第 33 回 日本こども病院神経外科医会。 |
| 吉岡 史隆、下川 尚子、高口 素史、古川 隆、伊藤 寛、緒方 敦之、高瀬 幸徳、中原 由紀子、増岡 淳、河島 雅到、阿部 竜也 | 二分脊椎に伴う側弯症患者における Curved Planar Reconstruction 画像の有用性。 | 第 33 回 日本こども病院神経外科医会。 |
| 山下佳雄、蒲原麻菜、檀上 敦、後藤昌昭 | 口腔腫瘍患者への広範囲顎骨支持型装置および広範囲顎骨支持型補綴の使用について | 第 33 回 日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 |
| 山本あゆみ、秋永和之、松永妃都美、新地浩一 | 実践的な国際看護の教育内容に関する研究。 | 第33回日本国際保健医療学会西日本地方会 2015.2.28. 鹿児島県薩摩川内市 |
| 田中沙恵、柿原奈保子、新地浩一 | 佐賀県におけるインドネシア人看護師候補生に対する大学と地域の病院との連携の報告 | 第33回日本国際保健医療学会西日本地方会 2015.2.28. 鹿児島県薩摩川内市 |
| 久本由香里、上原範久、久木田明子、久木田敏夫 | Galectin9 による破骨細胞分化制御メカニズムの解明: NFATc1 の発現を抑制する転写因子 MafB 及び IRF-8 の関与 | 第 33 回 日本骨代謝学会 |
| *上原範久、久木田明子、久本由香里、保田尚孝、久木田敏夫 | ミニン 332 による RANK 発現調節とマクロファージ-破骨細胞分化転換の制御 | 第 33 回 日本骨代謝学会 |
| Xu Xianghe, Noboru Funakubo, Makoto Shiraki, Toshio Kukita, Akiko Kukita | Novel Role of Nedd4 adaptor protein, Pmepa1 in the differentiation and function of osteoclasts | 第 33 回 日本骨代謝学会 |
| 若宮 富浩、鈴木 諭、本田 裕之、溝口 昌弘、吉本 幸司、飯原 弘二、中原 由紀子、河島 雅到、阿部 竜也、岩城 徹 | Medulloblastoma における CPT1C と FASN の発現について。 | 第 33 回 日本脳腫瘍病理学会。 |
| 増田 正憲 | 卵巣腫瘍 | 第 343 回九州・沖縄スライドコンファレンス |
| 増田 正憲 | 尿道腫瘍 | 第 347 回九州・沖縄スライドコンファレンス |
| 田島大輔、須山ゆかり、松尾宗明 | 眼筋型重症筋無力症の一例。 | 第 350 回福岡小児神経研究会 |
| ○富野広通、田島大輔、大塚泰史、松尾宗明 | 急性巣状細菌性腎炎を合併した可逆性脳梁膨大部病変を有する脳炎/脳症の一例。 | 第 351 回福岡小児神経研究会 |
| 田島大輔、松尾宗明 | 筋力低下・筋緊張低下を来したし筋生検で判明した脊髄性筋萎縮症Ⅲ型の一例。 | 第 353 回福岡小児神経研究会 |
| 前田寿幸、平原恵子、田島大輔、松尾宗明 | 難治性けいれんに Fanconi 症候群を合併した 1 例。 | 第 354 回福岡小児神経研究会 |
| 前田寿幸、平原恵子、松尾宗明 | 自己免疫性自律神経障害の 1 例。 | 第 356 回福岡小児神経研究会 |
| 前田寿幸、平原恵子、松尾宗明 | 脳海綿状血管腫の 1 例。 | 第 358 回福岡小児神経研究会 |
| 康 欽、蔣 昌宇、藤田亜美、朱 蘭、熊本栄一 | カルボンによる TRP チャネル活性化を介したラット脊髄膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達の促進。 | 第 36 回脊髄機能診断研究会 |

| | | |
|--|--|---|
| 徐 志昊, 蔣 昌宇, 藤田亜美, 朱 蘭, 王 翀, 熊本栄一 | 成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達に及ぼすチモールの作用. | 第 36 回脊髄機能診断研究会 |
| 徳島 英明, 田崎 正信, 石丸 悠子, 真崎 恵美, 竹森 幸子, 富安 真由美, 黒木 益美, 木村 晋也, 原英夫 | 当院における製造販売後調査費用増額後の受託状況について | 第 36 回日本臨床薬理学会学術総会 |
| 田中敦史, 野出孝一 | Recent clinical trials of newer anti-diabetic drugs: What do biomarkers tell us? | 第 36 回日本臨床薬理学会学術総会 |
| 石川卓也, 山田泰教, 花本猛士 | 新規ジフルオロメチル基導入反応剤の開発 | 第 37 回 フッ素化学討論会 ポスター発表 P-25 |
| 船津文香, 山本岳史, 東島直生, 松本幸, 志波徹, 河野俊介, 北島将, 園畑素樹, 馬渡正明 | 人工股関節全置換術後の解剖学的脚長差と機能的脚長差の差異は歩行速度に影響する | 第 37 回九州理学療法士作業療法士合同学会 |
| 東島直生, 山本岳史, 志波徹, 松本幸, 船津文香, 井手栄哉, 園畑素樹, 馬渡正明 | 人工膝関節全置換術後の活動量と影響を及ぼす因子の検討 | 第 37 回九州理学療法士作業療法士合同学会 |
| 蒲池 和晴, 久保田 寧, 佐野 雅之, 山口 享祐, 西岡敦二郎, 吉原 麻里, 北村 浩晃, 横尾 眞子, 進藤 岳郎, 安藤 寿彦, 小島 研介, 末岡 榮三郎, 木村 晋也 | 約 15 年間、胆道出血を繰り返す Bernard-Soulier syndrome の一例 | 第 37 回日本血栓止血学会 |
| 尾形善康, 永井功造, 西眞範, 松尾宗明 | エルトロンボパグが有効であった慢性免疫性血小板減少症の一例. | 第 37 回日本血栓止血学会学術集会 |
| 須山ゆかり, 永井功造, 尾形善康, 木村亜由美, 松尾宗明 | 第IX因子および aPCC 製剤によるアナフィラキシーを認めたインヒビター陽性重症血友病 B の一例. | 第 37 回日本血栓止血学会学術集会 |
| * 田野崎隆二, 崔日承, 下坂元継, 宇都宮與, 徳永正人, 中野信行, 福田隆浩, 中前裕久, 竹本茂樹, 橋本茂, 友寄武昭, 末岡栄三郎, 白土基明, 末廣陽子, 山中武春, 岡村純, 鶴池直邦 | 成人 T 細胞白血病リンパ腫に対するフルダラビンとブスルファンを用いた減量前処置法による血縁者間末梢血幹細胞移植: 多施設第 II 相臨床試験の結果 | 第 37 回日本造血細胞移植学会総会 |
| 康 欽, 蔣 昌宇, 藤田亜美, 朱 蘭, 王 翀, 熊本栄一 | 成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの自発性のグルタミン酸作動性興奮性シナプス伝達に及ぼす(-)-カルボンと(+)-カルボンの作用. | 第 37 回日本疼痛学会 |
| 徐 志昊, 藤田亜美, 蔣 昌宇, 朱 蘭, 王 翀, 熊本栄一 | チモールは成熟ラット脊髄膠様質ニューロンにおいて神経終末からのグルタミン酸の自発放出の増加と外向き膜電流を誘起する. | 第 37 回日本疼痛学会 |
| 八坂敏一, Boyle K, Shehab S, Scott D, Riddell J, 藤田亜美, 熊本栄一, Callister R, Graham B, Hughes D | ラット脊髄後角において有髄線維終末をシナプス前抑制する細胞の同定. | 第 37 回日本疼痛学会 |
| 松上優, 山本遼平, 熊井隆, 梅木辰也, 高椋利幸 | 低温におけるアルコール-水混合溶液の NMR ケミカルシフトと水素結合数の相関 | 第 37 回溶液化学シンポジウム |
| 松上 優, 山本遼平, 熊井 隆, 梅木辰也, 高椋利幸 | 低温におけるアルコール-水混合溶液の NMR ケミカルシフトと水素結合数の相関 | 第 37 回溶液化学シンポジウム, 佐賀 |
| 勝部翔太郎, 天野賢史, 佐藤高彰, 梅木辰也, 高椋利幸, 勝本之晶, 嘉治寿彦, 平本昌宏, 西山 桂 | 小さな芳香族分子が自己組織化したオルガノゲルの高次構造と発光物性 | 第 37 回溶液化学シンポジウム, 佐賀 |
| 白木綾, 尾山純一, 野出孝一 | GLP-1 受容体アナログの非糖尿病性心不全における作用 | 第 38 回日本高血圧学会総会 |
| 中村敏子, 山下純世, 藤田恵, 荒川仁香, 田辺晶代, 市原淳弘, 神出計, 小松愛子, 野出孝一, 大屋祐輔, 男女共同参画委員会 | 日本高血圧学会・男女共同参画委員会からの報告 | 第 38 回日本高血圧学会総会 |
| *野田岩男, 宮本比呂志, 上野雅也, 江頭秀一, 塚本正昭, 河野俊介, 園畑素樹, 馬渡正明 | 銀 HA コーティングの抗菌能の持続性評価 | 第 38 回日本骨・関節感染症学会 |
| 藤田亜美, 蔣 昌宇, 康 欽, 朱 蘭, 王 翀, 熊本栄一 | 成熟ラット脊髄後角膠様質ニューロンにおける自発性興奮シナプス伝達のカルボンによる促進. | 第 38 回日本神経科学大会 |
| 蔣 昌宇, 藤田亜美, 徐 年香, 朱 蘭, 王 翀, 熊本栄一 | 1,8-シネオールと 1,4-シネオールは、それぞれ TRPA1 と TRPV1 の活性化により成熟ラット脊髄後角膠様質ニューロンの自発性興奮シナプス伝達を促進する. | 第 38 回日本神経科学大会 |
| 八坂敏一, Boyle AK, Shehab AS, Scott TD, Riddell SJ, 藤田亜美, 熊本栄一, Callister JR, Graham AB, Hughes ID | 脊髄後角への有髄一次求心性線維入力は、パルパルブミン発現インターニューロンによるシナプス前抑制を受ける. | 第 38 回日本神経科学大会 |
| *下川敏文, 布村聡, 藤澤大輔, 羅智靖 | 好中球分化における C/EBP α C 末端による標的遺伝子特異的制御 | 第 38 回日本分子生物学会年会 |
| 久木田 明子, 徐 祥赫, 葛蒲池 健夫, 武智 香織, 古賀 貴子, 白木 誠, 蒲原 麻菜, 久木田 敏夫, 高柳 広 | POZ-ZF 転写制御因子 LRF/OZTF の破骨細胞の分化と機能における役割 | 第38回日本分子生物学会年会/第 88 回日本生化学会大会 合同大会(ワークショップ) |
| Guo J, Xia J, Kuwashiro T, Kojima M, Ozaki I, Anzai K, Matushashi S (1Dept. Int. Med., Fac. of Med., Saga Uni., 2Health Administration Center, Fac. of Med., Saga Uni.) | PDCC4 knockdown inhibits cell growth by interfering cell cycle regulators via upregulation of p21 expression in hepatoma cells | 第 38 回日本分子生物学会年会/第 88 回日本生化学会大会 合同大会 |
| 井上卓也, 高原佳奈子, 森 慎子, 三砂範幸, 成澤 寛 | 皮膚のみに多発結節を生じた成人 Langerhans 細胞組織球症の 1 例 | 第 39 回 LCH 研究会 |
| 山下佳雄, 下平大治, 檀上 敦, 後藤昌昭 | 初回口唇形成術時の三角弁の経時的変化 | 第 39 回日本口蓋裂学会学術集会 |
| 橋本安希, 井上卓也, 森 慎子, 古場慎一, 成澤 寛 柿原奈保子 | 顔面に生じた乳児血管腫の治療経験 熱傷皮膚モデル表皮保湿における洗浄ケアの影響 | 第 39 回日本小児皮膚科学会学術大会 第 3 回看護理工学会学術集会 |
| 山下佳雄 | がん患者の口腔ケア | 第3回佐賀がんリハビリテーション研修会 |
| 小野伸之 | 当院におけるオレンシアの治療経験 | 第3回佐賀リウマチ治療セミナー |

| | | |
|--|--|-----------------------------|
| 白井礼子、井上卓也、三砂範幸、成澤 寛 | 下腿潰瘍を生じた皮膚サルコイドの1例 | 第3回佐賀下肢救済フォーラム |
| 柚木純二 | 佐賀大学 TAVI 治療を振り返って～1年半の旅～ | 第3回佐賀弁膜症研究会 |
| 古川浩二郎 | 弁膜症外科治療の更なる高みをめざして～自己弁温存大動脈基部置換術と両尖完全温存僧帽弁置換術 | 第3回佐賀弁膜症研究会 |
| 前田香織 江里口誠 登川誠也 山口香織 嘉村顕 鈴山耕平 植田友貴 古川愛子 小柳みどり 中迫正臣 浅見豊子 原英夫 | 筋萎縮性側索硬化症患者に対する当院の取り組み | 第3回難病医療ネットワーク学会学術集会 |
| 登川誠也 江里口誠 前田香織 山口香織 松島淳 嘉村顕 溝口恵 植田友貴 古川愛子 小柳みどり 中迫正臣 浅見豊子 原英夫 | 当院における ALS 患者への在宅支援、地域・訪問スタッフとの連携 ～症例を通して 支援状況の現状～ | 第3回難病医療ネットワーク学会学術集会 |
| ○登川誠也、江里口誠、前田香織、山口香織、松島淳、嘉村顕、溝口恵、植田友貴、古川愛子、小柳みどり、中迫正臣、浅見豊子、原英夫 | 当院におけるALS患者への在宅療養支援、地域・訪問スタッフとの連携 | 第3回日本難病医療ネットワーク学会学術集会 |
| ○前田香織、江里口誠、登川誠也、山口香織、嘉村顕、鈴山耕平、古川愛子、重松知子、植田友貴、小柳みどり、浅見豊子、原英夫 | 筋萎縮性側索硬化症患者に対する当院の取り組み | 第3回日本難病医療ネットワーク学会学術集会 |
| *Izaki S, Nunomura S, Hayama K, Fujisawa D, Hatada Y, Ra C, Okayama Y, Terui T | Usefulness of flow cytometric analysis for detection of anti-FcεRI autoantibody in chronic spontaneous urticaria | 第40回日本研究皮膚科学会年次学術大会 |
| 薬師寺祐介、溝口恵、井手俊宏、原英夫 | 脳血管障害と慢性腎臓病(CKD) | 第40回日本脳卒中学会総会 |
| 薬師寺祐介, Charidimou A, Werring DJ, 野口智幸, 西原正志, 南里悠介, 江里口誠, 中島順子, 原英夫 | 健康人における血管周囲腔拡大の分布とその関連因子: the Kashima Scan Study | 第40回日本脳卒中学会総会 |
| ○児玉祥一、江里口誠、南里悠介、田中淳、薬師寺祐介、浅見豊子、原英夫 | 急性期脳卒中安静度拡大アルゴリズム使用の安全性についての検証 | 第40回日本脳卒中学会総会 |
| 溝口恵、江里口誠、前田香織、皆良田貴之、南里悠介、田中淳、薬師寺祐介、浅見豊子、原英夫 | 急性期脳卒中患者に対する嚥下内視鏡検査を用いた嚥下機能評価は経口摂取獲得可能な患者の予測に寄与する | 第40回日本脳卒中学会総会 |
| 緒方 敦之、高瀬 幸徳、古川 隆、中城 博子、伊藤 寛、高口 素史、鈴山 堅志、岡本 浩昌、高松 裕一、河島 雅到 | TOF MRA 高信号ブランクに対する頸動脈ステント留置術の治療成績 | 第40回日本脳卒中学会総会 |
| ○大枝敏、岩根紳治、江口有一郎、安西慶三 | FibroScanとVTQによる肝硬度測定において皮膚-肝表距離が与える影響 | 第41回日本肝臓学会西部会 |
| * 澁木太郎、大塚大河、水田敏彦 | 自己免疫性肝炎の再燃危険因子に関する検討-佐賀県肝疾患拠点病院による多施設共同研究- | 第41回日本肝臓学会西部会 |
| ○小島基晴、桑代卓也、岡田倫明、高橋宏和、松田やおい、尾崎岩太、田中賢一、荒木紀匡、北島陽一郎、小野尚文、江口尚久、小野正文、兵庫秀幸、江口有一郎、安西慶三 | NASHにおけるGLP-1受容体作動薬の肝β細胞保護作用に関する検討 | 第41回日本肝臓学会西部会 |
| 松本浩一、山田友子、谷川義則、中村公秀、三浦大介、中川内章、坂口嘉郎 | 難治性心室細動に対してランジオロール塩酸塩が著効した1症例 | 第42回日本集中治療医学会学術集会 |
| 井上卓也、橋本明子、高瀬佳奈子、三砂範幸、成澤 寛 | 初診時のダーモスコピーでは良性パターンを示し、急速に拡大した足底悪性黒色腫の1例 | 第42回皮膚がたち研究学会学術大会 |
| 東島直生 松本幸 河野俊介 北島将 園畑素樹 馬渡正明 | 人工股関節全置換術後患者の歩行速度に影響を及ぼす因子 | 第42回日本股関節学会 |
| 東島直生 松本幸 河野俊介 北島将 園畑素樹 馬渡正明 | 人工股関節全置換術後早期の睡眠と影響を及ぼす因子の検討 | 第42回日本股関節学会 |
| 松本幸 東島直生 河野俊介 北島将 森本忠嗣 園畑素樹 馬渡正明 | 術前の脊柱側弯カーブと人工股関節全置換術後の機能的脚長差との関連性について | 第42回日本股関節学会 |
| 小網博之、阪本雄一郎 | 血漿フィブリノゲン値とThromboelastometryにおけるFIBTEMは相関するの？ | 第42回日本集中治療医学会(口演19 血液・凝固線溶) |
| 垣内俊彦、中山愛子、杉田恵美、飯田千晶、田代克弥、松尾宗明 | フォンタン循環における門脈血流、脾臓エラストグラフィおよびアジアロシチの肝線維化指標としての有用性の検討 | 第42回日本小児栄養消化器肝臓学会 |
| 中山愛子、垣内俊彦、杉田恵美、田代克弥、松尾宗明 | 抗アルドステロン作用薬の追加が奏功したFontan術後蛋白漏出性胃腸症の一例 | 第42回日本小児栄養消化器肝臓学会 |
| 持永 早希子、細矢 和久、前田 美由紀、田崎 正信、藤戸 博、和田 幸樹、本山 敬一、東 大志、石塚 洋一、有馬 英俊、入江 徹美、松尾 宗明、原英夫 | ニーマンピック病C型治療薬としての院内製剤 2-hydroxypropyl-β-cyclodextrin注射剤の開発 | 第42回日本小児臨床薬理学会学術集会 |
| 在津正文、土井大人、溝口達弘、志田かおる | レストランでの除去食品誤食によりアナフィラキシーをきたした症例 | 第43回西日本小児アレルギー研究会 |
| 浦島真由美、在津正文、川崎祥平、土井大人、一ノ瀬文男、小野直子、稲田浩子、西村真二、辻功介 | 気管支喘息と鑑別すべき疾患の1つとして:新生児期より喘鳴を認めた重複大動脈弓の2例 | 第43回西日本小児アレルギー研究会 |
| 溝口達弘、在津正文 | 佐賀大学病院におけるアナフィラキシーでの受診者の実態について | 第43回西日本小児アレルギー研究会 |
| ○堀晋一郎、柚木純二、田中厚寿、高瀬浩二郎、諸隈宏之、野口 亮、古賀秀剛、蒲原啓司、古川浩二郎、森田茂樹 | Adamkiewicz 動脈同定 CTをライブ画像にsuperimposeして行ったTEVARの1例 | 第43回日本血管外科学会学術総会 |
| 諸隈宏之、古川浩二郎、平田静香、高瀬浩二郎、野口亮、古賀秀剛、柚木純二、蒲原啓司、田中厚寿、森田茂樹 | Shaggy aorta 症例に対する全弓部置換術 | 第43回日本血管外科学会学術総会 |
| * 手島英一、岡崎幸生、野上英次郎、松永 巖、樋口真哉、伊藤 翼 | 左胃動脈瘤切迫破裂に対して血管内治療が奏功した1例 | 第43回日本血管外科学会学術総会 |

| | | |
|---|--|------------------------|
| 柚木純二, 蒲原啓司, 田中厚寿, 古賀秀剛, 諸隈宏之, 野口 亮, 古川浩二郎, 森田茂樹 | 新たな Hybrid 手術室-Artis Zeego (Siemens) + MAGNUS OR Table (MAQUET) - の有用性と問題点 | 第 43 回日本血管外科学会学術総会 |
| 蒲原啓司, 柚木純二, 古賀秀剛, 諸隈宏之, 野口 亮, 高瀬浩二郎, 田中厚寿, 古川浩二郎, 森田茂樹 | 背髄保護の観点からみた広範囲胸部大動脈瘤に対するオープンステント法の治療戦略 | 第 43 回日本血管外科学会学術総会 |
| 古川浩二郎, 蒲原啓司, 古賀秀剛, 柚木純二, 諸隈宏之, 野口 亮, 森田茂樹 | 大動脈弁逆流を伴う大動脈基部拡大に対する Remodeling 手術 | 第 43 回日本血管外科学会学術総会 |
| 諸隈宏之, 高瀬浩二郎, 野口 亮, 古賀秀剛, 柚木純二, 蒲原啓司, 田中厚寿, 古川浩二郎, 森田茂樹 | 中枢神経合併症を伴う急性大動脈解離症例の検討 | 第 43 回日本血管外科学会学術総会 |
| ○下川尚子, 阿部竜也, 河島雅到, 増岡 淳, 中原由紀子, 高瀬幸徳, 緒方敦之, 高口 素史, 伊藤 寛, 古川 隆, 松尾宗明, 田島大輔 | 痙性麻痺に対する ITB 療法の経験. | 第 43 回日本小児神経外科学会 |
| ○橋本 真由美, 山崎 里子, 桐明 祐弥, 大石 美華, 山田みゆき, 下川 尚子 | 手術室における胎内からの周術期看護～中枢神経系疾患の症例を通して～. | 第 43 回日本小児神経外科学会. |
| 古川 隆, 下川 尚子, 高口 素史, 伊藤 寛, 緒方 敦之, 高瀬 幸徳, 中原 由紀子, 増岡 淳, 河島 雅到, 阿部 竜也, 田島 大輔, 松尾 宗明 | 小児硬膜下血腫の臨床的検討. | 第 43 回日本小児神経外科学会. |
| 下川 尚子, 阿部 竜也, 河島 雅到, 増岡 淳, 中原 由紀子, 高瀬 幸徳, 緒方 敦之, 高口 素史, 伊藤 寛, 古川 隆, 松尾 宗明, 田島 大輔 | 痙性麻痺に対する ITB 療法の経験. | 第 43 回日本小児神経外科学会. |
| ○原由紀子, 水口昌伸, 坂田祐之, 岩切龍一, 藤本一真, 下田悠一郎, 梶原哲郎, 原田嘉文, 光武良彦, 原田宏一, 朝長道生, 藤崎純士, 松本洋二, 山根秀樹, 今村達也, 遠藤広貴 | 平成 23 年度佐賀県大腸がん集検の集計結果と過去の比較 | 第 43 回日本消化器がん検診学会九州地方会 |
| 濱田 献, 松島 淳, 上村裕平, 石川亜佐子, 平川奈緒美 | 母親の過干渉が症状を遷延させたと考えられた 2 症例. | 第 44 回 日本慢性疼痛学会 |
| 内田匡彦, 坂田祐之, 岩切龍一, 藤本一真, 陣内重信, 森田秀祐, 内田 哲, 水口昌伸, 藤岡康彦, 寺田洋臣, 坂田恒彦, 森山幹夫, 中山信一, 森 久男, 腹巻勝正 | 佐賀県における胃癌検診成績 | 第 44 回日本消化器がん検診学会九州地方会 |
| Koarada S, Ohta A, Tada Y | The role of RP105-negative plasmablasts in IgG4-related disease | 第 44 回日本免疫学会学術集会 |
| ○Koarada S, Ohta A, Tada Y | plasmablasts in IgG4-related disease | 第 44 回日本免疫学会学術集会 |
| *Ito R, Nunomura S, Katano I, Takahashi T, Ito M | Intratracheal administration of IL-33 effectively induces eosinophilic airway inflammation in novel humanized NOG mice | 第 44 回日本免疫学会総会・学術集会 |
| *Kametani Y, Shimada S, Nunomura S, Suemizu H, Takabayashi S, Shiina T, Katoh H, Suzuki R, Habu S, Sasaki E | Common marmoset CD117-positive hematopoietic cells possess multipotency | 第 44 回日本免疫学会総会・学術集会 |
| 尾崎岩太, 安田郁, 古川早苗, 武富弥栄子, 小川康子, 福島雅子, 木道圭子, 佐藤武, 市場正良. | 職業性ストレス調査の有用性. | 第 45 回九州地区大学保健管理研究協議会 |
| 内田雄基, 檀上敦, 重松正仁, 山下佳雄, 後藤昌昭 | 上顎骨から蝶形骨翼状突起領域に歯科インプラントを埋入する時の解剖学的危険性: CT 計測による研究 | 第 45 回日本口腔インプラント学会学術大会 |
| 蒲原啓司, 柚木純二, 古賀秀剛, 諸隈宏之, 野口 亮, 高瀬浩二郎, 田中厚寿, 古川浩二郎, 森田茂樹 | 過去 25 年の遠隔成績からみた Stanford A 型急性解離手術における中枢側断端形成の重要性 | 第 45 回日本心臓血管外科学会学術総会 |
| 柚木純二, 蒲原啓司, 田中厚寿, 挽地 裕, 下村光洋, 坂本佳子, 諸隈宏之, 古賀秀剛, 高瀬浩二郎, 古川浩二郎, 森田茂樹 | 新規参入施設における TAVI の初期成績 | 第 45 回日本心臓血管外科学会学術総会 |
| 森田茂樹 | 診療報酬を医師・医療従事者にいかに還元するか? | 第 45 回日本心臓血管外科学会学術総会 |
| 諸隈宏之, 高瀬浩二郎, 野口 亮, 古賀秀剛, 柚木純二, 蒲原啓司, 田中厚寿, 古川浩二郎, 森田茂樹 | 僧帽弁置換術後の弁周囲逆流に対する再手術症例の検討 | 第 45 回日本心臓血管外科学会学術総会 |
| *野田岩男, 宮本比呂志, 上野雅也, 江頭秀一, 塚本正紹, 河野俊介, 園畑素樹, 馬渡正明 | 次世代抗菌性ハイドロキシアパタイトコーティング-銀イオン溶出特性と抗菌性能- | 第 45 回日本人工関節学会 |
| 北島将, 河野俊介, 園畑素樹, 馬渡正明 | 後方アプローチでの人工股関節置換術後の筋力評価 | 第 45 回日本人工関節学会 |
| ○野田岩男, 宮本比呂志, 上野雅也, 江頭秀一, 塚本正紹, 河野俊介, 園畑素樹, 馬渡正明 | 次世代抗菌性ハイドロキシアパタイトコーティング-銀イオン溶出特性と抗菌性能- | 第 45 回日本人工関節学会 |
| ○田中里紀, 北島将, 河野俊介, 上野雅也, 江頭秀一, 園畑素樹, 馬渡正明 | 人工股関節全置換術後の歩行における足部方向の変化 | 第 45 回日本人工関節学会 |
| 園畑素樹, 河野俊介, 北島将, 馬渡正明 | 当科における臼蓋側人工股関節再置換術 | 第 45 回日本人工関節学会 |
| 井手衆哉, 明寺由理子, 田島智徳, 染矢晋佑, 園畑素樹, 馬渡正明 | 人工膝関節全置換術の QOL 評価について | 第 45 回日本人工関節学会 |
| *記伊祥雲, 染矢晋佑, 田島智徳, 長嶺里美, 井手衆哉, 園畑素樹, 馬渡正明 | 両側同時人工膝関節全置換術における同種骨回避率 | 第 45 回日本人工関節学会 |
| ○長嶺里美, 井手衆哉, 田島智徳, 染矢晋佑, 園畑素樹, 馬渡正明 | PS TKA の脛骨コンポーネントデザインが骨吸収に及ぼす影響 | 第 45 回日本人工関節学会 |

| | | |
|--|---|--|
| ○染矢晋佑、井手衆哉、田島智徳、長嶺里美、圓畑素樹、馬渡正明 | 人工膝関節全置換術後感染に対する治療法の検討 | 第45回日本人工関節学会 |
| ○田島智徳、井手衆哉、長嶺里美、染矢晋佑、圓畑素樹、馬渡正明 | 透析患者のTKA後に広範な皮膚壊死を発症した Calciphylaxis の1例 | 第45回日本人工関節学会 |
| 鶴田紀子、桑代麻希、久富万智子、永瀬 浩太郎、井上卓也、成澤寛 | 筋弛緩薬の皮膚テストが陽性であったため原因薬と過信し、再度アナフィラキシーを起こしたウリナスタチンアレルギーの1例 | 第45回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会 |
| 古川浩二郎、佐藤 久、蒲原啓司、柚木純二、諸隈宏之、森田茂樹 | 二尖弁・ARに対するVAJ annuloplastyを併施した形成術 | 第47回日本胸外科科学会九州地方会総会 |
| *稲富香織、石井生、古賀義法、後藤由紀子、財前善雄、垣内俊彦 | 胆嚢低形成および肝外胆道狭小化を伴った Alagille 症候群の1例 | 第483回日本小児科学会福岡地方会例会 |
| 山下佳雄、合島伶央奈、大坪哲哉、小野大帝、林 信哉、後藤昌昭 | ヒト口腔がん細胞株に対する大気圧プラズマの影響 | 第48回NPO法人日本口腔科学会九州地方会 |
| ○七田茂輝、古川浩二郎、諸隈宏之、野口 亮、蒲原啓司、森田茂樹 | 外傷性三尖弁閉鎖不全症に三尖弁形成術を施行した一例 | 第48回日本胸外科科学会九州地方会総会 |
| *林 奈直、蒲原啓司、古賀秀剛、高木 淳 | 完全弁下組織温温増帽弁置換術の1例 | 第48回日本胸外科科学会九州地方会総会 |
| *吉武秀一郎、片山雄二、諸隈宏之、大崎 隼 | 再発にて計3回の手術を行った粘液線維肉腫の一例 | 第48回日本胸外科科学会九州地方会総会 |
| ○七條正英、古川浩二郎、森田茂樹 | 僧帽弁置換術後23年目に生じた弁周囲逆流の1例 | 第48回日本胸外科科学会九州地方会総会 |
| 柚木純二 | 心臓外科医の視点から導入1年を振り返って—各施設でのSAVRとTAVIの適応— | 第48回日本胸外科科学会九州地方会総会ランチョンセミナー3 |
| 多田芳史、末松梨絵、田代知子、小野伸之、貞永裕梨、小野行秀、徳田悠希子、大田明英、小荒田秀一 | 自己免疫疾患合併RAと非合併RAにおけるアバセプトの効果と副作用の検討 | 第49回九州リウマチ学会 |
| 徳田悠希子、小野伸之、小野行秀、貞永裕梨、田代知子、末松梨絵、小荒田秀一、大田明英、多田芳史 | 器質性肺炎を合併した関節リウマチ患者についての検討 | 第49回九州リウマチ学会 |
| 小野行秀、徳田悠希子、貞永裕梨、田代知子、末松梨絵、小野伸之、小荒田秀一、多田芳史、大田明英 | 高安動脈炎に対する初期治療反応性と長期治療成績の検討 | 第49回九州リウマチ学会 |
| 池田翔太、小野伸之、徳田悠希子、小野行秀、貞永裕梨、田代知子、末松梨絵、小荒田秀一、大田明英、多田芳史 | 潰瘍性大腸炎の経過中に褥状歯肉炎で発症した多発血管炎性肉芽腫症の一例 | 第49回九州リウマチ学会 |
| 粕谷加代子、貞永裕梨、小野行秀、徳田悠希子、田代知子、末松梨絵、小野伸之、小荒田秀一、多田芳史、大田明英 | 多彩な脳神経障害を来した肥厚性硬膜炎合併多発血管炎性肉芽腫症の1例 | 第49回九州リウマチ学会 |
| 夏目貴子、大田明英、小荒田秀一、小野伸之、末松梨絵、田代知子、貞永裕梨、小野行秀、徳田悠希子、多田芳史 | 膠原病患者のQOL向上を目指した社会支援について | 第49回九州リウマチ学会 |
| 前田寿幸、荒木薫、松尾宗明、加藤光広、才津浩智、中島光子、松本直通 | GABRA1 遺伝子異常を伴った難治性てんかんの3例 | 第49回日本てんかん学会学術集会 |
| 田島大輔、松尾宗明、石井清久、平原恵子、前田寿幸、佐藤忠司 | 定期的ステロイドパルスが有効な徐波睡眠期持続性棘徐波を呈するてんかんの一例 | 第49回日本てんかん学会総会 |
| *藤井昌志、與田幸恵、奥山桂一郎、伊藤孝太郎、三宅修輔、平木将紹、柚木純二、能城浩和 | 感染性動脈瘤瘻道穿破に対する鏡視下食道切除術 | 第49回日本胸外科科学会九州地方会総会 |
| 鬼丸 翔平・池田 達郎・成田 貴行・大石 祐司 | 光-熱変換型光応答性ハイドロゲルの体積変化特性 | 第4回CSJ化学フェスタ |
| 柚木純二 | 弁膜症の治療の実際—新しい弁膜症治療 TAVI の現状と実際— | 第4回 North QEC(九州 echocardiograph conference) |
| 太田昭一郎 | ペリオスチンをを用いた特発性肺線維症のコンパニオン診断薬開発 | 第4回 TOBIRA 研究交流フォーラム |
| 柚木純二 | 経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)導入から1年経過して | 第4回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会 |
| 武田雄二 | 左主気管支狭窄病変に対する気道内ステント留置により惹起した気管支食道瘻の1例 | 第4回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会 |
| 井上 聡 | 座長 | 第4回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会 |
| 小野伸之、中尾嘉修、小野行秀、徳田悠希子、貞永裕梨、田代知子、丸山暁人、小荒田秀一、大田明英、多田芳史、岡田倫明 | HCV 感染合併関節リウマチ患者の臨床像と治療についての検討 | 第50回九州リウマチ学会 |
| 田代知子、中尾嘉修、小野行秀、徳田悠希子、小野伸之、小荒田秀一、大田明英、多田芳史 | ペーチェット病の手指関節炎の検討 | 第50回九州リウマチ学会 |
| *上床希久、小野行秀、小野伸之、中尾嘉修、徳田悠希子、丸山暁人、小荒田秀一、大田明英、多田芳史、小松愛子、葉師寺祐介 | 遺伝性 CI インヒビター欠損症に合併した全身性エリトママトーデスの1例 | 第50回九州リウマチ学会 |
| *塚真梨子、丸山暁人、小野行秀、中尾嘉修、徳田悠希子、貞永裕梨、田代知子、小野伸之、小荒田秀一、大田明英、多田芳史 | 生物学的製剤による寛解維持中に血管炎を合併した関節リウマチの1例 | 第50回九州リウマチ学会 |
| 徳田悠希子、中尾嘉修、小野行秀、貞永裕梨、田代知子、丸山暁人、小野伸之、小荒田秀一、大田明英、多田芳史 | シェーグレン症候群の経過中に発症した筋膜炎・筋炎の一例 | 第50回九州リウマチ学会 |
| 中尾嘉修、徳田悠希子、小野行秀、田代知子、丸山暁人、小野伸之、小荒田秀一、大田明英、多田芳史 | 金属アレルギーにより増悪した掌蹠膿疱症性骨関節炎の一例 | 第50回九州リウマチ学会 |
| *原田真理、森下高弘、楠原浩一、西村真直、郭義胤、垣内俊彦、久野敏 | 感冒時の肉眼的血尿より発見に至った HBV 関連腎症の女児例 | 第50回日本小児腎臓病学会学術集会 |
| ○堤恵理子、村田祐造、坂本麻衣子、堀川悦夫 | 糖尿病ラットの腎臓に関する運動効果 形態学的、及び AGEs と iNOS の免疫組織化学的分析 | 第50回日本理学療法学術大会 |

| | | |
|--|---|--|
| ○桑代卓也、尾崎岩太、岩根紳治、松橋幸子、大塚大河、江口有一郎、安西慶三 | 細胞外マトリックスは細胞接着シグナルを介してインターフェロニングシグナルを抑制する。 | 第51回に本肝臓学会総会 |
| ○岡田倫明、泉夏美、古川尚子、大枝敏、岩根紳治、尾崎岩太、安西慶三、江口有一郎 | 一般市民向け公開講座のアンケートから得られた来場者の背景と来場者増加、ニーズ向上の課題 | 第51回に本肝臓学会総会 |
| *北島陽一郎、高橋宏和、辻千賀、尾崎岩太、小野尚文、江口尚久、江口有一郎、安西慶三 | 食事運動療法による脂肪肝改善に骨格筋脂肪が与える影響 | 第51回に本肝臓学会総会 |
| *窪津祥仁、大塚大河、荒木紀園、蒲池沙央里、磯田広史、中下俊哉、江口有一郎、尾崎岩太、安西慶三 | 早期肝細胞癌根治治療後のインターフェロンによる抗ウイルス療法 | 第51回に本肝臓学会総会 |
| 徳永 翔太、成田 貴行、大石 祐司 | バイオポリマーゲルからなる JANUS 型粒子の調製 | 第51回化学関連支部合同九州大会 |
| 山田 凜、北村二雄 | ポリ臭素化ベンゼン類のトリメチルシリル化反応 | 第51回化学関連支部合同九州大会 |
| 牟田健祐、北村二雄 | ヨードアレーンを触媒とする 1,3-ジカルボニル化合物のフッ素化反応 | 第51回化学関連支部合同九州大会 |
| 鶴田裕美、柘植圭介、吉村臣史、柳田晃良、永尾晃治 | レンコンポリフェノール分画物の機能性に関する研究 | 第51回化学関連支部合同九州大会 |
| 本田貴浩・高倉洋一・成田貴行・大石祐司 | 基質応答性を持つカプセルの自律振動特性と放出手動 | 第51回化学関連支部合同九州大会 |
| 権藤圭祐、北村二雄 | 新規官能性超原子価ヨウ素ベンゼン発生剤の合成と多環系芳香族化合物の合成 | 第51回化学関連支部合同九州大会 |
| 古賀裕也、林 良、長田聰史、藤田一郎、浜崎雄平、兒玉浩明 | 好中球プライミングを引き起こす FPR1 膜貫通ペプチドの活性発現構造の検索 | 第51回化学関連支部合同九州大会(2013年6月28日、北九州国際会議場、北九州市) |
| 相島 慎一 | 問題症例検討会3 | 第51回肝臓研究会 |
| 飯田千晶、田代克弥 | タダラフィル導入が著効したダウン症による重症 Eisenmenger 症候群の 1 例. A 21-trisomy lady with severe Eisenmenger syndrome who has been effectively treated by induction of tadalafil. | 第51回小児循環器学会学術集会 |
| 岡田倫明、泉 夏美、古川尚子、大枝 敏、岩根紳治、尾崎岩太、安西慶三、江口有一郎 | 一般市民向け公開講座のアンケートから得られた来場者の背景と来場者増加、ニーズ向上の課題 | 第51回日本肝臓学会総会 |
| 垣内俊彦、江口有一郎、松尾宗明 | 妊婦健診における肝炎ウイルス検査に対する意識調査の検討 | 第51回日本肝臓学会総会 |
| 田代克弥、飯田千晶、牛ノ濱大也 | スピロラク톤の追加投与が奏功した蛋白漏出性胃腸症の 1 例 | 第51回日本小児循環器学会学術集会 |
| 小網博之、阪本雄一郎、井上聡、伊佐勉 | 門脈ガス血症を伴う腸管壊死症例を予測する診断基準の作成ならびに有効性の検証～民間総合病院外科医と大学院救急医のコラボレーション | 第51回日本腹部救急医学会(診療と研究のトピックス・ビューポイント) |
| 内川和也、三好 篤、山口友範、山地康太郎、古賀浩木、姉川 剛、篠崎由賀里、隅 健次、田中聡也、北原賢二、佐藤清治 | 術前に診断し得た胆管捻転症の 1 例 | 第51回日本腹部救急医学会総会 |
| 蔭 昌宇、藤田亜美、王 翀、余 婷、平尾 峻、熊本栄一 | ラット脊髄後角浅層ニューロンにおけるオキシトシンのシナプス伝達修飾の性差と生後発達 | 第52回ベブテド討論会 |
| 在津正文、溝口達弘、松尾宗明 | 外食・対面販売用惣菜で除去食品を摂取しアナフィラキシーをきたした症例 | 第52回日本小児アレルギー学会 |
| 溝口達弘、在津正文 | 佐賀大学病院におけるアナフィラキシーでの受診者の実態について | 第52回日本小児アレルギー学会 |
| 尾崎岩太、安田郁、古川早苗、武富弥栄子、小川康子、福島雅子、木道圭子、佐藤武、市場正良 | 職業性ストレス調査の有用性:佐賀大学医学部における結果から | 第53回全国大学保健管理研究集会 |
| 福田亜紗子、相原聡美、久富万智子、野口光代、西山哲、橋口真理子、中尾佳史、横山正俊 | タキサン系薬剤によると考えられた顔面の皮膚症状についての検討 | 第53回日本癌治療学会学術集会 |
| 渡辺直子、水町麻里、中尾佳史、上村哲司、横山正俊 | 佐賀大学におけるリンパ浮腫治療のチームアプローチ | 第53回日本癌治療学会学術集会 |
| 佐藤勇司、一番ヶ瀬優佳、柿木寛明、林洋子、高木紀人 | 淡明細胞癌を背景に多様な組織型を呈し、急激に増悪した腎細胞癌の 1 例 | 第53回日本癌治療学会学術集会 |
| 西山 哲、光 貴子、橋口真理子、大隈恵美、相原聡美、中尾佳史、横山正俊 | 当科における婦人科悪性腫瘍の初回治療前深部静脈血栓症スクリーニングの現状 | 第53回日本癌治療学会学術集会 |
| 光 貴子、野口光代、西山 哲、大隈恵美、橋口真理子、安永牧生、中尾佳史、横山正俊 | 妊娠・産褥期に診断された子宮頸癌の臨床的検討 | 第53回日本癌治療学会学術集会 |
| 相原聡美、橋口真理子、西山 哲、大隈恵美、中尾佳史、横山正俊 | 卵巣がん患者における終末期についての話し合いと終末期治療の状況 | 第53回日本癌治療学会学術集会 |
| Shioya T | Regulation of cardiac Na/Ca exchanger by PMCA via "calcium holes" | 第53回日本生物物理学会年会 |
| ○永瀨美樹、藤井純子、泉 夏美、岩根紳治、大枝敏、岡田倫明、江口有一郎、安西慶三 | 佐賀県内の肝炎コーディネーターと糖尿病療養指導士の連携の現状 | 第53回日本糖尿病学会九州地方会 |
| 出原賢治 | 気管支喘息治療における新時代の幕開け | 第53回日本内科学会近畿支部生涯教育講演会 |
| 楠元美華、寒竹大地、横尾摩耶、石川慎一郎、江内田寛 | 当院における緑内障手術時の抗血栓薬の取り扱いと出血性合併症の検討 | 第53回六大学合同眼科研究会 |
| 甲斐 敬太、中村 光男、相島 慎一 | 肝癌の細胞診、画像解析ソフトを用いた細胞像と組織像の比較 | 第54回 日本臨床細胞学会秋季大会 |
| 重松正仁、園田友美、西 智子、福島京子、百武義之、中山雪時、野口信宏、山下佳雄、佐野雅之、後藤昌昭 | 多施設病院における医療従事者への口腔ケアに関するアンケート調査 | 第54回全国国保地域医療学会 |
| 横山正俊、橋口真理子、本田敦子、野口光代、西山哲、内山倫子、中尾佳史 | シンポジウム HPV 検査時代の細胞診検査の果たす役割 佐賀市における HPV 検査併用検査の現状と問題点 | 第54回日本臨床細胞学会秋季大会 |
| 野口光代、西山 哲、大隈恵美、橋口真理子、内山倫子、安永牧生、金井督之、中尾佳史、横山正俊、岩坂剛 | 子宮体癌 1 期の再発における陰断端細胞診の有用性 | 第54回日本臨床細胞学会秋季大会 |

| | | |
|--|--|-------------------------|
| 西山 哲、橋口真理子、福田亜紗子、大隈恵美、甲斐敬太、野口光代、内山倫子、金井督之、山崎文朗、中尾佳史、横山正俊 | 子宮頸部細胞診、子宮内膜細胞診が術前診断の一助となった卵巣癌の一例。 | 第 54 回日本臨床細胞学会秋期大会。 |
| 出原賢治 | 間質性肺炎特異的ペリオスチン測定キットの開発 | 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会 |
| *長崎忠雄、松本久子、金光禎寛、出原賢治、東田有智、堀口高彦、北英夫、富井啓介、藤村政樹、横山彰仁、中野恭幸、保澤総一郎、伊藤功朗、小熊毅、田尻智子、岩田敏之、出原裕美、新美彰男、三嶋理晃 | 呼吸 NO と血清ペリオスチンはステロイド低感受性喘息を同定する | 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会 |
| *岡元昌樹、太田昭一郎、出原賢治、星野友昭 | 特発性肺線維症と血清バイオマーカー | 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会 |
| 田代宏樹、高橋浩一郎、加藤剛、林真一郎、荒金尚子 | 顕微鏡的多発血管炎 45 症例の肺病変の解析 | 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会 |
| 中村朝美、荒金尚子、小宮一利、小林直美、林真一郎、末岡榮三郎、木村晋也 | 血漿を用いた afatinib 再投与効果予測因子の検討 | 第 55 回日本呼吸器学会総会 |
| 中村朝美、荒金尚子、小宮一利、小林直美、林真一郎、木村晋也 | 血漿を用いた EGFR-TKIs 獲得耐性機序の解明 | 第 55 回日本肺癌学会九州支部学術集会 |
| 榎崎 さやか、甲斐 敬太、中村 光男、次富 久之、中原 由利重、山崎 真希子、増田 正憲、高瀬 ゆかり、相島 慎一、戸田 修二 | CML 寛解中に出現した大腿部 Myeloid sarcoma の一例 | 第 56 回 日本臨床細胞学会総会春期大会 |
| 薬師寺祐介、野口智幸、江里口誠、西原正志、原めぐみ、南里悠介、堀川悦夫、西山雅則、原 英夫 | Basal Ganglia Cerebral Microbleeds and Global Cognitive Function: The Kashima Scan Study | 第 56 回日本神経学学術大会 |
| 井手俊宏、薬師寺祐介、田中淳、江里口誠、森法道、溝口恵、田畑絵美、小杉雅史、原英夫 | 簡易版 NIHSS により rt-PA 静注療法後 24 時間の神経学的評価を安全に行える。 | 第 56 回日本神経学学術大会 |
| 小宮一利、中村朝美、貞松 宏典、中島千穂、武田雄二、木村晋也、荒金尚子 | ALK 融合遺伝子陽性肺癌に対する ALK 阻害剤の有効性と安全性の後方視的検討 | 第 56 回日本肺癌学会学術集会 |
| 中村朝美、小林直美、梅口仁美、小宮一利、木村晋也、荒金尚子 | 血漿を用いた EGFR-TKIs 効果予測因子の検討 | 第 56 回日本肺癌学会学術集会 |
| 坂田省三、宮本詩子、武田雄二、森田茂樹 | 腎細胞癌術後 31 年目に診断された肺および縦隔リンパ節転移の 1 例 | 第 56 回日本肺癌学会学術集会 |
| 西山哲、光貴子、橋口真理子、大隈恵美、野口光代、内山倫子、山本美和子、山崎文朗、中尾佳史、横山正俊 | 子宮頸部に発生した大細胞神経内分泌癌の一例。 | 第 56 回日本臨床細胞学会総会(春期大会)。 |
| 光貴子、野口光代、西山哲、橋口真理子、安永牧生、金井督之、内山倫子、中尾佳史、横山正俊、岩坂剛 | 妊娠合併子宮頸癌と細胞診断。 | 第 56 回日本臨床細胞学会総会(春期大会)。 |
| Kito Y | Spontaneous electrical activity recorded from fibroblast-like cells in small intestine. | 第 57 回 日本平滑筋学会総会 |
| 鬼頭佳彦、三井烈 | ラット小腸の電氣的自発活動の性質 | 第 57 回 日本平滑筋学会総会 |
| 久本由香里、上原範久、久木田明子、久木田敏夫 | Galectin-9 による破骨細胞形成抑制機構: MafB 制御関与の可能性 | 第 57 回歯科基礎医学会 |
| 久木田明子、徐祥赫、久木田敏夫 | OCZF (Zbtb7a) タンパク質の破骨細胞分化における発現誘導とその機能的解析 | 第 57 回歯科基礎医学会 |
| 合島怜央奈、木附智子、吉本怜子、大崎康吉、張 旌旗、禮上 敦、山下佳雄、城戸瑞穂 | マウス口蓋創傷モデルの治癒過程における上皮間葉転換関連因子の発現解析 | 第 57 回歯科基礎医学会学術大会・総会 |
| *木附智子、合島怜央奈、畠山純子、大崎康吉、張旌旗、城戸瑞穂 | TRPV4 遺伝子欠失が歯肉付着上皮における物質透過性に与える影響 | 第 57 回歯科基礎医学会学術大会・総会 |
| *吉本怜子、合島怜央奈、吉住潤子、木附智子、禮上敦、山下佳雄、城戸瑞穂 | 口腔内乾燥を訴える患者に認められた口唇粘膜上皮の変性とマクロファージの浸潤 | 第 57 回歯科基礎医学会学術大会・総会 |
| *児玉祐一、岡本康裕、稲垣二郎、永井功造、野口貴之、古賀友紀、西 眞範、日高靖文、上田耕一郎、野村優子、盛武 浩、糸長伸能、河野嘉文 | 小児 AML の寛解導入不能例の長期予後 -KYCCSG ANLL855, ANLL88, ANLL91- | 第 57 回日本小児血液・がん学会学術集会 |
| 前田寿幸、城崎幸介、八木ひとみ、東元 健、松尾宗明、副島英伸 | Beckwith-Wiedemann 症候群エピソード変異症例におけるインプリント DMR の包括的メチル化解析 | 第 57 回日本小児神経学会学術集会 |
| 前田寿幸、城崎幸介、八木ひとみ、東元健、松尾宗明、副島英伸 | Beckwith-Wiedemann 症候群エピソード変異症例におけるインプリント DMR の包括的メチル化。 | 第 57 回日本小児神経学会学術集会 |
| 古賀佳代、小野晋康、尾形善康、松尾宗明 | 開頭血腫除去術後に血友病の診断に至り、出血性ショックと脳梗塞を発生した一例。 | 第 57 回日本小児神経学会学術集会 |
| 平原恵子、松尾宗明、高柳俊光 | 極低出生体重児の修正 1 歳半時の M-CHAT の検討。 | 第 57 回日本小児神経学会学術集会 |
| 田島大輔、松尾宗明 | Abusive Head Trauma 12 例の臨床像と発達予後。 | 第 57 回日本小児神経学会総会 |
| 松尾宗明、石塚洋一、持永早希子、前田美由紀、榑原崇文、崎山快夫、和田幸樹、有馬英俊、入江徹美 | ニーマンピック病 C 型の新規治療法。シンポジウム 10 代謝疾患の新規治療—神経症状をターゲットにした治療法。 | 第 57 回日本小児神経学会総会 |
| ○藤田 愛、野口 光代、橋口 真理子、西山 哲、山口 浩樹、甲斐 敬太、大隈 恵美、相原 聡美、山崎 文朗、中尾 佳史、横山 正俊 | 卵巣胚細胞性腫瘍の脾臓再発を疑われた深在性真菌菌症の 1 例 | 第 57 回日本婦人科腫瘍学会 |
| 光 貴子、中尾佳史、藤田 愛、福田亜紗子、大隈恵美、西山 哲、橋口真理子、相原聡美、野口光代、安永牧生、山崎文朗、横山正俊 | SMILE (Stratified mucin-producing intraepithelial lesion) と子宮頸部未分化癌が併存した例。 | 第 57 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会。 |
| 中尾佳史、橋口真理子、西山 哲、大隈恵美、光 貴子、福田亜紗子、藤田 愛、相原聡美、野口光代、安永牧生、山崎文朗、横山正俊 | 子宮頸癌 cM1 症例に対する初回治療とその予後(後方視的検討)。 | 第 57 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会。 |

| | | |
|--|--|------------------------|
| 福田亜紗子、野口光代、藤田 愛、光 貴子、西山 哲、橋口真理子、大隈惠美、相原聡美、安永牧生、中尾佳史、山崎文朗、横山正俊 | 子宮頸部上皮内腺癌の診断過程についての検討 | 第 57 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 |
| 石川光也、笠松高弘、中西 透、水野美香、馬場 長、松本佳也、中井英勝、野河孝充、有吉和也、井上貴史、横山正俊、齋藤文誉、川畑宣代、久高 亘、津田均、福永真治、坂本 穆彦、加来恒壽、恩田貴志、八重樫伸生 | 子宮頸部神経内分泌腫瘍に対する多施設共同観察研究 進行期症例の解析 | 第 57 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 |
| 西山 哲、光 貴子、藤田 愛、橋口真理子、大隈惠美、相原聡美、野口光代、山崎文朗、中尾佳史、横山正俊 | 当科における婦人科悪性腫瘍の初回治療前深部静脈血栓症スクリーニングの現状 | 第 57 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 |
| 相原聡美、橋口真理子、大隈惠美、西山 哲、中尾佳史、横山正俊 | 卵巣がん患者における終末期についての話合いの時期と終末期治療の状況 | 第 57 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 |
| 藤田 愛、野口光代、橋口真理子、西山 哲、山口浩樹、甲斐敬太、大隈惠美、相原聡美、山崎文朗、中尾佳史、横山正俊 | 卵巣胚細胞性腫瘍の臓器再発を疑われた深在性真菌症の 1 例 | 第 57 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 |
| 大塚泰史、岡 政史、陣内久美子、佐藤忠司、松尾宗明、進藤岳郎、木村晋也、川崎 誠二、末岡榮三朗 | Thromboticmicroangiopathy における抗 CFH 抗体と原因遺伝子の解析 | 第 58 回日本腎臓学会 |
| * 西島亜紀、高橋宏和、戸田修二、江口有一郎 | 慢性肝疾患患者における脂肪組織と肝組織の病理学的検討 | 第 58 回日本糖尿病学会年次学術集会 |
| * 辻 千賀、高橋宏和、小野正文、江口尚久、藤本一真、茶山一彰、西原利治、安西慶三、江口有一郎 | 飲酒は脂肪肝の「リスク」か？内臓肥満、性差からみた脂肪肝との関連性の検討 | 第 58 回日本糖尿病学会年次学術集会 |
| * 脇山マキ、宮崎和代、佐伯昌子、岩崎理佳、千布裕、山口美幸、小島基靖、井本めぐみ、藤松里美、安西慶三 | 当院の佐賀県糖尿病コーディネーター看護師活動を振り返って～診療所スタッフ向け糖尿病教室開催後の聞き取り調査から見えた事～ | 第 58 回日本糖尿病学会年次学術集会 |
| 山口美幸、寺坂喜子、那須俊甫、高木祐介、松田やよい、藤井純子、藤井 進、菊池 守、竹之下博正、上村哲司、安西慶三 | 当院のDPC解析から明らかとなった糖尿病足病変治療における地域連携の必要性 | 第 58 回日本糖尿病学会年次学術集会 |
| 廣崎友里、新納宏昭、大田俊一郎、植木尚子、中山剛志、三嶋浩司、猪口翔一朗、高木綾子、中川仁、中野翔太、押領司大助、綾野雅宏、上田彰、久本仁美、田中淳、三吉弘喜、赤星光輝、有信洋二郎、山田久方、久木田明子、塚本浩、赤司浩一 | 関節リウマチの骨破壊に寄与する RANKL 発現エフェクターB 細胞の機能解析 | 第 59 回日本リウマチ学会総会 |
| 小野行秀、徳田悠希子、貞永裕梨、田代知子、末松梨絵、小野伸之、小荒田秀一、大田明英、多田芳史 | 高安動脈炎に対する初期治療反応性と長期治療成績の検討 | 第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会 |
| * 新納宏昭、塚本 浩、有信洋二郎、赤星光輝、三吉弘喜、押領司健介、井上 靖、澤部琢哉、永野修司、西坂浩明、吉澤誠司、多田芳史、吉澤 滋、大塚毅、上田 章、中島 衡、堀内孝彦、赤司浩一 | 関節リウマチ患者におけるトリスマブの有効性および酸化ストレスマーカー変化量の検討 | 第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会 |
| * 桐野洋平、川口鎮司、多田芳史、岩本雅弘、大田俊行、長澤浩平、塚本 浩、武井修治、堀内孝彦、山田秀裕、高橋裕樹、上田敦久、大田明英、石ヶ坪良明 | 成人スティル病における血清フェリチン・ヘムオキシゲナーゼ1の診断への有効性：多施設共同研究の中間報告 | 第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会 |
| 多田芳史、末松梨絵、田代知子、小野伸之、貞永裕梨、小野行秀、徳田悠希子、小荒田秀一、大田明英 | 自己免疫疾患合併 RA と非合併 RA におけるアバタセプトの効果と副作用の検討 | 第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会 |
| 徳田悠希子、小野伸之、小野行秀、貞永裕梨、田代知子、末松梨絵、小荒田秀一、大田明英、多田芳史 | 器質性肺炎を合併した関節リウマチ患者についての検討 | 第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会 |
| 小荒田秀一、小峯光徳、徳田悠希子、小野行秀、貞永裕梨、末松梨絵、田代知子、小野伸之、大田明英、多田芳史 | 関節リウマチの臨床的寛解状態における残存単関節炎に対するセルトリズマブ・ベゴルの投与経験 | 第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会 |
| 多田芳史、小荒田秀一、小野伸之、末松梨絵、田代知子、貞永裕梨、徳田悠希子、小野行秀、大田明英 | トリスマブ治療による T 細胞サブセットマスター遺伝子発現の変化 | 第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会 |
| 末松梨絵、田代知子、小野行秀、徳田悠希子、貞永裕梨、小野伸之、小荒田秀一、大田明英、多田芳史 | ゴリムマブが有効であった難治性高安病の 3 例 | 第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会 |
| 貞永裕梨、小野行秀、徳田悠希子、田代知子、末松梨絵、小野伸之、小荒田秀一、多田芳史、大田明英、千布 裕 | 強皮症に合併した急性腎不全の検討 | 第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会 |
| 田代知子、小野行秀、徳田悠希子、貞永裕梨、末松梨絵、小野伸之、小荒田秀一、大田明英、多田芳史 | ベーチェット病における小関節炎に関する画像診断学的検討 | 第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会 |
| 小野伸之、小野行秀、徳田悠希子、貞永裕梨、田代知子、末松梨絵、小荒田秀一、大田明英、多田芳史 | 救急外来を受診した関節リウマチ患者の背景および転帰の検討 | 第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会 |
| 石川慎一郎 | 緑内障点眼治療の再確認：オーダーメイド治療に向けた治療戦略 | 第 5 回 YOSAKOI 緑内障研究会 |
| 梅林泰宏、渡辺日香里、梅木辰也、土井寛也、齋藤蒼思、高橋利幸 | 擬プロトン性イオン液体の超 Arrhenius プロトン伝導の可能性 | 第 5 回イオン液体討論会、横浜 |
| 下平大治、山下雄平、霧岡祥子、檀上敦、山下佳雄、後藤昌昭 | 口腔内症状が契機となった多発血管炎性肉芽腫症の一例 | 第 60 回 日本口腔外科学会総会・学術大会 |
| 山下佳雄、井上将成、山下雄平、霧岡祥子、下平大治、檀上 敦、後藤昌昭 | 保存的治療後の関節突起骨折部位の 3 次元形態評価 | 第 60 回日本口腔外科学会学術大会 |
| 霧岡祥子、檀上 敦、下平大治、山下佳雄、後藤昌昭 | 口腔扁平上皮癌における EMT 関連因子発現の検討 | 第 60 回日本口腔外科学会総会・学術大会 |
| 東武昇平、野口満 | 大網巻絡 CAPD カテーテル閉塞に対する腹腔鏡下ハイブリッド解除術 | 第 60 回日本透析医学会学術集会・総会 |

| | | |
|--|--|--------------------------------------|
| 大島綾花、池田弘典、川崎誠司、東谷孝徳、太田昭一郎、末岡榮三朗 | L鎖のみと反応したLD結合性免疫グロブリンの1症例 | 第60回日本臨床検査医学会九州地方会 第26回日本臨床化学会九州支部総会 |
| *阿部幸一郎、布村聡、羅智靖、田嶋敦 | 自然炎症性症候群モデルマウスにおける自然免疫系のシグナル伝達異常による炎症発生機構の解析 | 第62回実験動物学会総会 |
| 徳永 翔太・成田 貴行・大石 祐司 | バイオポリマーゲルをマトリックスとした酵素固定型JANUS 粒子の調製 | 第63回高分子討論会 |
| 鬼丸翔平・池田達郎・成田貴行・大石祐司 | 光-熱変換能を有するハイドロゲルの体積変化特性 | 第63回高分子討論会 |
| 浦上宗治、山口浩樹、濱田洋平、曲淵裕樹、於保恵、草場耕二、青木洋介 | 急性腎不全におけるダブトマイシンの体内動態解析を行った一例と副作用連鎖 | 第63回日本化学療法学会総会 |
| 浦上宗治、曲淵裕樹、濱田洋平、山口浩樹、青木洋介 | 佐賀大学医学部附属病院での Antimicrobial Stewardship の取り組み(第1報)ーカルバペネムの使用動向ー | 第63回日本化学療法学会総会 |
| 濱田洋平、於保恵、草場耕二、山口浩樹、曲淵裕樹、浦上宗治、青木洋介 | 当院における過去20年間の感染性心内膜炎の臨床的検討 第2報 | 第63回日本化学療法学会総会 |
| 祖川 倫太郎、角 真太郎、西村 文、浦上 宗治、青木 洋介 | CR-BSIによるMRCNS菌血症におけるVCMの有効性とAUC/MIC値の関連について | 第63回日本化学療法学会総会 |
| 野出孝一、尾山純一、坂東泰子、室原豊明 | 新規糖尿病治療薬の心血管不全に対する効果 | 第63回日本心臓病学会学術集会 |
| 錦戸利幸、琴岡憲彦、尾山純一、挽地裕、野出孝一 | 冠動静脈瘻を伴う巨大冠動脈瘤2症例に対する治療の比較 | 第63回日本心臓病学会学術集会 |
| 長友大輔、琴岡憲彦、挽地裕、尾山純一、野出孝一 | post capillary PH患者において両室充滿圧の比(RAP/PCWP)は右室の仕事量と相関し、予後を予測する | 第63回日本心臓病学会学術集会 |
| 合力悠平、山崎あゆむ、瀬口理、琴岡憲彦、挽地裕、野出孝一 | 巨細胞性心筋炎による重症心不全にHeart Mate II 植込み後、左室流出路にマイクロバブルを認めた一例 | 第63回日本心臓病学会学術集会 |
| 西田裕一郎、田中恵太郎、原めぐみ、平尾紀子、田中宏暁、飛奈卓郎、池田正春、大和浩、太田雅規 | 乳酸閾値強度のステップ運動が高齢女性の尿pHに及ぼす影響 | 第64回九州体育・スポーツ学会 |
| 有馬和彦 | 2型サイトカインに対する分子標的戦略の基盤 | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| *藤澤 大輔、柏倉 淳一、布村 聡、紀太 博仁、菊川 裕介、藤谷 靖志、葉山 惟大、畠田 優子、坂本 朋美、照井 正、羅 智靖、岡山 吉道 | 皮膚マスト細胞におけるMas-related gene X2について | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| *平山淳也、貝沼圭吾、長尾みづほ、藤澤隆夫、出原賢治 | 小児アレルギー疾患のバイオマーカーの検討 | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| *伊崎 聡志、布村 聡、藤澤 大輔、畠田 優子、葉山 惟大、藤田 英樹、羅 智靖、岡山 吉道、照井 正 | 細胞膜発現FcεRIα鎖蛋白との反応性を利用した抗FcεRIα鎖抗体検出法の慢性蕁麻疹患者における有用性 | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| 出原賢治、松本久子 | 喘息におけるバイオマーカー | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| *松坂雅子、加畑宏樹、福永興彦、出原賢治、浅野浩一郎、別役智子 | ペリオスチンからみた喘息の特徴 | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| *三嶋 信太郎、岡村 祐己、坂本 朋美、柏倉 淳一、布村 聡、徳橋 泰明、羅 智靖、岡山 吉道 | 関節リウマチ(RA)におけるサブスタンスP(SP)/Mas-related gene X2を介した滑膜マスト細胞による炎症の増悪 | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| *長瀬洋之、白井敏博、川山智隆、井上博雄、佐藤俊、浅野浩一郎、出原賢治、久米裕昭 | 血清ペリオスチンの喘息治療ステップダウン成功予測因子としての有用性 | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| *長瀬洋之、鈴木澤尚実、岩永賢司、田中明彦、谷田洋平、斎藤純平、鈴木真穂、東元一晃、井上博雄、棟方充、榎澤伸之、東田有智、秋山一男、出原賢治、中村裕之、大田健 | 成人喘息のクラスター解析の現状と展望ー厚生労働科学研究(大田班)の知見を含めてー | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| 布村聡、岡山吉道、松本健治、梅田香織、横島誠、照井正、羅智靖 | LXRを介したマスト細胞における炎症性サイトカイン産生の抑制 | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| 小川雅弘、鈴木章一、太田昭一郎、有馬和彦、出原賢治 | ペルオキシダーゼによる気道上皮細胞における炎症惹起機序 | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| *岡田直子、藤島浩、深川和己、松田明生、出原賢治、太田昭一郎、小野純也、斎藤博久 | アトピー性角結膜炎患者の涙液におけるペリオスチンの発現検討 | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| *杉本直也、長瀬洋之、小泉佑太、江崎崇、高橋美圭、田中祐輔、新井秀宜、山口正雄、出原賢治、大田健 | アレルギー-鼻炎合併喘息における血清ペリオスチン値の検討 | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| *續啓史、有信洋二郎、宮脇恒太、高木綾子、大田俊一郎、Siamak JT、大田友里、植木尚子、三苫弘喜、赤星光輝、新納宏昭、塚本浩、堀内孝彦、出原賢治、赤司浩一 | IL-33による骨髄系前駆細胞からのTh2及び炎症性サイトカインの産生誘導と好酸球造血の制御 | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| *渡邊泰治、知花和行、塩原太一、池田直哉、梅津貴史、近江史人、新井良、降旗友恵、三好祐顕、清水泰生、武政聡浩、小野純也、出原賢治、石井芳樹 | 喘息患者の血中およびBALFペリオスチン | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| 高橋浩一郎、田代宏樹、加藤剛、林真一郎 | 薬剤師アンケートを用いた吸入療法における医薬連携の効果検証 | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| 在津正文、溝口達弘、木村亜由美、志田かおる、松尾宗明 | 外食で除去食品を摂取しアナフィラキシーをきたした姉妹例 | 第64回日本アレルギー学会学術大会 |
| *三嶋信太郎、柏倉淳一、布村聡、下川敏文、徳橋泰明、羅智靖、坂本朋美、岡山吉道 | 関節リウマチ(RA)患者滑膜組織マスト細胞におけるIL-17の発現 | 第64回日本アレルギー学会秋季学術大会 |
| *下川敏文、布村聡、藤澤大輔、岡山吉道、羅智靖 | 骨髄細胞分化におけるC/EBPαのC-末端領域の解析 | 第64回日本アレルギー学会秋季学術大会 |
| 小山宏義、竹下直美 | 水中での屍体腐化の一部検例 | 第65回日本法医学会学術九州地方集会 |

| | | |
|---|--|--|
| ○小山宏義、竹下直美 | 水中での屍体化の一部検例 | 第 65 回日本法医学会学術九州地方集会 |
| 塩谷 孝夫 | 心臓収縮の光学的測定装置の開発と学生実習への応用 | 第 66 回西日本生理学会 |
| 柿木寛明、草野脩平、高原光平、一番ヶ瀬優佳、藏田彩、有働和馬、東武昇平、野口満 | Ho-YAGレーザーによる TUL 治療成績への影響因子. | 第 67 回西日本泌尿器科学会総会. |
| 一番ヶ瀬優佳、草野脩平、藏田彩、柿木寛明、有働和馬、南里麻己、東武昇平、野口満 | 子宮頸癌の臨床進行期決定における膀胱鏡検査の必要性についての検討. | 第 67 回西日本泌尿器科学会総会. |
| 草野脩平、有働和馬、東武昇平、野口満 | ロボット支援下前立腺全摘除術における術後尿禁制についての解析. | 第 67 回西日本泌尿器科学会総会. |
| 藏田彩、草野脩平、高原光平、一番ヶ瀬優佳、柿木寛明、南里麻己、有働和馬、東武昇平、野口満 | 骨盤臓器脱に対する TVM 手術と腔閉鎖術の術後排尿状態に関する検討. | 第 67 回西日本泌尿器科学会総会. |
| 有働和馬 | 小児泌尿器科領域におけるロボット手術の応用と展望. | 第 67 回西日本泌尿器科学会総会. |
| 東武昇平、野口満、藏田彩、魚住二郎 | 膀胱癌に対する尿路変更術後症例における抑うつ症状発症危険因子の検討. | 第 67 回西日本泌尿器科学会総会. |
| 島津倫太郎、倉富勇一郎 | 胃液・十二指腸逆流モデルにおける咽喉頭の病理学的変化の検討 | 第 67 回日本気管食道科学会総会・学術講演会 |
| 越智寛幸 (HPV 感染と子宮頸部発がんに関するコホート研究)、沖明典、八杉利治、平井康夫、八重樫伸生、三橋暁、藤井多久磨、川名敬、渡部洋、横山正俊、青木陽一、古田玲子、吉川裕之 | HPV16/18/31/52/58 型血清中和抗体と子宮頸部前がん病変の消失との関連. | 第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会. |
| 橋口真理子、野口光代、中尾佳史、大隈恵美、西山哲、藤田 愛、横山正俊 | S 市における HPV 検査併用子宮頸癌検診について. | 第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会. |
| 山本徒子、中山幸彦、津村圭介、横山正俊 | 医学科学生における遺伝医療に関した最近の話題についての意識調査. | 第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会. |
| 花鳥克幸、西山 哲、橋口真理子、大隈恵美、中尾佳史、横山正俊 | 産褥 6 日目に判明した子宮破裂の一例. | 第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会. |
| 中尾佳史、西山 哲、橋口真理子、大隈恵美、中山幸彦、光 貴子、野口光代、安永牧生、横山正俊 | 子宮頸癌 cM1 症例に対する初回治療とその予後の後方視的検討. | 第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会. |
| 光 貴子、西山 哲、橋口真理子、大隈恵美、野口光代、中尾佳史、金井督之、横山正俊 | 子宮頸部すりガラス細胞癌 3 症例の検討. | 第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会. |
| 石川光也、笠松高広、加藤達矢、岡田智志、高野政志、荷見よう子、鈴木佳世、谷口義実、高橋一彰、有本真英、金田容秀、岩田卓、小野重満、児玉省二、宮本強、中西透、水野美香、馬場長、松本佳也、中井英勝、野河孝充、有吉和也、井上貴史、横山正俊、齋藤文誉、川畑宣代、久高亘、恩田貴志、八重樫伸生 | 子宮頸部神経内分泌腫瘍に対する集学的治療を探索する多施設共同観察研究. | 第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会. |
| 栗原麻希子、津田聡子、光 貴子、花鳥克幸、西山哲、橋口真理子、大隈恵美、中尾佳史、横山正俊 | 腫瘍随伴症候群による呼吸不全、筋力低下を来した卵巣漿液性腺癌の 1 例. | 第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会. |
| 津田聡子、栗原麻希子、大島侑子、中山幸彦、山本徒子、津村圭介、横山正俊 | 重症妊娠高血圧腎症を来した偽性副甲状腺機能低下症の一例. | 第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会. |
| 大隈恵美、橋口真理子、西山 哲、中山幸彦、中尾佳史、横山正俊 | 当科における若年性子宮体癌および子宮内膜異型増殖症に対する高用量 MPA 療法の検討. | 第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会. |
| 西山 哲、光 貴子、大島侑子、栗原麻希子、橋口真理子、大隈恵美、中尾佳史、横山正俊 | 卵巣性索間質性腫瘍の診断における MRI 画像の検討. | 第 67 回日本産科婦人科学会学術講演会. |
| 橋本明子、高瀬佳奈子、永瀬浩太郎、井上卓也、成澤寛 | 佐賀県で発症した日本紅斑熱の親子同時発症例 | 第 67 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 |
| 白井礼子、永瀬浩太郎、中野加央里、井上卓也、成澤寛 | 多発性基底細胞癌、Bowen 病、有棘細胞癌を発症した疣贅状表皮発育異常症 | 第 67 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 |
| 中山愛子、垣内俊彦、尾形善康、田代克弥、松尾宗明 | 佐賀県小児肝炎包括的予防・診療システム構築の取り組み～ 妊婦教育、母子感染予防、小児肝炎キャリア診療の連鎖 ～. | 第 68 回九州小児科学会 |
| 下村 由貴、祖川 倫太郎、門司 晃、原 英夫 | 不眠症治療におけるクエチアピン使用の実態調査 | 第 68 回九州精神神経学会 |
| 祖川 倫太郎、下村 由貴、南 智香子、丸尾 譲二、國武 裕、溝口 義人、川島 敏郎、門司 晃、原 英夫 | アリピプラゾール投与患者におけるプロラクチン値の検討 | 第 68 回九州精神神経学会 |
| 見市文香、宮本智文、高尾省子、Ghulam J、橋本哲男、原博満、野崎智義、吉田裕樹 | 「赤痢アメーバ」マイトソームの生理的意義の解明～コレステロール硫酸産生とシスト形成の制御～」 | 第 68 回日本寄生虫学会南日本支部大会/第 65 回日本衛生動物学会南日本支部大会(長崎) |
| 柚木純二、古川浩二郎、蒲原啓司、田中厚寿、麓 英征、野口 亮、野上英次郎、木塚貴浩、森田茂樹、伊藤 翼 | B 型解離に対する胸部、胸腹部大動脈手術の成績と合併症のない B 型解離に対する重急性期 TEVAR の取り組み | 第 68 回日本胸外科科学会定期学術集会 |
| 古川浩二郎、柚木純二、伊藤 学、麓 英征、野口亮、野上英次郎、迎 洋輔、森田茂樹 | Remodeling 方に弁輪固定は必要か? | 第 68 回日本胸外科科学会定期学術集会 |
| 迎 洋輔、伊藤 学、古川浩二郎、中山功一、野出孝一、森田茂樹 | ヒト iPS 細胞由来心筋細胞凝集塊の機能的解析 | 第 68 回日本胸外科科学会定期学術集会 |
| 山本格士、寺本憲功 | - | 第 68 回日本薬理学会西南部会 |
| 佐藤忠司、岩永晃、荻原俊、田島大輔、溝口達弘、小野晋康 | 小児期に進行性腎機能低下をきたした果状糸球体硬化症の兄弟例. | 第 69 回国立病院総合医学会 |
| 檀上 敦、山下佳雄、下平大治、轟岡祥子、井上将成、後藤昌昭 | 佐賀大学医学部歯科口腔外科外来を受診した骨代謝調整薬(BMA)使用患者の臨床的検討 | 第 69 回日本口腔科学会学術集会 |

| | | |
|--|--|---|
| 石川慎一郎、江内田寛、吉永幸靖、中村大輔、岡田龍夫、石橋達朗 | 新しい眼底酸素飽和度測定装置の開発 | 第 69 回日本臨床眼科学会 |
| 楠元美華、寒竹大地、横尾摩耶、石川慎一郎、江内田寛 | 当院における緑内障手術時の抗血栓薬の取り扱いと出血性合併症の検討 | 第 69 回日本臨床眼科学会 |
| 柚木純二、挽地 裕、下村光洋、坂本佳子、田中厚寿、野上英次郎、井上洋平、古川浩二郎、野出孝一、森田茂樹 | CT での弁輪面積 415 mm ² 以上の AS に対し SAPIENXT 23 mm 弁を使用した症例の経過 | 第 6 回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会 (JTVT2015) |
| 飯田千晶、中村紗耶嘉、尾形善康、田代克弥、松尾宗明 | MRSA 感染性心内膜炎の女児例。 | 第 71 回佐賀小児科地方会 |
| 土井大人、古賀佳代、南里亜由美、荻原俊、溝口達弘、小野晋康、佐藤忠司 | 外転神経麻痺を契機に診断に至った脳静脈洞血栓症の一例。 | 第 71 回佐賀小児科地方会 |
| ○池田裕貴、垣内俊彦、武富啓展、福田冬季子、杉江秀夫、松尾宗明 | 肝腫大が診断の契機となった糖尿病区型の 1 例。 | 第 71 回佐賀小児科地方会 |
| 上野知香、今吉美代子、沖眞一郎、荒牧修一、富永薫、山本修一 | 結核性胸膜炎の 1 例。 | 第 71 回佐賀小児科地方会 |
| ○須山ゆかり、安心院法樹、永井功造、蘭満紀子、檀上 敦、武田雄二、坂田省三、甲斐敬太 | 診断時に心臓腫瘍を伴った未分化大細胞性リンパ腫 (ALCL) の 1 例 | 第 71 回日本小児科学会佐賀地方会 |
| 中橋弘顕、津村圭一、山本佳子、横山正俊、野見山亮、室 雅巳、佐藤直人、萩尾洋介 | ワークショップ「九州における周産期医療の最前線」佐賀県における早産予防の取り組みと、早産児および低出生体重児の管理指針。 | 第 72 回九州連合産科婦人科学会、第 66 回九州ブロック産婦人科医会。 |
| 栗原麻希子、西山 哲、藤田 愛、光 貴子、福田亜紗子、橋口真理子、大隈恵美、野口光代、中尾佳史、横山正俊 | 当院における婦人科悪性腫瘍患者に対する治療前血栓症スクリーニングについての検討。 | 第 72 回九州連合産科婦人科学会、第 66 回九州ブロック産婦人科医会。 |
| 草野脩平、南里麻巳、東武昇平、野口満、徳田倫章 | 進行性副腎癌の治療経験。 | 第 72 回佐賀県泌尿器科懇話会。 |
| 上野知香、今吉美代子、横田吾郎、沖眞一郎、荒牧修一、山本修一 | Dantrolene により胸水貯留を来した重症心身障害者の 1 例。 | 第 72 回佐賀小児科地方会 |
| 一ノ瀬文男、西村真二、横田吾郎、川崎祥平、土井大人、浦島真由美、小野直子、在津正文、稲田浩子、総崎直樹、福田省史 | 虐待が疑われる乳幼児頭部外傷 (AHT) の兄弟例。 | 第 72 回佐賀小児科地方会・第 196 回日本小児科学会長崎地方会合同地方会 |
| 古賀大介、川崎祥平、西 眞範、永井功造、岩永 学、松尾宗明 | 過粘稠症候群による血流障害から右足前部切断を余儀なくされた一過性骨髄異常増殖症の一例。 | 第 72 回佐賀小児科地方会・第 196 回日本小児科学会長崎地方会合同地方会 |
| ○溝端理恵、田代克弥、松尾宗明、奥田幸恵、能城浩和 | 外来管理中に偶然発見された横隔膜ヘルニアの一例。 | 第 72 回佐賀小児科地方会・第 196 回日本小児科学会長崎地方会合同地方会 |
| 溝口達弘、在津正文、松尾宗明 | 佐賀大学病院小児科におけるアナフィラキシーでの受診者の実態について。 | 第 72 回佐賀小児科地方会・第 196 回日本小児科学会長崎地方会合同地方会 |
| 土井大人、岩永晃、荻原俊、溝口達弘、田島大輔、小野晋康、佐藤忠司 | 当院で経験した小児特発性膜性腎症 2 例。 | 第 72 回佐賀小児科地方会・第 196 回日本小児科学会長崎地方会合同地方会 |
| 川崎祥平、在津正文、土井大人、一ノ瀬文男、浦島真由美、小野直子、稲田浩子、西村真二 | 当科における呼吸器感染症入院症例の検討。 | 第 72 回佐賀小児科地方会・第 196 回日本小児科学会長崎地方会合同地方会 |
| 森田 駿、古賀大介、西 眞範、尾形善康、松尾宗明 | 頭蓋内出血を発症した乳児重症血友病 B の一例。 | 第 72 回佐賀小児科地方会・第 196 回日本小児科学会長崎地方会合同地方会 |
| 中山愛子、垣内俊彦、杉田恵美、泉夏美、大枝敏、岩根紳治、江口有一郎、松尾宗明 | 妊婦健診における肝炎ウイルス検査に対する意識調査の検討。 | 第 72 回佐賀小児科地方会・第 196 回日本小児科学会長崎地方会合同地方会 |
| 川崎祥平、土井大人、一ノ瀬文男、浦島真由美、小野直子、在津正文、稲田浩子、西村真二、福田篤久、上杉 達、村森克己、橋野かの子 | Meckel 憩室の mesodiverticular band による絞扼性イレウスの症例。 | 第 73 回佐賀小児科地方会 |
| 岩永 晃、荻原 俊、溝口達弘、田島大輔、小野晋康、佐藤忠司 | 感染性胃腸炎と診断加療後、消化器症状が遷延し診断に至った腹腔内リンパ管腫の 2 例。 | 第 73 回佐賀小児科地方会 |
| 飯田千晶、陣内久美子、前田寿幸、田代克弥、松尾宗明 | 急性右心不全を発症し、診断に苦慮した Large ASD の男児例。 | 第 73 回佐賀小児科地方会 |
| 溝口達弘、岩永 晃、荻原 俊、田島大輔、小野晋康、佐藤忠司 | 繰り返す口腔カンジダ症・体重増加不良を契機に診断に至った乳幼児自己免疫性好中球減少症の 1 例。 | 第 73 回佐賀小児科地方会 |
| ○木下恵志郎、飯田千晶、田代克弥、松尾宗明 | 診断に苦慮した食道異物の 1 例。 | 第 73 回佐賀小児科地方会 |
| 垣内俊彦、上床希久、中山愛子、久保和泰、小林育子、戸川貴夫、杉浦時雄、松尾宗明 | 成人発症 II 型シトルリン血症にみる日本の肝移植医療の問題点。 | 第 73 回佐賀小児科地方会 |
| Nakazono T, Yamaguchi K, Egashira R, Mizuguchi M, Takase Y, Masuda M, Irie H | CT and MR imaging findings with the histopathological correlation of thymic epithelial tumors. | 第 74 回日本医学放射線学会総会 |
| Nakazono T, Yamaguchi K, Egashira R, Mizuguchi M, Takase Y, Masuda M, Irie H | CT and MR imaging findings with the histopathological correlation of thymic epithelial tumors. | 第 74 回日本医学放射線学会総会 |
| 貞松宏典、高橋浩一郎、中島千穂、田代宏樹、小林直美、小宮一利、中村朝美、木村晋也、荒金尚子 | 両肺に多発性結節陰影を呈した IgG4 関連疾患の一例 | 第 74 回日本呼吸器学会九州支部学術講演会 |
| 平川治樹、高橋浩一郎、栗原有紀、貞松宏典、田代宏樹、中島千穂、小林直美、田中将英、小宮一利、中村朝美、荒金尚子 | 頭蓋出血を契機に II 型呼吸不全の増悪を来した睡眠時無呼吸症候群の一例 | 第 75 回日本呼吸器学会九州支部学術講演会 |
| 栗原有紀、小宮一利、平川治樹、貞松宏典、中島千穂、中村朝美、高橋浩一郎、木村晋也、荒金尚子 | 生前の診断が困難であった多発肺浸潤影の一例 | 第 75 回日本呼吸器学会九州支部学術講演会 |

| | | |
|---|--|---|
| 貞松宏典、高橋浩一郎、栗原有紀、平川治樹、田代宏樹、中島千穂、小林直美、小宮一利、中村朝美、荒金尚子 | 肺アミロイドーシス、肺多発嚢胞状変化を合併したシェーグレン症候群の一例 | 第75回日本呼吸器学会九州支部学術講演会 |
| 田代宏樹、高橋浩一郎、栗原有紀、平川治樹、貞松宏典、中島千穂、小林直美、田中将英、小宮一利、中村朝美、荒金尚子 | 間質性肺炎急性増悪を合併した Goodpasture 症候群の1剖検例 | 第75回日本呼吸器学会九州支部学術講演会 |
| 中村朝美、荒金尚子、小宮一利、小林直美、林真一郎、木村晋也 | 血漿を用いた afatinib 再投与効果予測因子の検討 | 第75回日本呼吸器学会九州支部秋季学術講演会 |
| Hiroaki Kitamura, Yasushi Kubota, Kazuharu Kamachi, Atsujiro Nishioka, Kyosuke Yamaguchi, Masako Yokoo, Takero Shindo, Toshihiko Ando, Kensuke Kojima, Eizaburo Sueoka, Shinya Kimura | Successful auto-HSCT for CD138- plasmacytoma with deletion 17p followed by bortezomib maintenance. | 第77回日本血液学会学術集会 |
| Nishioka A, Kubota Y, Yamaguchi K, Kamachi K, Kitamura H, Yokoo M, Shindo T, Ando T, Kojima K, Sueoka E, Kimura S | Clinical features and treatment outcomes of acute erythroid leukemia in the last decade | 第77回日本血液学会学術集会 |
| *下川敏文, 布村聡, 藤澤大輔, 羅智靖 | Analysis of the GABP interaction region in the C/EBPα C-terminal in granulopoiesis | 第77回日本血液学会学術大会 |
| 森田茂樹 | 佐賀大学における処置・手術の休日・時間外・深夜加算と外科医のインセンティブ | 第77回日本臨床外科学会総会 |
| 土井大人、田島大輔、松尾宗明 | 幼児期より筋無力様症状を呈する 22q11.2 duplication syndrome の一例 | 第78回日本小児神経学会九州地方会 |
| Shiraki A, Kotooka N, Oyama JI, Node K. | Pentraxin3 regulates activity of macrophages. | 第79回日本循環器学会 |
| 錦戸利幸、尾山純一、琴岡憲彦、挽地裕、野出孝一 | High-dose statin therapy by rosuvastatin reduced small-dense LDL and MDA-LDL: The high-dose Statin therapy with Rosuvastatin for lipid-lowering (SARD) trial | 第79回日本循環器学会学術集会 |
| Noguchi R, Furukawa K, Morita S. | Development of Simple Strategy to Fabricate Scaffold-free Three-dimensional Vascular Tissue-like Structures | 第79回日本循環器学会学術総会 |
| Yunoki J, Kamohara K, Hikichi Y, Shimomura M, Sakamoto Y, Tanaka A, Morokuma H, Furukawa K, Node K, Morita S. | Usefulness of DynaCT Imaging during TAVI | 第79回日本循環器学会学術総会 |
| 野口満 | 小児排尿障害の治療 | 第7回LUTS研究会 |
| 浦上宗治 | カルバベネムの stewardship program のアウトカム | 第7回九州山口感染制御専門・認定薬剤師連絡会議 |
| 小荒田秀一 | リウマチ・膠原病診療におけるバイオ時代の感染症について | 第7回佐賀県病院薬剤師会感染症研修会 |
| *原博満、飯笹英一、清原秀泰、中馬康志、矢野郁也、植松崇之、久保田未央、梅村正幸、山崎晶、松崎吾朗、吉田裕樹 | 脂質認識型 ITAM 受容体による結核菌の認識と自然免疫応答 | 第80回日本インターフェロン・サイトカイン学会大会シンポジウム「感染症」基調講演 |
| 三宅靖延、山崎晶、吉田裕樹 | 結核菌認識受容体 Mincle の安定化を担う分子 MCL | 第80回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会 |
| 小笠原誠司、檀上 敦、轟岡祥子、井上将成、下平大治、山下佳雄、後藤昌昭 | 保存の治療を行った後、長期経過観察できた下顎エナメル上皮腫の2例 | 第83回(公社)日本口腔外科学会九州支部学術集会 |
| 見市文香、宮本智文、高尾省子、Jeelani Ghulam、野崎知義、原博満、吉田裕樹 | Entamoeba におけるシスト形成の制御機構の解明 | 第84回日本寄生虫学会大会 |
| *木村大輔、都田真奈、木村一美、本間季里、吉田裕樹、由井克之 | マラリア原虫特異的 CD4+T 細胞が産生する IL-27 は他の CD4+T 細胞の防御機能を抑制する | 第84回日本寄生虫学会大会 |
| 石川慎一郎 | あたらしい緑内障点眼治療と眼圧評価の考察～緑内障治療のオーダーメイド化を目指して～ | 第85回九州眼科学会 |
| 石川慎一郎、江内田寛 | 当院におけるリバズビル点眼薬の短期使用経験 | 第85回九州眼科学会 |
| 市場正良、溝内重和、宮崎博喜、松本明子、近藤敏弘、上野大介 | 学校教室内の空気環境とその対策(4) | 第85回日本衛生学会 |
| 松本明子、小中原猛雄、藤田真由美、市場正良 | 長期飲酒した Aldh2 遺伝子欠損マウスに生じる皮膚色素沈着 | 第85回日本衛生学会 |
| 田中恵太郎 | 地域における成人期の健康問題(肝臓)とその取り組み | 第85回日本衛生学会学術総会(シンポジウム) |
| 濱田洋平、浦上宗治、於保恵、草場耕二、青木 洋介 | Lemierre 症候群の亜型と考えられた頸頭部感染症の2例 | 第85回日本感染症学会西日本地方学術集会・第58回日本感染症学会中日本地方学術集会・第63回日本化学療法学会西日本支部総会 |
| ○井手真亜子、濱田洋平、浦上宗治、於保恵、草場耕二、青木洋介 | インフルエンザ罹患後に S.pyogenes による肺炎・胸膜炎を併発した1例 | 第85回日本感染症学会西日本地方学術集会・第58回日本感染症学会中日本地方学術集会・第63回日本化学療法学会西日本支部総会 |
| ○草場耕二、於保恵、浦上宗治、濱田洋平、青木洋介 | 血液培養より Leptotrichia trevisanii および Streptococcus oralis が検出されたびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫の一例 | 第85回日本感染症学会西日本地方学術集会・第58回日本感染症学会中日本地方学術集会・第63回日本化学療法学会西日本支部総会 |

| | | |
|--|---|---|
| 浦上宗治、濱田洋平、於保恵、草場耕二、青木洋介 | 佐賀大学医学部附属病院での Antimicrobial stewardship の取り組み(第2報)ー薬剤師による TAZ/PIPC の postprescription reviewー | 第85回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第58回日本感染症学会中日本地方会学術集会・第63回日本化学療法学会西日本支部総会 |
| 浦上宗治、濱田洋平、於保恵、草場耕二、青木洋介 | 本邦の血液透析におけるダブトマイシンの体内動態・PK-PD 解析に関する検討:慢性維持透析と持続的血液ろ過透析 2 症例の報告 | 第85回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第58回日本感染症学会中日本地方会学術集会・第63回日本化学療法学会西日本支部総会 |
| Kito Y, Mitsui R | Spontaneous electrical activity recorded from myenteric interstitial cells of Cajal in the rat small intestine. | 第88回日本薬理学会年会 |
| 三宅靖延、山崎晶 | 結核菌コードファクター受容体による宿主免疫応答 | 第88回日本細菌学会総会 |
| *原博満、飯笹英一、久保田未央、植松崇之、清原秀泰、山崎晶、松崎吾朗、吉田裕樹 | 自然免疫による結核菌ミコール酸脂質の認識 | 第88回日本細菌学会総会ワークショップ「PAMPs 受容体研究の最前線」 |
| 市場正良、山本 忍、山野優子、原 邦夫、宮崎博喜、松本明子、花岡知之、潘 国偉、中館俊夫 | 多環芳香族炭化水素類のバイオマーカーに関する研究:尿中未変化体濃度 2 | 第88回日本産業衛生学会 |
| 出原賢治、有馬和彦、太田昭一郎、小川雅弘 | マトリセルラータンパク質ペリオステンを標的としたアトピー性皮膚炎の治療戦略 | 第88回日本薬理学会年会 |
| 芥川剛至、山内康平、藤本一真 | 抗血栓薬ガイドライン導入前後における胃 ESD の検討 | 第89回日本消化器内視鏡学会総会 |
| 川久保洋晴、吉岡智美、芥川剛至、岩切龍一、山内康平、鶴岡ななえ、坂田資尚 | 当院における大腸 ESD 後穿孔に関するリスク因子の検討 | 第89回日本消化器内視鏡学会総会 |
| 山内康平、下田 良、芥川剛至、内田匡彦、坂田資尚、緒方伸一、坂田祐之、岩切龍一、藤本一真 | 早期胃癌に対する ESD 非治療切除例の患者背景、長期予後について | 第89回日本消化器内視鏡学会総会 |
| 浦上宗治 | アウトブレイク阻止の一環としての Antimicrobial Stewardship | 第8回福岡・佐賀感染制御研究会 |
| 武富敦 山田豪 廣渡拓也 竹下道範 | 分子内環化を用いたフオトクロミックチオフェンファン-1-エンの合成の検討 | 第8回有機π電子系シンポジウム |
| 藤田亜美、徐 志昊、蔣 昌宇、朱 蘭、熊本栄一 | 成熟ラット脊髄膠質ニューロンにおけるグルタミン酸作動性の自発性興奮性シナプス伝達に及ぼすチモールの作用 | 第92回日本生理学学会大会 |
| 蔣 昌宇、藤田亜美、徐 年香、朱 蘭、熊本栄一 | 1,8-と 1,4-シネオールは互いに異なった仕方でシナプス前性に成熟ラット脊髄後角浅層ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達を促進する。 | 第92回日本生理学学会大会 |
| 八坂敏一、Boyle KA, Shehab SA, Scott DT, Riddell JS, 藤田亜美、熊本栄一、Callister RJ, Graham BA, Hughes DI | げっ歯類バルブアルブミン発現脊髄後角II層介在ニューロンは有髄低閾値機械受容器終末への抑制性シナプス前入力オリジンである。 | 第92回日本生理学学会大会 |
| 宮崎美菜、鶴岡ななえ、川久保洋晴、中山敦史、坂田資尚、下田 良、坂田祐之、岩切龍一、藤本一真 | 貧血で発見された悪性黒色腫小腸転移の1例 | 第99回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 |
| 富永直之、糸井隆夫、田中雄一郎、澁井太郎、川副広明、福澤誠克、後藤山卓志、水田敏彦、森安史典、藤本一真 | 胆膵内視鏡治療におけるトラブルシューティング:小腸内視鏡および EUS を併用した術後胃の総胆管結石の治療 | 第99回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 |
| 小山宏義、竹下直美 | 草刈鎌による損傷の一割検例 | 第99回日本法医学会学術全国集 |
| ○小山宏義、竹下直美 | 草刈鎌による損傷の一割検例 | 第99回日本法医学会学術全国集 |
| 平川奈緒美 | 脳神経ブロックを安全に行うために | 第9回 東北疼痛懇話会 |
| 井上 聡 | 当番世話人 | 第9回 SSTT(外傷外科手術治療戦略)座学コース 佐賀大学 |
| 野口 亮、古川浩二郎、木塚貴浩、迎 洋輔、野上英次郎、伊藤 学、麓 英征、柚木純二、森田茂樹、長友大輔、山崎あゆむ、浅香真知子、橋本愛子、琴岡憲彦、野出孝一 | 当院における HeartMate II の使用経験 | 第9回九州心不全の外科治療研究会 |
| 高瀬 幸徳 | カテーテルで治す脳卒中中。 | 第9回佐賀県脳卒中市民公開講座 |
| 河島 雅到 | 切って治す脳卒中中。 | 第9回佐賀県脳卒中市民公開講座 |
| 東武昇平 | Case study. | 第9回佐賀排尿管理セミナー |
| 野口満 | 排尿ケアに必要な基礎知識 | 第9回佐賀排尿管理セミナー |
| 合島怜央奈、木附智子、吉本怜子、大崎康吉、張 旌旗、檀上 敦、山下佳雄、村田 祐造、曹 愛琳、城戸瑞穂 | 口腔創治療過程における上皮間葉転換関連分子の発現変化 | 第9回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会 |
| *木附智子、合島怜央奈、畠山純子、大崎康吉、吉本怜子、張旌旗、城戸瑞穂 | 歯肉付着上皮バリアへの TRPV4 チャネルの関与 | 第9回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会 |
| *吉本怜子、合島怜央奈、木附智子、吉住潤子、木附智子、吉住潤子、大山順子、檀上 敦、山下佳雄、城戸瑞穂 | シェーグレン症候群患者に認められた口唇粘膜上皮の変性と痛み感覚 | 第9回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会 |
| 多田 芳史 | 関節リウマチの診断と治療について | 第9回地域連携薬剤師セミナー |
| 多田 芳史 | 高安動脈炎における生物学的製剤治療 | 第9回福岡膠原病研究会 |
| 伊藤 学、迎 洋輔、松林久美香、五條理志、野出孝一、中山功一、森田茂樹 | バイオ 3D プリントを用いた血管組織構築 | 第十回高血圧と冠動脈疾患研究会 |
| 野口満 | メタボリック症候群とLUTS. | 中信ザルティア一周年記念講演会 |
| 野口満 | 泌尿器科医から一般医家への提言 | 超高齢社会での Better Life を考える会 |
| 平川奈緒美 | がん疼痛治療に対する鎮痛補助薬の使い方 | 鳥取西部 Pain Conference |
| 成田貴行・大西勇・大石祐司・鶴田昌之 | 拘束空間内でゾル-ゲル転移時に形成され固定されるパターン | 田中豊一記念シンポジウム 2014 |
| 趙文文、百崎恭子、山本伸司、野口英行 | 層状 Na _x [Li _y Ni _z Mn _{1-y-z}]O ₂ の合成と電気化学特性 | 電気化学学会第82回大会 |
| 多田 芳史 | 生物学的製剤治療に関するトピックス | 都城リウマチ学術講演会 |

| | | |
|---|--|--|
| 平川奈緒美 | ペインクリニックにおける慢性痛の治療 | 東海・北陸ペインクリニック学会 |
| 平川奈緒美 | ペインクリニックにおける慢性痛の治療 | 東海・北陸ペインクリニック学会 第 22 回北陸地方会 |
| 小荒田秀一 | 膠原病疾患の診断等について | 難病医療費助成制度における難病指定医研修会 |
| 多田 芳史 | 新しい難病医療費助成制度における膠原病疾患の診断および申請について | 難病医療費助成制度における難病指定医研修会 |
| 江里口誠 | 神経疾患の診断等について | 難病医療費助成制度における難病指定医研修会 |
| 江里口誠 | 認知症と糖尿病(糖尿病治療の近未来) | 日医生涯教育協力講座 |
| 江里口誠 | ALS の最新治療と治療研究の最新情報について | 日本 ALS 協会佐賀県支部通常総会 |
| 進藤岳郎、楠木靖史、嬉野博志、宮原正晴、渡邊達郎、末岡榮三朗、森脇祐司、吉田真一郎、一戸辰夫、Luis J Espinoza、高見昭良、田中秀則、佐治博夫、木村晋也 | 成人 T 細胞白血病に対するモガムリズマブの効果は活性型 NK 細胞受容体とリガンドのマッチングによって予測できる可能性がある | 日本 HTLV-1 学会学術集会(口演) |
| 青木茂久 | 物理的微小環境と細胞間相互作用を再現する新規病態解析モデルの開発 | 日本ヒト細胞学会 |
| 濱田 献、四宮宗一郎、平川奈緒美 | デュロキセチンの神経障害性疼痛に対する効果の評価 | 日本ペインクリニック学会 第 49 回大会 |
| 上村裕平、濱田 献、平川奈緒美 | 高用量アセトアミノフェン使用症例の肝機能についての検討 | 日本ペインクリニック学会 第 49 回大会 |
| 富田由紀子、平川奈緒美 | 皮膚科へのアンケートとペインクリニックの治療状況からみた帯状疱疹関連疼痛に対する薬物療法の変遷 | 日本ペインクリニック学会 第 49 回大会 |
| 古川尚子、前山恵士郎、大枝 敏、岩根紳治、平井賢治、尾崎岩太、山下秀一、江口 有一郎 | 県内の医療機関で B 型肝炎ウイルス検査を無料で受けた陽性者のうち 76%が精密検査を受け、3.6%が抗ウイルス治療を受けている | 日本医療マネジメント学会第 13 回佐賀支部学術集会 |
| 加賀 秋人 1、清水 武彦 1、松本 敏美 1、大柳 一 2、渡辺 啓史 1.3、金森 裕之 1、並木 信和 2、下村 道彦 2、上西 博英 1、片寄 裕一 1、石本 政男 1(1. 農業生物資源研究所、2. 三菱スペース・ソフトウェア、3. 佐賀大学) | 国産ダイズ品種における 10KSNP アレイの開発 | 日本育種学会 第 126 回講演会 |
| 牟田健祐、北村二雄、小山田重蔵 | メタルフリーでヨードシリアレンにより促進されるカルボニル化合物のフッ素化反応 | 日本化学会第 95 春季年会 |
| 勝部翔太郎、天野賢史、佐藤高彰、勝本之晶、梅木辰也、高橋利幸、嘉治寿彦、平本昌宏、宮元展義、西山 桂 | 低分子ゲル化剤の自己組織化による高次オルガノゲル構造形成と光学物性 | 日本化学会第 95 春季年会 |
| 寺東宏明、工藤健一、伊藤博徳、猪原哲 | 水中放電プラズマによって生じる DNA 損傷とその変異原性 | 日本環境変異原学会 第 44 回大会 |
| ○島津 倫太郎、青木 茂久、倉富 勇一郎 | 胃酸逆流による下気道の組織学的変化の検討 | 日本気管食道科学会 |
| Itamura H, Shindo T, Tawara I, Kariya R, Okada S, Kimura S | The MEK inhibitor Trametinib selectively suppresses GVHD, while sparing GVT effects. | 日本血液学会学術集会(口演) |
| 進藤岳郎、楠木靖史、鈴木隆二、北浦一孝、西川博嘉、渡辺信和、渡邊達郎、末岡榮三朗、嬉野博志、宮原正晴、森脇祐司、吉田真一郎、一戸辰夫、Luis J Espinoza、高見昭良、田中秀則、佐治博夫、坂口志文、木村晋也 | ATL 患者におけるモガムリズマブの有効性と制御性 T 細胞、TCR レパトア、HLA および NK 細胞受容体多型の解析 | 日本血液疾患免疫療法研究会学術集会(口演) |
| 小宮一利 | 非小細胞肺癌治療における nab-paclitaxel の可能性 | 日本呼吸器学会九州支部 秋季学術講演会 |
| 徳田 誠・甲斐進也・神代 瞬・塩見宜久・松永紀代子・行徳直久 | 冬に見られるクロキの奇形花はヒゲトガリキジラムの吸汁により咲く虫えいである | 日本昆虫学会第 74 回大会 |
| 金 旺奎・南 常雄・徳田 誠・松尾和典・湯川淳一 | 日本と韓国におけるセリタマバエ Kiefferia pericarpicola (ハエ目:タマバエ科)の発見と寄主範囲および生活史 | 日本昆虫学会第 74 回大会 |
| 青木茂久 竹澤俊明 押方 歩 平山 博 成澤 寛 戸田修二 | 絆創膏型人工皮膚 VitriBand の開発 | 日本再生医療学会 |
| 市場正良、久米修二、竹内靖人、海福雄一郎、山下浩平、三原充久、松本明子、宮崎博喜、近藤敏弘 | 有機溶剤等曝露量のリアルタイムモニタリングとウエラフルカメラの併用によるリスクアセスメント法 | 日本産業衛生学会九州地方会 |
| 相島 慎一 | 唾液腺腫瘍の病理と最近の遺伝子病理診断 | 日本耳鼻咽喉科学会 第 109 回佐賀県地方会学術講演会 |
| 大塚泰史、田代克弥、徳永美緒子、陣内久美子、岡政史、佐藤忠司、松尾宗明 | LAMP 法を用いた Yersinia pseudotuberculosis 感染症の解析 | 日本小児腎臓病学会学術集会第 50 回記念大会 |
| 大塚泰史、岡 政史、陣内久美子、佐藤忠司、松尾宗明、進藤岳郎、木村晋也、川崎誠二、末岡榮三朗 | Thromboticmicroangiopathy における抗 CFH 抗体と原因遺伝子の解析 | 日本小児腎臓病学会学術集会第 50 回記念大会 |
| 野口亜紀子、久我公美子、田代直規、島川勇介、平川奈緒美、坂口嘉郎 | カフなし気管チューブを用いた小児腹腔鏡手術におけるチューブリークの検討 | 日本小児麻酔学会 第 21 回大会 |
| 山田クリス孝介、井澤修平、中村菜々子 | ストレスの過小評価の信念と疾病既往歴および睡眠との関連 | 日本心理学会第 79 回大会(一般研究発表 ポスター 18 スポーツ・健康) |
| 青木早織、東元健、樋高秀憲、渡邊英孝、大塚泰史、三嶋博之、吉浦孝一郎、八木ひとみ、西岡憲一、城圭一郎、大場隆、片淵秀隆、副島英伸 | 間葉性異形成胎盤のゲノム・エピゲノム解析 | 日本人類遺伝学会第 60 回大会 |
| 大塚泰史、岡岳彦、川原弘三、八木ひとみ、東元健、副島英伸 | Beckwith-Wiedemann 症候群の原因となる片親性父性ダイソミーの切断点領域の解析 | 日本人類遺伝学会第 60 回大会 |
| 樋高秀憲、東元健、青木早織、渡邊英孝、八木ひとみ、西岡憲一、城圭一郎、前田寿幸、古賀靖大、岩切龍一、能城浩和、藤本一真、副島英伸 | 大腸癌におけるインプリント DMR の包括的メチル化解析 | 日本人類遺伝学会第 60 回大会 |
| 進藤岳郎、楠木靖史、嬉野博志、宮原正晴、渡邊達郎、末岡榮三朗、森脇祐司、吉田真一郎、一戸辰夫、Luis J Espinoza、高見昭良、田中秀則、佐治博夫、木 | 成人 T 細胞白血病に対するモガムリズマブの効果は活性型 NK 細胞受容体とリガンドのマッチングによって予測できる可能性がある | 日本組織適合性学会大会(口演) |

| | | |
|--|--|------------------------------------|
| 村晋也 | | |
| *長門 直, 瀧 健治, 青木 茂久 | 病理解剖で心肺蘇生による外傷性肝損傷を認めた一例 | 日本蘇生学会 |
| 青木茂久, 山本美保子, 戸田修二 | 異種臓器に由来する間葉系細胞を用いた組織再生 | 日本創傷治癒学会 |
| 鶴田裕美, 柘植圭介, 吉村臣史, 澤田和敬, 永尾晃治, 柳田兎良 | レンコンの節・部位ごとにおける栄養成分および抗酸化性評価 | 日本調理科学会平成 26 年度大会 |
| 草野脩平, 高原光平, 一番ヶ瀬優佳, 藏田彩, 柿木寛明, 有働和馬, 南里麻己, 東武昇平, 野口満, 魚住二郎 | 佐賀大学医学部泌尿器科 2014 年の臨床統計. | 日本泌尿器科学会第 80 回佐賀地方会. |
| 東武昇平, 草野脩平, 高原光平, 一番ヶ瀬優佳, 藏田彩, 柿木寛明, 有働和馬, 南里麻己, 野口満, 魚住二郎 | 当院におけるロボット支援下前立腺全摘術後症例の trifecta の検討. | 日本泌尿器科学会第 80 回佐賀地方会. |
| 草野脩平, 藏田彩, 東武昇平, 野口満, 内橋和義 | 精巣腫瘍との鑑別を要した Adenomatoid tumor の 1 例. | 日本泌尿器科学会福岡地方会第 296 回例会. |
| 井上卓也, 岩永知未, 溝口協子, 成澤 寛 | 前胸部皮下に生じた気管支原性嚢胞の 1 例 | 日本皮膚科学会第 143 回宮崎地方会 |
| ○桑代麻希, 井上卓也, 木村裕美, 高原佳奈子, 三砂範幸, 成澤 寛 | 向精神薬大量内服による横紋筋融解症を伴った Coma blisete の 1 例 | 日本皮膚科学会第 372 回福岡地方会 |
| 朝長絵理子, 高瀬佳奈子, 井上卓也, 永瀬浩太郎, 成澤 寛, 石井文人, 橋本隆 | ステロイドとコルヒチンの併用で治療した後天性表皮水疱症の 1 例 | 日本皮膚科学会第 373 回福岡地方会 |
| 小川始主夏, 溝口協子, 永瀬浩太郎, 井上卓也, 成澤 寛 | C 型肝炎治療薬ダクラタビルおよびアスナプレビル投与後に生じた皮膚障害の 1 例 | 日本皮膚科学会第 375 回福岡地方会 |
| 増田 正憲, 山崎 真希子, 高瀬 ゆかり, 甲斐 敬太, 相島 慎一 | 胆嚢癌における TTF-1, Napsin-A の免疫組織学的発現の検討 | 日本病理学会 |
| * 宮崎哲之, 相島慎一, 他 | 通常型肺癌における SMAD4 発現と背景の PanIN grade は相関する | 日本病理学会 |
| 青木茂久, 竹澤俊明, 内橋和芳, 山本美保子, 戸田修二 | 脂肪組織は間葉系細胞を供給し腹膜線維化に寄与する | 日本病理学会 |
| 青木茂久 | 物理刺激と細胞間相互作用を基盤とする新規病態解析モデル | 日本病理学会秋期特別総会 |
| 青木茂久, 牧野順一, 野口満, 戸田修二 | 腹膜を構成する細胞とその恒常性の破綻: 腹膜モデルが示す細胞間相互作用と腹膜線維化 | 日本腹膜透析学会 |
| 石渡洋一, 高橋栄光, 山下翔也, 森長千尋, 赤司健太, 手塚泰久, 石井啓文, 稲垣祐次, 河江達也, 木田徹也, 南任真史, 石橋幸治 | ノドープおよび V ドープ TiO ₂ ナノ粒子の磁性と電子状態 | 日本物理学会 2014 年秋季大会 |
| 枝川亜希子, 木村明生, 田中榮次, 足立伸一, 宮本比呂志 | アメーバ共培養法を用いた浴槽水中に存在するレジオネラ属菌汚染実態の解明 | 日本防菌防霉学会第 42 回年次大会 |
| ○笹栗智子, 八坂敏一, 石川亜佐子, 村田祐造, 吉田裕樹 | インターロイキン(IL)-27 ノックアウトマウスの痛み行動解析 | 日本麻酔科学会 第 62 回学術集会 |
| 笹栗智子, 八坂敏一, 石川亜佐子, 村田祐造, 吉田裕樹 | インターロイキン(IL)-27 ノックアウトマウスの痛み行動解析. | 日本麻酔科学会 第 62 回学術集会 |
| 谷川義則, 松本浩一, 濱田さつき, 高松千洋, 坂口嘉郎 | 気管・気管支狭窄に対する Dumon ステント留置術に対する麻酔管理の検討. | 日本麻酔科学会 第 62 回学術集会 |
| 高松千洋, 谷川義則, 濱田さつき, 坂口嘉郎 | 手術部での各種所要時間を指標とした麻酔科医の業務量の定量化 ~業務補助人員の雇用を通じて~. | 日本麻酔科学会 第 62 回学術集会 |
| 山田麻里江, 山田尚友, 中尾真実, 東谷孝徳, 久保田寧, 木村晋也, 末岡榮三朗 | 緊急度 1 対応後に 抗 D+抗 G+抗 C が判明した一例 | 日本輸血・細胞治療学会九州支部会 第 62 回総会・第 83 回例会 |
| 山田 尚友, 山田 麻里江, 中尾 真実, 久保田 寧, 木村 晋也, 東谷 孝徳, 末岡 榮三朗 | 自治体の支援による造血幹細胞保存センターの設置と造血幹細胞移植医療機関との連携 | 日本輸血細胞治療学会 |
| 山田 麻里江, 山田 尚友, 中尾 真実, 東谷 孝徳, 久保田 寧, 木村 晋也, 末岡 榮三朗 | 当院におけるクリオプレシベートの使用状況と問題点 | 日本輸血細胞治療学会 |
| 藤井 進野中 小百合, 江口 有一郎, 末岡 榮三朗 | JLAC10 データの 2 次利用事例: MID-NET 事業や震災時医療資源予測事業へのインパクトと今後の課題 | 日本臨床検査医学会学術集会 |
| 西 順也, 山本 徒子, 栗原 麻希子, 橋口 真理子, 中尾 佳史, 横山 正俊, 藤戸 博 | 子宮頸癌に対するシスプラチンを用いた化学療法後にレストレスレッグス症候群を呈した 1 症例 | 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2015 |
| 濱田さつき, 谷川義則, 濱田 献, 西原仁子, 上村聡子, 坂口嘉郎 | 電気メスにより生じた開心術中の気管損傷を抜管後に発見した一例 | 日本臨床麻酔学会 第 35 回大会 |
| 四宮宗一郎, 濱田 献, 平川奈緒美 | 帯状疱疹の合併が診断を困難にした肺癌骨転移の 1 症例 | 日本臨床麻酔学会 第 35 回大会 |
| 江里口誠 | 佐賀大学における脳卒中診療の現状 | 武田薬品社内講演 |
| 徳永 翔太・成田 貴行・大石 祐司 | バイオポリマーをマトリックスとする JANUS 型粒子の調製 | 平成 26 年度 物理化学インターカレッジセミナー |
| 本田 貴浩・高倉 洋一・成田 貴行・大石 祐司 | 基質応答性を持つ自律振動カプセルの調製と制御 | 平成 26 年度 物理化学インターカレッジセミナー |
| 江里口誠 | コミュニケーション支援が必要な神経難病の基礎知識 | 平成 26 年度佐賀県難病医療従事者研修会 |
| 伊藤 富生 | 佐賀大学医学部 RI 実験施設縮小改修および関連する変更について | 平成 26 年度佐賀大学技術研究会 |
| 末岡榮三朗, 柳原克紀 | 新規疾患別医療情報管理プログラム Clinilan View の臨床応用 | 平成 26 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議 |
| 横山正俊 | 子宮頸がんの現状と子宮頸がん予防 HPV ワクチン. | 平成 26 年度第 2 回佐賀医学会・日医生涯教育講座. |
| 野口満 | 小児の排尿ケアと知っておきたい小児泌尿器科疾患. | 平成 26 年度地域保健福祉従事者研修会. |
| 前田寿幸, 城崎幸介, 八木ひとみ, 東元健, 松尾宗明, 副島英伸 | Beckwith-Wiedemann 症候群エピソード変異症例におけるインプリント DMR の包括的メチル化. | 平成 26 年度博士課程優秀論文賞公開プレゼンテーション |

| | | |
|----------------------------------|---|--|
| 江里口誠 | 神経難病の基礎知識(難病医療法の概要について) | 平成 26 年度訪問従業者研修会 |
| 浦上宗治 | HIV/AIDS における服薬支援 | 平成 27 年 HIV 検査相談支援研修会 |
| 森加奈恵 | 共同利用施設における利用登録・機器予約システム更新の報告 | 平成 27 年度 山形大学 機器・分析技術研究会 |
| 寺東宏明 | 生物界に普遍的な機構の一つである DNA 修復について. | 平成 27 年度 日本動物学会・植物学会・生態学会佐賀県支部合同シンポジウム |
| 野口満 | 知っておきたい小児の排尿ケアと小児泌尿器科疾患. | 平成 27 年度 袴藤地区母子保健従事者研修会. |
| 江里口誠 | CPSS と KPSS | 平成 27 年度佐賀脳卒中病院前救護研修会 |
| 熊本栄一、藤田亜美、王 翀、余 婷、平尾 峻、鈴木里佳 | 痛み伝達修飾に働く脊髄膠様質の TRP チャネルの活性化 - 植物由来物質の構造異性体間での作用の差. | 平成 27 年度生理学研究所研究会「痛みの理解を目指した先端的アプローチ」 |
| 八坂敏一、Hughes DI、藤田亜美、熊本栄一、Todd AJ | 脊髄後角 II 層 vertical cell への抑制性入力に関する研究. | 平成 27 年度生理学研究所研究会「痛みの理解を目指した先端的アプローチ」 |
| 柚木純二 | 佐賀県に於ける TAVI の近況報告 | 弁膜症治療懇話会 |
| 森田茂樹 | 心不全の外科治療の現況 | 弁膜症治療懇話会 |
| 多田 芳史 | 関節リウマチにおけるバイオ導入時の注意点 | 明日の関節リウマチ治療を考える会 |
| 多田 芳史 | 膠原病と関節リウマチにおける治療の進歩 | 薬剤師継続学習通信教育講座スクーリング講座 |
| 山下力也 北村崇 和田雄太 竹下道範 | フォトクロミックロタキサン化合物の開発 | 有機π電子系シンポジウム |
| 多田 芳史 | 新しい難病認定の制度について | 膠原病友の会医療講演会 |
| 八坂亮祐・深川裕史・池末睦・早田裕子・大島一里 | ユーラシア大陸におけるカブモザイクウイルス拡散の起点 | |
| 村岡聡史・三苫真一郎・八坂亮祐・大島一里 | 九州地方における<i>Scallion mosaic virus</i>の遺伝的多様性 | |
| 松本 康佑・八坂 亮祐・瀬戸山 保・河野 伸二・大島一里 | 日本における Pepper vein mottle virus の初発生 | |
| 三苫 真一郎・本田 裕貴・大島 一里 | 日本産スイセン黄色条斑ウイルスの全塩基配列 | |

外部資金

| 代表者氏名 | 補助金(研究助成)等の名称 | 種目 | 研究課題等 | 交付金額(千円) |
|-------|----------------------|---------------------|---|----------|
| 副島英伸 | 科学研究費助成事業 | 挑戦的萌芽研究 | ヒストンメチル化異常症の標的遺伝子探索と病態解明に基づく創薬基盤の確立 | 1,300 |
| 副島英伸 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C)(分担) | 間葉性異形成胎盤の診断・管理指針作成に関する研究 | 700 |
| 副島英伸 | AMED | 難治性疾患実用化研究事業(分担) | エピジェネティック希少疾患の治療に向けた研究および原因未解明な希少疾患に対する解析技術展開研究 | 8,000 |
| 副島英伸 | 厚生労働科学研究費補助金 | 難治性疾患等政策研究事業(分担) | 国際標準に立脚した奇形症候群領域の診療指針に関する学際的・網羅的検討 | 1,000 |
| 副島英伸 | 厚生労働科学研究費補助金 | 成育医療研究開発費(分担) | 原因不明先天異常・産科異常の総合診断体系の構築 | 2,540 |
| 副島英伸 | 群馬大学生体調節研究所 | 内分泌・代謝学共同研究拠点共同研究 | エピゲノム・ゲノム解析による間葉性異形成胎盤(PMD)の原因遺伝子同定 | 300 |
| 副島英伸 | 佐賀大学医学部研究者育成大型プロジェクト | | 革新的疾患モデル作製技術の確立と学内支援システムの整備 | 4,000 |
| 東元 健 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | Sotos 症候群における刷り込み遺伝子制御領域のメチル化異常発生メカニズムの解明 | 1,950 |
| 出原 賢治 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(B)(代表) | アレルギー疾患の慢性化機序の解明とそれに対する治療戦略の確立 | 8,970 |
| 出原 賢治 | 科学研究費助成事業 | 挑戦的萌芽研究(代表) | 次世代ペリオスチン測定キットの開発 | 910 |
| 出原 賢治 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(A)(分担) | アトピー性皮膚炎炎症機序の解明 | 520 |
| 出原 賢治 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C)(分担) | ペリオスチンのシグナル伝達機構の解明によるアレルギー性炎症に対する治療基盤の構築 | 130 |
| 出原 賢治 | 日本学術振興会学術システム研究センター | 学術研究動向等に関する調査研究(代表) | 膠原病・アレルギー内科学分野に関する学術研究動向 - 膠原病・アレルギー内科学における病態解明と臨床応用に関する新たな展開 - | 1,300 |

| | | | | |
|------------|------------------------------------|------------------------------|--|------------|
| 出原 賢治 | 佐賀大学医学部研究者育成大型プロジェクト | | ペリオスチンを標的とした線維化形成機序の解明と臨床応用 | 4000 |
| 有馬 和彦 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C)(代表) | アレルギー性炎症における線維芽細胞活性化の時空間的制御機構の解明 | 1,690 |
| 有馬 和彦 | 平成 27 年度佐賀大学中期計画実行経費 | 医学部研究者育成支援事業【基礎】 | 肥満細胞の異常活性化を呈する新規アトピー性皮膚炎モデルマウスの病態解明 | 800 |
| 小川 雅弘 | 平成 28 年度佐賀大学中期計画実行経費 | 医学部研究者育成支援事業【基礎】 | ペルオキシダーゼを標的とした新規分子機構による気管支喘息治療薬の開発 | 800 |
| 布村 聡 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C)(代表) | FcεRI 会合の競合的阻害によるマスト細胞の活性化制御 | 1,170(321) |
| 南里 康弘 | 科学研究費助成事業 | 研究活動スタート支援(代表) | ペリオスチンのシグナル伝達機構の解明 | 1,560 |
| 池田義孝 | 平成 27 年度科学研究費助成事業の応募申請に係るインセンティブ付与 | 奨励研究費 | N-アセチルグルコサミン転移酵素 III 制御の分子機構 | 500 |
| 吉田裕樹 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 原虫感染に対する CARD9 を介した新規自然免疫活性化経路の解析 | 1040 |
| 吉田裕樹 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(B)(分担) | 癌ペプチドを用いた口腔癌の早期診断法およびオーガーマイド免疫療法の開発 | 200 |
| 吉田裕樹 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(B)(分担) | 網膜下癥痕病巣形成メカニズム解明とその治療への応用 | 200 |
| 三宅靖延 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 新規結核菌認識受容体 MCL による獲得免疫活性化機構の解明 | 1,560 |
| 三宅靖延 | (公財)内藤記念科学振興財団 | 第47回内藤記念科学奨励金・研究助成 | 結核菌の認識・排除を担うC型レクチン受容体間の相互作用による安定化機構の解明 | 3,000 |
| 三宅靖延 | 平成 27 年度佐賀大学中期計画実行経費 | 医学部研究者育成支援事業【基礎】 | 結核菌の認識・排除を担うC型レクチン受容体間の相互作用による安定化機構の解明 | 700 |
| 見市(三田村) 文香 | 科学研究費助成事業 | 新学術領域研究(領域提案型)「マトリョーシカ型進化原理」 | 赤痢アメーバマイトソームの硫酸活性化経路の獲得と寄生適応・病原性との関連性の解明 | 2210 |
| 見市(三田村) 文香 | 長崎大学熱帯医学研究所 | 平成 27 年度長崎大学熱帯医学研究拠点一般共同研究 | マウス感染モデルを用いた赤痢アメーバ新規病原因子の探索 | 400 |
| 見市 文香 | 公益財団法人住友財団 | 2015 年度基礎科学研究助成 | 赤痢アメーバ“シスト形成”の制御機構の解明 | 1500 |
| 西田裕一郎 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | リポ蛋白リパーゼトランスジェニックウサギを用いた抗肥満・抗糖尿病のメタボミクス | 650 |
| 合島央央奈 | 科学研究費助成事業 | 研究活動スタート支援 | TRP チャンネルを標的とした口腔癌に対する新規診断・治療法の探索 | 1430 |
| 本田裕子 | 平成 27 年度佐賀大学経営基盤支援経費事業(奨励研究費) | | 毛髪のマクロフィブリルを構成するヒトヘアケラチンの機能解析 | 500 |
| 村田祐造 | 平成 27 年度佐賀大学研究シーズ | | オキシトシン、バソプレシンによる血糖制御関与の検討 | 1,200 |

| | | | | |
|-------|--------------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------|
| 八坂敏一 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究B(分担) | ダメージ関連分子パターン受容体の神経障害性痛における役割 | 200 |
| 熊本栄一 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C)(一般) | 脊髄後角における痛み伝達のオレキシンによる制御機構のパッチクランプ法による解析 | 3,250 |
| 藤田 亜美 | 平成 27 年度佐賀大学中期計画実行経費 | 医学部研究者育成支援事業【基礎】 | 成熟ラット脊髄膠様質における機能性成分クロロゲン酸の鎮痛作用機序の解明 | 550 |
| 八坂敏一 | 科学研究費助成事業 | 挑戦的萌芽研究 | 脊髄後角局所回路の光遺伝学的操作による痛み・痒み行動の制御 | 650 |
| 八坂敏一 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(B) | ダメージ関連分子パターン受容体の神経上が異性痛における役割 | 11,830 |
| 鬼頭 佳彦 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究C | 漢方薬に由来するイオンチャネル修飾成分の探索 | 1,560 |
| 相島 慎一 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 肝・胆道癌の発癌・進展における鉄代謝関連蛋白発現調節機構の病理学的解明 | 1,430 |
| 相島 慎一 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(S)(分担) | がん幹細胞化に関与する Sphere 形成メカニズムを標的とした革新的治療開発 | 1,300 |
| 戸田修二 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 胃癌細胞の生存・増殖・浸潤・脂肪滴沈着における脂肪組織の役割とその制御機構 | 1,690 |
| 戸田修二 | 佐賀大学学内研究プロジェクト | | 皮膚炎症の制御 | 1,800 |
| 戸田修二 | 佐賀大学学内プロジェクト | 分担 | 皮膚炎症の制御 | 1,500 |
| 戸田修二 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) (分担) | 肝細胞の生存・増殖・分化・脂肪毒性における脂肪組織の役割とその制御機構 | 300 |
| 青木茂久 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 悪性黒色腫細胞の生存・増殖・遊走・浸潤における脂肪組織の役割とその制御機構の解明 | 1,170 |
| 青木茂久 | JST 研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム(START) | 大学発新産業創出プログラム(START) | 糸状および角膜形状のアテロコラーゲンビトリゲルの治癒効果の検証 | 500 |
| 青木茂久 | 平成 27 年度 医療研究開発推進事業補助金 | 創造的次世代医療実現化を担う ARO の構築・新規開発シーズ(シーズ A) | 内視鏡的粘膜層剥離術後の食道狭窄を予防する治療デバイスの開発 | 4,000 |
| 青木茂久 | 平成 27 年度佐賀大学中期計画実行経費 | 医学部研究者育成支援事業【基礎】 | ブラモデル型ミニチュア臓器作製とその臨床応用 | 1,000 |
| 内橋和芳 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 骨髓肥満が骨芽細胞-骨細胞分化系列に与える影響とその制御機構の解明 | 1,690 |
| 内橋和芳 | 平成 27 年度佐賀大学中期計画実行経費 | 医学部研究者育成支援事業【基礎】 | 白血病幹細胞の生存・増殖・維持における骨髓脂肪組織の役割とその制御機構 | 650 |
| 宮本比呂志 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 細胞内のレジオネラを認識する宿主因子複合体・インフラマソームの分子生物学的解析 | 1040 (1,448,284) |
| 宮本比呂志 | 東京大学医学部附属病院 | 受託研究 | 細菌付着および感染抑制効果の評価(流体環境下における細菌付着抑制効果の検討) | 2,500 |
| 宮本比呂志 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) (分担) | アメーバ共培養法で検出したレジオネラの遺伝子型と棲息環境との関連性解析 | 50 |
| 宮本比呂志 | 評価反映特別経費(病院機能強化:宮本) | 評価反映特別経費(事業評価) | 佐賀県薬剤耐性菌サーベイランス事業 | 1,000 |

| | | | | |
|----------|----------------------|--|--|----------------|
| 久木田明子 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 膜トラフィック制御分子による破骨細胞分化と骨吸 | 2,080 |
| 久木田明子 | 科学研究費助成事業 | 挑戦的萌芽研究 (分担) | 病的に活性化された破骨細胞のみを標的とする新規骨破壊制御法 | 800 |
| 久木田明子 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) (分担) | 分泌型 miRNA を介した骨転移癌細胞-骨代謝細胞間コミュニケーション | 30 |
| 枝川亜希子 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | アメーバ共培養法で検出したレジオネラの遺伝子型と棲息環境との関連性解析 | 50 |
| 田中恵太郎 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(B) | 身体活動と末梢血 DNA メチル化、炎症マーカーおよび生活習慣病リスクのコホート研究 | 4,170 |
| 田中恵太郎 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(A)(分担) | 生活習慣に影響する遺伝要因の解析とメンデルランダム化による生活習慣病コホート研究 | 1,170 |
| 田中恵太郎 | 科学研究費助成事業 | 新学術領域研究(分担) | がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動 | 16,900 |
| 田中恵太郎 | がん研究開発費 | (分担) | 科学的根拠に基づく発がん性・がん予防効果の評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究 | 700 |
| 西田裕一郎 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | リポ蛋白リパーゼトランスジェニックウサギを用いた抗肥満・抗糖尿病のメタボロミクス | 650 (1,996) |
| 西田裕一郎 | 科学研究費助成事業 | 挑戦萌芽(分担) | ケニア農村地域における女性高齢者ケアに関する人類学的研究 | 650 |
| 島ノ江 千里 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 生活習慣病のリスクを予防する精神ストレスマーカーの疫学的検討 | 3,770 |
| 松本明子 | 科学研究費助成事業 | 若手研究(B) | 肥満・耐糖能異常を合併したアルコール性肝障害における ALDH2 遺伝子多型の影響 | 1040 |
| 多田芳史 | 平成27年度厚生労働科学研究委託費 | 難治性疾患克服研究事業 大腿骨頭壊死症調査研究班 (研究分担者) | 特発性大腿骨頭壊死症の治療法確立と革新的予防法開発にむけた全国学際研究 | 750 |
| 多田芳史 | 中外製薬研究助成 | | 既存の生物学的製剤治療が効果不十分な関節リウマチ患者におけるトシリズムブ治療に関する有効性および IL-6 変化量の検討 | 1,000 |
| 小荒田秀一 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 全身性自己免疫疾患に対する新樹 B 細胞標的療法の開発 | 1,820 |
| 小野伸之 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 新規多発血管炎性肉芽腫症モデルマウスの確立 | 1,950 |
| 小島 研介 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究 C | 白血病 p53 による白血病微小環境の変調 | 1,300 |
| 渡邊(小林)直美 | 平成 27 年度佐賀大学中期計画実行経費 | 医学部研究者育成支援事業【臨床】 | 肺扁平上皮がんにおける Discoidin Domain Receptor 2 の機能解析 | 200 |
| 田中敦史 | 循環器学研究振興基金 | 平成27年度研究助成 | ヒト iPS 細胞を用いた時計遺伝子と心血管疾患の分子機構の連関解析 | 2,000 |
| 藤本一真 | 平成 27 年アストラゼネカ研究サポート | | 若年健康成人における上腹部症状:男女間での比較 | 1,000 |

| | | | | |
|-------|--|--|--|-------|
| 坂田資尚 | 平成 27 年アストラゼネカ 研究サポート | | 数理的な画像解析手法を用いた内視鏡による消化器癌鑑別技術の開発 | 1,000 |
| 藤本一真 | 平成 27 年タケダ・リサーチ サポート | | 若年健康成人における逆流性食道炎:背景因子と臨床症状の検討 | 1,000 |
| 坂田資尚 | 平成 27 年タケダ・リサーチ サポート | | 喫煙が潰瘍性大腸炎に与える影響に関する研究 | 1,000 |
| 溝口義人 | 先進医薬研究振興財団 平成 27 年度 第 48 回 精 神薬療分野 | 一般研究助成 | 神経炎症における脳神経血管機構(NVU)の関与に着目したうつ病の病態解明 | 1,000 |
| 松尾宗明 | 厚生労働科学研究費補助 金 | 難治性疾患等政策研究事 業(分担) | 早老症の実態把握と予後改善を目指す集学的研究. | 500 |
| 松尾宗明 | 厚生労働科学研究費補助 金 | 難治性疾患等政策研究事 業(分担) | 神経皮膚症候群に関する診療科横断的検討による科学的根拠に基づいた診療 指針の確立. | 900 |
| 松尾宗明 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 人工多能性幹細胞を用いたもやもや病の病因病態解析と治療法の開発. | 1,820 |
| 松尾宗明 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C)(分担) | 生体適合性脂質輸送担体の脳室内投与によるニーマン・ピック病C型治療の最適 化. | 100 |
| 松尾宗明 | 日本医療研究開発機構 (AMED) | 「ICTを活用した診療支援 技術研究開発プロジェク ト」(分担) | 注視点検出技術を活用した発達障がい診断システムの開発. | 2,000 |
| 大塚泰史 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | ゲノムワイド父性ダイソミーの分子病態に関する研究. | 1,690 |
| 大塚泰史 | 平成 27 年度佐賀大学中 期計画実行経費 | 医学部研究者育成支援事 業【臨床】 | 造血幹細胞移植後血栓性微小血管症における補体機序の解析. | 600 |
| 平木将紹 | 平成 27 年度佐賀大学中 期計画実行経費 | 平成 27 年度佐賀大学中 期計画実行経費 | 変異型 p53 が胃癌転移形式に及ぼす影響 | 1,000 |
| 井手貴雄 | 平成 27 年度佐賀大学中 期計画実行経費 | 医学部研究者育成支援事 業【臨床】 | 腫瘍内微小環境下におけるエネルギー代謝制御を標的とした新規肺癌治療の開 発 | 600 |
| 伊藤 学 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(B) | 新規組織工学による次世代型血管外科再生治療法の開発 | 1,560 |
| 伊藤 学 | 高血圧と冠動脈疾患研究 会 | | バイオ 3D プリンタを用いた血管組織構築 | 50 |
| 伊藤 学 | 日本透析医会 | JADP Grant2015-13 | バイオ 3D プリンタを用いた次世代型透析用人工血管の開発 | 2,000 |
| 森田 茂樹 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(B) | 新規組織工学による iPS 細胞からの心臓血管臓器再生療法の開発 | 4,550 |
| 森田 茂樹 | 医学部研究者育成大型プ ロジェクト | | 細胞のもつ自己組織化能の解明および iPS 細胞由来機能的 3 次元組織を構築す る技術の開発 | 4,000 |
| 迎 洋輔 | 科学研究費助成事業 | 若手研究(B) | 組織工学を用いた iPS 細胞由来心筋組織の神経細胞配合による心機能改善効果 の検討 | 2,080 |
| 野口 亮 | 科学研究費助成事業 | 挑戦的萌芽研究 | ヒト幹細胞由来機能的 3 次元心筋組織構築法の開発 | 1,430 |
| 野口 亮 | 科学研究費助成事業 | 若手研究(A) | ヒト幹細胞から機能的 3 次元心筋組織の構築法および移植法の開発 | 3,770 |
| 柚木 純二 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 診断群分類包括評価データを用いた従来手術と新たな低侵襲手術の費用対効果 の比較 | 1,820 |

| | | | | |
|---------|------------------------|----------------------|--|-------|
| 野口満 | 国立長寿医療研究センター | 平成 27 年度長寿医療研究開発費 | 排尿障害を有する要支援・要介護高齢者の排尿自立に関する研究 | 900 |
| 横山正俊 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 緑茶カテキンのがん細胞殺傷のしくみに基づいた新しい子宮頸部病変治療法の開発 | 1040 |
| 石川 慎一郎 | 科学研究費助成事業 | 若手研究(B) | siRNA・アテロローゲン複合体を用いた全く新しい緑内障治療薬の開発 | 1170 |
| 島津倫太郎 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 胃酸逆流と気道疾患-動物モデルを用いた検討- | 1950 |
| 石川 亜佐子 | 平成 27 年度佐賀大学中期計画実行経費 | 医学部研究者育成支援事業【臨床】 | 神経損傷から神経障害性疼痛への進行をトリガーするメカニズムの解明 | 1000 |
| 檀上 敦 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 口腔癌の骨浸潤モデルにおけるカテプシンK阻害剤の機能解析 | 2600 |
| 山下佳雄 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 舌癌患者に対する間葉系幹細胞を用いた新たな舌再建法の確立 | 910 |
| 山下佳雄 | 平成 27 年度佐賀大学中期計画実行経費 | 医学部研究者育成支援事業【臨床】 | 口腔粘膜疾患、特に白板症あるいは扁平上皮癌における TRPV3 の働き | 600 |
| 太田 昭一郎 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(B)(分担) | アレルギー疾患の慢性化機序の解明とそれに対する治療戦略の確立 | 130 |
| 太田 昭一郎 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | ペリオスチンのシグナル伝達機構の解明によるアレルギー性炎症に対する治療基盤の構築 | 1,690 |
| 太田 昭一郎 | 平成 27 年度佐賀大学中期計画実行経費 | 医学部研究者育成支援事業【臨床】 | ペリオスチンアイソフォームの特異的検出による線維化疾患診断システムの開発 | 600 |
| 小網博之 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 自己細胞由来人工皮膚グラフトを用いた重症熱傷治療法の開発 | 1,170 |
| 山田クリス孝介 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(B) | 地域救急医療の質の向上に資する科学的証拠の構築に関する研究 | 7,280 |
| 山田クリス孝介 | パブリックヘルス化学研究助成金 | | ストレスケア実施に対する認知変容効果の検討 | 1000 |
| 本田裕子 | 平成 27 年度佐賀大学経営基盤支援経費事業 | 奨励研究費 | 毛髪のマクロフィブリルを構成するヒトヘアケラチンの機能解析 | 500 |
| 河野史 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C)(一般) | 母子分離による脳の形成不全に対する代理母の効果-ラットを用いた形態機能的解析 | 2080 |
| 柿原奈保子 | 科学研究費助成事業 | 若手研究(B) | 精油を用いた看護技術のエビデンス確立-照射性潰瘍に対する治癒力促進のメカニズム- | 650 |
| 新地浩一 | 医学部国際交流基金 | 看護学生海外留学派遣経費 | 台湾・輔仁カトリック教大学看護学部との夏季交換留学プログラム | 400 |
| 相島 慎一 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 肝・胆道癌の発癌・進展における鉄代謝関連蛋白発現調節機構の病理学的解明 | 1,430 |
| 相島 慎一 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(S)(分担) | がん幹細胞化に関与する Sphere 形成メカニズムを標的とした革新的治療開発 | 1,300 |
| 北村二雄 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | フッ素化反応の原料転換を目指した新規フッ素化反応の開発 | 4,940 |
| 高椋利幸 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 軟 X 線分光法によるイオン液体中の金属錯体の構造と電子状態 | 800 |
| 高椋利幸 | 佐賀大学中期計画推進経費 | 大学院工学系研究科長経費 研究活性化事業 | イオン液体-分子性液体混合溶液を電解液とする色素増感太陽電池に関する研究 | 2,500 |
| 辻田有紀 | 科学研究費助成事業 | 若手研究(B) | 植物の菌根菌遷移への適応戦略とその進化過程の解明 | 2,340 |

| | | | | |
|-------|----------------------|--------------------------|--|-------|
| 兒玉浩明 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 単量体と二量体の動的平衡状態にあるGPCRが伝達する生物活性情報の特定 | 1,000 |
| 兒玉浩明 | 独立行政法人科学技術振興機構(JST) | A-STEP シーズ顕在化タイプ | N-Myc 発現抑制・分解促進に基づく神経芽腫の悪性形質低下誘導療法の開発 | 1,014 |
| 森貞真太郎 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 高分子ブラシによる表面改質を利用した非最密充填コロイド粒子膜の創製とその構造制御 | 1,560 |
| 森貞真太郎 | 財団法人ホソカワ粉体工学振興財団研究助成 | | 温度応答型界面活性マイクロゲルの開発 | 900 |
| 穴井 豊昭 | 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 | ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP) | ミヤコグサ・ダイズリソースの国際的拠点形成 | 3,000 |
| 穴井 豊昭 | 受託研究 農林水産省 | | ダイズの変異リソースの作出とスクリーニング | 1,670 |
| 穴井 豊昭 | 共同研究 | | 各種大豆の品質評価に関する研究 | 950 |
| 藤澤知績 | 科学研究費助成事業 | 若手研究(B) | aman 光学活性に基づく生体内反応の立体構造ダイナミクスの観測 | 4,290 |
| 徳田 誠 | 科学研究費助成事業 | 若手研究(B) | 植物と昆虫の形質多型に着目した生物における資源配分戦略の解明 | 1,000 |
| 大島一里 | 科研費 挑戦的萌芽 | 挑戦的萌芽研究 | 植物ウイルス病原体間の共進化機構の解明 | 1,500 |
| 北垣浩志 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | メタボロームのずれをミトコンドリアで補正 | 5,000 |
| 高島千鶴 | 科学研究費助成事業 | 若手研究(B) | 微生物代謝効果から読み解く温泉堆積物のミクロスケール縞状組織の生成プロセス | 910 |
| 鈴木章弘 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(B) | ダイズ窒素固定関連遺伝子 SEN1 の多様性と収量性に与える影響 | 2,300 |
| 鈴木章弘 | 科研費 挑戦的萌芽 | 挑戦的萌芽研究 | 光伝送によって地上部から根へ到達した遠赤色光が微生物共生を促進する可能性 | 1,800 |

(5) センター教職員による業績および外部資金

原著論文

| 著者名 | 題目 | 雑誌名, 巻, 号, 頁 |
|---|---|--|
| * Nishijima K, Kitajima S, Koshimoto C, Morimoto M, Watanabe T, Fan J, Matsuda Y | Motility and fertility of rabbit sperm cryopreserved using soybean lecithin as an alternative to egg yolk. | Theriogenology 84: 1172-1175 |
| 松久 葉一 | 精神的ストレスモデルマウスの血小板機能 | 九州実験動物雑誌 31: 5-9 |
| Kudo K, Ito H, Ihara S, Terato H | Quantitative analysis of oxidative DNA damage induced by high-voltage pulsed discharge with cavitation. | J Electrostat, 73: 131-139 |
| Tokuyama Y, Furusawa Y, Ide H, Yasui A, Terato H | Role of isolated and clustered DNA damage and the post-irradiating repair process in the effects of heavy ion beam irradiation. | J Radiat Res, 56: 3, 446-455 |
| Kudo K, Ito H, Ihara S, Terato H | Oxidative DNA damage caused by pulsed discharge with cavitation on the bactericidal function. | J Phys. D. Appl Phys, 48: 365401 |
| 猪原哲, 伊藤博徳, 小林倫宣, 井上侑子, 寺東宏明, 玉川雅章 | 水中キャビテーション・放電プラズマ併用方式によるプランクトンおよび大腸菌処理. | 電気学会論文誌 A (基礎・材料・共通部門誌), 135 (6) 357-365 |
| Kohzo Kanda, Kaede Nakashima, Yukio Nagano | Complete Genome Sequence of Bacillus thuringiensis Serovar Tolworthi Strain Pasteur Institute Standard | Genome Announcements July/August 2015 vol. 3 no. 4 e00710-15 |
| 長尾誠也, 久米川雅志, 兒玉宏樹, 寺島元基 | 北海道東部の湿原を流れる別寒辺牛川水系における溶存有機物と溶存鉄の流出挙動 | 低温科学, 74, 1, 1-12 |
| Takeshi Kawano, Masasuke Ryuda, Hitoshi Matsumoto, Masanori Ochiai, Yasunori Oda, Teiichi Tanimura, Gorge Csikos, Megumi Moriya and Yoichi Hayakawa | Function of desiccate in gustatory sensilla of drosophila melanogaster | Scientific Reports, 5:17195 |

総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文

| 著者名 | 題目 | 雑誌名, 巻, 号, 頁 |
|---|---|--|
| * Fan J, Kitajima S, Watanabe T, Xuc J, Zhang J, Liu E, Chen YE | Rabbit models for the study of human atherosclerosis: From pathophysiological mechanisms to translational medicine. | Pharmacology & Therapeutics 146: 104-119 |
| 永野幸生・飯笹英一 | 相同組換えで色々できちやう DNA クローニング | 生物工学会誌 2015 年 第 93 巻 第 10 号 623-626 |
| 永野幸生 | 遺伝子組換え実験に関わる大学遺伝子協の活動 | バイオサイエンスとインダストリー 2015 年 73 巻 6 号 490-493 |

一般講演・招待講演・特別講演(学会シンポジウム等での講演を含む)

| 発表者 | 題目 | 学会(会議等)名 |
|--|--|--|
| ONishida, Y, Nishijima, K., Mi-ichi, F., Yamada, Y., Tanaka, H., Fan, J., Kitajima, S., Tanaka, K. | Metabolomic profiling reveals muscle metabolites that are associated with favorable glucose, lipid and energy metabolism in lipoprotein lipase transgenic rabbits. | 5th ICCR Congress on Chronic Societal Cardiometabolic Diseases |
| Terato H, Kudo K, Mori K, Tokuyama Y, Tanaka H, Saito T | Clustered and isolated oxidative DNA damages induced by atomic reactor neutron radiations. | 15th International Congress of Radiation Research |
| Tokuyama Y, Furusawa Y, Ide H, Yasui A, Terato H | Clustered DNA damage by heavy ion beams irradiation and the post-irradiating repair process. | 15th International Congress of Radiation Research |
| *西垣みなみ, 秋吉俊明, 南志穂, 松尾完, 池田聡, 上田泰子, 福嶋倫子, 山口敦巳, 岡本純英 | 胚盤胞および初期胚の形態的評価からみた移植胚の選択 | 第 18 回日本 IVF 学会 |
| *西垣みなみ, 秋吉俊明, 南志穂, 松尾完, 池田聡, 上田泰子, 松尾恵子, 佐藤春菜, 海端彩乃, 小林奈央子, 福嶋倫子, 山口敦巳, 岡本純英 | 初期胚の形態的評価および胚発生速度良好胚盤胞移植の臨床成績に及ぼす影響 | 第 33 回日本受精着床学会学術講演会・総会 |

| | | |
|--|--|---|
| 寺東宏明、工藤健一、伊藤博徳、猪原哲 | 水中放電プラズマによって生じる DNA 損傷とその変異原性. | 日本環境変異原学会 第 44 回大会 |
| 秋吉俊明、松久葉一、江里口理嘉、森本正敏、北嶋修司 | クライオトップを用いたウサギ桑実胚の凍結における凍結保存液の検討 | 第 33 回九州実験動物研究会総会 |
| *松尾完、秋吉俊明、南志穂、西垣みなみ、池田聡、山口敦巳、岡本純英 | 胚盤胞保存に至るまでの培養時間および収縮回数が保存胚盤胞移植の臨床成績に与える影響 | 第 72 回九州沖縄生殖医学会 |
| 寺東宏明 | 生物界に普遍的な機構の一つである DNA 修復について. | 平成 27 年度 日本動物学会・植物学会・生態学会佐賀県支部合同シンポジウム |
| 伊藤 富生 | 佐賀大学医学部RI実験施設縮小改修および関連する変更について | 平成26年度佐賀大学技術研究会 |
| 森加奈恵 | 共同利用施設における利用登録・機器予約システム更新の報告 | 平成 27 年度 山形大学 機器・分析技術研究会 |
| 永野 幸生、中嶋 楓、神田 康三 | 苦労続きのパチルス・チューリンゲンシス亜型 <i>tolworthi</i> の全ゲノム配列決定 | NGS 現場の会 第四回研究会, つくば国際会議場, 2015.7.1-7.3 |
| ○宮本隼 1、厨子圭介 2、兒玉宏樹 3、宮島徹 1 | ダム底泥及び Fe 資材添加におけるイネの生育促進効果 | 日本腐植物質学会 第 31 回講演会 |
| 智和正明 1、東直子 1、大槻恭一 1、兒玉宏樹 2、宮島徹 2、竹田一彦 3、佐久川弘 | 窒素飽和した森林から流出する渓流水から光化学的に生成するヒドロキシルラジカルの発生源の定量評価 | 地球化学会 |
| 龍田勝輔、田淵未来、早川洋一 | 熱ストレスによるショウジョウバエの摂食行動と味受容体遺伝子発現量の変化 | 味と匂学会第 49 回大会 |

外部資金

| 代表者氏名 | 補助金(研究助成)等の名称 | 種目 | 研究課題等 | 交付金額(千円) |
|-------|---------------|-------------|--|----------|
| 北嶋修司 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 疾患モデルウサギの系統保存のための胚凍結技術の確立と凍結胚による系統保存の実施 | 1,690 |
| 北嶋修司 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(B)(分担) | 遺伝子改変ウサギモデルによる動脈硬化の発生におけるアポ蛋白 CIII の機能解析 | 1,000 |
| 寺東宏明 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 放射線誘発塩基損傷クラスターの量的・質的解析による放射線生物効果の機構解明 | 1,170 |
| 近藤敏弘 | 科学研究費助成事業 | 挑戦的萌芽研究 | シックハウス症候群に対する高感度プローブとしての DNA 付加体損傷の解析 | 654 |
| 森加奈恵 | 科学研究費助成事業 | 奨励研究 | デジタル PCR を用いた DNA 損傷分析法の確立 | 500 |
| 永野幸生 | 科学研究費助成事業 | 基盤研究(C) | 次世代 DNA シークエンサーによるカンキツおよびその近縁植物の遺伝的分化過程の解析 | 1,200 |
| 兒玉宏樹 | 株式会社大石膏盛堂 | 共同研究経費 | ポリアクリル酸水溶液中におけるリドカイン溶解状態の検証 | 1,000 |
| 兒玉宏樹 | 株式会社真崎商店 | 共同研究経費 | 鉄理論による藻場育成プランテーションシステムの試作開発 | 700 |
| 兒玉宏樹 | 電力中央研究所 | 共同研究経費 | 有機物特性評価による地下水混合の評価法検討 | 1,500 |

9. 外部評価委員による評価結果・意見

本年度は外部評価を実施していないため、評価結果および意見も無し。